

UFOS & SPACE

AMAZING  
NONFICTION  
STORIES

# UFOと宇宙

*Special from Russia* ソ連のUFO研究と未公開情報 ウラジミール・アザガ

■中国／人民日報がのせたUFO記事

■台湾／御覧！台湾的幽浮

■フランス／1975年9月9日の目撃事件詳報

アレン・ハイネック博士に本誌単独インタビュー

⊕天文学最前線20光年恒星カタログ

公開・爆弾文書 by コールマン・ケビクツキー

**COLOR** UFO写真鑑定／煙を出してカモフラージュするリング状物体

史上最長のUFOストーリー ウィリアム・ハーマンの体験 本誌特約 ウェンデル・スティーブンス



**3** No.44



長さ 9.7cm 巾 7.6cm 高さ 4.0cm 重さ 100g

金属プレートに指を置けば、ビーという音が出ます。あなたがリラックスするにつれ、皮膚抵抗が増大し、音は低くなり、反対にイライラしたりすると抵抗が減り、音が高くなります。あなたはGSR2の音をできるだけ低くすることを習うことにより、リラックスする方法を憶えられます。

●受験生、経営者、タレント、プロスポーツ選手、管理職、サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR2 バイオフィードバックは何に有効か？

GSR2は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR2は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメイクアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追い払い、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR2を使いながら追い払い、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手くなり集中力が養えます。

毎日GSR2の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打つ球に集中できるようになります。

3. 深いめい想に入れます。

GSR2の練習を積みますと、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることができます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがらなくなります。

GSR2に習熟すると、いたずらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずです。コ

# アメリカ、カナダで今、爆発的人気!!

## バイオフィードバック

# GSR2

ジー エス アール ツー

1ヶ年保証

¥20,000(送料サービス)

練習用カセットテープ、説明書、イヤホンつき

ルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはず。すぐカーツとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出しているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと言われます。GSR2で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

7. 記憶力が増します。

先のα波を出している状態では、記憶がどんどん入ることが実証されています。受験生や学生にはたいへんな武器になります。

リラックスする方法は2、3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3~6ヶ月以上の練習が必要です。

GSR2にはアクセサリが付付けられます。●●●●●●●●●●

1. サーミスター

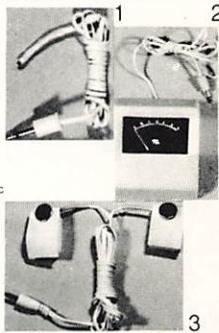
サーミスターはGSR2に全く別の新しい体温によるバイオフィードバックという機能を加えます。 ¥8,000

2. メーター

メーターをつけると、GSRや温度の変化を音でなくメーターで読むことができます。 ¥6,000

3. 電極

GSR2をポケットに入れて使うときや、お年寄、お子様には指先に固定できるので便利です。 ¥6,000



説明書・テープも別売致します。説明書 ¥500 テープ ¥1,000 但し、GSR2には、あらかじめセットされておりますので、後で本体をお買上げの場合、値引きはありませんので御了承下さい。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR2でストレスを追い出すことを憶え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

輸入総代理店

## ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元

THOUGHT TECHNOLOGY LTD. CANADA

お申込みは、取扱店又はポラックス(株)へお願いします。直接ポラックス(株)へお申込みの場合は、氏名、住所、年令明記、捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス(株)U係へお願い致します。現品急送します。

# 雲に隠れるリング状物体 “UFO型の雲”はカモフラージュのためか？

—CUCUON代表  
コールマン・ヴォン  
ケビクツキー  
(ハンガリー帝国退役陸軍少佐)

▶ヴィボルグのUFO写真を調査したハンス・ピーターセン氏。



▲ユトランド半島（デンマーク）中部のヴィボルグで撮影されたUFO。機体のまわりに雲を発生させている。これはカモフラージュのためか？（表紙写真も）

アメリカの著名なUFO研究者コールマン・ケビクツキー氏は最近、“UFOはカモフラージュのために雲を発生する”という新説を発表した。氏の写真鑑定により、これまで雲の見まちがいなどと判断されていた一部のUFO写真に、新たな視点が与えられる可能性が出てきたといえよう。



▶ウァージニア州フォート・ベルボワ基地の米陸軍兵士が撮影した黒いリング状物体。(ケースII)  
▲アルゼンチンの平原上に浮かぶUFO型の雲々の写真。この中にUFOが隠れているかもしれない。



▲メキシコ湾上空を時速200キロで飛んでいた黒いリング。近くに大規模な石油基地がある。(ケースIII)

UFOが比較的低空を飛行中、人間の目をさけるためか、機体のまわりに雲を発生させてカモフラージュする例がしばしば報告されている。

デンマークのヴィボルグで撮影された素晴らしいカラーのUFO写真もその一例であるが、北欧のUFO研究のバイオニアとして知られるハンス・ビーターセン氏(デンマーク王立空軍へNATO)退役空軍少佐・GAPデンマーク代表)は、ICUFONおよびカール・ヴアイト氏(DUIST=ドイツ国際UFO研究会)と協力してこの写真をつぶさに調査した。

以下は、ビーターセン氏の調査と筆者によるヴィボルグの写真分析結果である。

撮影月日—1974年11月17日午前9時

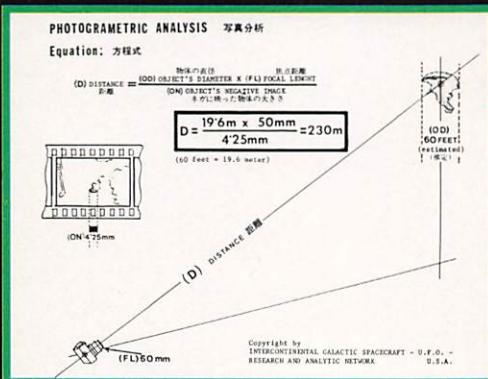
撮影場所—デンマーク・ユトランド島  
ヴィボルグ郡ヴィボルグ

撮影者—ラウエルセン氏

撮影データ—35ミリカメラ、コタカラ  
—使用。

気象状況—気温セ氏5度、晴(薄もや)犬を連れて朝の散歩を楽しんでいたラウエルセン氏は、ふと東の高校の向こうの空に奇妙な物体が音もなく浮かんでいるのを見て、あわてて持っていたカメラで1枚写した。

その物体は長さ20メートルくらいで、突然物体の下部にある雲を吸い込むように見えたが、氏がちよつと下の方を見て

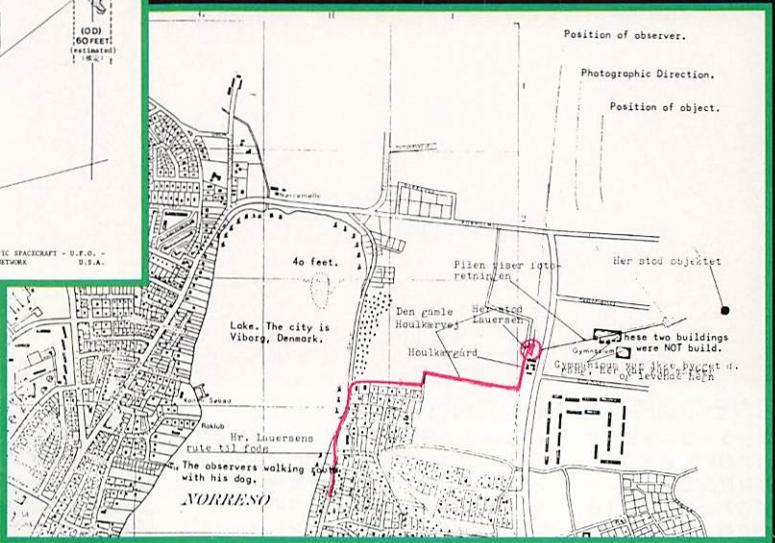


◀この方程式にネガフィルムと目撃現場の調査結果をあてはめて物体までの距離を計算した。

▼目撃現場の地図。赤線は目撃の歩行経路、物体は右端の赤丸の位置で目撃された。



▲UFO写真の鑑定を行なったコールマン・ヴォン・ケビツキ氏



から上を見るともつ姿を消してしまっていた。

写真を見ると物体には在来の航空機にあるような推進装置、操縦装置らしいものは見えないがUFO特有の円盤型をしており、周辺部の黒いリングが目立っている。物体の浮かんでいた高さは仰角30度、地上約100メートルあたりと計算される。東南東方からの朝日を受けてやや逆光の位置にあるが、影になった部分を見ると、物体は上部にドーム構造をもつ金属的な飛行体であると推察できる。

物体のまわりの雲は物体表面全体にわたりに発生している様子であるが、さいわい北西方向から吹いていた微風のため、右側に雲が吹き寄せられており、左側が薄くなって暗いリング状の周辺部が見えている。

下部は少しふくらみを帯びているようだ。物体下部のヒゲ状の雲はおそらく物体がゆるやかに上昇したために生じた空気の薄い部分へ雲が引っぱられてきたためと思われる。

現場の詳しい地図とピーターセン氏の現地調査により、次のような計算値が得られた。

(図1参照)

カメラからUFOまでの距離——2500メートル

UFOの位置(仰角)——30度

地上からの高度——約100メートル

UFOの大きさ——横約20メートル、

高さ4.25メートル

(本文38頁につづく)

# 世界最後の謎

## 失われた文明を求めて

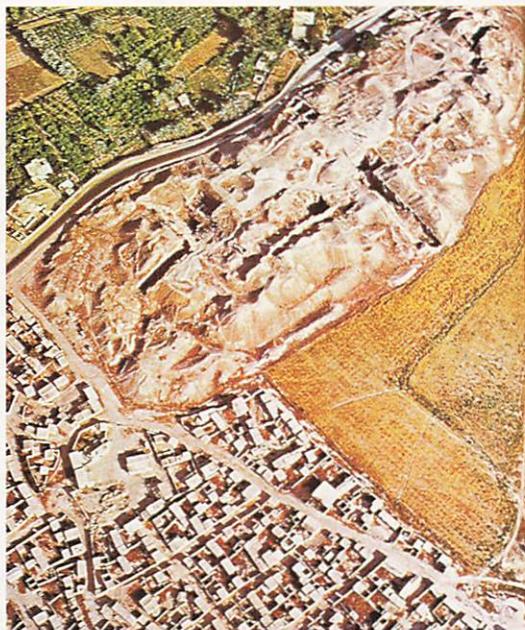


### ●宇宙からの訪問者

▲1975年、ユーゴスラビアで撮影されたUFO。近年UFO目撃事件は続出している。いったい何のためにUFOは出現するのだろうか。これからのわれわれにとって最大の解き明かさねばならぬ謎である。

### ●世界最古の都市イェリコ

▶9000年前の城壁から出土した、聖書伝説の都市イェリコ。世界最古の都市は5000年前のシュメールに始まったという定説はみごとにくつがえされた。ほかにトルコのチャタル・ヒュコク、ドナウ河畔のレベンスキー・ビルも同時代のものである。



# LES DERNIERS MYSTÈRES DU MONDE

18世紀の「ポンペイ遺跡の発掘」を端緒にして過去100年間、世界各地に残されていた古代の謎がつぎつぎにその姿を現わし、考古学者によって解明が試みられてきた。同時にわれわれのゆくてには、広大無辺の宇宙空間、異次元、UFOなどのはかりしれない未知の世界が新たに登場してきている。

これらの謎の世界を一堂に集めた写真集『世界最後の謎』（リーダーズ・ダイジェスト刊）が発売された。全頁が見事なカラー写真で埋められたこの豪華な写真集の中に世界の謎の一端をのぞいてみよう。



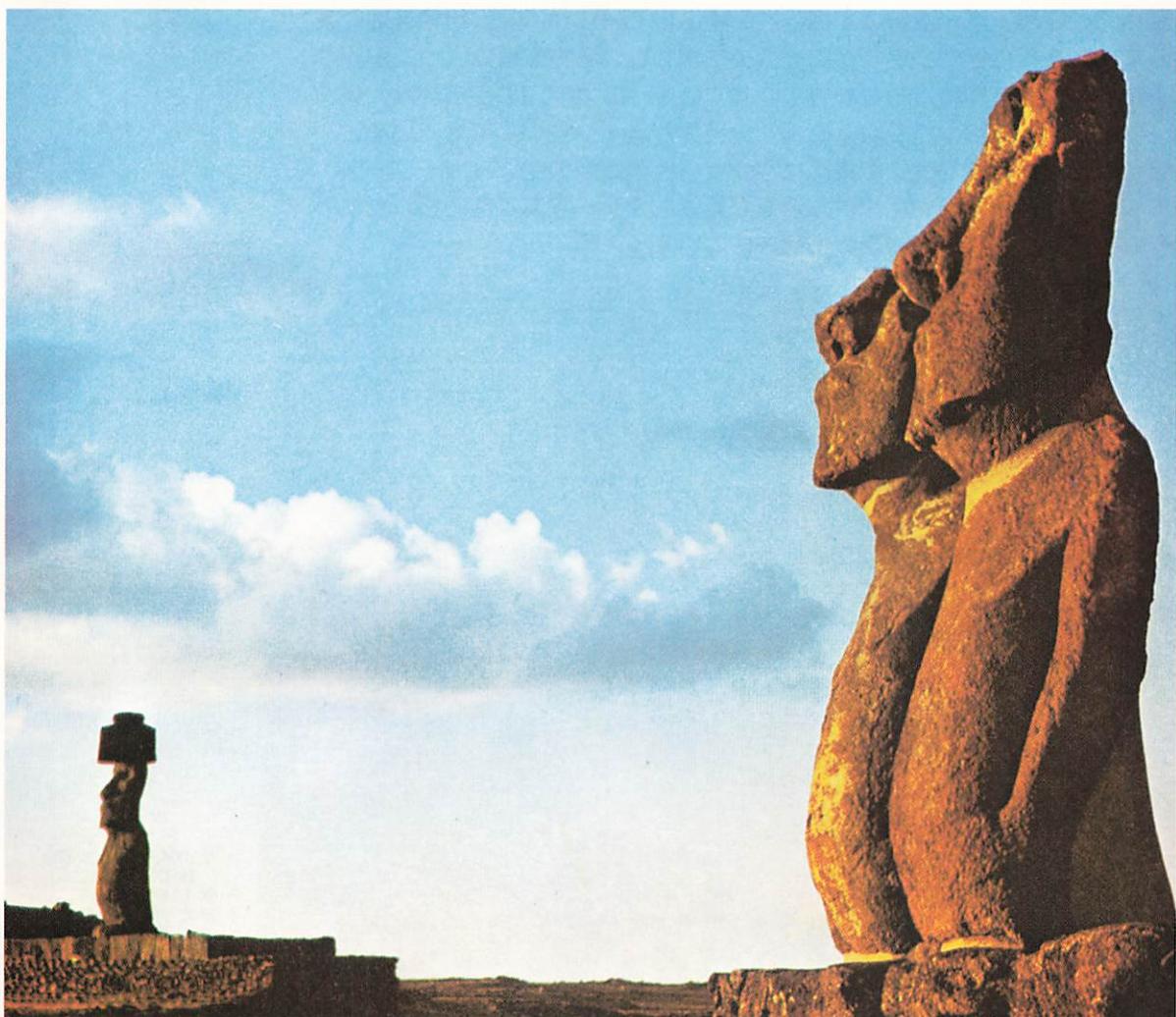
## ●西ヨーロッパの不思議な巨石

◀写真は、ブルターニュ荒野に立つメガリット。ヨーロッパ西部の霧深い平野には、ドルメン、メンヒル、メガリットなどさまざまな名称で呼ばれる巨大な石碑群が立っている。いったい、なんのためにこれらは存在しているのかという疑問は、依然として解明されていない。

## ●ナスカの謎のメッセージ

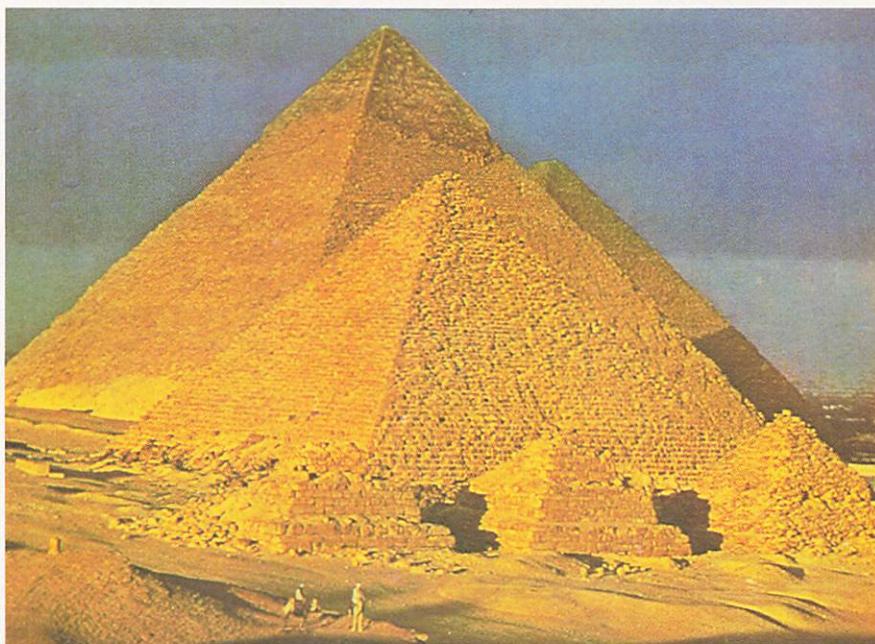
▼巨大な渦巻き文様、実は狼の絵の尻尾の部分である。地上からはこの絵の全体像はつかめず、300メートル以上の高空でなければ全体をみることはできない。これこそ古代人の残した、もつとも不可解なメッセージだろう。中央の人物は、ナスカ遺跡の守護者マリ・ア・ライへ女史。





### ●イースター島の巨人像

▲かつて、「世界のへそ」とか「空を見上げる目」とか呼ばれた、この島の人々は、豊かで高度な社会生活を営み、いたるところに巨大な石像をたてた。その大きさは、現在もなお土木技術者を驚嘆させるほどだ。



### ●ファラオたちの眠る ピラミッド

▶砂漠の縁に立つギゼーの大ピラミッド。手前からメンカフラー王、カフラー王、そしてクフ王の塚。かつて、これらが造られたとき、そのみがかれた表面は、太陽の光をうつしてさんざんと輝いていた。

# LES DERNIERS MYSTÈRES DU MONDE

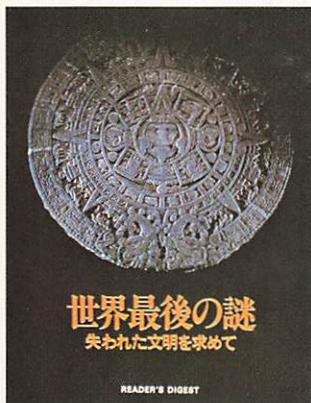


## ●消えた黒人帝国

◀ジンバブウェの複合遺構の一部。ローデシア南部の灌木地帯に、忘れられた石の町が廃墟となって残っていた。数世紀前まで、交易で栄え、黄金を豊かに産出した大黒人帝国の中心地だったという。

## ●サクサイワマン岩の壘壁

▼インカ帝国の首都であったクスコを見下す海抜3700メートルの丘の上にある、インカ最大の石造建築のひとつである。石は1個100kgを超すものもあり、動力も車も知らなかった人々が、どうやって山頂に運んだのだろうか。

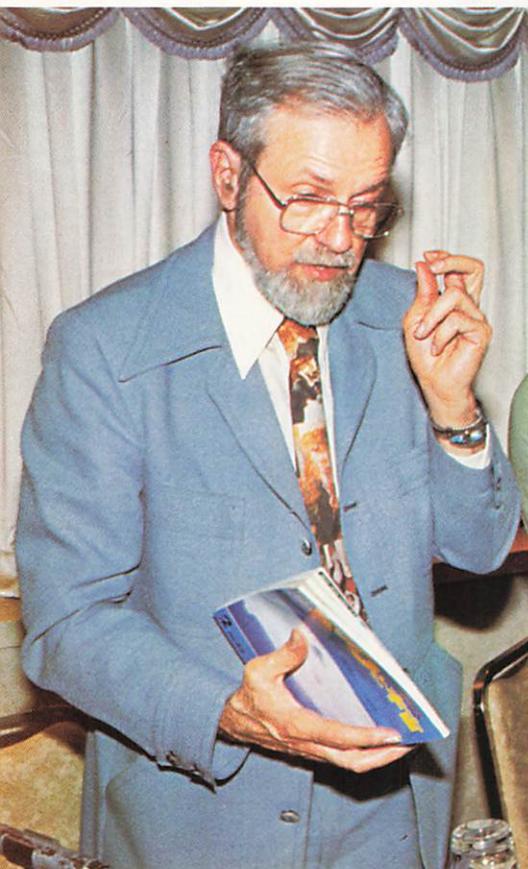


本書は1976年にフランスのリーダーズ・ダイジェストが27万ドルの編集費を投じて製作した原著「LES DERNIERS MYSTÈRES DU MONDE」の日本語版。本書に関するお問い合わせはリーダーズ・ダイジェスト社受注係（電話284-4091）まで。

『世界最後の謎—失われた文明を求めて』 定価5850円



# ハイネック博士来日、本誌単独インタビュー



ハイネック博士にインタビューする本誌編集部

ノースウエスタン大学天文学名誉教授アレックス・ハイネック博士が1月23日、日本テレビの招きで来日した。ハイネック博士はプロジエクト・ブルーブックなどアメリカにおける多数のUFO調査研究に参与してきた世界的なUFO学者。UFOとの接触を第1種接近遭遇、第2種接近遭遇などに分類したことも知られている。本誌編集部では博士との単独インタビューに成功、同時に今後の協力関係を約束した。(インタビューの詳細は本文P.12をお読み下さい。なお、このインタビューの2日後、本誌ではハイネック博士と荒井欣一氏等日本の研究家との座談会を行ないました。座談会の内容は4月号に掲載する予定です)

上・ニューオータニで記者会見に出席したハイネック博士。右は博士を招待した日本テレビディレクター矢追純一氏(“木曜スペシャル”担当)  
下・本誌を手にするハイネック博士

# UFO CONTENTS と宇宙



1979

3

## ■カラー■

- 1 雲に隠れるリング状物体 / UFO 型の雲はカモフラージュのため?  
 4 世界最後の謎—失われた文明を求めて  
 8 ハイネック博士来日単独インタビュー  
 73 ミネアポリスに常設のUFO展示場

## Overseas Special

●突然来日したUFOの世界的権威に単独インタビュー  
**アレックス・ハイネック博士に聞く**

編集部

12

①ソ連科学アカデミー研究員による講演記録 ウラジミール・アザザ

**ソ連のUFO研究と未公開情報**

18

②中国にみるUFO観

**人民日報にUFO登場**

恒炎

26

③台湾のUFO研究者による異色レポート

〃**御覧!台湾的幽浮**〃

洪荒

28

④フランス C・ペリエ

**1975年9月9日の目撃事件詳細**

32

●衝撃報告 / 国連各国代表に配布された米政府の機密資料  
**コールマン・ケビクツキー氏の爆弾文書**  
 (在ニューヨーク) 富川正弘

40

●史上最長のUFOストーリー 本誌特約 / ウェンデル・ステイアンス  
**ワイリアム・ハーマンの体験**

99

●森沢浄氏が現在試作中  
 実用新案登録  
**UFO飛行装置**

56

●雲に隠れるリング状物体  
**ケビクツキー氏のUFO写真鑑定**

46

●SCIENCES-FRONTIERE 近太陽系空間をさぐる  
**20光年宇宙マップの謎**

斎藤守弘

48

## CONTENTS

- |    |                   |    |             |
|----|-------------------|----|-------------|
| 10 | コンディション・グリーン      | 72 | 豪華賞品が当たるクイズ |
| 62 | UFO時評             | 83 | 読者のコンタクト広場  |
| 64 | ブックプラザ            | 92 | 蚤の市         |
| 66 | 省三おじさんのUFOイングリッシュ | 96 | バックナンバー紹介   |
| 68 | サイエンス・ニュースフロント    | 98 | 英文解説        |

ニュージールランド

TVカメラで撮影 UFOへの最接近

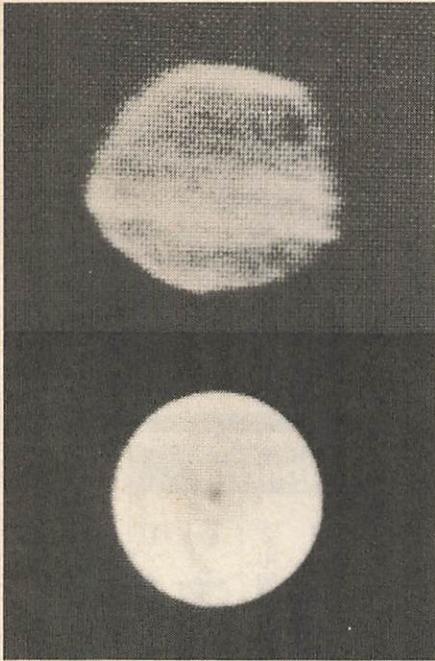
元旦早々、オーストラリアの

テレビ局がニュージールランド上空で撮影した「世界で初めて信頼できるUFOフィルム」を放映、日本やアメリカをはじめ世界中に反響を巻き起こした。

問題のフィルムは、昨年12月31日の早朝、ニュージールランド南島のカイコウラ上空で飛行機の中から撮影されたものである。

この快挙をなしたげたのは、オーストラリアにあるテレビ局チャンネル0のフォーガティ記

飛行機(上)および地上(下)から撮影されたUFO(写真/UPI)



者である。クリスマス休暇でニュージールランドを訪れていた同記者は、12月21日に南島のクラレンス川上流でUFO騒ぎが起こったことを知った。

フォーガティ記者はさっそく現地でフリーカメラマンをやるとい、飛行機をチャーターして取材を行なった。12月30日の深夜から31日の早朝にかけて、新聞

輸送用のアーゴシー機で飛んだところ、クラレンス川の上流で見事にUFOをキャッチした。

UFOは巨大なピンポン玉のような半透明の球体で、大きさは月の数倍あった。中に電球が

入っているように光り、脈動を

繰り返していたという。飛行機はブレンハイムからクライストチャーチまで南下、給油後またブレンハイムに引き返したが、往路でも帰路でもUFOを目撃し、2500ミリ望遠レンズで合計20分あまりのフィルムを撮影している。「5時間半の飛行中に見かけたUFOは全部で25個、ときどき白く輝き、グリーンに見えることもあった」フォーガティ記者はこう証言している。

このUFOは管制塔のレーダーでもとらえられ、何機かが飛行機のまわりで現われたり消えたりしていたという。1月2日にはニュージールランド空軍の哨戒機が現場を捜索したが、UFOを見つけることはできなかった。

しかしこの日の晩、ニュージールランドの地元テレビ局も地上からUFOを3時間以上にわたって撮影している。これらのUFOについて、専門家のなかには、金星や隕石の誤認という意見もある。また1月25日にニュージールランド国防省は「特異な大気現象」という見解を発表している。しかしつい先ごろ来日した有名な天文学者でUFO研究家のハイネック博士は、これらの説をきっぱり否定している。現在、アメリカのブルース・マカビー博士が行なっているフィルムの科学的分析の結果が期待される。

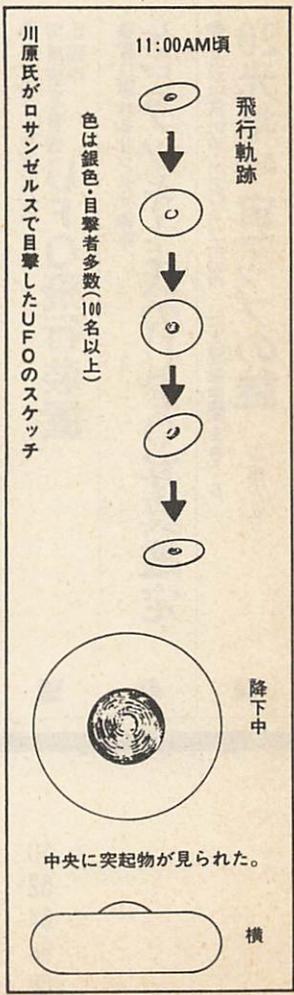
アメリカ

昨年11月下旬から12月にかけ、ロサンゼルス

の北部で数度にわたってUFOが出現し、大騒ぎとなった。現地のテレビやラジオでも、2週間にわたって繰り返し報道したという。

この情報は、本誌愛読者の川原俊彦氏が現地から報告してくれたものである。川原氏はUFOに魅せられて1年3カ月前にアメリカに渡り、これまでにすでに数回、UFOを目撃している。また、今回の事件の目撃者の1人でもある。

11月29日の午前10時50分頃、ロサンゼルス近郊のダウンタウン地区に銀色に輝く物体が現われ、約2分後、2つに分かれて、1個は南の方へ飛び去った。もう1個は約10分後、ハリウッドの近くへゆっくりとした速度で降下してきた。川原氏はそれを追って愛車オペルGTをと



横



イタリアで撮影されたドーナツ型UFO (写真/UP)

ばして近よって見た。

その物体は完全な円型で色は銀色、大きさはヘリコプターよりやや小さめだった。目撃者は100名以上という多数にのぼっている。物体は15分間ほど飛行したのち、北部の方へ飛び去った。

さらに、12月7日にもUFOが再びロサンゼルス北部に姿を見せたし、4日後の12月11日に

は北部の山間部に着陸、その目撃者も現われたという。

### イタリア

## 緑色の宇宙人が 警官を2度誘拐

昨年の暮からイタリアでUFOの活動が目立っている。

とくに圧巻はジェノバの警官フォルチュナト・ツアンフレツタさんの場合で、1月12日のテレビに出演して

2度にわたりUFOに誘拐されたと主張、大反響を巻き起こした。

彼の話によると、昨年の12月6日と27日に三角形の黄色い目をして頭のとつべんにピンク色の血管を浮き出させた、背の高い緑色の男たちにUFOの中へ連れ込まれたという。UFOは三角形で、鋼鉄

色をした、遠くからやってきた飛行物体だった、というのが彼の描写である。

なお、仲間の警官によると、彼が「誘拐」から戻ってきた時、彼の頭が熱病のように熱くなっており、乗っていたパトカーの屋根も熱く焼けていたのに気がついたという。

一方、イタリアのパレルモ、シシリ、ミラノ一帯でも、昨年12月中旬に、10カ所以上でUFO目撃事件が起こり、写真にも撮られている。これらのUFOは真中に穴のあいたドーナツ形をしていて、緑や赤や白の光を放っていたという。

そして12月14日、UFOはついに首都のローマに出現した。それも、警察本部で勤務中の警官10数名によって目撃されている。彼らは口をそろえて、「も

のすこくまぶしい緑色の光を頭の上に見た」と証言している。その光体は北北西の方向に飛び、住宅地域にあたるティベリナとサラリアの間あたりに去っていった。

間、電話が殺到したという。

### マレーシア

## 目の前に現われた キラキラ光る物体

さる1月2日、北西マレーシアのバターワース空軍基地近くの上空を飛行していたオーストラリア空軍の飛行士が、未確認飛行物体の写真を撮影した。このUFOは輝いたオレンジ色で夕空を飛行した後、約20分間で消えた。

また、1月5日の早朝には、首都クアラルンプールから416キロ離れたジントラ地区で、農作業のため水田に向かう途中だった4人の農民がUFOを目撃している。突然、キラキラ光る物体が目の前に現われ、音をたてずに少しづつ動いて、20分後に消えたという。

### 南極

## 「ふじ」の乗組員は UFOも観測中

いま南極海域にいる日本の南極観測船「ふじ」で、UFOが何度も目撃され、観測隊員や乗組員の間で話題となっている。

主な目撃者3人の話を総合すると、この怪飛行物体が最初に現われたのは1月6日の午前10時半頃。西洋タコに似た、菱形をつぶしたような形のものが1個飛来した。

高度は3000〜5000メートル。飛行コースは、目撃者によって一直線、ゆるいジグザグを描いていたなどまちまちだが、青または白い色をしていて音は聞こえず、かなりのスピードだったという点では一致している。

同乗の飛行専門家も首をかしげっぱなしという。

### 日本

## オレンジ色の物体 天橋立上空に出現

1月5日午前11時半頃、天橋立上空でオレンジ色の皿状物体が目撃された。物体は数分後には2つに割れて消えたという。

また、6日の午前10時頃にも宮津市内の会社員ら3人が「直径40センチほどのピンク色をした円盤型のもの」が黒い煙を吐きながらゆっくり落下するのを目撃している。

突然来日したUFOの世界的権威に単独インタビュー!

# アレシ・ハイネック博士に聞く

■インタビュー／本誌編集部

UFOの世界的な権威J・アレシ・ハイネック博士が突然来日。1月24日、ホテル・ニューオータニ16階で記者会見が行なわれた。

記者会見終了後、本誌編集部は約1時間半にわたって博士にインタビューした。場所は同ホテル本館2階のガーデン・ラウンジ。くつろいだ雰囲気の中、ハイネック博士はゆつくりと、熱をこめてUFO問題を語ってくれた。

(聞き手は本誌矢沢編集長)

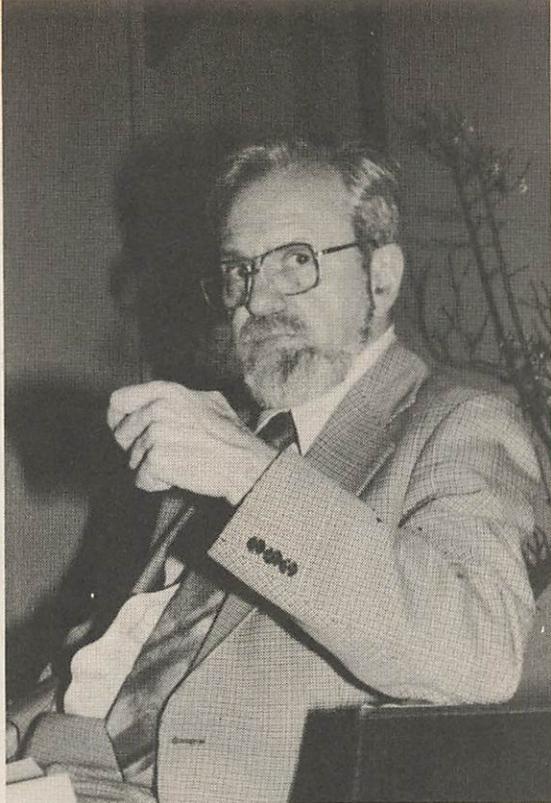


——博士の来日がようやく実現して大変うれしく思います。まず、今回来日された目的からおうかがいしたいのですが……

ハイネック　ひとつは、昨年の暮にニュージブラルドルで起きたUFO事件のフィルムを鑑定してその真偽についての意見を述べることです。ですから、日本テレビの番組「木曜スベシヤル」に出演することが大きな目的です。

——日本の印象はいかがですか。ハイネック　とてもエキサイティングです。20年前にも日本を訪れたことがありますが、その

もうひとつの目的は、日本の真面目なUFO研究者の方々とお会いして、できれば私の主宰するUFO研究センターと頻繁に情報交換できるような協力関係をつくり上げたいということです。



「UFO現象は科学に対する見方を変えるように迫っている」

時には見られなかった非常に高いビルが沢山ありますね。残念なのは、今回の滞在が時間的に限られていて、名高いプレット・

心についてはどんな感じをお持ちになりましたか。

ハイネック 今日の記事を見て感じたのですが、みんなUFOに多大の興味を持っているようです。活動も積極的で、私の知らない本が多数でていることに感銘をうけました。

東京の雰囲気はとも気に入りました。なんとというか、気持ちのよい緊張感が見えなくていい。活気がありますね。

——今回のニュージーランドのUFOフィルムについて、ご意見を伺えませんか。

ハイネック まだ全部を見ていないのですが、見たかぎりについて率直な意見を言えば、質的

にすぐれていて、UFO研究のうえできわめて重要なものだと思います。

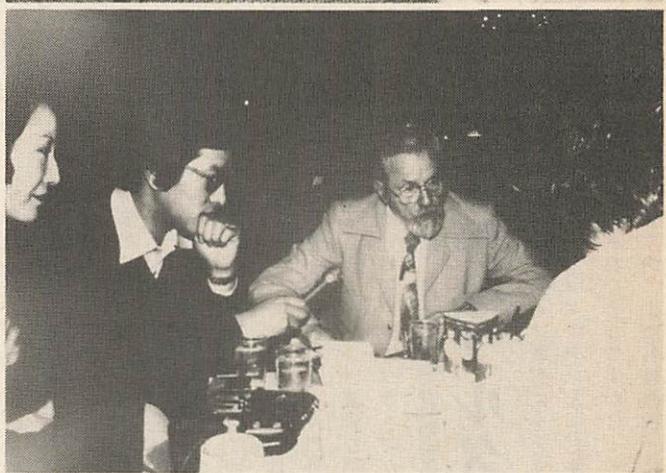
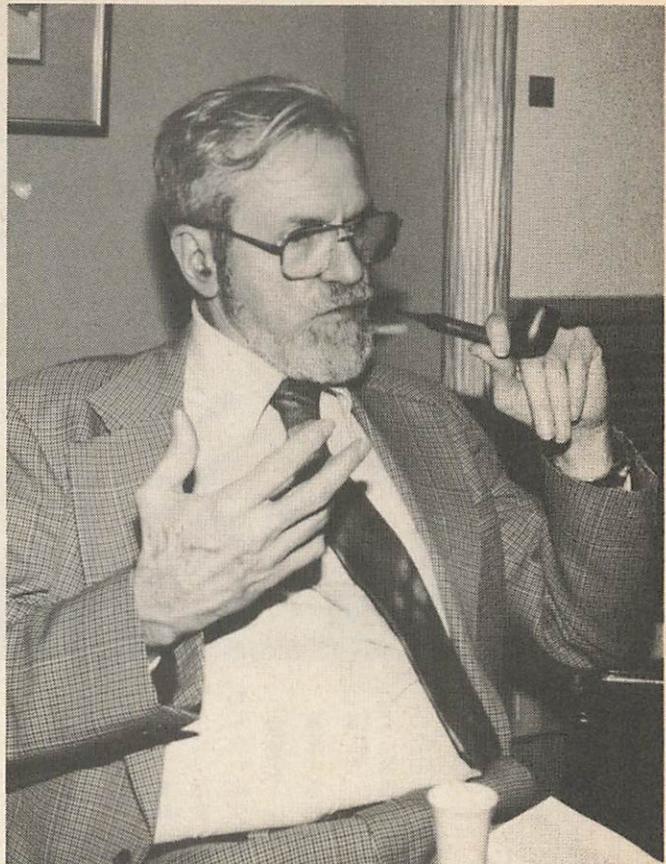
——質的にすぐれているというのはどういう意味でしょうか。ハイネック たんにフィルムのうつりがいいとか、写真的に見てすぐれているということでは

——博士ご自身はUFOをこらんなったことがありますか。ハイネック ええ。私の分類した接近遭遇にあたるものではありませんが、2回ほどあります。1回は昼、1回は夜で、何人かの人々が同時に目撃しました。ありません。UFOと言う以外、誰にも説明のつかないものなの科学的説明の対象にすべきものだと思います。

## 今後はフルタイムを研究に

——昨年、長らく教べんとられたノースウェスタン大学を停年退官されたそうですが……ハイネック まだ名誉教授としてということですが。

——のポジションはあります。大学の施設は自由に利用できます。ただ、毎日行かなくていい



● J・アレン・ハイネック博士のプロファイル

1910年生まれ。天文学者。米シカゴ大学で博士号を取得。オハイオ州大、ハーバード大で教鞭をとった後、56年から60年にかけてスミソニアン天体物理観測所副長をつとめ、NASA後援の人工衛星追跡計画の責任者にもなった。

その後、つい数カ月前に停年退職するまで、ノースウェスタン大学の天文学部長、リンドハイマー天文学研究所長の要職にあった。

しかし、私たちに最もなじみ深いのは、ニューズウィーク誌が「UFOのガリレオ」と呼んだ、科学的UFO研究者としての博士だろう。

1948年、博士は米空軍のプロジェクト・サインの依頼で同機関の科学顧問をひきうけた。その後、最高科学顧問に昇格。当初は完全なUFO否定論をとっていた。だが、数多くの目撃報告に接しているうち、しだいに肯定論に転向。ブルーブック閉鎖直前の1969年、米空軍とは完全にたもとを分かった。

1972年には、「UFO体験」(邦題「UFOとの遭遇」)を出版。恒星スペクトルの分類を適用してUFO目撃のパターン別分類法を提案した。この分類法は、とくに「第三種接近遭遇」が映画「未知との遭遇」の原題となったこととあって、一般に広く知られている。

現在、イリノイ州エバンストンにUFO研究センターを開設。多くの科学者の協力を得て、広範な研究活動を展開している。

▶ 私たちが何か知的なものととり組んでいることは間違いありません。

これから、どのような活動をなさるご予定ですか。

ハイネック じつは、退官を待ち望んでいたのです。これから自分の時間をすべてUFOの研究にあてられますから。あと10年ぐらいかもしれないけれど、科学的な研究生活を続けることができるでしょう。残された時間を最大限有効に生かしたいと思っています。

博士の主筆されているUFO

研究センター(Center for UFO Studies)の具体的な活動内容をお聞かせください。

ハイネック UFO研究センターは1973年に私がイリノイ州のエバンストンに設立したのですが、その目的は2つあります。ひとつはUFOの科学的研究、もうひとつはUFO問題についての一般人向けの教育で

す。

一般向けの教育活動からご説明願えませんか。

ハイネック UFO研究センターには、いろんな人からたくさん手紙がきます。とくに学生、といっても小学生から大学生までに及んでいますが、彼らからの手紙が多いですね。その内容は、クラスでUFOについてグループ・ディスカッ

▶ インタビューする本誌編集部

ションをしたり、レポートを書いたりしたいので、情報を提供していただけないかといったものです。どうしてかという、UFOに関心を持つ学生たちが頼れるものといったら、マスコミのセンサーショナルな記事しかないからです。

そういう意味でも、UFOに関するより信頼できる情報を提供するということがUFO研究

センターの重要な目的のひとつになっていきます。そのなかには UFO と IFO (確認飛行物体) の区別も含まれます。

科学的な研究のほうはいかがでしょうか。

ハイネック これは2つに分けられます。消極的なものと積極的なものです。

消極的な研究というのは、私たちが既にもっているデータを利用するものです。このために UFO 研究センターではコンピュータを活用しています。

コンピュータをどのように活用されているのですか。

ハイネック 私たちの UFO 研究センターには、これまで世界各地で起きた7万5000件の資料があります。これを個別的に調べることはとうてい無理です。

そこで、私たちはコンピュータ・データバンク、いわゆる UFOCAT (UFO カタログ) で統計的な研究を行なっています。

たとえば、パターン研究とか地域別研究、時間帯の研究など、非常に興味深い比較研究ができ

るのです。

もうひとつの積極的な研究というのはどんなことをするのですか。

ハイネック こちらのほうですと重要なのですが、この積極的な研究というのは最良の事例を調査することです。物語として真実性があるというだけではなく、科学的な検討に耐えられる数量的な結果を得ることが課題となります。

そうすると、さまざまな科学装置も使用されているのでしょうか。

ハイネック UFO 研究センターには、地球物理学の実験室があります。ですから、たとえば第二種接近遭遇の場合、物理的

痕跡の残っている土壌サンプルを分析できるわけです。

——どういう装置を使って分析されるのか、もうすこし詳しく話してください。

ハイネック そうですね。たとえば、土壌の磁力を測定するプロトン磁力計という機械があります。UFO がかなり強いマイ

クロ波を放射するらしいので、第二種接近遭遇の場合、土壌サ

ンプルを採取してこの機械で分析すればマイクロ波の波長や強度を計算できます。

もうひとつ例を挙げれば、針入度計という機械もあります。地面に痕跡が残っていたとしますね。その場合、この機械を使えば、何ボンドの圧力がかかってその痕跡がついたのか分かる

のです。

——ほかの分野の専門家からアドバイスを受けるようなことはあるのですか。

ハイネック ええ。獣医さんにはしばしば助けてもらっています。UFO 出現のさい、近くにいた動物がおびえたとか、あるいはヤケドをしたり不具になったりすることがあります。こうした事件について、獣医の専門知識をおおいでいるのです。

また、人間についても、そういう体験をして身体が一時的にマヒしたり、吐き気を催したり、目に異常をきたしたという例が数多く報告されています。こうした症状が UFO によるものなのか、それともほかに原因があるのか知るため、医師のアドバイスを受けることがあります。

——それが、いわゆる積極的な研究というわけですね。

ハイネック そうです。私たちは、こうした調査研究によって科学的な証拠となるものを入手しようと努力しています。今後

もその線に沿って続けていききたいと思っています。

——科学者の中には、まだまだ UFO に偏見を持っている人が多いと思いますが、そうした人

たちはどうお考えですか。

ハイネック もっとこの問題を研究しなさい、と言いたいですね。私はいろいろな科学者と話す機会が多いのですが、ほとんどの場合、彼らは UFO についてなんの知識も持ちあわせていません。バカげていると一笑にふすだけなら誰にもできます。きちんと研究して発言してもらいたいものです。

## UFOは物理的かつ超常的

——話は変わりますが、昨年の11月、博士をはじめとする有名な科学者の方々が国連で UFO 問題について証言されましたね。反応はいかがでしたか。

ハイネック グレナダ国のゲリー首相のバックアップで、国連の特別政治委員会の場で自分の意見を述べました。ジャック・パレー博士と一緒に、どうして国連で UFO 問題を取り上げる必要があるかということを、説明したつもりです。

——その証言の要旨は、本誌の先月号で紹介させていただきました。大きな反響を呼んだよう

ですが……。

ハイネック ただ、皆さんご存じのように、国連の反応はとて

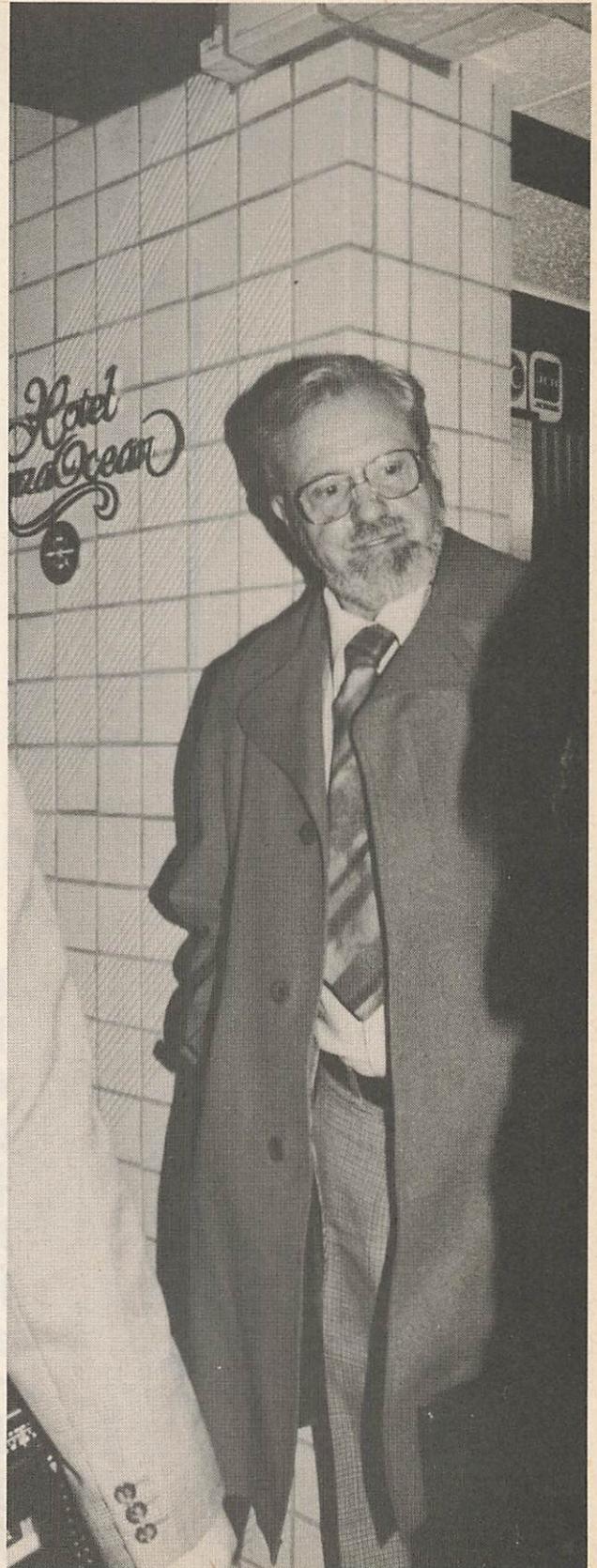
も遅いのです。それに、すごく公式的ですし。

結局、UFO 問題は特別政治委員会から宇宙平和利用委員会にまわされました。担当者は天文学者のペレック博士です。

——各国が国連代表を通じて事務総長に UFO についての情報や提案を報告し、それが宇宙平和利用委員会で研究討議される

という内容だったと思いますが、ハイネック ただ、残念ながら

各国の代表は UFO にあまり関



心を持っていません。私が先日、VOA放送で話したことですが、各国のUFO研究者や一般市民が協力しあって、それぞれの国の外務大臣に働きかける必要があります。

—— 私たちの国内で起こっているUFO現象を、国連代表を通じて国連に報告するように要請するわけですね。

ハイネットク メキシコ、イタリア、ブラジルでは、いま外務大臣に働きかけています。日本の

研究家の皆さんも積極的にやっただきたいと思えます。それも今年の6月の終わりまでに、6月の終わりに宇宙平和利用委員会で審議され、その後、国連総会に上程され、9月までにレポートにまとめられることになっているからです。

ハイネットク 研究者たちが常に情報を交換できるように部門を

国連の内部に設けてほしいという事です。私たちのUFO研究センターには、世界各国からたいへんな数の書物や手紙が送られてきます。ところが、センターにはいまだに日本語の翻訳者がいません。こうした問題は国連ならわりと簡単に処理できるはずですが。

ハイネットク 研究者たちが常に情報を交換できるように部門を

たときに、世界各国の研究者たちがすぐ情報交換できる機関がほしいと思って、現在、私個人でも国連のほうにブッシュしているところです。

——ところで、博士はUFO問題が今後どのように進展していくとお考えでしょうか。近い将来この謎が解明されるときがくるのでしょうか。

ハイネットク そのご質問には、自分が医学博士で、これからガンの研究はどうなるか、と聞か

れたような気がします。明確なお答えはとてできません。

科学の場合、研究あるいは調査の結果を前もって予測することは不可能ですから。

私にいえることは、UFO現象というものが物理的であると同時に超常的なものでもあるという事です。

ハイネットク 超心理学的といつてもいいでしょうか。つまり、物理的でもあり、非物理的でもあ



## ○ソ連科学アカデミー研究員による講演記録

## ソ連のUFO研究と未公開情報

共産圏、とりわけソ連におけるUFO事情はこれまでほとんど知られていなかった。したがって、この講演記録はきわめて重要な意味をもつものといえよう。講演者のウラジミール・アザザはソ連科学アカデミー海洋研究センターの研究員であり、長期にわたってソ連におけるUFO現象の調査研究にかかわってきた人物である。1977年1月24日、彼はノーボスチ通信の記者団に対して講演を行った。これはその概要である。

1908年、シベリアのツングースで起きた大爆発の跡。これは陨石によるものかそれとも……  
(写真/タス)



私はソ連科学アカデミーで、「海洋におけるUFO現象」という問題を長年研究してきた。その結果、UFO問題全般にわたって、かなり精通しているつもりである。

今日私は、事実だけでなく、事実が歪曲された例について、また仮説や現象に関する理論、そしてとくに、月面に到達した米国の宇宙飛行士たちの証言から生じた哲学的諸問題についてもお話しするつもりである。

まず、UFOとは、われわれの五感で感じることできる、客観的実在である。UFOの目撃者は数百万にも達

# Overseas Special



## 1 USSR

### UFOがミサイルを破壊——NATO報告

以下の事件は、1976年10月25日付けのNATO文書に記録されたものである。中東紛争のさなかに、大西洋

し、ぼう大な量のUFO写真や映画が残されている。物理的な場を通じてUFOは、地上の装置や生物に直接影響を及ぼしていることもすでにあきらかである。またUFO乗組員と地球人が、短時間かつ偶然にはあるが、すでにコンタクトを行なっている例も数多く報告されている。



ブロックの軍事基地の1つの上空に巨大な「空飛ぶ円盤」が出現し、それに対して地对空ミサイル(複数)が発射された。ところがミサイルは、UFOに到達しないうちに、レーザのような光線のため、まるで目に見えない壁にでも当たったように爆発してしまっ

た。同様の事件は、UFO問題を研究している米国の学者マッキャンベルの著書にも引用されている。ヴェトナム戦争のさいにも、ハノイ上空に1機のUFOが現われ、米国の新型航空機だと思つたヴェトナム兵が対空砲火を浴びせたことがあつた。

大西洋でもUFO事件の記録がある。米国軍艦ワスプが艦艇12隻の先頭を航行していたとき、艦内の探知装置が突然、海中を150ノットの高速で航行する物体を探知したのである。その物体は、大西洋海盆の海域でかなり長時間にわたって艦隊を追跡したが、やがて海中6000メートルに潜航してしまつた。

1976年10月には、ソ連最高会議幹部会機関誌イェスベスチャの付録ネー





テリヤ43号に「8本の怪光線」と題し、ソ連の研究船ウラジミール・ウオロビヨフが海中のUFOを目撃したという記事が掲載された。白光を発する1個の光体が船の周囲を150〜200メートルの半径で反時計方向に旋回し、スクリーンの影響を受けたように8個に分裂してしまつたというのである。音波探知機によれば物体の深度は170メートルだったが、探知機は同時に、船の龍骨の真下約20メートルの海中に

もなにかの物体が存在することを示していた。同じような事件は、私が現在編集中の「水界のUFO現象」のなかにも何件も要約してある。

12月27日、カルガ国道沿いのソセンキ・ワトティンキの村で、1機のUFOが目撃された。火の球が10〜15キロにわたって国道を飛行したのを、通行中の車（複数）が目撃したのである。火球は途中で輝きを失なつて暗くなり、中心部には、円周に沿つたいくつつかの窓が明かるく見えた。

その時刻にカルガ国道を通行した車の運転者たちや乗客たちが証言したと同様の証言が、6、700名にも上るソセンキ村の住民たちからも提出されている。

## ソ連科学アカデミー のUFO報告

ソ連の科学アカデミーが国内向けに発表した報告がある。「ソ連におけるUFO目撃例」である。第1巻は、1923年から始まり、N・K・レリク的事件を含み、大戦中期で終る。第2上・UFO着陸痕にはしばしば緑色の液体が残されている。左・人間を初めて宇宙に送りだしたソ連のポストロク・ロケット。

巻には最近の事例まで掲載されているが、第2巻の98頁には、1969年7月31日（ジージェルの講演に引用された別のデータでは、1961年8月31日となっている）、銀色の2機のUFOがウソヴォの労働者村の上空に静止していたという同志クプレニツチの証言が記録されている。踏切りの手前に停止した車の列が、電車の通過を待っていたが、遮断機が上がつて数分間経過しても彼らは動き出すことができなかった——プラグが点火しなかつたのである。UFOが姿を消した後はじめて車は動くことができた。これは、UFOが地上の施設に及ぼす影響の1例である。

1977年9月20日の夜、レニングラード、ペトロザウオドスク、フィンランドの上空で1機のUFOが目撃された。ペトロザウオドスクの事件は9月22日のイズベスチヤの地方版と、9月23日のソジャリスティチエスカヤ・インクストリヤ（タス通信による「未確認自然現象」というタイトルで）に報道された。

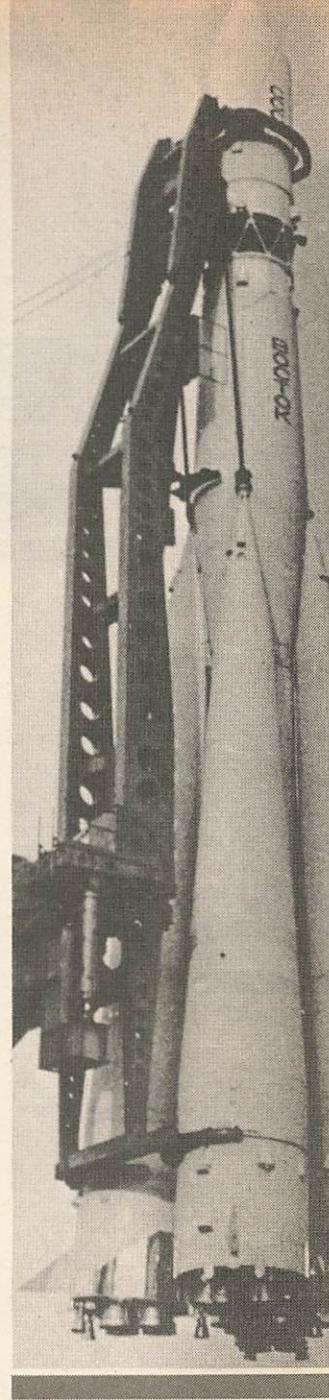
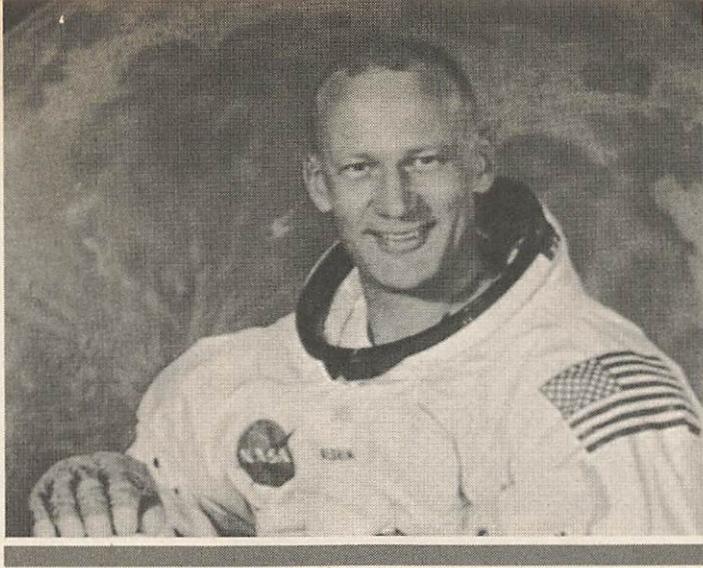
私はもつと詳しく知っているが、そのUFOはブルコフの上空で巨大な8の字を描いてみせ、後には飛行雲が残つた。レニングラード上空を超高速で

飛び抜けたそのUFOは、ペトロザウオドスクの上空で停止し、火の球のように輝いたあとで、花びらのように8個に分裂して地上に落下した。中心から火花が「土砂降り」にふつてくるようだった。中心は探測気球のようにレニン通り上空を飛行したが、外形はそれ以前にもとのクラゲ型に戻っていた。多数の市民が起き出して、恐怖を味わつた。この現象を路上で目撃した市民たちは「怖かつた」と語っている。

この物体はオネガ湖上空をも飛び過ぎたが、そのさい、ヴォルガリバルチック航路を航行していた1隻の船からも目撃されている。この空域では、そのUFOからさらに小さい物体が分離した。火球はヘルシンキでも目撃された。ソ連は欧州諸国の首都上空で新型兵器のテストを行なつていくといううわさが流れた。このうわさのため、米国とNATOではおきまりの軍事ヒステリーが高まり、中性子爆弾の生産を促進せよという議論に拍車をかけた。そこで今度はわれわれの側の人民たちが、ペトロザウオドスクやオネガ湖上空の事件の真相は、米国による中性子爆弾とその運搬装置のテストだったといひ出す始末である。

しかしもちろん、真相はそのようなものではなかつた。ソ連軍部は、地球

右・アポロ宇宙飛行士エドウィン・オルドリ  
ンは月面上でUFOを撮影した。  
人が発進させるミサイルや航空機とU  
FOとの相違をよく知っているはずで  
ある。だから、国境地帯に配置された



兵士たちは、ベトロザウオドスク上空  
を飛行した物体に向かって砲火を浴び  
せなかったのである。

私たち1人1人についていえば、私  
たちが一生の間にこのような物体と遭  
遇する確率は、きっかり0・05パー  
セントである。過去30年間に8万機の  
UFOが地球上に出現した、と米国人  
は計算している。スウェーデン人は、  
スカンジナビア地方だけで900回の  
UFO出現を記録しているし、またソ  
連でのUFO目撃事件は15500例に  
達する。

期待する気持ちというものは、事物  
を現実のものとして認識しやすく、い  
ろいろな地上現象もUFOと間違えら  
れやすい。米国の科学者は、過去30年  
間の1500万件にも上るUFO目撃  
報告のなかから8万例を選び出した。  
UFOが明るい光を発して輝いていた  
という例は、この8万件の目撃報告中  
80パーセントに及ぶ。残りの20パーセ  
ントがUFOは、金属光沢をもった、  
自らは発光しない物体というものだっ

た。

一般にUFOは炎のようなプラズマ  
状の雲に包まれている。だから写真撮  
影が困難なのである。高速飛行中には  
アーク溶接のような色光を発すること  
も判明している。ゆっくり飛ぶときの  
色はライト・ブルーだ。しかし、上空  
で静止しているとき明るく輝くUFO  
もあるのだ。

イオンの助けを借りれば、プラズマ  
の雲のなかでは原子の崩壊が起こり、  
その結果、UFOの前面には完全な真  
空状態が生まれるということも考えら  
れる。この真空状態のため、UFOは  
未曾有の超高速で飛行することができ  
るのである。

UFOは自らの装置で真空を作り出  
す。その多くは、アルミニウムのよう  
な銀色で、コーヒー皿を裏返したよう  
な形をしている。「円盤」には、窓と3  
個の着陸装置がある。地上に残された  
着陸痕から判断すると、その配列は簡  
単なもので、「H」という字をさらにも  
う1本の線でつらぬいた形の、スキー

のような装置である。つまり、縦線が  
3本、それを1本の横線が貫通した形  
だ。ある場合には、地上にじかに胴体  
着陸したUFOもいる。上半部、また  
は下半部が透明なものも多い。

一般に、UFOが地上に残した着陸  
痕には緑色の液体が発見される。着陸  
地点には1本の草も生えなくなる。緑  
色の液体は、UFOを地表の細菌から  
保護しているのかもしれない。

プティフルの上空で目撃されたUF  
Oは、長さ300メートルもある円筒  
形をしており、2時間から2時間半ず  
つ2度にわたってプティフルの上空に  
停止し、内部から10機から12機に及ぶ  
小型UFOを発進させた。この地方に  
駐屯していた軍隊もこの物体を目撃し  
た。1977年のできごとである。こ  
の時、別の地点では、太平洋艦隊の水  
兵たちも、円筒形の巨大な物体を目撃  
している。

## 宇宙の知性を象徴 する地球外生命

地球外生命の来訪という問題から、  
科学者の中で数多くの専門的、哲学的  
疑問がもち上がってきた。なぜなら、  
それは宇宙に知的生命が存在している  
ということの意味しているからである。



上・アメリカのスターライト計画で用いられたUFO監視装置の心臓部。左・ソ連の天体物理学者シクロフスキー博士。

ソ連の天体物理学者I・シクロフスキーは、雑誌『ヴォプロシシー・ファイロソフイ』の第9号などのなかで次のような見解を述べている。  
「地球上の知的生物と生命はユニークな存在であり、地球以外の惑星にそのようなものを発見するには、100光年先まで行ってもおそらく不可能であろう」

「もし、われわれと同じような文明をもつ地球外生命が存在するとすれば、

われわれが試みたと同じように、電波を用いて、すでにずっと以前に、地球人に接触してきたはずである」

地球の知的生物は、この宇宙のなかでも、たぐいまれなユニークな存在である。こう述べたあとで、シクロフスキーは、地球人が宇宙の広範な部分にたいして負っている責任の問題について、思索をめぐらしている。

しかし、まず第一に、ほかの惑星の文明には地球文明と接触しなければならぬという義務などない。彼らは、われわれをアリでも観察するかのよう

に、調べているかもしれないのだ。  
第二に、地球外文明は電波をはるかに上まわるスピードで、情報を伝達できるコミュニケーション装置をもっているかもしれない。現在のわれわれには、まだこうした伝達手段を利用することができない。

第三に、地球外文明は地球文明とはまったく基盤の異なる進展のしかたをしているかもしれない、(たとえばテクノクラシー理論を基盤にした文明)。そしてそのレベルの違いが大きすぎるため、接触が不可能なのかもしれない

し、まだその時期に達していないのかもしれない。とにかく、遅かれ早かれ、地球外文明と接触することになれば、それは根本的に重要な意義をもたらすであろう。

レーニンの回顧録のなかで、ハーバート・ウェルズは次のように述べている。

「レーニンとの会話が地球外文明の話に及んだとき、レーニンは地球外生命と地球人が遭遇できたら、生命、自然科学そして哲学上において、最大の革命が生じるだろうと語った」

地球よりも先進している文明は、おそらくわれわれの文明より、優れた自然科学を備えていると考えられよう。

光の速度の問題を例にとってみよう。  
1971年、クエイサー(準星)観測の結果、光速の10倍の速度を発見した21名の米科学者に対して、荣誉あるラムフォード賞が与えられた。また、白ロシア共和国科学アカデミーの学会員アルバート・I・ウエイニクは、光速を上回る速度がありうることを立証している。

彼は綿密な数学的分析によって、真空状態の空間においては光の速度の7000倍、つまり光速21億キロメートルの速度が可能だという結論に達した。  
1974年に出版された彼の熱力学

の論文のなかで、ウエイニクはこの世界の基盤を構成する6つの物理的な場に関する理論を展開している。これらの場のうち3つは、すでに地球の科学で解明されているが、これらより小さなあとの3つの場に関しては、まだわかっていない。ほかに、彼の光子の質量に関する論文や、電磁力、重力、核力の統一場(そこでは3つのうち、ひとつのベクトルがほかを補い合う)のための統一理論を生みだそうという試みなど、興味深いものがある。

また、ウエイニクは宇宙空間の真空というものは、物質の存在と動きの特異な形態であると考えている。さらに粒子が小さければ小さいほど、それらの結合力は強くなる。したがって、真空は巨大なエネルギーを発生させることができる。このことから、地球外知性体が電波よりはるかに効率のいい、なにかほかのコミュニケーション手段を使用していると考えられる。

ウエイニクによると、光速21億キロメートルという速度が存在するならば、地球から30光年離れた地点にある惑星へ、たった1・8日(地球年)で到着することが可能だ。UFOはこの速度域で行動していることもありうる。

以上のことから、地球上の人類が宇宙のなかの唯一の存在ではなく、宇宙



を「支配」することなどできないことは明白である。地球よりもっと進歩した文明に迫いつくためには、人類はまず、前世の遺物である制度、破滅をもたらす帝国主義者の独占的支配をやめなければならぬ。

UFOの起源については、いくつかの仮説がある。N・K・レリックの「山」仮説をはじめとして、「海」仮説、「宇宙」仮説などがあるが、現在は大半が「宇宙」仮説に追随している。

どんな機械にもみられるように、UFOも故障することがある。実際にあるパイロットが、煙をだしながら飛びまわるUFOを目撃したことがある。また、あるUFOはウォロゴドスカヤ・オブラストのホワイト・レイクに着水し、機体は湖底に沈んだ。その付近では、その後、数日間非常事態が続き、修理されたUFOは、ふたたび水面に現われたとき、岸辺の土塊を大きく削

りとり、離陸時にそのかたまりをはね上げたという。この作業を人間がするとすれば、天文学的数量の掘削機を必要とするだろう。

ときとしてUFOは、「エンジェル・ヘア」と呼ばれる繊維質の液体を残していくことがある。ソ連では7、8カ所の科学研究所で、その分析が行なわれたことがある。ソ連の科学者ソコロフ・ペトリヤノフは、その液体が硼素と珪酸の化合物で、地球上の研究室で同じものを作ることは、いまのところ不可能であると述べている。UFOは海上で爆発したことがあるが、もちろんなんの痕跡も残されていない。しかし、ブラジル北部における爆発時の機体破片は保存されている。破片分析によると、それは酸化マグネシウムとストロンチウムの合金で、やはり、現在の地球では製造不可能であるという（比重は1・86）。

パチスカーフ特殊潜水艇で有名なA・ビカールの子J・ビカールは深海潜水実験中彼の乗っていた潜水艦の近くをUFOが通過した、と語っている。また、コン・テイキ号の航海中、トール・ヘイエルダールは、UFOが海中から船の測深線の前に浮かびでてきたが、まるでそれは、太陽のように明るかったと語っている。

## 地球は宇宙の起爆剤か？

現在にいたるまで、われわれの文明は核による破滅的悲劇を知らない。がもし引きおこされたなら、それはとりかえしのつかない惨事を招くことになる。

N・K・レリックでさえも、そして、最近ではI・L・レオノフもこの核の恐怖を警告している。UFOが地球に飛来してくるのは、とりもなおさずこの地球が宇宙の「起爆剤」となっていることに起因するのかもしれない。UFOを作りだした文明世界は、核の脅威によって宇宙のバランスそのものが破壊されることを恐れ、地球を安全でかつ意義のあるものにするために、その方法を模索中だというのである。

また、もうひとつの仮説によれば、地球人は宇宙にむけて心靈性エネルギーを放射しているという。その強力な放射エネルギーは、しばしば人間がおこすストレスの結果によるものであり、心靈性エネルギーは宇宙のなかでは、なにもにも妨害を受けず、影響されることもなく拡散する。そして、地球外生命を妨害し、混乱させているという。

このような仮説は、われわれの常識の範囲では考えられないものである。これまで長い間、われわれは物質のある状態としてのプラズマを認識しなかつたし、今日でも、学生たちは光の速度が物理上の速度の限界であると教えられている。もしこれに反したことが発見されたら、教授陣はどうするつもりなのだろう。

われわれの尊敬する天体物理学者、I・シクロフスキーは自身の見解の矛盾性を認めている。1976年7月5日付ブラウグに、彼と物理学者マトビエンコによる「三大陸からの見解」という論文が掲載された。そのなかで彼は、クエイサーによって放射された相対分子のスピードは、光速の10倍になると述べていたが、そのつぎの彼の論文では、この意見は捨てられている。故ロジノフ大臣は、海外からよせら

## ■ウラジミール・アザザと記者団の質疑応答

ソ連天文学会の見解について、どう考えていますか。

— 故アルツイモビッチ会長は、メンゼルの著書、およびCIAの指示によって作成されたコンドンの結論のおかげで、誤った判断をしてしまい、その結果、アルツイモビッチは反UFO主義になったのだらうと思います。

ツングースの「隕石」に関しては、どう思いますか。

— 聞くところによると、それはツングース上空で演習的行動をとっていたといいますが、私はUFOであると思います。

UFO問題に対する国連の姿勢については、どういうふうに考えますか。

— 小さな島国であるグレナダは、大西洋にある小アンティル諸島のなかにあり、国連加盟国にもなっています。

れたUFOのさまざまな図形や、記事のリストを全ソ連航空研究所に配布したが、これはおそらく、ソ連の航空機設計技術者たちに役立っているものと思われる。

UFO委員会のエドワード・コンドン会長は、1968年に論文を発表し、そのなかで、UFOの意味ありげな部

この小さな南の島国に、UFOがひんばんに飛来してくるため、グレナダ政府は国連に対し、1978年を「空飛ぶ円盤の年」と宣言するよう提言し、またさらに、UFOを大衆に広めるためUFO切手、葉書、文献などを発行するよう示唆しました。このグレナダの提言がどうなるかは、今後の国連の態度を見守るしかないでしょう。

SF作家エレミー・パーノフが、1976年11月23日付の共産党機関紙プラウダ紙上に発表したUFO批判論文については、どう受けとめますか。

— 私はパーノフのやり方は、妥当性を欠いていると考えます。パーノフはジーゲルの講義の要約をもつていて、それはほかの者が編集した不正確で、曲解された内容のもので、ジーゲルに電話をし、彼が本当にこの論題で講義をしたのかたずねたところ、ジーゲルは

分は大気中の光線の幻影によるものだと述べていた。しかし、彼は死の直前、論文中の見解はCIAから強制されて作りだした結論にすぎなかったと告白している。

近い将来ソ連では、UFO情報もつと広範囲にわたり、大量に利用されるであろう。海外では数多くの重要な

それを認めました。そこでパーノフは自分の乏しい知識をもとに、ジーゲルの考えを批判したのです。しかし、ジーゲルはこれに対して何の反論も加えてはおりません。

UFOを見たという、わが国のパイロットについてはいかがですか。

— たしかにUFOを目撃したというパイロットはいます。皆さんよくご存知の、極地飛行のベテラン、ワレンチン・イワノビッチ・アクラトフはUFOとの遭遇体験に関して、民間航空省に4回にわたりレポートを提出しています。

リーダーとUFOの関係について、どう考えますか。

— 残念ながらリーダーがUFOを捕捉することはめつたになく、あつたとしても目撃全体の5パーセントぐらいでしょう。

UFO文献が提出されている。参考までに以下の文献をあげておく。

- フランス名誉学会員ジャック・ベルジェ著「マスター・シャテレン Master Shatelen」、「我々の先祖は宇宙からやってきた Our Ancestor came from Outer Space」、それにマッキヤンベル論文。

かつてアメリカでアダムスキーの本が出版されたが、これに関しては疑問がある。彼はUFOの乗組員によって金星へ連れて行かれたという。10日間の訪問記を語っているのだが、この本の受けとめ方は慎重を要すると思う。

アダムスキーは地球外生命は何千年もの間生きてきた、自由で幸福な人々であり、厳密にはもつとも高度に発展した共産主義社会をもつていと語っており、この点は興味深い。金星の人間の寿命について、アダムスキーが質問したところ、金星の科学者は「寿命は各人の生き方によるものだ」と答えている。

また、アダムスキーは地球上の地震や、そのほかの天災を予言する方法について、UFO文明世界から教えられたと述べているが、これはアダムスキーが彼自身と、彼の本に妥協したことになると思う。そして彼は誤りにおちいり、その結果、常習的な嘘言者となつたのである。

## われわれを観測している宇宙船がいる

先に述べた月に行つた米宇宙飛行士の報告はひじょうに興味深い。UFOを意味する彼らの合言葉は「セント・

## 天文図書の

地人書館 〒112 東京都文京区後楽1-1-10  
☎03(815)4422 振替東京6-1532

## 新刊

●わかりやすいユニークな宇宙論入門

## 宇宙の果て 激突する宇宙論

フェリス著 齊田博訳 A5判 224頁 定価2000円 〒160円  
大望遠鏡と電波望遠鏡による宇宙への挑戦に焦点を合わせ、渦巻星雲の正体の解明、宇宙の大きさの推測など科学者たちの洞察、探究にまつわるエピソードを中心に、物語でまとめた宇宙論

●ファン必携のガイドブック

## '79天文観測年表

「年表編集委員会」編 B5判 208頁 定価1200円 〒160円  
天文観測年表は、天文ファンに、使いやすくすぐ観測に役立つ年表として永年親しまれています。79年は春、秋に月食がみられるほか限界線えんべいの多いのも特長。この他79年のすべての天体の動きがひと目でわかるよう予報した貴重なデータブック

●初心者のための便利な入門書

## 天体観測ガイド 天文観測年表の使い方

下保茂著 B5変型 160頁 定価1000円 〒200円

## 好評発売中

●宇宙への興味を深める

## 星空のはなし 天文学への招待

河原都夫著 A5判 220頁 定価1200円 〒160円

●'79年度版天体望遠鏡カタログ

## 天体望遠鏡のすべて

「天文と気象」編集部編 B5判 216頁 定価1000円 〒200円

●3年間の沈黙を破った筆の牙

## 太陽系発見の証明 「おはなし天文学」第4巻

齊田博著 B6判 292頁 定価1200円 〒160円

●サマルカンド開都2500年記念複製版

## へべリウス星座図絵

—付 ウルグ・ベグ星表—

藪内清訳・解説 A3判 150頁 箱入 定価4500円 〒690円

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

## 天文観測辞典 [第2版]

古畑正秋監修 A5判 380頁 定価2900円 〒200円

●ヘール天文台校閲による天体写真の決定版

## パロマ天体写真集 (永久保存版)

大沢清輝解説 B4判 120頁 定価1700円 〒240円

ニコラス”だったが、実際アポロから月に着陸したとき、彼らは目撃したものにとても驚いてしまい、合言葉を使わず、地球に「クレーターをはさんでわれわれの反対側に宇宙船がいて、こちを観察しています」と報告してしまった。オールドリンはそのUFOを撮影しており、近い将来その写真が公開されるようお願いしたい。

アポロは国連の人権宣言や、宇宙および天体に関する国際協定などを72カ国語に翻訳してカプセルに入れ、月に残してきた。しかし、地球外文明とのコンタクトに関しては、まだその努力がむくいられていない。一般には秘密とされていたが、カプセルを製造した会社が新聞記者にしゃべったのだ。「UFOにとって、月は明きらかに乗り換え基地であり、月に行つたアポロはすべてUFOの観察下におかれていた。米宇宙飛行士が科学目的のために月面上で核装置を爆発させようとして失敗したのは、偶然によるものではない。そのかわり、アポロの酸素シリンドラーが爆発している。また、彼らは補助推進ロケットの上段を爆発させることもできなかつた。これはいまだに月の回りを飛び続けている。

このほかの国々でも、UFOに寄せられている関心はひじょうに大きい。たとえばフランスでは、1977年4月20日にトゥールーズにUFOセンターが建設された。過去30年間にわたり、UFO乗組員によって人間が誘拐された事件は、世界中で1000件以上も起こっている。(もちろんそのなかには、嘘の事件もまじっていると思われる。)

いちばん有名な誘拐事件は、米国のヒル夫妻が体験したものだと思う。夫は催眠術によって彼らの乗っていた車から連れだされ、UFOのなかでさまざまな検査器具を使って、検査をされた。ヒル夫人は、銅で線を引いた背景の上に、21個の星を描いた1枚の地球を記憶している。この天体図については専門家が長い時間をかけて調査を行なったが、ある天文学者グループによると、地球から30光年はなれたレテイクル(小網)座から天空をみると、ちようどこの天体図のように見えるという。

ソ連において、最近UFOが目撃された場所は、セルパコフ近辺のシャフポーバ・イコタ村の近郊である。(この後、アザザは所有したUFOスライドを映写し、記者団の質問に答え、質疑応答の内容については、24ページ参照)

増野一郎/赤尾泉訳

★中国にみるUFO観

# 人民日報にUFO登場

1978年10月23日、オセアニアの上空でふしぎな事件が起きた。

オーストラリアの20歳になる、バレンティッチ飛行士が、よく晴れた夜の空を飛行中のことだった。

「緑色に光る巨大な物体が、こちらに向かつて飛んでくる」

バレンティッチ飛行士から地上に報告が入った。その数秒後、無線に爆発音が響き、バレンティッチ飛行士は搭乗機ともども消えてしまったのだ。

これが私の知る最も最近のUFO事件である。UFOとは、未確認飛行物体という英語の略語で、また空飛ぶ円盤ともいわれている。

1947年以来、このような素性不明の空中飛行物体による異常現象が世界中で人々をふしぎがらせている。そして、世界各国でこのような異常現象に興味をもつ人々がふえてきた。しかも、この現象を重視し、実際に研究する科学者も多い。さらに、さまざまな国で、公立あるいは民間の「UFO」研究組織や団体が結成され、人類がい

まだ究明できない、このミステリアスな空中の「怪物」を観察し、研究している。

## 目撃者は増加している

はやくも1948年に、アメリカ空軍は、UFO研究の専門技術情報部を設立した。そして、1969年には、22年間にわたる研究を終えて、8400ページにも及ぶ報告書を発表した。そこには、1万2618件の目撃者の事例が記録されている。その後、アメリカ空軍は、この研究活動の継続をコロラド大学に委託し、31万3000ド

ルの予算を計上した。

報道によると、ソ連でも「地球大気圏外知的生命活動連絡委員会」が統轄して、UFO問題を研究しているという。

また、日本にも「空飛ぶ円盤研究会」など、多くの組織があり、UFO研究の専門誌が毎月発行されている。

UFOが、はたして実在するのかどうかという問題に対しては、現在でも疑問視したり、否定的態度をとったりしている人があとをたたない。しかし依然として、UFOの目撃事件は引き続きいて世界各地で報告されている。

現在までに、UFOを目撃したと名

乗りでた人々は、軍関係者、科学技術者、パイロット及び航空機乗組員、一般市民、学生など、広範囲にわたっている。

## 世界最初の目撃者

### マンテル大尉!!

ここで、海外の刊行物が伝えるUFO目撃者の例をいくつか紹介しておく。

まず最初に最も有名なマンテル大尉事件がある。

1948年1月7日、アメリカのケンタッキー州のある基地上空でUFOが発見され、マンテル空軍大尉がワイルドホース戦闘機で追跡。機上から、「追跡中の謎の飛行物体は、金属製の巨大な物体である」

と報告したが、まもなく連絡を断ち、その戦闘機は墜落してしまった。

つぎに、ブラジル東方の大西洋上の孤島、トリニダッドで、数カ国の気象科学者が「地球観測年」の気象現象活

・第五十八期・

利等国、都不断有看到  
UFO的报告。一九七  
年五月一日、伊朗说  
一名十六岁的学生萨  
波耳，在清晨四时发  
现，经过一个多月  
的观察和等待，于六  
月十三日再次见到这  
种飞行物，并摄下了  
照片。……

尽管UFO的目击者不断出  
现，但迄今为止，在世界上并没有形  
成一种绝对的权威观点，因为UFO  
不是那种可以再现的或者至少经常  
发生的事物，没有检验的标准。所以  
对此，信者认为有，疑者认为无。

持否定态度的科学家认为，很多报  
告是不可相信的。UFO并不存在，  
只不过是人的幻觉而已，目击者看  
到的可能是天空中的流星、或者  
探照灯光在云彩中的反射或者火  
箭等等，以讹传讹，越传越奇。  
UFO今天仍然是一个“世界  
之谜”。在去年UFO发现三十周年  
的时候，在墨西哥和美国曾举行过  
大型活动，集中了世界的科学家和  
研究者，讨论和研究有关UFO的实  
体问题。为了进一步搞清UFO的实  
体，不久前，加勒比海上的岛国格  
林纳达首相向联合国提出由联合国  
设置调查机构来调查UFO的提  
案，建议由联合国宣布一九七八  
年为“国际UFO年”。

英 位

者、飞机驾  
和生学等。  
国外报刊  
例子：

日，在美国  
现UFO，  
马式战斗机  
该物体是  
能继续追踪  
坠毁。



原载今年

刊》  
六日，在巴  
特立尼达。



動をしていたときの事件がある。

1958年1月16日正午近く、突然海上から土星型の飛行物体が姿を現わし、島の上空を一周して飛び去った。

この事件は、目撃者も多く、写真にも撮られた。この写真は、きびしい検査後、公表され、比較的信頼性の高いものとして評価されている。

1964年4月24日、アメリカのニューメキシコ州では、ある勤務中の警官が白色のたまご型UFOが山におけるのを目撃した。しばらくすると、そのUFOは大音響とともに飛び去ったが、地上には草木の焼け焦げた跡がのこっていたという。

また、イランのシラーズで、16歳の学生、サカディプールくんが、UFOを目撃したという報告もある。

1978年5月1日の朝4時に、U

特等地下毒計、陷害尤允 利是必然的。

## UFO——一个不解的“世界之谜”

今年十月二十三日，在大洋洲上空发生了一件怪事：二十岁的澳大利亚飞行员瓦伦第奇，在一次天气晴朗的夜晚飞行中，向地面报告，发现一个发绿光的庞然大物朝他飞来。几秒钟后，无线电中传来爆炸声音，瓦伦第奇连同他的飞机一起消失了。

这是最新发生的一次UFO事件。所谓UFO，就是未经探明的空中飞行物的三个英文字（Unidentified Flying Object）的简称，也被叫做飞碟。从一九四七年以来，这种来历不明的空中飞行物的超常现象，一直使人困惑不解。它不仅吸引了世界各国好奇的人，而且也引起了各国科学家们的重视和研究。不少国家建立了官方的或民间的研究“UFO”的组织和团体，注意观察和研究这个至今人们还不得了的神秘的空中“怪物”。

早在一九四八年，美国空军部门就设立了研究UFO的专门技术情报部门。一九六九年，美国空军结束了长达二十二年之久的研究，发表了八千四百页的报告，记录了

包括军警人员、科  
驶员与乘务员、普  
这里不妨介绍  
道过的UFO目击  
一九四八年一  
肯塔基州某基地  
受特空军上尉驾  
追踪。他在机上  
金属性的巨大物  
时，飞机忽然失



上图为UFO的  
九月十日的日本  
一九五八年一  
西以大大西洋上的

人民日報のUFO記事（一部）。写真は1978年9月10日付「週刊読売」から転載したもの。F Oを発見。その後、一カ月あまり、観察を続けた結果、6月13日に再びこの飛行物体を発見し、写真撮影にも成功している。

その他にも、スイス、スペイン、日本、チリなどの国々で、UFOの目撃報告はあとをたたない。

### 世界の謎“UFO”に挑戦

UFOの目撃者は絶えず、現われているが、今日までのところ、権威のある、絶対的な見解は、世界のどの国においてもまだ打ち立てられていない。UFOは、再現可能なものではなく、またいつでも発生するというものでも

なく、検証の基準がまったくないからである。したがって、UFOに対しては、信じるものは存在するといいい、疑うものはその存在を否定する。そして、否定的立場の科学者は、ほとんどの報告が信頼できないものであると考えている。UFOは存在せず、幻覚にすぎない。目撃者の見たものは空中の流星か気球、サーチライトの光が雲へ反射したもの、あるいはロケットであるかもしれない。このようなまがいが伝え、伝えられていくうちに、どんどん神秘化されてしまったのだと主張する。

しかし、UFOは今日もお依然として「世界の謎」の一つなのだ。19

77年には、UFO発見の30周年を記念して、世界中の科学者やUFO研究者が集まり、UFO問題についての大規模な会議が、アメリカとメキシコで開催された。

また、UFOの実体をもう一歩進めて明らかにするために、カリブ海の島国、グレナダ王国の首相は、国連にUFOの調査機構を設置し、1978年を「国際UFO年」と宣言するよう提案している。

UFOの問題は、はたして人類が宇宙において孤立した存在であるか否かという問題に関わってくる。

日本の宇宙考古学者、高坂勉氏は、「宇宙人のあのように高度な文明をもつ社会を地球上に建設するためには、地球人は宇宙に対して、もっと大きく心を開かなければならない。そのような時代がまさにいま、現実を訪れているのだ」と述べている。

もし、UFOが確かに存在し、宇宙人が存在するのなら、科学技術の発展と時の経過につれて、この「世界の謎」が解明される日が、きっとくるであらう。



私は最近、多くのかたがたから、「台湾で、不明飛行物体を目撃した人がありますか？」

という質問をされますが、そのつどはつきりと、

「ありますとも、しかも、その数は決して、少なくありませんよ」

と答えています。しかし、もし、

「あなた自身は、ごらんになったことがありますか」

と聞かれれば、ためらうことなく、「いえ、ありません」と答えます。

そうはいうものの、私はUFOの存在を確信しています。ここ数年來、UFOを研究し、外国の資料、情報収集も充分行なっていますし、さらに、相対論、近代物理学、数学、他の関連知識も、ある程度身につけていますので、自分なりの見解を持っています。

UFOが存在することはもちろんのこと、UFOと人類の運命とが、密接な関係にあることも確かなことだと思

います。

しかし、科学界の多くの友人たちは私の見解を認めず、ある人は、私を非科学的だとか、人によっては、私がホラ吹きで、迷夢にまどわされているとか、中傷非難を浴びせかけ、一時は、反駁する気力さえなくしてしまっただけでした。

しかし、UFOは存在するという信念にささえられ、研究を重ね続けた結果、地球に出現したUFOに対し、いっそう深い見解を得ることができました。台湾においても、未確認飛行物体を目撃した、という多くの人々からの連絡をうけ、台湾にもUFOは出現している事実が立証されています。

読者のご参考までに、台湾のUFOについて、私が受けとった報告や、伝

### ● UFO 研究者 / 洪 荒

え聞いた話、また、新聞紙上に報道された記事などを紹介しておきます。

## ケース1

雲林県麥寮中学3年丁組の陳目盛くんは、1967年5月2日午後5時45分ごろ、友人たちと学校の廊下<sup>ほら</sup>にいた。すでに黄昏<sup>たそがれ</sup>どきだったが、星はまだ見え、月も出ていなかった。

ふと上空を見あげると、西南方向に半径5センチほどの円形物体が1機、ひじょうに強い黄金の光を発しながらまっすぐ飛行していた。

陳くんは、ただちに友人の刘双喜くん<sup>りゅうしゅうき</sup>に知らせ、この光景を一緒に見守った。物体は6時10分ごろになって、ようやく消滅したが、消える前に、後部から煙霧を噴射したという。

### 【考察】

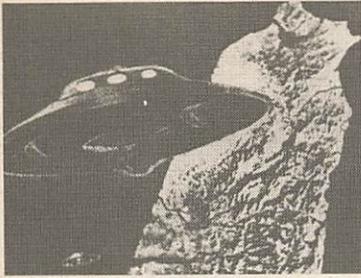
この物体を高層気象気球とみなせないこともないが、気球の場合、あちこち揺れ動いて直進できず、煙霧を噴くこともないはずである。

## ケース2

1957年農曆の除夜、清水鎮の廖錫修氏が、父や伯父たち4人で一緒に町に出て、理髪をすませ、新年用の買物を整えて帰ろうとしたときは、もう9時近くだった。4人は2台の自転車

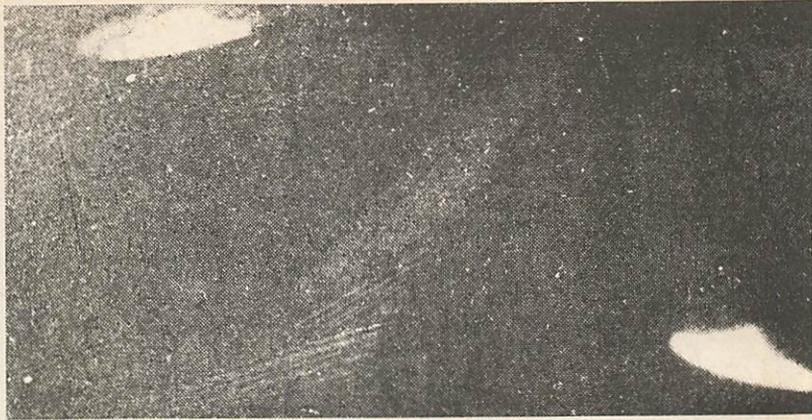
# 「御覧！台湾的幽浮」

●台湾のUFO研究者による異色レポート



## 3 FORMOSA

▼写真A 1973年8月1日夜、台北市の池仲傑くん(学生)が自宅から撮影した飛行物体。



に相乗りし、帰宅を急いでいた。

突然、後方上空から一条の強い光が放たれ、4人ともびっくりし、田んぼにひっくり返ってしまった。振り返ってみると、4、5階ほどの高さの空中に、赤く透きとおった1機の扁平円形型怪物物体が飛んでいた。しばらくして光が消え、物体も消滅してしまっただが、これは彼らにとつて一生忘れることのできない遭遇であった。

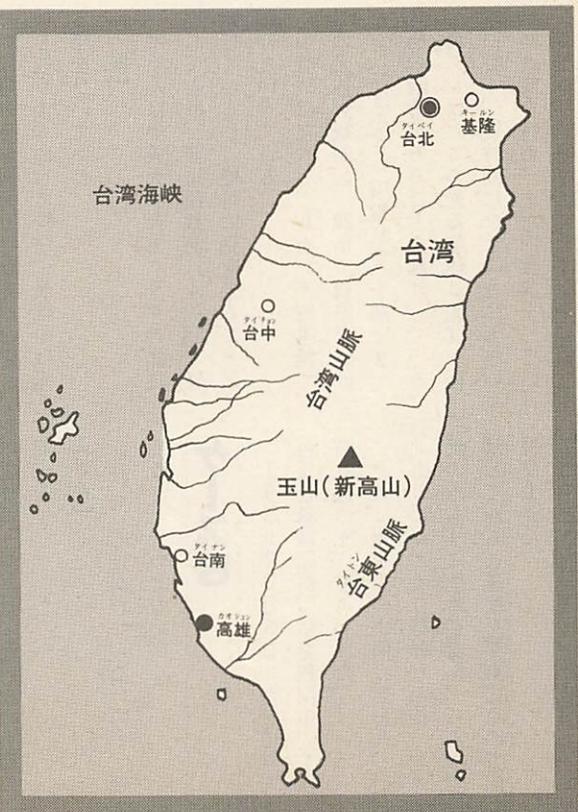
### 【考察】

もしこれが廖氏ひとりの遭遇だとすれば、あるいは彼の錯覚という可能性もあるが、彼以外に父、伯父、叔父も目撃して、驚きのあまり田んぼにひっくり返っており、明らかにその物体は存在していたといえる。しかも、扁平円形で透けて、赤くみえるというのは典型的なUFOの外観で、低空をかすめるように飛ぶのは、飛行機やヘリコプターにはできない芸当である。

## ケース3

台東のある匿名の男性からの手紙によると、1975年、彼は高校3年の学期末試験を1週間後に控えていた。

その日、明け方4時ごろに起床して洗顔をすませ、窓際近くに座って本を読んでいた。どうしたわけか無意識に頭があがり、窓の外に視線を移したと



ころ、1機の光体が早い速度で高空を飛んでおり、遠方の山なみに隠れるまで約5分間飛行し続けたという。

人工衛星にしては大きすぎるし、衛星が強烈な光を発することもない。また飛行機だとしても、エンジン音がまったくなかったのだので、結局、正体はわからなかった。

### 【考察】

高空にあつて星よりも大きく、星よりも明るく、高速で飛行するのは流星か隕石とみてよい。この人の不十分な資料だけでは、物体がUFOであると断定できない。

## ケース4

家が苗栗にあり、現在、屏東農専で経済を勉強している鍾国鈞くんは、去年の9月4日早朝5時46分、東南の空に一群の発光体を発見した。

そのうちの2つは三角形をしていて特別に明るく、たえず移動していたが、6時5分ごろから光が弱り始めた。

2つの三角形光体の周辺に、9つの比較的小さい光体があつたが、6時35分には全部消えてしまった。

この事件は、聯合報に3日間連続して具体的に報道された。なお、苗栗で

は鍾くん他に2人の男性が、同時刻に同じような発光体を目撃したと証言している。

【考察】

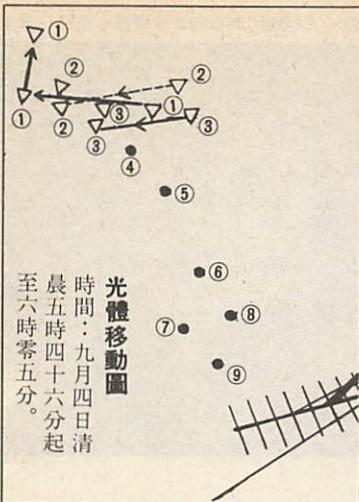
鍾くんは光体のカラー撮影に成功している。また、彼は9月1日早朝5時すぎにも光体を目撃したという。

図Aは、光体の位置と、その移動方向を示したものである。ある人が、これは気象気球だといっているが、気球は上下や左右に移動して飛ぶことはないし、速度が速いことからみても、気球とは思われない。

## ケース5

自然科学文化事業有限会社の編集部長 長施永銘氏の話では、彼の母親が以前、日本統治時代に不明飛行物体を目撃し

▲図A 苗栗の学生鍾国鈞くんが昨年9月4日早朝に発見した光体群。光体はたえず移動をくり返していた。



光体移動圖  
時間：九月四日清晨五時四十六分起至六時零五分。

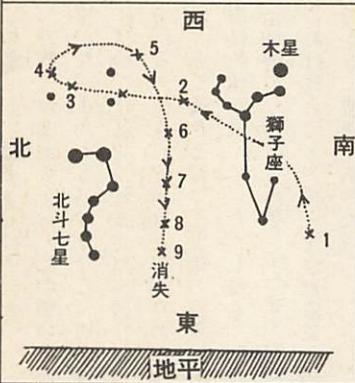
ているという。

ある日の夕暮、母と叔母たち数人が屋外にいる時、突然、西空に赤く光る物体が、ゆっくり飛行しているのを目撃した。その物体は数分後に消失したが、当時、母たちは世界各地に空飛ぶ円盤の噂があることを知らないから、目撃したこの情景を、心に留めておくことなく、長い時代を過ごしてしまった。

彼は、母親のこの話を、最近思い起こしたので、念のために数種類のUFOの図を母親に見せたと、母の指摘したのは、大型円盤の形態をしたものであった。

【考察】

これは、当時数人の者が目撃した事件であるが、年代が古く、皆UFOの観測中、1個の暗紅色の光体のみつけた。



▲図B 台北市立天文台長の蔡章猷氏は天体観測中、1個の暗紅色の光体のみつけた。

概念にも乏しかったため、ほとんどの人が忘れていた。この貴重な資料を提供してくれた施氏は、この物体はUFOにちがいないといっている。

## ケース6

台中中興大学の学生、湯大同くんおよび太平郷林永祥氏の2人は、昨年2月17日午後5時半、月の西南角に白く光るものを発見した。(湯くんは光る物体はひとつだったというが、林氏は11個の光体を確認したという)

それらは、西から東にむかつて緩慢に飛行し、白く光っていたものが、しだいに橙紅色に変わり、ひとつひとつ後を追うようにして飛び、飛行中は光る尾をひいていた。

【考察】

湯くんは中興大学天文クラブの部長をしており、望遠鏡観測は4年間も経験しているし、絶対に見違えることはないといっている。

当時彼は友人と、6センチ望遠鏡で、この光体を観測し、20倍で観察を続けた。それは小さい円盤状で、上部に2、3筋の暗帯があることを確認している。

湯くんは、この光る物体は光度が極端に強く、短時間にひじょうに大きい移動速度を持ち、また円盤状をしていることから、絶対に星ではなく、飛行

機でもない、と語っている。

## ケース7

去年の9月10日午前2時45分、台北市万華昆明街にある青年会の付近で、一市民が4つの発光体が観音山のほうから円山方向に飛んで行くのをみた。

4つの光体は、梯形に編隊を組み、3分後に消失した。

この市民の話によれば、台北市天文台長蔡章猷氏は、これを飛行機だと判断しているという。しかし彼自身は、以前落下傘兵であり、夜間の飛行機を識別する能力を持っており、この4つの光体は、UFOに違いないと確信している。

【考察】

詳しい内容がわからないので、確定的なことはいえない。

## ケース8

1956年3月5日、台北市立天文台長蔡章猷氏が、星を観測中、1個の暗紅色の光体のみつけた。

それは獅子座の南側に現われ、最初北寄りにゆっくり移動した後、北斗七星の西寄りに進路を変え、ある時間停滞してから、速度を早めて東の方向に飛び去った。

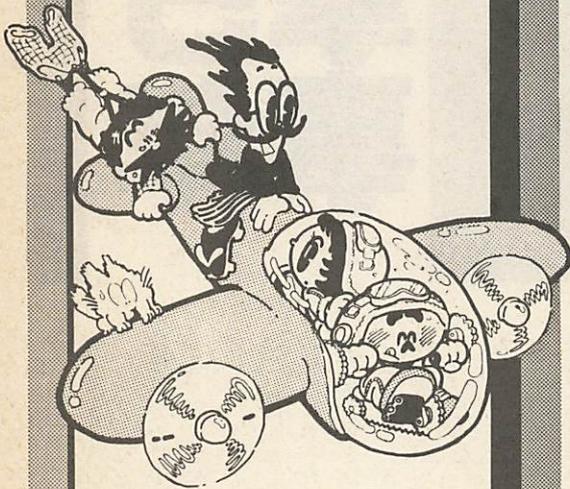
このときの光度はかなり弱まってお

# 宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162東京都新宿区揚場町15セントラル  
・コーポラス207 電話03(268)6312

## ケース9

蔡台長は、1967年にも飛馬座空宿一星の付近に光体を発見している。

蔡台長は、それは飛行機ではないと断定している。なぜなら、飛行機にしては何の音響もなく、1、2万メートル以上の高空では、そんなに明るく光ってみえるはずはないからだ。その飛行経路からみて、これは一種の人工衛星だろう、という。

り、北斗七星の南側に移ったときに消滅してしまった。光体の出現していた時間は35分ほどであった。

### 【考察】

彼は当初、これは新しい星にちがいないと思つて、さつそく星図を取り出し照らしあわせてみたが、この時、光体はすでに空宿一星を半周まわつており、その後一直線に東北の方向に飛んだ。光度はしだいに弱くなり、約30分後に消失した。

### 【考察】

蔡台長は、その飛行時間から考えて飛行機ではなく、後になってまっすぐ東北方向に飛行していることから、高層気球でもないかと判断している。

気球の経路はきわめて不安定で、あちこちに揺れ動くからである。また星でもない。星ならこんなに早い速度は

## ケース10

出ない。人工衛星でもない。人工衛星なら円形飛行の可能性はない。そのため彼は、この物体はいったいどういうものか、なんとも解釈できないと語っている。

1973年8月1日午後11時47分、

池仲傑くん(学生)が台北市嘉興街の自宅3階のベランダで星座を眺めていたとき、突然西の空に2つの巨大な円形の飛行物体が現われた。物体は北方に進み、北方上空で停留した。

彼は、このときすぐに階下からカメラをとつてきて物体を撮影した。約20秒

後、物体は流星のように西方に飛び、消えてしまった。

彼は、この2つの物体から何の音もきこえず、光度はちょうど水銀灯のような銀白色で、その時間の前後は涼しいそよ風が吹いていて、空には明るい月があるだけだったと語っている。

### 【考察】

写真Aは池君が撮影したもので、その形態は一般にいわれている空飛ぶ円盤と同じである。絶対に飛行機ではなく、また気球や、他の物体でもない。UFOに間違いないと思う。

私は、フランスのある小さな村で、UFO目撃事件が起きたという情報を得た。すぐさま調査を開始し、取材協力を依頼する手紙を目撃者宛てに送った。再三の手紙依頼の末、やっと返事をくれたのは、目撃者本人ではなく、彼の妻だった。

「夫は、この事件以来、村の人々からさちがい扱いされています。村の憲兵隊からも、消防署からも、全く信じてもらえず、嘘つき呼ばわりされる始末です。

あなたからの手紙を読んでも、夫はあなたが自分を馬鹿にし悪評をたてるつもりがちがいないと疑っているようです。夫は、あの話はどう二度としないでと言っています」

しかし、私はこの事件の調査をあきらめる気持にはなれなかった。取材を拒絶されても、やはり直接目撃者に会ってみようと、その小村へ向かった。

目撃者は、50歳前後の農夫で、これ

## フランス

# 1975年 の目撃事件 の 詳細

●C・ペリエ

フランスの小さな村で、ある夜一人の農夫が謎の飛行物体に出会った。物体はジェット機のような騒音をたて、火花をちらしながら木立の間を舞っていたという。事件の調査で現地を訪れた筆者は、現場付近で、UFOの飛来を思わせる多くの痕跡を発見した――

までUFOの存在など全く信じていなかった。というより、UFOのことなど、考えたこともなかった。しかし、彼は自分の目で見たことに困惑しながらも、現実に起きたUFOとの遭遇に強い確信をもっていた。ただ、彼が実際に目にしたことを話したときの人々の態度におそれ、二度とこの話はすべきではないと決意したらしい。

彼は、それが何にしろ、何かを見たのは確かだが、自分を守るために一言も話したくないと頑強に私の取材を拒否した。遠くからやってきた私に同情してか、彼の夫人が何とか彼に話をさせるよう骨折ってくれた。

やつのことで、目撃者は重い口をひらいた。そして、まず私に、自分の名前、村の名前を決して公表しないと約束させた。真実性を高めるためにはそれらを公表した方がよいと度々説得したが、彼は頑として首を縦にふらなかった。そのうえ、それらを公表する



## 4 FRANCE

のならば、あなたに話すことは何もないと口を閉ざしてしまう。このような事情から、目撃場所、目撃者氏名をお知らせできないことをお許しいただきたい。

さらに、彼はテープレコーダーを使用することも、メモをとることも禁止した。そして、ポツリポツリと話しは

じめた。

「私は、名声を追い求めているわけでもないし幻覚を見たのでもない。これは確かなことです。私は、そのとき、UFOは存在している！と直感し、どこかに連れ去られるのではないかと、こわくなりました」

そして、何度も次のようなことを繰り返した。

「UFOは、何かをするためにやってきたのだ。でも、私は彼らのじやまをしたくなかった」

彼が、どうしてこんなことを言ったのか、私には今もってわからない。

### 物体から火花がちり

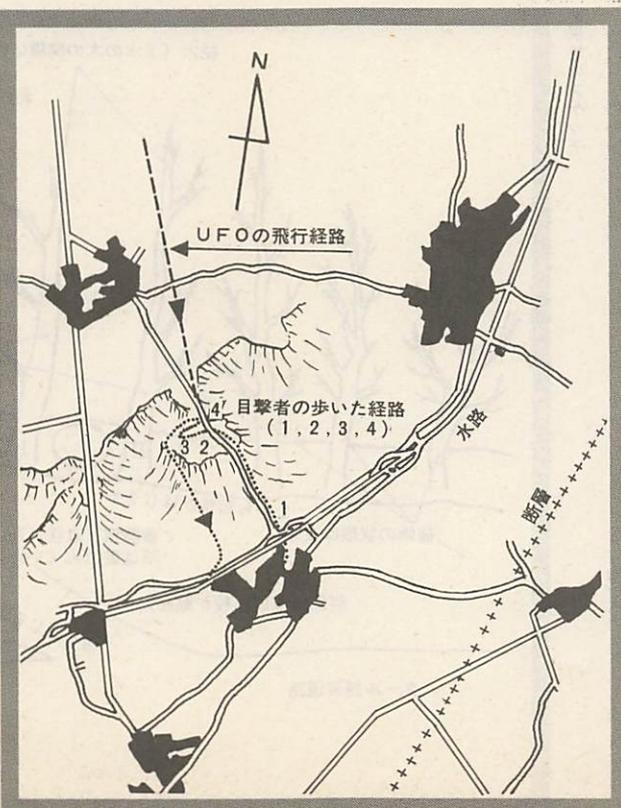
### 枝の折れる音がした

1975年、9月9日、その事件は

起こった。

「その日は、お医者さんに往診してもらった日なので、よく覚えていません」

事件の正確な日付は、目撃者の妻の証言からはっきりと得られた。



▲現場地図。目撃者の要望で、村の名はふせてある。

彼は、その日3回にわたって、UFOを目撃した。最初に謎の物体を目にしたのは、夜の9時ごろ、小高い丘の頂上付近にある、彼の畑へ行く途中のことだった。

「夜の9時ごろ、トレーラーで肥料を運んでいました。とても気候のいい日でした。畑へ続く斜面を登っていたとき、遠くの空に明かりを見つけました。着陸間際の飛行機かなと思っ  
て見ているうちに、だんだん私の方に近づいてきたのです。近くで見ると、それはかなり大きい、円形の物体でした」

以上が、第1回目の目撃証言である。次に、彼がUFOらしき物体を見たのは、畑のすぐそばまで行ったときだった。

「もうすぐ畑に着くというとき、また私は謎の物体に気づきました。それは木立の間に着陸しようとしているようでした。物体のまわりをぐるぐると火花がとりまいていて、すごい音がきこえました。ジェット機の騒音のような。火花がちり、木の枝の折れる音もしました」

それから、彼は恐怖におそわれながらも、仕事を終えて、帰途について。「帰り道、木立の中をジグザグに飛んでいく、例の物体が見えました。私は、とてもこわくなったので、別の道を通って急いで家に帰りました。あとをつけられているような気がして、何度もうしろをふり返りながら車を走らせました」

このように、農夫は3回、UFOらしき物体を目撃している。

さらに、彼はこうつけ加えた。「この話をするとき、みんな、私を馬鹿にしました。憲兵隊が事情をききました。私の話を真にうけてはくれませんでした」

憲兵隊の調査結果は、子供のたき火か、火炎びんの爆発ということになったらしい。町の消防士たちも、この事件を調べたが、やはり彼の話を全く信用しなかったようである。

私の調査と彼の話をまとめると、次のようになる。

＜第1回目の目撃について＞

①UFOは、5〜8分間、彼の目につけていた。時速9〜15kmで、1250mの距離を飛んだ。UFOは最初、非常に遠くにあり、近づくにつれて大きくなった。

②UFOは、しばらく彼の視界から消えた。これは、畑へ続く道の勾配とカーブのためだと思う。このことから、UFOは地上100〜300mの、地面近くを飛んでいたと考えられる。

③かなり地面の近くを飛んでいたらしいUFOの音がきこえなかったのはなぜだろう。これは、彼が少し耳が

▶現場のスケッチ

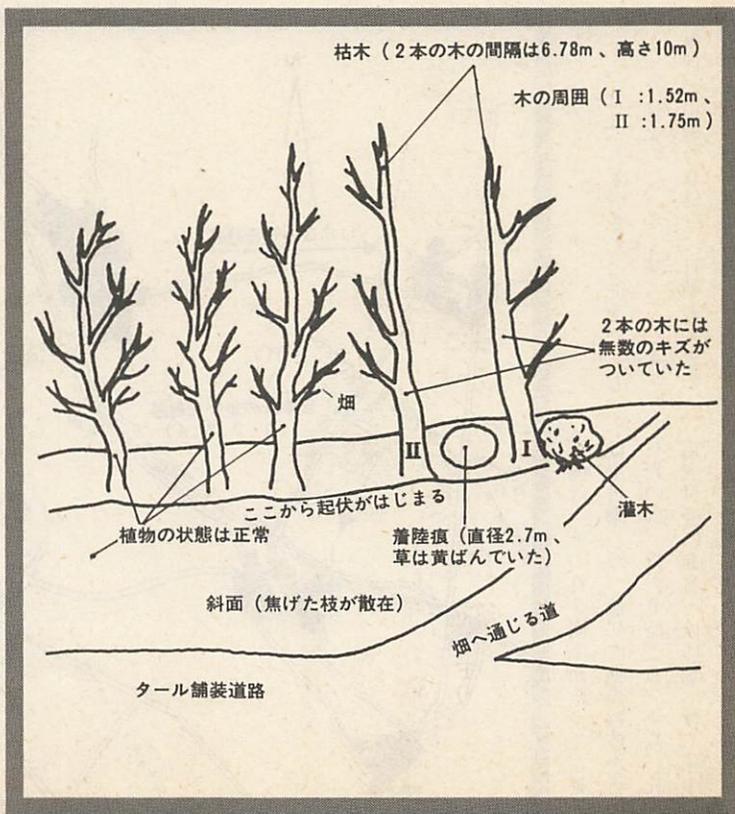
遠いためと思われる。

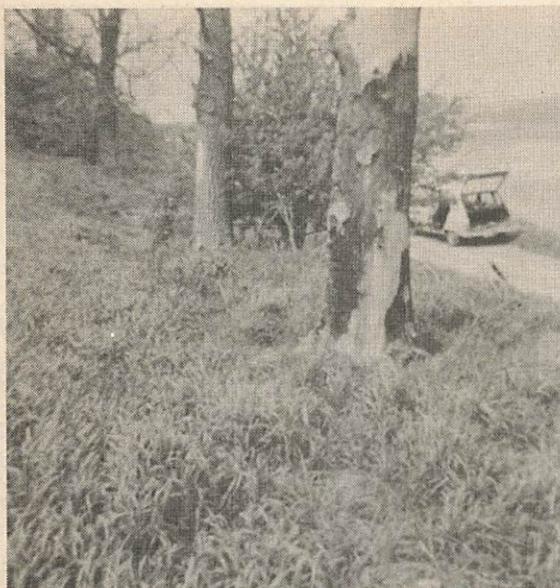
＜第2回目の目撃について＞

①彼が畑のそばまで来たとき、UFOは速度をおとし、着陸しようとしているように見えた。畑は二つの町の境界線の方に傾斜していて、勾配／08の峰の上にある。彼は、右手にその現象をみながら畑へ向かっていた。

②UFOは、花火のようにクルクル回り、右から左につり合いをとって火花を噴き出していた。

③ジェット機のような、すごい音がした。彼は耳が遠いにもかかわらず、それは忘れられないような音だったという。このとき、UFOは木立の間にあったことから、目撃者との距離は250mしかなかったことにな

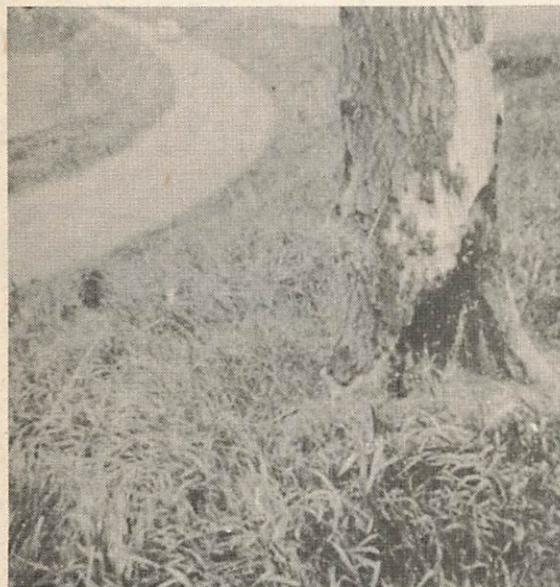




▲写真① 1番めの木。樹皮が削りとられ、焦げている。



▲写真② 1番めの木。根元の白雲は粉末状に砕けている。



▲写真③ 2番めの木。穴が深くあいている。



▲写真④ 2番めの木の根元周辺の草はなくなっている。

る。  
〈第3回めの目撃について〉

①畑からの帰り道、ジグザグ飛行で飛び去っていくのを見ている。

②目撃者は、非常な恐怖を感じた。この事件についての彼の話の中で、とくに異常なのは、

「UFOは、何かをするためにやってきた。私は彼らのじやまをしたくなかった」

と繰り返したことである。彼は恐怖を感じたが、パニック状態には陥らなかった。これは、彼がちゃんと仕事を終えたことでわかる。なぜだろう。このことについては、目撃者は何も話してはくれなかった。もっとちがう何かが起きたことを知っているのだろうか。

### 現場調査で発見 円形に黄ばんだ着陸痕

農夫の妻は、私をUFO事件の現場へ案内してくれた。私は、UFOが着陸したという場所へ行き、そこで数々の重大な発見をした。その調査結果をまとめると次のようになる。

#### 〈樹木について〉

UFO着陸の痕跡らしいものがこの



## 世界航空機年鑑1979

■あらたに航空機搭載ミサイル、グライダーを掲載  
 ■世界航空機年鑑は、今年で25年目をむかえた日本で唯一の総合航空年鑑です。現用中の機体はもちろん、新型機、計画機を全て収録し、写真、図面を大幅に改め、解説には最新のニュースやデータをもり込んで、更に内容を充実させております。巻末にはエンジン一覽、1977年11月1978年10月迄の航空年表のほか、あらたに軍用機の搭載ミサイルおよびグライダーの解説を掲載するなど、特色をもたせました。

B5判386頁定価3,000円 送料1000円



## 航空情報別冊

あなたもできる

## ヒコークの操縦

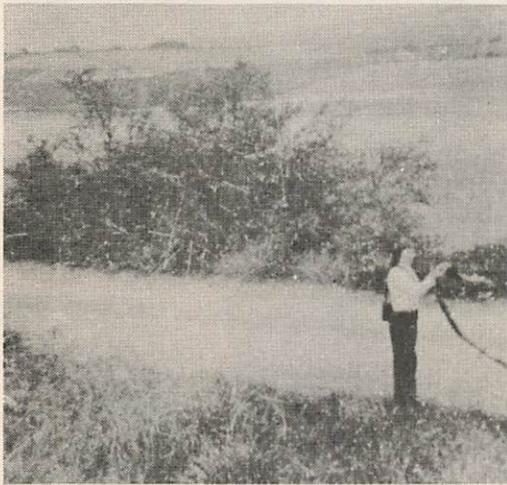
■果しなく広がる大空に、鳥のように自由に飛んでみたいという憧れは誰もが持っている。しかし空を飛ぶ真のよこびは、実際に操縦桿を握って空を飛んでみなければわからない。本書は飛行機の操縦を志す人や興味を持つ人たちのために、飛行機はどのように操縦したらよいものか、操縦桿を握って空を飛ぶ様子を、実際に即して詳しく分かりやすく解説したものである。

B5判232頁定価1,700円 送料1600円

中央区銀座6-8-7 TEL 03-572-3421 (株) 酣燈社



◀写真⑤ 着陸痕。草が円形に変色している。



◀写真⑥ 切りとられて、集げた木の枝を持つ筆者。

ついていたのは、一番右の木とその周りの木の2本である。この2本の木は枯れていた(成長作用がみられず、新しい枝もない)。ほかの木にも葉はなかったが、芽がふき出していた。

なお、この2本の木には黒い焦げ跡がある。一番右の木は、繊維がはぎとられ、樹皮が欠落し、根元の白亜は粉末状になり、動物の形のような痕跡がみられる。

る(写真①・②参照)。

そのとなりの木には、深い穴があいており(写真③参照)、枝がかなり切断されている。さらに、その根元周囲の草がなくなっていた(写真④参照)。

2本の木は、それぞれの中心から測って、6・8m隔っている。興味深いのは、この2本の木はお互いに向きあっている側しか「被爆」していないことだ。梢の枝もやはり2本とも同じ側の枝だけがなくなっている。

まさに、ある物体が着陸のため降下するときにぶつかった痕跡としか考えられない。落雷とか、たき火、または火炎びんなどの爆発の跡と見ることはとてもむりな様相である。

### ◀傾斜面について▶

2本の枯木の下の灌木は生き生きとした緑をしていた。木々の並ぶ傾斜面

の草は正常だが、2本の木の間のイバラの茂みには、焦げた跡がみられ、そのそばの草は円形に黄ばんでいた(写真⑤参照)。これが着陸痕と思われる。この円形の直径は、2・7mあった。

やぶの中には、折れた枝が散在していた。折れた枝のうち、一番太いものは直径12cm、折れ口はすべすべしていて、表面は黒焦げになっている(写真⑥参照)。

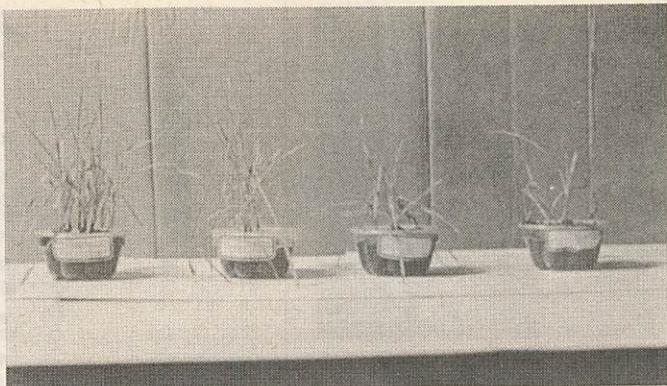
いくつかの痕跡は、焼け跡とは見えず、局地的な火事や山焼きなどという可能性は全くない。

### 採取した土壌で

### 植物の発芽テスト

私は、サンプルとして次のものを採取した。

◀写真⑦ 発芽テストの結果。  
左から1、2、3、4。



a 小灌木の下の斜面の土。  
b 一番目の木の根元の白亜質の粉末が混じった土。

c 円形の着陸痕の中心の土。

d 円形の着陸痕から0・5m、一番目の木から1・5mの距離にある土  
(変質していないようにみえた)。

e 一番目の木の根元のこまごまに砕けている樹皮が混じった土。

f 二番目の木の樹皮。

さらに、細部にわたって写真を撮り、8ミリフィルム撮影もした。

ここで、採取した土から得られた、私の実験報告をしておこう。

私は、サンプルとして採取した前出のいろいろな土に、植物の種をまき、その発芽の様子を調べた。

◀発芽テストの結果 (写真⑦参照)

A 小灌木の下の斜面の土

いくつかの種は芽を出さなかったが、ほとんど正常な発芽をみせ、生長が一番よかった。(写真⑦-1)

B 白亜質の粉末の混じった土

全く発芽しない。かなり放射線をあびていると考えられる。

C 着陸痕中心の土

発芽が非常におくれた。出芽した植物には、円形の小さい点のような白みがあったカビが生じた。(写真⑦-4)

D 着陸痕から少し離れた場所の土

一番はやく出芽し、ほとんど正常にみえた。しかし発芽したもの、非常によわよわしかった。放射線の影響を受けているとも考えられる。(写真⑦-2)

E 樹皮が混じった土

発芽はかなりおくれた。やはり放

射線にさらされたのではないかと思われる。(写真⑦-3)  
以上のような結論を得たのである。

いろいろな痕跡があるにもかかわらず、なぜ憲兵隊でも、消防署でも、目撃者の話を信用しなかったのだろうか？ 私は、目撃者にたずねてみた。

「憲兵隊が調査したとき、現場の痕跡について、何かきかれませんでしたか？」

農夫は、おどろいた様子で答えた。

「いいえ、何も。あとで、憲兵隊から、あの日、あの斜面でたき火をしていたという子供たちからの申し出があったことをききました。私の見たのは、そのたき火で、現場にのこっている跡は、たき火の跡だったと教えられました」

公式の調査をした憲兵隊が、あの痕

# 組立簡単、三点セット(座禅用、横臥用、実験用)¥4,900

# 驚異のピラミッド・ハウス

## 四角錐の中に謎の力がある



各種ピラミッド・ハウス 鉄製、メッキ、組立簡単

種類	長さ	付属品	送料
●大(座禅用)	160cm	アルミ製コンパス	¥600
●中(横臥用)	80cm	グランドシート	¥600
●小(実験用)	25cm		¥500

3点セット(大・中・小) ¥4,900  
2点セット(大・中) ¥4,400  
実験用のみ(小) ¥2,000  
各種3点セット及び2点セットは、大・中のみ兼用です。

◀お申込方法▶ 住所、氏名、品名をハッキリ書いて現金書留でご注文下さい。  
〒144 東京都大田区西糀谷4-29-3-5  
**東京メールサービス**  
☎03(744)7624(カタログ、切手200円)

発売二年 全国より大反響

銅製セット(大・中・小)¥12,000(送料共)

## 宇宙考古学遺跡めぐりの旅第3回

ユニバース出版社主催による「宇宙考古学遺跡めぐりの旅」も今回で3回目を迎える。

第1回「中米」（1977年夏）および第2回「ヨーロッパ・エジプト」（1978年夏）はいずれも多数の参加者を得て大きな成果をおさめることができた。

# インカ古代文明と ケープケネディ宇宙基地の旅

加者を得て大きな成果をおさめることができた。

第3回は「メキシコ／ペルー・インカ古代文明遺跡と、魔の海峡バミューダ、ケープケネディ宇宙の旅」（仮称）と題する今年8月8日から21日まで14

日間のツアーである。

このツアーのクライマックスは、ナスカの地上絵を空中から見物する日程10日目、およびマイアミのケープケネディ宇宙基地、バミューダ沖を視察する11日目であろう。

なお、解説役として「UFOと宇宙」編集部長中村省三が同行する予定。

### ツアーの概要

日程 昭和54年8月8日～8月21日

(14日間)

参加人員 32名以上（添乗員1名、同

跡をたき火の跡と考えるはずはない。

彼らは、実際に起きたことを認めざるをえなかったはずである。彼らは、あの着陸痕を見て、目撃者の話は事実だと考えざるをえなかった。そして、やはり彼らも、木の枝や樹皮などを持ち帰って調査したであろう。村の秩序の混乱を恐れ、公表をすることをさけたのだ。

そして、目撃者自身にも精神的圧力をかけ、たき火をUFOとまちがえたのだとむりやり認めさせようとしたの

かもしれない。

私は、目撃者の話を全面的に信じた。仮に彼がまだ何かを隠しているとしても……。あれだけの物的証拠―現場の痕跡が、彼の話を裏づけている。彼はUFOを目撃したのだ。

私には、あれらの痕跡を思い起こすと、着陸した物体が地球上のもの―飛行機などではありえないとしか思えない。爆発は起きていないので、落雷とか、火炎物の爆発とも考えられない。私は、木立の間の地面の色が変化し

行解説者1名を含む)

**訪問地** メキシコ市(テイオティワカン)、メリタ(チチェン・イツァ)、ピリヤエルモサ(パレンケ)、クスコ(マチュピチュ)、リマ(ナスカの地上絵)、マイアミ(ケープケネディ宇宙基地・バミューダ沖)

**旅行費用** 78万4000円(全行程食事付き、ただし自由行動日は朝食のみ)

**主催** ユニバース出版社

**共賛** NASA、メキシコ政府観光局

ペルー政府観光局、日本航空

**協力** 日本航空、NASA

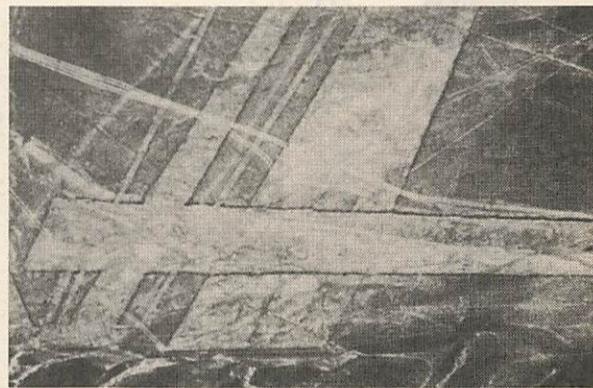
ていることを実証した。このことと、機体からすごい音が発生したらしいことから、UFOは降下がうまくいかなかったのだと思う。そこで、噴射装置が働き、おそらく回転と熱(電磁効果)が生じた。

つまり、UFOは知的に操作されているのだ。私としては、このUFOはかなり遠距離から誘導されていたと確信している。さらに詳しいことを知るために、この地域の調査、監視を続けていきたい。

大西淳子訳



▲現場の全景。奇怪な現象は立ち並ぶ木立の、2本の木の間に起こった。



**特報!**

**値下げ断行**

Ray-Ban® 現地(U.S.A)価格に大接近!  
5割引キャンペーンが、  
標準小売価格を変えた!

《好評通信販売中》

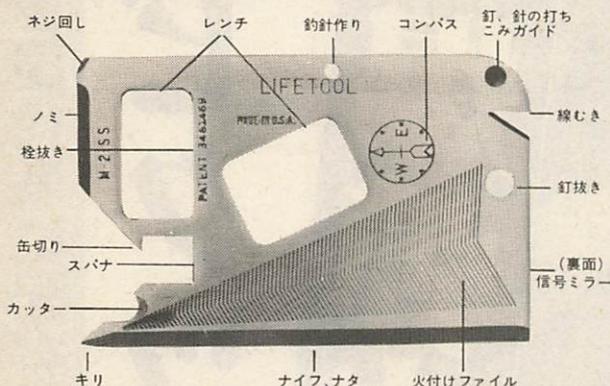
標準小売価格の**オール5割引**

君ならどう使いこなす!

ヘビィデューティなこの2品

# U.S.Aからスゴイ奴がやって来た!

これが今話題のサバイバルツール(ライフツール)Made in U.S.A



諸君おなじみのレイバンと、今評判のサバイバル用具《ライフツール》がドッキング。どう使いこなすかは君の自由。サア、君なら、どうする。

カナダ森林警備隊、パイロット必携!  
たとえば、冒険派の君に  
たとえば、地震や災害時の緊急備品に  
40通り以上の活用ができるサバイバル用具の決定版  
●サイズ:ヨコ82×タテ56×巾1.6% ●ケース・解説書付  
●重量:100g ※アメリカアリソンフォージ社製

●レイバン + サバイバル = セットで通信販売中  
標準小売価格のオール5割引 (ライフツール) 特別セット価格

**一例**

市場調査価格 8,100円

シューター(金・スモーク) + サバイバル(ライフツール)

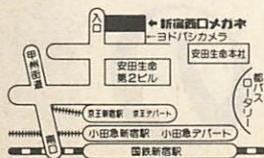
標準小売価格	5割引価格	特別奉仕価格	セット価格
15,000円	7,500円	4,500円	3,500円

**合計セット価格 11,000円**

※その他、どんな組み合わせも可能です。  
※もちろん、どちらか単品にても通称OK。  
※ただし、単品販売の場合、サバイバルは特価4,500円  
レイバン年間販売実績20,000本を誇る

## 新宿西口メガネ

東京・新宿西口・ヨドバシカメラ隣り  
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休  
でんわ 東京03-348-3360(代)



●お申し込み方法  
お申し込みは筆書にて、レイバン+サバイバル又は、レイバンのみ、サバイバルのみかを明記し、レイバンのモデル名・レンズの色と住所をご記入の上、現金書留あるいは代金引換にておながいします。なお送料はサービスさせていただきます。  
●お申し込み先  
〒160 東京都新宿区西新宿11-11-6 協立ビル  
新宿西口メガネUFO係  
プレゼント用化粧箱/パッケージも用意致しました。ご注文の際に、お申し出ください。  
※おことわり 届切れの配は、入荷予定日を  
お知らせ致します。又、ご返金も致します。

### SHOOTER<シューター>(大)



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥15,000→7,500	¥18,000→9,000	¥19,000→9,500		
ブラック	¥16,000→8,000		¥20,000→10,000	¥19,000→9,500	

### アウトドアズ・マンII(大)

### アウトドアズ・マン(中)

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥13,000→6,500	¥16,000→8,000	¥17,000→8,500	¥16,000→8,000	
ブラック	¥14,000→7,000		¥18,000→9,000	¥17,000→8,500	

### CARAVAN<キャラバン>(中)

	スモーク	グリーン
金	¥12,000→6,000	
ブラック	¥13,000→6,500	

### METAL II(大)

### METAL(中)

	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥12,000→6,000			¥16,000→8,000
ブラック	¥13,000→6,500			

### DECOT<デコット>(大)

	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥16,000→8,000		¥19,000→9,500

## 衝撃報告／国連各国代表に配布された米政府の機密資料

# マン・ケビクツキー氏の

# 爆弾文書

本誌（1978年12月号）で、既報のごとく、ICUFONのコールマン・ウォン・ケビクツキー氏は、世界151カ国の国連大使たちに、自費制作のメモランダム（覚え書き）を配布した。これは、第33回国連総会における、グレナダのゲーリー首相のUFO決議案を側面援助するため、UFOに関するアメリカ政府の元機密文書などを多数盛りこんだ「爆弾文書」とも呼ぶべきもので、87ページにもわたっている。

ケビクツキー氏が、このような動きをしたのには、つぎのような2つの理由がある。

①UFO活動を軍事的観点から考えるべきだとする、ケビクツキー氏の考へ方に反対のUFO研究者たち（ハインツ博士やリー・スビーゲル氏等）の強硬な意見により、ケビクツキー氏は1978年7月以降、グレナダ政府のUFO顧問団から除外さ



1978年10月12日の国連総会で、グレナダのゲーリー首相の演説を傍聴しているケビクツキー氏。(写真／富川氏)

れた。このため、ケビクツキー氏としては、自己の長年の主張を国連で示すために、別の手段を選ぶ必要があったこと。

②ゲーリー首相は、UFO決議案を国連で採択させることには熱心だが、カリブ海の小さな反共国家として、アメリカやイギリスと政治的に険悪な関係になることは避けなければならぬ。だからアメリカ政府のUFOに関する元機密文書などを他国の国連代表たちに示すことはまずいという政治的背景がある。しかし、アメリカの市民権を得ているケビクツキー氏が「情報の自由化法」などに基づき合法的に入手した、アメリカの元機密文書を個人の資格で発表することは、なんら問題にはならないという利点があること。

このようないきさつで配布された

『覚え書き』には、長年の間、表向きにはUFO問題を軽視してきたかみえるアメリカ政府やアメリカ空軍が、実際にはいかにこれを重視し、情報収集や研究に努めてきているかを示す多数の元機密文書が含まれている。

『覚え書き』は、まずケビクツキー氏の主張の要旨から始まり、ついで、

第1部—UFO問題は実在するか？

第2部—地球の安全は危険にさらされているか？

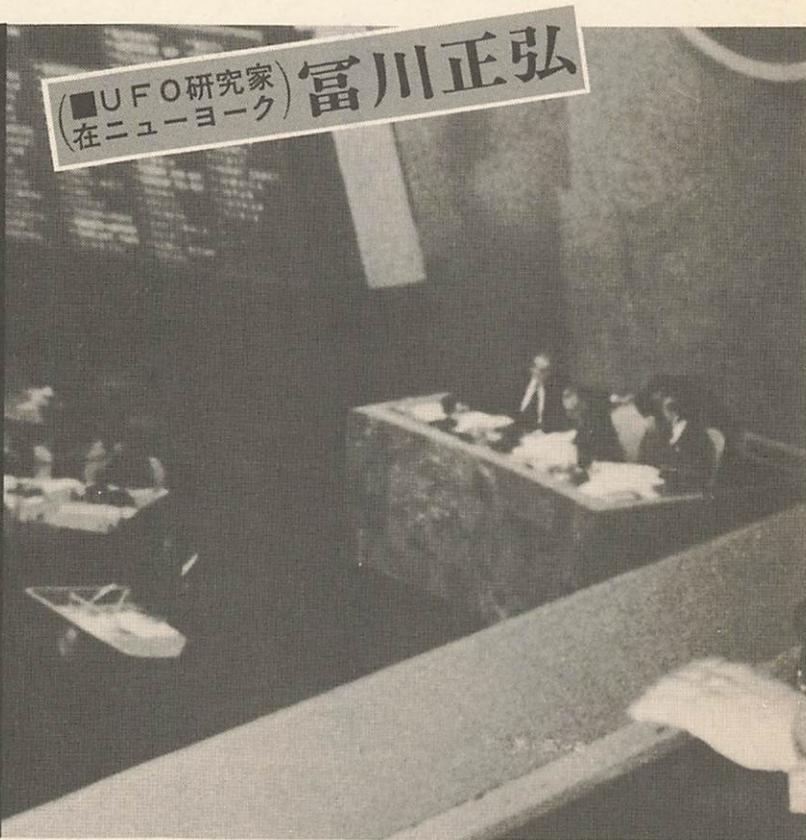
第3部—一般大衆への誤報の陰の真実

といった3部に分かれ、それぞれに興味深い資料のコピーが多数添付されている。

それでは、まずケビクツキー氏の主張の要旨を簡単に紹介し、各部分ごとに興味ある文書をいくつかみてみよう。

## ケビクツキー氏の主張

各国（とくにアメリカ）の安全保障を任務とする軍が、調査し、報告した文書（機密解除されたもの）からみても、UFOの実在は明らかである。UFOは、その速度、上昇、操縦性能からみて、地球の科学技術の産物ではな



富川正弘  
（UFO研究家）  
（在ニューヨーク）

アメリカ政府やアメリカ空軍は長年UFO問題を表向き軽視してきたかに見える。だが実際には情報収集や謎の解明に大きなエネルギーをさいていたのである。ケビクツキー氏の文書はその事実を衝撃的に暴露している

く、地球以外の文明から飛来してきたものと考えられる。

また、UFOの主要な活動地域が、発電所、工業地帯、通信施設、軍事施設、戦略的に重要な戦場、宇宙開発の場などであるところから判断して、その任務が、その時期、場所、理由、目的は不明だが、地球着陸のための戦略的偵察であることは明らかである。

UFOによる事故、災害、人命や財産の損失なども世界各地で起こっている。

このように、UFO問題は安全保障上及び科学的見地から、地球全体の問題であり、国連が取り上げるべき問題である。したがって、国連にUFO専門機関を設置し、各国の軍、科学界、民間のUFO研究団体と協力して国際的規模でUFO研究調査を行ない、宇宙戦争を引き起こしかねない各国軍隊によるUFOへの攻撃をやめさせなくてはならない。

また、UFO文明とのコミュニケーションを図るとともに、ユネスコや国連大学を通じて、宇宙時代に備えての研究や教育を行ない、UFO情報、研究成果を各国政府や大衆に伝えるべきである。

ケビクツキー氏はこのように主張している。

## 第1部に収められた主な文書

日本軍の真珠湾攻撃から、約2ヵ月半後の1942年2月25日早朝(午前2時すぎ)、ロサンゼルス上空に、20機程度の謎の飛行物体の編隊が出現した。また日本軍の奇襲攻撃かと緊張した第37沿岸砲兵旅団は、約1時間にわたって、サーチライトに照らされた編隊に高射砲を浴びせかけた。しかし、ふしぎなことに、編隊からは1発の爆弾も投下されず、撃墜された機はまったくなかった。

ロサンゼルス・タイムズやニューヨーク・タイムズは、サーチライトに照らされた編隊の写真とともに、「日本軍、ロサンゼルス上空襲撃」と大々的に報じた。だが、これが通常の爆撃機や偵察機であったとは、とうてい考えられない。また、戦後、明らかにされた日本軍側の記録にも、ロサンゼルス空襲の報告はどこにもみあたらないのである。

ケビクツキー氏の『覚え書き』には、当時の参謀長ジョージ・マーシャル大将(後のアメリカ国務長官)からルーズベルト大統領に宛てた1942年2月26日付けの秘密報告書(1974年4月9日、機密解除)そして、『Flying Discs』(空飛ぶ円盤)に関して報告し

たエア・マテリアル・コマンド(航空物資司令部)のトワイニング中将の1947年9月23日付けの手紙(1978年5月4日、機密解除)がふくまれている(『覚え書き』10~15ページ)。

トワイニング中将の報告書には、「報告された現象は、実際に起こったもので、幻覚や作り話ではない」とあり、「円盤型をし、人間が作った航空機と同じくらいの大きさの物体が存在している」と明記されている。そして、「この物体を研究するための秘密の暗号名を決め、米軍各機関がただちに報告書を提出し、さらに研究を続けるべきだ」と書かれている。

## 第2部に収められた主な文書

(これらの文書にはいずれも「SECRET」第2部(地球の安全は危険にさらされているか?)には、つぎのようなものもたくさん内容がまつまっている。

(A) 超大国(米・ソ)による国家及び国際安全保障のための対UFO防衛作戦(28~50ページ)。

(B) 地球人とUFO軍間の宣戦布告なき戦い(51~75ページ)。

(C) 武器のテスト

「(秘密)」というスタンプがおかれ、その上に機密解除を示す斜線が引かれている。

第1部には、この他につぎのようなものもふくまれている。

世界中の様々な場所で様々な時間に撮影された同じ形のUFO写真、編隊飛行するUFO写真の編隊の組み方の分析、撮影された「ホモ・コスミカス」(宇宙人)写真の分析、UFOの飛行軌道の分析、さらにはハワイ上空のUFO写真や、墜落円盤に関するフリッツ・ワーナーの証言(本誌、1978年11月号、「第三種回収」を参照)など。これらによって、UFOがけっして幻想の産物などではなく、実在する物体であることを明確に示唆しているのである。

まず、アメリカ軍人が敵の飛行機やミサイル、それにUFOを目撃した際の報告のしかたを細かく規定した、1954年3月発行のCIRVIS(アメリカ陸海空統合参謀長会議発行のJANA P146(c))や、1959年7月発行のMERINT(アメリカ海軍発行)、及び1966年3月に、前記CIRVIS及びMERINTを統合し、アメリカ軍とカナダ軍が協力して、北米大陸に接近する未確認飛行物体を報告する方法を取りきめた JANAP146(E)(CIRVIS/MERINT)がある。

これらの文書には、敵性または未確認の航空機、ミサイル、潜水艦などとならんで「つきり」とUnidentified Flying Objectと記されている。MERINTにはわざわざ、UFOの挿絵までも描かれている。しかも、このUnidentified Flying Object(未確認飛行物体)は単なる「未確認の」飛行物体を意味する、あいまいなことばではなく、「その行動、航空力学的性能、異常な特徴からみて、航空機やミサイル、気球や天体、鳥など、現在知られているいかなるありきたりの飛行物体ともせつたいにみなしえない飛行物体をいう」と定義づけられている(1954年8月12日発行の空軍規則 AFR200-2)。

また、『覚え書き』の56~58ページに

- ① 誘拐事件
- ② UFOの戦略
- ③ 地球人との対決
- ④ UFOによる負傷
- ⑤ 人畜への被害

これらの第2部の多様な資料の中から、とくに目につく文書をいくつかあげてみよう。

UNCLASSIFIED

56  
PRIORITY  
OCT 1 MSG654 PAGE 01 267 0813

ACTION: NONF-00  
INFO: *[Handwritten initials]*

ATCZYUW RUFKJCS 47 17 76 0810 HTMS-CCCC--RIFFHQA-  
NY CCCCC  
P 230810Z SEP 76  
FM JCS  
INFO RUSHC/SECSTATE WASH DC  
RUFATIF/C I A  
RUFOTAH/NSA WASH DC  
RUFADUU/WHITE HOUSE WASH DC  
RUFFHQA/CSAF WASH DC  
RUFNAAA/CNO WASH DC  
RUFADHD/CSA WASH DC  
b 230630Z SEP 76  
FM USDAO TEHRAN  
TO RUFKJCS/DIA WASHDC  
INFO RUFKJCS/SECDEF DEPSECDEF WASHDC  
RUFRAA/COMIDFASTFOR  
RUDOECA/CINCSAFF LINDSEY AS 6E/INCF  
RHFRAAB/CINCSAFF PAMSTE IN AB 16E/INOCN  
RUSNAAA/FUDAC VAHINGEN GER  
RUSNAAA/USCINCEUR VAHINGEN GER/ECJ-2  
BT  
C O N F I D E N T I A L 1235 SEP76  
THIS IS IR 6 846 0139 76

1. (U) IRAN
2. REPORTED UFO SIGHTING (U)
3. (U) NA
4. (U) 19 & 20 SEP 76
5. (U) TEHRAN, IRAN: 20 SEP 76
6. (U) F-6
17. (U) 6 846 0008 (NOTE RO COMMENTS)
8. (U) 6 846 0139 76
9. (U) 22SEP 76
10. (U) NA
11. (U) \*INITIATE\* IPSP PI-1440
12. (U) USDAO, TEHRAN, IRAN
13. (U) FRANK B. MCKENZIE, COL, USAF, DA IT
14. (U) NA
15. (U) THIS REPORT FORWARDS INFORMATION CONCERNING THE SIGHTING OF AN UFO IN IRAN ON 19 SEPTEMBER 1976.

At ABOUT 1230 AM ON 19 SEP 76 THE *[Redacted]* RECEIVED FOUR TELEPHONE CALLS FROM CITIZENS LIVING IN THE SHEMIRAN AREA OF TEHRAN SAYING

UNCLASSIFIED

PRIORITY

は、1976年9月19日未明、イランの首都テヘラン上空で起こった事件を報告した秘密テレックスの全文がのっている。これは、2機のF4ジェット戦闘機とUFOとの驚くべき遭遇事件を、イラン駐留のアメリカ空軍司令官が、ワシントンのホワイトハウス、CIA、NSA（国家安全保障局）、その他に詳細に報告したものである（NI

CAPの要請で公表されたこのテレックスには、機密解除のスタンプが大きくおされ、一部分は削除されたままになっている。このイランの事件は当時、イランの新聞には大きく報道されたが、どうい

うわけか、アメリカや他の国では、ほとんど報道されずに終わった。しかし、このテレックスは、表面上はUFO問（要約）「市民からのUFO目撃の報告を受け、イラン空軍のF4ジェット戦闘機は、スクランブル発進した。物体

▲1976年9月19日未明、イランの首都テヘラン上空で2機のF4ジェット戦闘機とUFOが接近遭遇した。これは当時、イラン駐留のアメリカ空軍司令官がホワイトハウス、CIA、NSA（国家安全保障局）、その他に事件の詳細を報告した秘密テレックス（の一部）である。

に近づくと、機のすべての計器盤や通信装置が作動しなくなってしまう。物体から遠ざかると、再び作動しはじめる。このようなことが続き、第1機はやむなく基地に引き返した。つぎに2機のF4ジェット戦闘機が発進し、物体との間に、ある程度の距離をおくようにしたところ、物体は動きだした」

（逐語訳）「レーダー画像上の（UFOの）サイズは707型機ほどだが、肉眼による物体サイズの推定は、物体から発する強烈な輝きのために識別困難であった。物体からの光は、長方形に配列したストロボライトのようで、青、緑、赤、オレンジの光を交互に発していたが、色の変化があまりにはやいため、すべての色を一度にみられるほどだった。物体とF4戦闘機が、テヘラン市南方へと飛行していたとき、物体の中から、みかけが月の2分の1から3分の1くらい大きさで別の明るく輝く物体がでてきて、F4戦闘機の方へ非常にスピードで接近してきた。パイロットがAIM-9ミサイルを発射しようとしたとたん、機の武器コントロールパネル、そしてすべての通信装置（UHF及びインターフォン）も故障してしまっ



その家の近くに着陸して、その住人に、昨夜異常なことが起きなかったかと質問したところ、大きな音がし、稲妻のような強い光が走ったという。そして、謎の物体が着陸したと思われ

### 第3部に収められた主な文書

第3部（一般大衆への誤報の陰の実）で、ケビクツキー氏は、悪名高いコンドン・レポートの一部や、アメリカ空軍、NASAなどからの手紙の写しをのせている。そこで、アメリカ政府がいかにUFO問題に対する一般大衆の関心をはぐらかすよう、策謀をめぐらしてきたかを書いていく。

また、この中で、ケビクツキー氏はハイネック博士やジャック・バレー博士などに対しても非難の鋒先を向けている。

この後のテレックスの文章が2行半ほど削除されているため、放射能が検出されたかどうかは不明である。

州知事であった、1973年9月18日に、ジョージア州アトリーで目撃したUFOについて、NASAが子供だましの説明で、事実をねじまげてしまったことも非難している。これは、NICAPへ提出した目撃報告書（ジミー・カーターの署名入り）の写しをの

せ（『覚え書き』81〜83ページ）、元アメリカ海軍の優秀な潜水艦長で、原子物理学の専門家でもあったカーター大統領が、信頼のおけるライオンズ・クラブの人々と同時に目撃したと証言している物体を、NASAは「地平線上に

輝いていた金星だったかもしれない」と言いはなった。それとともに、1978年6月、アメリカ国務省の高官たちが、「地球人類は、他天体の人類にとつて潜在的な脅威であり、他天体の人類は地球人類にとつて、潜在的脅威であるから、われわれはこれに備えなければならぬ」と、発言したこと（『覚え書き』84ページ）を高く評価している。

以上、87ページにものぼる『覚え書き』のあらましを紹介してきた。びつしりつめこまれた多数の貴重な文書や資料をここですべて紹介することは、とうてい不可能である。興味を抱かれた方は、ぜひこの『覚え書き』を入手して、さらに研究されることをおすすめする。現在、ケビクツキー氏の手も

とへは、世界各地のUFO研究者たちから注文が殺到しているとのことであるが、部数に限りがあるので、はやめに申し込まれた方がよいだろう。

#### 『覚え書き』の入手方法

最寄りの郵便局で、国際為替により、左記の住所宛に18・5米ドル（航空便による送料込み）の送金を依頼し、送金人欄に自分の住所氏名を英文で明記し、通信欄に「Please send me your UN-UFO MEMORANDUM」と書いておくことよ。

住所：  
Mr. COLMAN VONKEVICZKY  
ICUFON  
3540 75TH STREET, SUITE:  
4 G JACKSON HEIGHTS, NEW  
YORK 11372 U. S. A.

現代の巨大な未知に挑戦する！

# UFO革命 横尾忠則

ぼくたちのUFOの歴史はすでにはじまっている。UFOを目撃した人、宇宙人と交信をつづけている人、UFOに乗って宇宙人たちと生活した人。これらのコンタクティーたちのなまなましい体験を精力的に聞き、彼らの描いた目撃スケッチ、貴重な写真を集めて、横尾忠則がこのUFOドキュメントをつくりあげた。学生、主婦、労働者から、南山宏、斎藤守弘、平野威馬雄、遠藤周作、富田勲ら、各界の異才たちとの対談を収めて、本書は、宇宙時代を生きぬくための意識革命をほぐす。三月下旬発売／予価一五〇〇円



晶文社

東京都千代田区外神田2-1-12  
電話(255)4501

デンマークはスカゲラック海峡とカテガット海峡に面しているが、この海峡はソ連の艦隊が大西洋へ出動するために必ず通過せねばならない重要な戦略的地域にあたっているため、NATO軍の監視所や軍事施設が多数散在している。

ヴィボルグのUFOはこれらの軍事施設を偵察するために監視所の目から隠れようとしてカモフラージュ用の雲を発生させたものと考えられる。

他のケースとの比較

ケースI

撮影月日——1956年7月

撮影場所——南ア連邦ナタール郡

キヤスキン上空

撮影者——エリザベス・クララ

機体のまわりに白い蒸気(霧、雲)を発生させている円盤。機体のまわりの空気を人工的にイオン化しているのかも知れない(自然現象としての空気のイオン化は地上60〜65キロメートルの高々度でしか起こらない)。ヴィボルグ(ヨーロッパ、1974年)とナタール(アフリカ、1956年)という二つの異なった場所、時間において同様の現象が目撃されていることに注目しなければならぬ。

口絵P.3よりつづく

# ケビクツキー氏のUFO写真鑑定

ケースII

撮影場所——1957年9月

撮影場所——米国ヴァージニア州フ

オート・ベルボワ陸軍基地

撮影者——匿名の兵士(NICAP

提供)

撮影データ——コダック・ブローニ

127、コダクローム(白黒)フィルム

ヴァージニア州フオート・ベルボワ

基地にいた米国陸軍の兵士が、兵舎と木の上にくつくりと飛んで来た奇妙な黒いリング状物体の写真を撮影した。

その兵士は基地の建物の中で働いていたが、仲間の兵士が変なものが見ていると叫ぶのを聞き、急いで近くに駐車してあった自分の車に走ってカメ

ラをとり出し、6枚の連続写真をとった。1枚目の写真は兵舎の向こう、2番目は手前に近づいてきたリングを写しているが、3〜6枚目はそのリングが急速に雲を発生させて1分もしないうちに雲の中に隠れてしまったことを示している。

(図A参照)

2番目の写真では、リングの内側に背景の雲が見えている。リングの直径は約20メートル、輪の厚さは1〜2メートルと推定された。

このように、UFOと軍事施設との間に関連性があることは明らかである。

ケースIII

撮影月日——1975年1月11日

撮影場所——米国テキサス州コーパ

ス・クリステイ

撮影者——ジョン・ハーディング

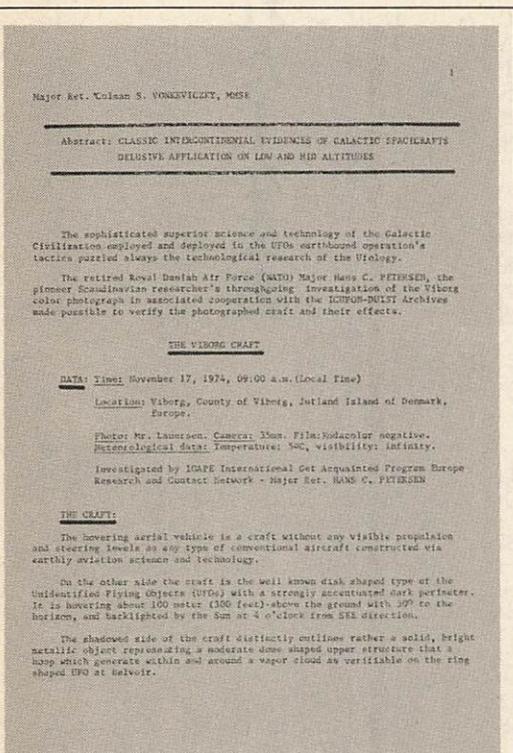
(ロナルド・スモートク資料室提供)

撮影データ——35ミリカメラ、スラ

イドフィルム

ハーディング氏は、直径約20メートルの黒いリングがメキシコ湾上空600メートルのところを時速約200キロのスピードで南東方向に飛んでいるのを撮影した。

リングの形状には何らの変化もみら



▲ケビクツキー氏とハンス・ペテルセン氏によるヴィボルグのUFOの調査報告書(一部分)

れなかったとの事であるが、いったいどうやってリングが飛ぶことができ、なぜコーパス・クリステイ上空を飛んだのか。コーパス・クリステイはアメリカでも最大規模の精油所がある地域で、大西洋西部地域での国際的に重要な石油積出港であり、軍事施設もある。

ケースIV

撮影月日——1978年9月

撮影場所——アルゼンチン、サン・

カルロス・デ・バリホレ、リオ・ネグロ

撮影者——エリータ・ペレス・デ・

コリエト夫人（1978年10月8日付

CLARIN REVISTA MAGAZIN、

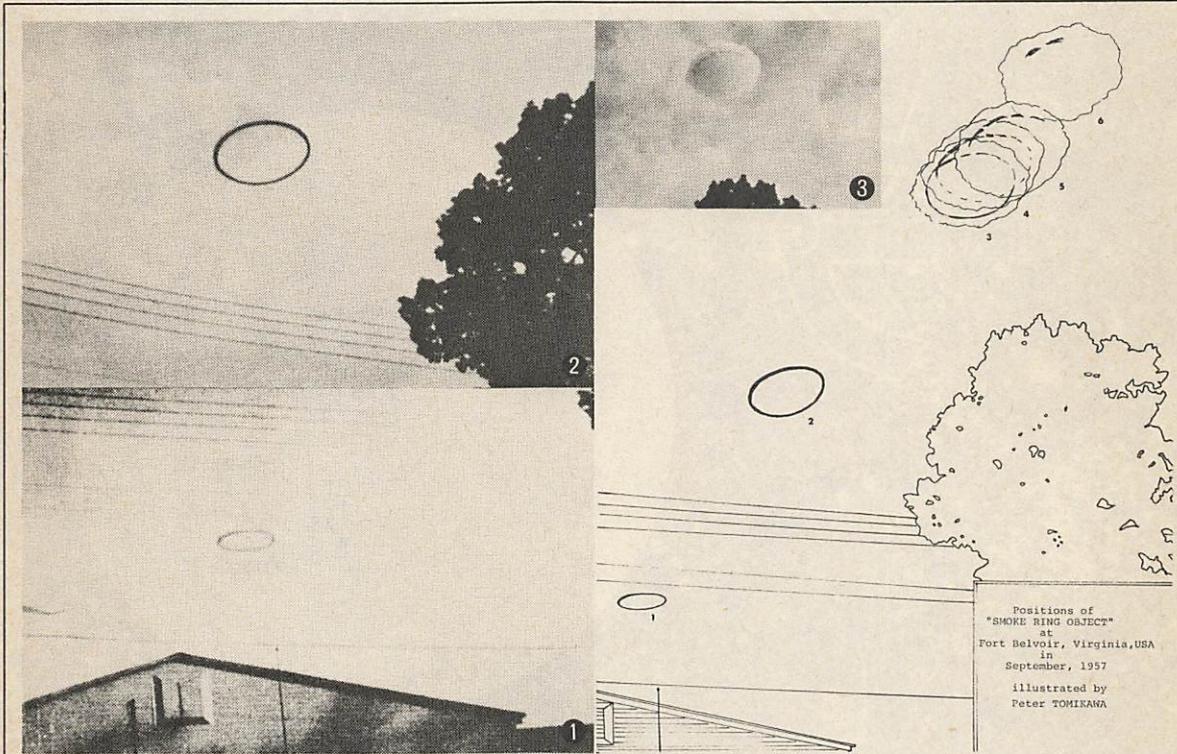
掲載）

アルゼンチンの平原上に浮かぶ「UFO型」の雲の写真である。これまで見てきた「雲を発生させるUFOの写真」を考えれば、このアルゼンチンのUFO型の雲の中にもUFOが隠れている可能性を否定できるだろうか？

富川正弘訳

訳者あとがき

公平を期すために記しておく、フオート・ベルボア基地のリング状UFOについては、例のコンドン委員会によると「原爆模倣実験により発生したディーゼル燃料による黒いリング状の煙が風に吹かれて移動しているうちに、



▲1957年9月、米ヴァージニア州フォート・ベルボワ陸軍基地の兵士が連続撮影に成功したリング状物体。下から1、2枚目。

▲図A フォート・ベルボワ基地上空に出現した物体は図のように移動した。数字は写真撮影時の物体の位置。（イラスト・富川氏）

黒い煙の中から白燐によって作り出された白い煙が噴き出したもの」という説明がなされている。（高梨純一氏著『世界のUFO写真集』247〜249頁参照）

また、いわゆるスモークリングはほとんどのものが何かを燃やしたときにできる黒煙が原因であろうということになっているほか、ケースIVの雲の写真のようなものは「レンズ状の雲」であるとされている。

しかし、今回のウイボルグ上空の写真やコーパス・クリステイ上空のリングの写真に基づくケビクツキー氏のレポートを読むと、リング状UFOと雲の関係についても再考してみる価値があるのではないだろうか。

ケビクツキー氏は元軍人であるためすべてのUFO現象を軍事的観点からとらえる傾向があり、このレポートもUFOと軍事基地とを結びつけて考えすぎているくらいがないわけではない。しかしUFOは雲をカモフラージュに用いるというケビクツキー氏の主張が読者諸兄の参考になれば幸いである。ちなみに、訳者がプエルトリコで収録したUFO目撃ケースにも、飛行機が接近すると雲を発生させて隠れ、飛行機が通りすぎるとまた雲の中から現われたUFOの目撃報告がある。

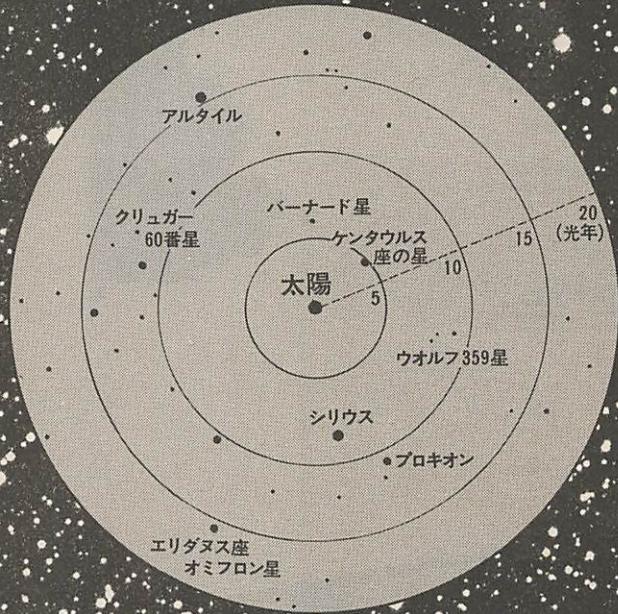
## 近太陽系空間をさぐる

わが住む太陽系を中心にして、広く付近の星の宇宙を見渡してみよう。

天文学的な宇宙の果て、あるいは何百光年、何千光年先の話ではない。太陽系のすぐお膝元、ほんの5〜20光年くらいのところの空間に、一体どんな恒星が、どんな星々の異世界があるのだろうか。

地球上の国々なら世界地図を広げれば一目瞭然。同様に、大宇宙の星々についても、その分布はさまざまな星図なり星座図なりで調べることができ。だがさて、ひるがえってわが太陽系を中心にしたごく近傍の空間に限ってみると、それについての精密な宇宙マ

# 20光年 宇宙マップ の謎



ップはまだまだのようだ。無論、すでに太陽系外へ向かう探査ロケットをいくつも送り出したアメリカのNASAなら、そうした宇宙マップを作製しているだろうが、今のところ臆測のかぎりでない。

おそらく、さして遠くない未来に、人類がこの太陽系を離れてはるか恒星空間へ乗り出すようになれば、真つ先に必要となるのがこの近太陽系のルート・マップ、あるいは近宇宙マップであろう。

ところで、宇宙空間は三次元の広がりをもつ。その中に星々は立体的に分布している。それをいかにして二次元の平面地図に表わすか。これは地図作製の新技术を要するだろうが、いちばん簡便な方法をとるなら、太陽をめぐる地球の軌道面を水平に延長し、その上に星々の立体的な位置を投影すればよい。

太陽を原点として、といっても大宇宙的に見ればほとんど地球を原点とするに等しいが、とにかくそうした原点から5光年毎にバウンダリー（境界）をおき、原点からの星々の方向と光年距離を基準にその位置を記入する。

その場合、方向については立体的に90度の範囲があるので、それを前記の仮想軌道面に投影すれば、どうしても、

実際には互いに大きく離れていながら、宇宙マップ上ではしごく接近しているかのように見える。

そういう幾つかの難点があるにしても、この方法による「宇宙多弧式マップ」は、太陽系の近空間の星の分布の、おおよその見当をつけるのに便利。いわばポケット版宇宙地図の試作と思えばよい。

## 近距離恒星の分布密度

現在までの観測データによれば、太陽から16・3光年の範囲内の主な恒星の数は32。つまり、その距離を半径とする球をつくれれば、内側にそれだけの数の恒星が含まれる。

範囲をさらに広げ、半径を2倍の32・6光年とすれば、内側に含まれる恒星の数は127個に激増する。しかもこれらの星々の中には二重星や三重星も含まれるから、実際の数はもうすこし多くなる。

そこで、このデータをもとにして太陽系近傍の恒星のおおよその分布密度を求めることができる。だいたい10光年立方の空間の中に8個の割合、すなわち125立方光年につき1個であり、

さして遠くない将来  
人類は太陽の勢力下から脱出して  
恒星空間へ乗り出していくことだろう。  
その時、わが太陽系の近傍にはいったい  
どんな星々が待ち受けているのか  
20光年のかなたまで探ってみよう。

一辺の長さ5光年の立方体をつくれれば、その空間がほぼ1個の星の占める空間になる。

しかし、これはあくまで概算であり、今後の観測精度の向上しだいで星の分布状態はもうすこし密になるだろう。

アメリカの天文学者ファン・デ・カンブによると、16・6光年以内の星は55を数える。うち、太陽のような単独星が31、二重星が9、三重星が2である。

このように、それぞれ学者者によって太陽系近傍の星の数に多少のバリエーションがあるのは、たとえば太陽の1万分の1の光しかださないような矮小な星を、どこまで数のうちに入れるかにもよる。太陽系近傍の星のおよそ3分の2が、そうした微小の赤色矮星で

あり、わが太陽よりも大きな星というところ、ほんの幾つもないのである。

しかも、今後の観測精度の向上によって増加するのは、そうしたかすかな矮小の星ばかりなのだ。いわば群がる矮小の星々と、その中に散らばるいくつかの少数の大型太陽星。おそらくわが銀河系星雲の大部分にしてもそういう混合比になっているのであり、わが太陽の近傍空間はそういう銀河系星雲の典型的な切断面、それを露わにしているといえよう。

したがって、わが太陽系の近傍では、星の分布密度はだいたい4〜5光年立方に1個の割合と考えられる。なんと弧立的な存在か。まるで公会堂の大ホールの中に米粒をパラパラと撒い

たよりもつと寥々としている。

たとえば、地球からいちばん近い星までの距離を考えよう。近宇宙マップでいえば5光年バウンダリーの中のただひとつの星、ケンタウルス座のアルファ星であり、簡単に図示されこそすれ、実際のそこまでの空間はじつに広大なのだ。

いま、仮に1万キロメートルを1ミリまで縮めてみる。太陽から冥王星までの距離(太陽系の半径)は約600メートル。その先の、いちばん近い恒星ケンタウルス座のアルファ星までは3400キロとなり、ちょうど東京からアリュウシヤン列島くらいまでの距離である。なんと太陽系を2800個以上ならべないと到達しないのだから、その空々漠々さたるや、気が遠くなる。

### ●星の世界への入口

こうした果てしない虚空のなかで孤獨に光りつづける星の世界への最初の入口がアルファ・ケンタウリ星である。将来の宇宙観光旅行の最初に足をとめる宇宙名所の筆頭なのだが、残念ながら南天の星なので、北半球にある日本からは観測できない。

宇宙マップ上で正確に距離を測れば、地球からアルファ・ケンタウリまで4・3光年。1秒30万キロメートルの光の速度で飛んで4年と4ヵ月かかるの

である。

「そんなに長い間、なにもない宇宙空間を飛んでいたら退屈でしょうがないだろう」

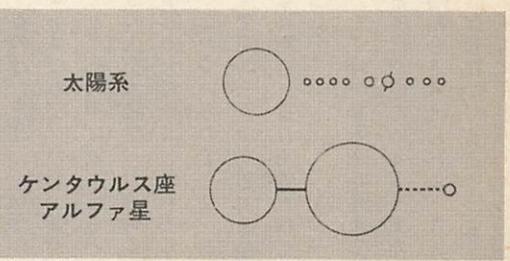
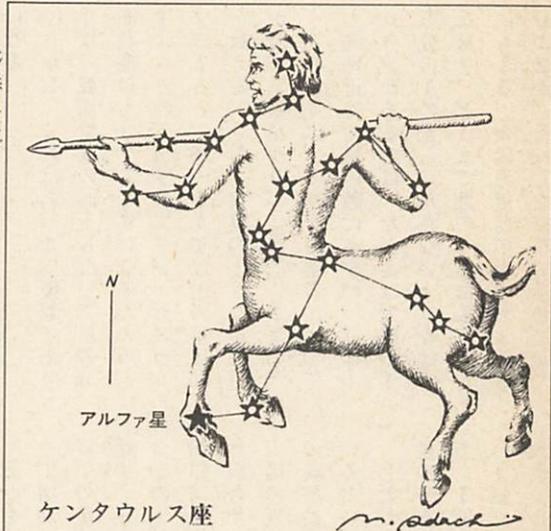
と思うと、さにあらず。有名なアインシュタインの相対性原理によれば、光の速度で飛ぶ人間は時間停止状態となる。つまり、年齢をとらない。したがって、もし一瞬にして光速飛行にうつることのできる乗物なら、アルファ・ケンタウリまで往復してもほとんど現地滞在時間しか加齢せず、東海道新幹線に乗っているよりも退屈する暇はないだろう。だが、その間、地球では8年と7カ月がまたたく間に過ぎ、今様浦島太郎となる。

ともあれ、将来現われるだろう超相対論的宇宙飛行体、たとえば現代科学の最前線のひとつ、ホワイトホール経

〈5光年圏内〉

# 唯一の星アルファ・ケンタウリ

さて、近宇宙マップの最初に訪れる観光地アルファ・ケンタウリだが、ここは地球上では絶対経験できない「二重太陽」の世界である。仮にこの星に惑星があるとすれば、その表面に降り立ってみれば、だれしもとまどうのは頭上に輝く色違いの太陽だ。赤く光るの



由の垂直宇宙宇宙船などによれば、さしもあるほどの宇宙も十分、人間の飛びまわり活躍する新世界となりうるだろう。

と黄色く光るのと2つあり、地面に投ずる自分の影もまた2つできる。スマートな気密服スタイルの宇宙観光ガイド嬢が説明することだろう。「皆さま、ごらんくださいませ。頭上に輝く2つの太陽のうち、まぶしく黄色く輝く方はその大きさ、光度、表面

温度、質量とも、太陽の双子かと思われるほどよく似ていますが、それと接近して輝くもうひとつの太陽は、ほんのわずかオレンジ色で、その表面温度4300度、地球の太陽(6000度)の3分の1の光しか放っています。そして、この2つの太陽は互いに他を追うようにして円を描き、80年と1カ月の周期で公転しています。したがって、この惑星の世界では、40年毎に2つの太陽が重なってひとつになるという、世にも珍しい奇観が見られるのでございます。とくに、小さい方の太陽が前面になる時、その中心部の黄色っぽい輝きと、

それをかこむ周辺の暗いオレンジ色のふちとのコントラストがじつに素晴らしい、それはそれは美しい見ものである。すよ。のちほど、そうした奇観のいちばんよく見える宇宙ポイントのひとつに、当観光船でご案内する予定でございます」

ケンタウルス座のこの2つの星の小さい方をアルファA、大きい方をアルファBと呼ぶ。アルファBは太陽の質量の0.91倍しかないのに、直径は逆に大きく約1.5倍ある。それだけひどく膨張して準巨星の段階に達しているのだ。

両星の距離はだいたい地球と太陽間の24倍で、ちょうど天王星と海王星の間ぐらいに当たる。

●プロキシマ・ケンタウリ

ところで、ずっと接近してみると、このアルファ・ケンタウリは二重太陽どころか、3つの星の重なる三重太陽の世界なのだ。さきの2つの太陽すなわちアルファA、アルファBを中心にして、はるか離れたところをめぐるもうひとつの太陽があり、それだけ二重太陽よりも地球の方に接近しているの

で「いちばん近い」という意味から「プロキシマ」(4.25光年)と呼ばれる。しかし、近年の観測によると、この

プロキシマよりもさらに太陽系の方へ接近した微小な矮星が見つかったとの報告もあるが、まだ詳しいことはわかっていない。

ところで、プロキシマ・ケンタウリにしても、たいそう暗い赤色の微かな星であり、太陽の2万分の1の光しか出していない。地球からでは大望遠鏡でなければとても観測できない低温の11等星だ。それでも、なおかつ自己内部の熱源によって光っているのだから恒星の仲間であることは間違いなく、中心の二重太陽のまわりを少なくとも数千年以上の公転周期でめぐっている。そのあまりに大きな軌道のため、正確な公転周期がまだわからず、また星の質量も確定していない。

一説によると、プロキシマ・ケンタウリの公転周期は30万光年だともいう。いちばん近くに位置しながら、むしろいちばん謎の星でもあるプロキシマ。その低温の表面(2000度)では、いったい何が起きているのか。一面ドロドロにとけた血のように赤い溶岩の荒波が荒れ狂っているのか。ときどきその波間から天に沖するすさまじい火柱が吹きあげる。わが太陽系の表面においてもしばしば起こるフレアーであり、このためプロキシマの光度はわずかに数時間で2倍にはね上がる。なぜ

こんな微小な赤色矮星でありながら、太陽をも凌ぐすさまじいフレアーが起るのか。まだ、いっさいが謎に包まれている。たぶん星の内部でときたま急激に進行する核融合反応のせいではないだろうか。

宇宙じゅうを見渡すと、こうしたア

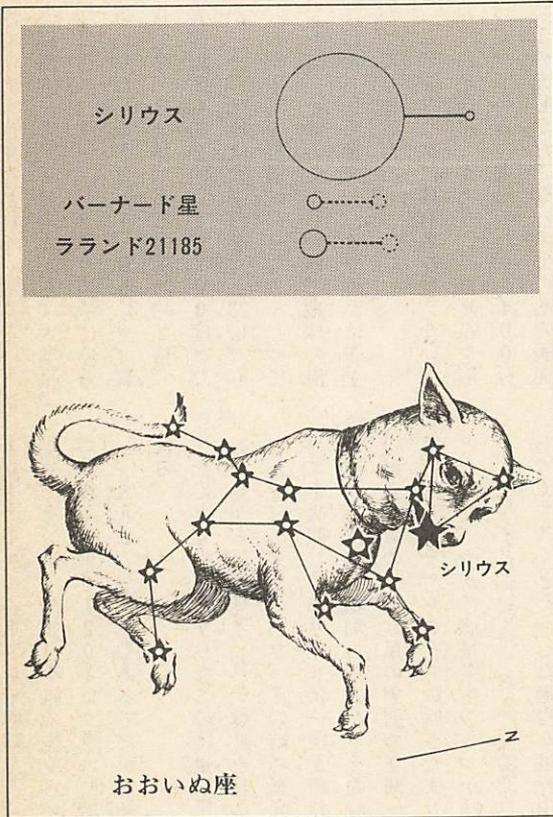
〈10光年圏内〉

# 大小およそ10の恒星が分布

ではつぎに、近宇宙マップのバウンダリーを一段拡大し、あらたな空間域、5光年から10光年の間に含まれる星の世界をサーチしたらどうか。ここには

ルファ・ケンタウリのような多重星は意外と多く、よく知られる北極星もじつは三重星である。太陽系の近傍ではほかに白鳥座61番星(後出)が三重星であり、またエリダヌス座オミクロン星(後出)もどうやら白色矮星によってつながらる三重星系を構成している。

大小およそ10の恒星が分布し、有名な「天の寶石」とたたえられるマイナス1・4等の青色星シリウスも、この圏内の一員である。



●バーナード星

しかし、太陽系からの距離でいえばまず6光年のところに位置するバーナード星をあげねばなるまい。はるか、へびつかい座にあり、とくにこの星の研究で名をあげたアメリカの天文学者バーナード(1857~1923)の名にちなんでいる。直径は太陽の6分の1。表面温度2000度で、太陽の2500分の1の光しかだしていない微かな赤色矮星。

それでいて個人名がつくほど有名なのは、この星の異常なスピードだ。ほかの星もそれぞれ固有運動をしているのだが、距離が遠くて地球に貼りついたように見える。それに対してバーナード星はわずか数年間の観測ですらその動きを肉眼的に確認できる。月のさしわたしくらいの地球上の距離を188年間で突っ走ってしまう。

この星はまた、暗くて見えない伴星をもつ二重星でもあり、未来の宇宙旅行の中継点、休息所にはもってこいだろう。

●多くのフレアー星

10光年圏内にはプロキシマと似た激しいフレアーを吹き上げるフレアー星が多い。それらの星を記載した星図作成者にちなんで呼ばれるライテン726-8、ラランド21185、ロス1

54などみなフレアー星であり、その中でもウォルフ359は現在知られているいちばん微かな星のひとつだ。距離は7・8光年。赤色微光星で表面温度2500度以下。太陽にくらべて約4万5000分の1の光しか放っていない。

同じくランド21185星も、太陽の3分の1の大きさしかない赤色矮星であり、表面温度は2870度。太陽の約200分の1の光しかだしていないが、共通の重心をめぐる暗い見えない伴星をもつ二重星。距離は8・2光年だ。

どちらかといえば、将来いつの日か、これらの微小の星は宇宙のガソリンスタンドともいえる各種の物質補給所となるだろう。低温で低重力だから、簡単に星を切り刻んだり加工したりもでき、なんならストローのように星の表面からパイプで必要物質を吸い上げることもできよう。

### ●「神の星」シリウス

この10光年バウンダリー内で、いや20光年のところまで手を広げて、最大の星は古代エジプト以来「神の星」として崇拝されてきたシリウス（天狼星）だ。この星からいち早く宇宙探検船団が太古の地球にやってきて、アフリカの一部に植民地をつくりあげたと

説く学者も近年現われているくらい。

距離8・7光年であるから、大型星ではアルファ・ケンタウリの次にくる近い星だ。大きさは（1・95倍）、質量（2・34倍）とも太陽の約2倍。表面温度も約2倍（1万700度）だが、その光度は太陽のなんと23倍。もしわが太陽の位置にシリウスをもつてくれば、そのおそろしい熱で地球の海洋はたちまち蒸発し、カラカラに干上がったしまうだろう。

このシリウスには有名な見えない伴星「白色矮星」があり、二重星系を形づくっている。太陽のわずか400分の1の光しかださないのに、その表面温度は8550度。それからすると大きさは地球の約2倍半でありながら、その質量は太陽とたいして変わらず0・98倍。いいかえれば太陽を地球の2・5倍ほどに縮めたのと同じなのだから、じつに大変な密度になる。なんとこの伴星の密度は水の12万倍。

### 〈15光年圏内〉

## いくつかのハイライトの星

さて、ここまでで、ひとまず宇宙マップの半分を調べ終えたことになるが、残りの星の数からすれば約2割に満たない。バウンダリー15光年までには主

1立方メートルの重さが平均12万トン。1立方センチ、つまり小指の先ぐらいの物質でも重さ120キログラムに達し、大人2人分ほどもあるのだから呆れる。

なんとも常識はずれなこの矮星、星の一生からすればその昔、大爆発を起こしたなれの果てであり、その時の爆発ガスを吸収してシリウスは一段と膨れあがり、体積を増加したのだ。その時の爆発ガスの一部は星の周囲の空間へ逃げ出し、そっちこちに吹きだまりとなつて、やがて惑星誕生のきっかけとなつたかもしれない。あるいは現在、ちやくちやくとそうした過程が進行中なのだろうか。

シリウス星系の物理条件からすると、この星を中心に公転する惑星上の生物は熱と光にかなりの耐性をもち、また私たちとは違う時間意識の持ち主で、どちらかといえばノンビリ型であると考えられる。

たとえばバウンダリー15光年以内にある星に近いものから順に挙げれば、次のようになる。いささか退屈だろうが、星を専門的にどのように呼ぶかだけでも参考にしてほしい。ロス248、エリダヌス座エプシロン星、ロス128、

白鳥座61番星、ライテン7899-6、プロキオン、印度人座エプシロン星、ストルーヴェ2398、グルームブリッジ34、鯨座タウ星、ラカーユ2352、BD+5°1668、ラカーユ8760、カプタイン星、クリュガー60、ロス614、BD-12°4523、ファーン・マーン星、ウォルフ424、グルームブリッジ1618、CD-37°15492、ざつと以上だ。

このうち、宇宙物資補給所として使えそうなフレアー星を拾えば、11・3光年のライテン7899-6、13・1光年のロス614、14・6光年のウォルフ424となる。

バウンダリー15光年内にはいくつかのハイライトの星がある。それを個別に列記してみよう。

### ●エリダヌス座エプシロン星

距離10・8光年。大きさは太陽の0・9倍。その表面温度4650度で、われわれの太陽にかなり似ている。しかも、この星は自転速度の遅いことでも注目されている。なぜなら、それこ

そ周囲に惑星系をもつしるしだからだ。

しかし仮に惑星があったとして、そこに住む生物はひじょうに光に敏感だろう。太陽のわずか4分の1にすぎない光量。そうした光の乏しい環境に育つ生物の眼は異常に大きく、ネコの眼のように薄明かりの中で光るだろう。

#### ●白鳥座61番星

距離11・1光年。明るいのと暗いのとだいたい同程度の大きさの双子星。明るい方をA星とよび、太陽の大きさの0・7倍。表面温度は4200度。明るさは太陽の20分の1にすぎない。一方、B星の方は大きさ0・7倍。表面温度3400度。明るさはA星の約

2分の1であり、血のように赤い色をしている。

この2つの星は共通の重心のまわりを約720年の周期で回転する。近年になって、このA星の方に暗く見えない伴星が発見された。太陽の100分の1程度の質量。とても恒星といえる規模ではないが、さりとして惑星ともいえない。太陽系最大の惑星である木星ですら太陽の1000分の1の質量である。こういう恒星と惑星の中間に位置する星の研究はまだほとんど手をつけられていない。

#### ●プロキオン

これも二重星系。大きい方の主星の

温度は6300度で、太陽よりも約6倍多い光をだしている。質量は太陽の1・5倍あるが、直径は太陽の1・7倍なので、平均密度は太陽の3分の1しかない。これまた爆発ガスを吸収して膨れ上がっているのだ。

それを裏づけるように、共通重心のまわりを周期40年で公転する白色矮星がある。ひじょうに微かな星で、表面温度は7000度に達するのに、太陽の4万分の1の光しかだしていない。おそらくシリウスの伴星と同類であり、過去に大爆発した星のなごりだろう。

#### ●距離は11・3光年。

#### ●インド人座エプシロン星

距離11・4光年。大きさは太陽とほぼ同じ。しかし、表面温度は4300度と大幅に低い。オレンジ色の星で、明るさは太陽の10分の1。将来、星をめぐる人工の第二の地球建設の候補地として最適だろう。

#### ●鯨座タウ星

距離11・8光年。太陽によく似た黄色の矮星であり、大きさもほぼ太陽なみ(0・7倍)で、表面温度(5450度)もそう大きく異なっていない。ただ光量が太陽の3分の1とはいえず、その自転速度がとてゆつくりしていて、周囲に惑星系をもつのではないかといわれる。

それで、ひと頃アメリカで立案された宇宙人の電波をとらえるオズマ計画では、エリダヌス座エプシロン星とともに、この星へ大電波望遠鏡が向けられたのだが、少なくとも21センチ波に

対する反応はなかった。しかし、むしろ、長距離通信のための実用電波の波長域はもっと広いのである。

#### ●クリュガー60番星

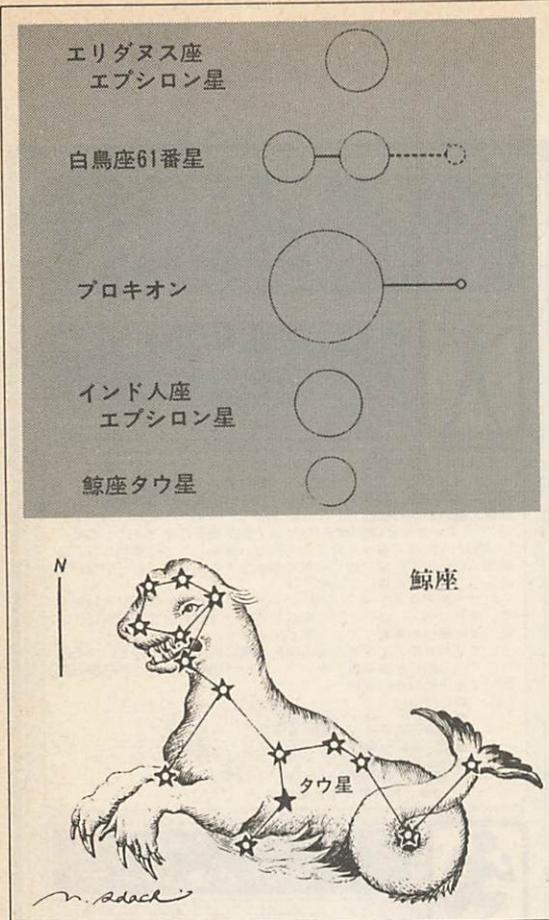
これも二重星系。A、B両星とも赤色の微かな星だ。主星は表面温度が2880度で、太陽の400分の1の光を放っている。大きさは太陽の約半分。だが、質量はちょうど4分の1だから、平均してみると太陽にくらべ2・5倍ほど物質が緻密に詰まっていることになる。

伴星はこれよりちょっと低温で、太陽の2000分の1の光を放っている。質量は太陽の7分の1。したがって両方合わせても、わが太陽の4割にしか満たない可愛らしいミニサイズの双子だが、伴星の方がフレアー星なのが変わり種。たがいには15億キロメートル(約太陽-土星間の距離)離れて、44年の周期で公転しあっている。

#### ●距離は13・1光年。

#### ●ファン・マーン星

距離14・3光年。おそらくシリウスの伴星の同類だと思われるが、一見、



〈20光年圏内〉

# 近宇宙マップの最外縁

さて、残る近宇宙マップの最外縁は20光年のバウンダリー。このあたりになると星の数も激増するが、それだけに個々の星の名もひじょうに形式的で記号的になる。ちなみに今まで登場し

なかったものをいくつか挙げてみれば  
 AOe 17415-6, CC658, HR7703, WD36395, CHe 18の2354など、とても星図と首つ

引きでなければ記憶できない。  
 この伴星の大きい方は太陽の5分の

●エリダヌス座オミクロン星

近いものから順に訪れれば  
 距離16・3光年。奇妙な三重連星系だ。主星のまわりを二重星の伴星が互いにくるくると回りながら公転している。  
 この領域にも、主な星32のうち、フレア星が少なくとも4個あるが、立ち寄って一見するほどの値打ちがある星はその割に少ない。ただひとつ、七夕祭の牽牛星で知られるアルタイルくらいのもので、ほかに特色あるものといえはエリダヌス座オミクロン星、カシオペア座エータ星くらいなものだ。

●アルタイル

1の体積と質量の赤色矮星。一方、小さい方は太陽の50分の1しかない白色矮星だが、太陽の6万4000倍の密度をもつ。そしてこの赤と白の2つの矮星は互いに共通重心のまわりを250年の周期で回りながら、さらに主星を中心にしてそのまわりを回っている。  
 一方、主星の方はほぼ太陽なみ(0・7倍)だが、表面温度は4900度とやや低く、その放つ光も太陽の約3分の1。たいして特徴のない星なのだ  
 が、この主星のまわりをめぐる二重伴星の公転周期は途方もなく長く、まだつきとめられていない。

はなはだ奇妙な星だ。表面温度が約7500度に達しながら、その放つ光はひじょうにわずかで、太陽の7000分の1にしかならない。  
 これから計算すると、直径は太陽の0・007倍にすぎないのだ。質量は

どのくらいなのか、まだよくわかっていないが、大体、太陽の7分の1と推定されている。もし、それが正しいとすれば、この星の内部は平均して太陽のざつと40万倍の密度で、物質が緻密に詰まっていることになる。

## 大好評!

定評あるS.E.I.の新しい「自己開発、自己コントロール」テープ集



全く新しい  
 「S.E.I.式新自律訓練法」  
 全9ステップ完全習得テープ

「自己暗示訓練用テープ付」全6本セット

今迄の「自律訓練法」は「自律神経の働き」そのものが弱っているにもかかわらず、それを言葉で「腕が重い」「暖かい」等という自律訓練の結果(現象)の方から入っていく事に習得の困難さや、効果の低さがありました。

この「S.E.I.式新自律訓練法」は私達の自律神経の働きそのものや、「人間のつば」等の働きを身体の内部から確実に大きく開発しながら、結果的に私達の自律神経や心身の働きを大きく高め、自分自身を深いトランス状態に導いていきます。それが全体で9ステップ(段階)に分かれ、キメ細かに設計収録されていますから、このテープを実践していけばだれにでも確実にこの新自律訓練法を習得していく事が出来ます。そしてそれを更にあなた自身の自己開発に応用し活用してけるように「自己暗示訓練用導入テープ」も付けられていますから更に効果的で総合的な自己実践テープです。

- ▶ 心身の自己コントロール力を自分で高めたい方へ……
  - ▶ 疲れにくい健全な心身と自分を作りたい方へ……
  - ▶ 自律神経や身体の働きを高めていきたい方へ……
  - ▶ 自己暗示効果を高め、自己暗示力を深めたい方へ……
  - ▶ 自己集中力を開発していきたい方へ……
- 従来の自律訓練法よりはるかに確実で、より高い効果が期待できる今話題のテープです——



S.E.I.行動意欲増強テープ  
 (心の自信回復法テープ)

心にもいつも強い意欲と充力感を

上記「新自律訓練法」の基礎段階を応用しながら、新しい「心のエネルギー充力法」により、あなたの心と身体に強い意欲と充力感を植えつけていきます。そしてその訓練を継続していく事によって、あなた自身に真の行動意欲と自信が定着していきます。

- ▶ 自分自身に強い意欲と自信を植えつけたい方へ……
  - ▶ 困難や障害になじろがめ強い自分になりたい方へ……
  - ▶ 自分の無気力を自分で克服していきたい方へ……
  - ▶ 自分自身の行動力と充力感を高めていきたい方へ……
- ……etc.



心のクリーニング法実践テープ  
 (自己客観視訓練による心の浄化清浄法テープ)

心をもいつも若く美しく、さわやかに

自分自身をどこまでも客観的に見つめ、引出していくことによって自分の心を常に冷静で、さわやかな心に戻していく「心」の自己コントロール訓練テープです。あなたの心をもいつも若く、美しく、さわやかに保っていきます。

- ▶ 心のイライラやムシャクシャ等を静めていきたい方へ……
  - ▶ 心の汚れや不感傷や、疲労感を自分自身で取り除いていきたい方へ……
  - ▶ 心のあせりや空しさ、倦怠感等を自分自身で取り除いていきたい方へ……
- (「文化放送」取材内容同時収録) ——完全手引書付——

価格 (送料込み)

テープ内容	テープ数	価格	分割払い
S.E.I.式新自律訓練法テープ	6本	28,800円	7,800円×4回払い
S.E.I.式行動意欲増強テープ	1本	7,800円	
心のクリーニング法実践テープ	1本	7,800円	

お申込みはハガキか電話にて、住所、氏名、電話番号、支払方法を明示の上、下記へお申込み下さい。  
 [代金は現品到着後あと払いです。電話は月曜・祭日を除く。]

S.E.I.自己確立科学センター  
 〒160 東京都新宿区荒木町5-9 津の守会館5F  
 TEL.03(357)7619(代)

あなたとあなたの心が確実に変わっていく  
新しい自己変革創造法

## S.E.I.セルフクリエーションシステム

—S.E.I.式自己発見分析法—

自分の心を科学的なステップとプログラムにより、どこまでも深く深く徹底的に掘り下げ、探求していきます。そこから自分が本当に信じられる「確かな自分」を、あなた自身で確実につかんでいく事ができます。それは自分自身に本当の確信と信頼を確立する事です。それがこのS.E.I.セルフクリエーションシステムです。

### S.E.I.セルフクリエーションシステムの具体的な目的、内容

- 自己能力開発と再発見の為に…
- 「対人意欲、対人関係能力」開発の為に…
- 「勉強意欲増進、学習能力」開発の為に…
- 「異性関係能力」開発の為に…
- 「親子関係能力」開発の為に…
- 「自己主体性、自己自立心」確立の為に…
- 「人生意欲、勤労意欲」開発の為に…
- 「自己性格改善、自己改造」促進の為に…
- 「自己目標、人生目標」開発発見の為に…
- 「自己形成、人間形成」促進の為に…
- 「心の安心、やすらぎ、確信力」開発の為に…
- 「心の充実感、心の活力」開発の為に…

### S.E.I.セルフクリエーションシステムの「自己実践用完全教材」特別配布の御案内

このS.E.I.セルフクリエーションシステムを、あなた自身で確実に進めていけるように詳しく設計された豊富な「自己実践用完全教材」を広く皆様にお分けしています。この自己実践教材は詳細テキスト、完全な指導説明テープ(全6巻)、豊富な実例ケース集、体験談集、自己実践用各種シート、直接指導スクーリング券(4回分)、質問添削指導券等からなる極めて完全なものです。

御希望の方は下記へ電話又はハガキで自由にお申込下さい。

教材費 [月々5,400円、12回払い、但し初回のみ7,400円]  
—代金後払い—

### 御希望の方には説明書送付

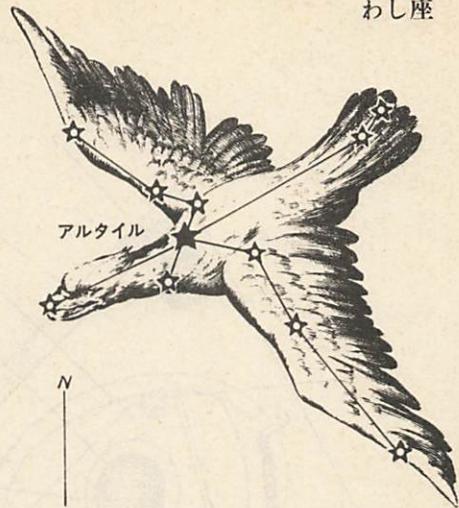
100円切手同封の上、下記へお申込下さい

(住所、氏名、電話番号、職業、生年月日等を明記の事)

## S.E.I.自己確立科学センター

〒160 東京都新宿区荒木町5-9津の守会館5F ☎03(357)7619

## わし座



エリダヌス座  
オミクロン星

アルタイル

距離16・5光年。この星がひとときわ見物なのは、奇妙にひしゃげたその形である。太陽とほぼ同じ1・2倍の大きさだが、ひじょうに速い自転速度のためミカン型につぶれていて、肉眼でもそれと認められる。表面温度は8200度ある高温青色星で、その放つ光は太陽の8倍、よほどの遮光板を用意しなければならぬ。

この星は毎秒26キロメートルの速度で、地球の方へどんどん接近している。

●カシオペア座エータ星  
距離18光年。これまた一重連星系だ。主星は黄色巨星で、伴星は表面温度約3000度の赤色微光星。この2つの

星は互いに526年の回転周期で共通重心のまわりを回っているが、その全体としての光度、温度の条件が生命発生に適していると考えられ、やや遠いが、この星域では最も有望な将来の地球植民地星として期待できるといふ。

—そして近宇宙マップ最遠の辺境に達する。そこにあるのはいかなる星か。螢火のように淡いライテン745—46星とロス47星が19・9光年の内側に、ちよつと20光年の線上にはウォルフ294星とHD36395星とがひっそりと浮かんでいるだけで、いずれもごく微小な目立たぬ赤色矮星の一群である。

実用新案  
登録中  
出願中

いま、「UFOの飛行装置」について、実用新案登録が出願されている。出願者は、大阪府堺市に住む森沢浄氏。

本来ならば特許として申請するべきと考えるのがスジだ。にもかかわらず、実用新案という形で提出している

のには、それなりの理由がある。

この飛行装置の原理が、中学校の理科の知識があればわかるようなごく基礎的なものであり、そのようなわけだから、すでに発明者がいるだろうし、また、現にその原理を応用して実際にUFOが飛んでいるのではないかと、と

いうのである。

森沢氏は、飛行原理を感覚的に理解してもらうのに、次の3つの物理的参考事例を挙げている。

(1) バケツに水を入れ、とっ手のところを持って振り回すと、バケツが横に

なっても、逆さになっても水はこぼれない。遠心力の応用である。

(2) バケツをハンマー投げのハンマーに持ちかえて振り回す。自分の体を軸にして回転し、適当なときに手を離して投げ飛ばすことになるが、もしその時、手を離すことができなかつたら、ハンマーに引っぱられて一緒に飛ばされてしまう。

(3) 首を振らずに回転しているコマは、一方の軸の先を下から支えてやると、軸が水平になっても落ちることはない。

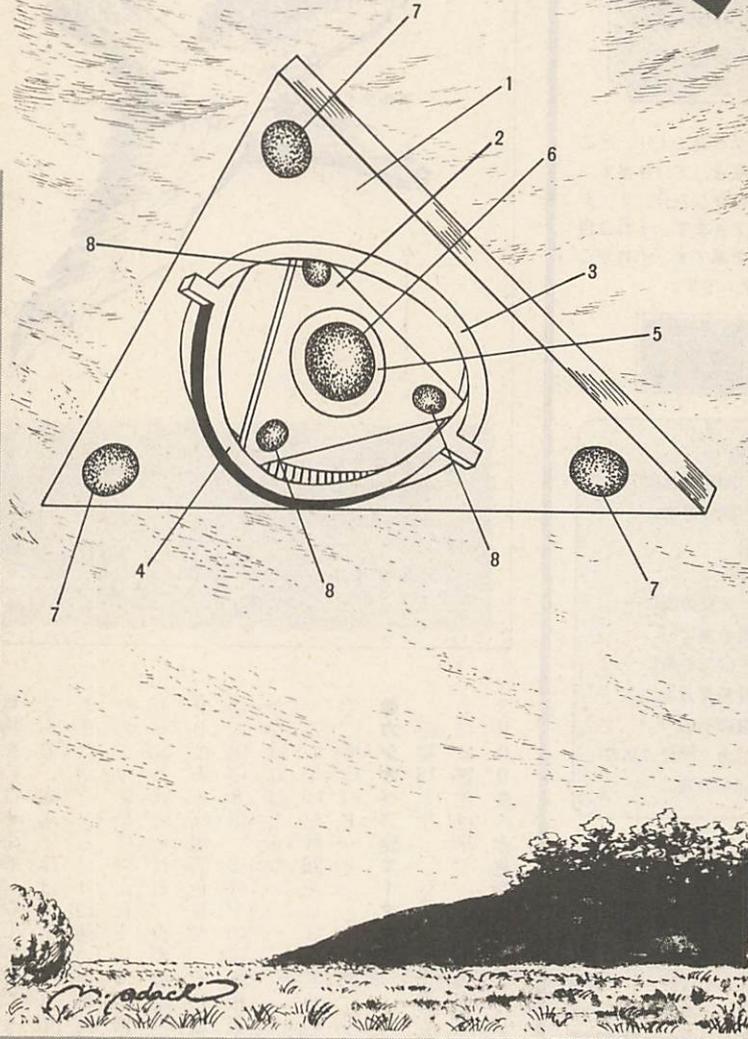
誰でも簡単に確かめられ、たいいていの人を知っていることばかりだから、これ以上の説明はいらないだろう。

### 飛行装置は正三角形

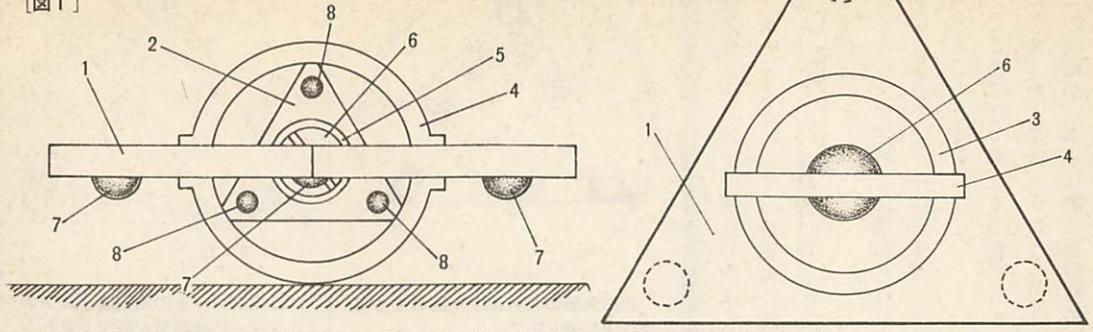
問題の飛行装置の説明にはいる。これは2つの回転プレートを組み合わせることによって構成されている。回転プレートは、正三角形をしており、それぞれの頂点の近くには、動力用の電磁石が装備される。

〔図1〕は、全体の見取図と、側面および上方から見た図である。

- ①は、水平面三角プレート
- ②は、垂直面三角プレート
- ③は、水平面用円形レール
- ④は、垂直面用円形レール



[図1]



# UFO飛行装置

森沢浄さんが考案した飛行装置。右は全体の見取図。正三角形の頂点の近くには動力用の電磁石を装備する。上は側面および上方から見た装置図。

⑤は、司令ドーム安定用レール

⑥は、司令ドーム

⑦は、水平面動力用電磁石

⑧は、垂直面動力用電磁石

①②の三角プレートは、それぞれ水平・垂直を保ちながら回転し、③④⑤のレールで、それを支える。レールには、ローラー・ベアリングのようなものを組みこみ、摩擦を少なくして高速回転にも何ら支障ないように工夫されている。

また、レールとプレートの間には、制動装置や逆転止め装置も備えてある。

中央にある球形の司令ドームは、プレートの回転の影響を受けない。このドームは乗組員が搭乗し、各種の装置を操作するものであるから、重力の方向などを測定し、常に安定した姿勢が取れるように工夫してある。

⑦の電磁石は、通称アダムスキー型円盤の底部に見られるものと同じもの

である。

ところで、この飛行装置の外形が、ふつう見られるUFOとあまりに違っているので、いぶかしく感じる人がいるかもしれない。

しかし、これはあくまで装置の骨組みである。つまり、ジェット機とそのエンジンの形が違うのと同じことなのだと考えていただきたい。

さて、概要が大体わかっていただけるところで、動力機関のメカニズムの説明に入ろう。

## 動力機関の基本メカ

[図2]は三角プレートの構造図である。

⑨は、シリンダー

⑩は、特殊鋼球群

⑪は、開閉弁つき吸気孔

⑫は、排気孔

⑬は、補助圧縮気体ポンペ

**森沢浄氏が現在試作中**

正三角形のプレートの三方の隅に動力用電磁石を設置し、それぞれの電磁石は、特殊鋼球群の装てんされたシリンダーを持つ。動力源には太陽電池などの電池が使用される。

電磁石のスイッチがONになって、電磁石が作動したとしよう。

すると、鋼球群は磁石の方に引き寄せられ、ついには磁石にぶつかって止まる。

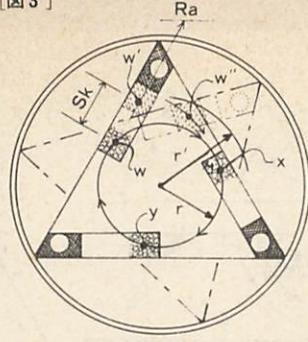
と、ぶつかった面には応力が加えられたことになり、プレートは時計まわりに右回転するのである。

この過程の間は、吸気孔の弁は閉じたままになっている。

次に電磁石のスイッチがOFFになる。すると磁力は消えて、鋼球群は力学的法則にそった自由な動きをとるようになる。

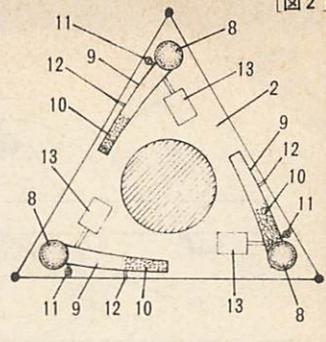
がしかし、同時に吸気孔の弁が開き空気が入りこむ。そして鋼球群は、高

【図3】



正三角形の飛行装置が回転する場合コマに働く応力。

【図2】



三角プレートの構造図。三方のシリンドラーには鋼球が装着される。

速回転で生じる強い慣性力や遠心力にさからうようにして、最初の位置つまりシリンドラーの反対側に押し戻されるのである。

また、大気圏外では吸気孔は使用できなくなるので、圧縮気体ポンプを使用することとする。

ここまでは、単なる回転のメカニズムであった。では、どのようにして、この回転が、水平移動や垂直移動に結

びつづくのだろうか？

〔図3〕のように、仮りに正3角形のコマが回転しているとしよう。

回転軸を中心にして、 $w$ 、 $x$ 、 $y$ という、おのおの同一質量のウェイトが3つの場所に均等に配置されている。

この状態で、コマのバランスのかたよりはなれない。ウェイトは回転半径上で回転し、コマの回転は首も振らずに澄んだ姿勢を保ち続けている。

いまここで、 $w$ 、 $x$ 、 $y$ のえがく円の外側に $w$ のみを射出するとしよう。

$w$ は $w$ で止まる。そのストロークは $Sk$ であり、 $w$ に移ったウェイトの回転半径は $r$ となる。いっぽう $x$ および $y$ は、相変わらず $r$ 軌道をえがいている。

そしてコマ全体には、瞬間的に $Sk$ に相当する応力(矢印記号 $Ra$ で示される)が働くことになる。

ウェイト $w$ は、この後 $w$ の中間状態を経て、もとの位置すなわち $r$ 軌道に戻る。

このようにして、 $w$ 、 $x$ 、 $y$ それぞれウェイトを一定の周期で $r$ 軌道から $r$ 軌道に射出してやり、そして順次 $r$ 内に戻すという作業過程を反復し続けるのである。

そうすれば、その周期の組みあわせ方によっては、ウェイトならびにコマ自体の遠心力を足場にして、このコマ

# 名前の波動で 人生は3度 ツキを呼ぶ

転換する

キミの名前は前生の記憶だ!! 名前の中に前生の個性が示されている。その個性を知って運勢のツキをもっと強くしよう!

## 成功カード

使用法等は添付文書参照

個人別ガイドブック(9月発行)で成功する職業が決まります。歌手ならレコード大賞とれる人。小説家、作詞家、スポーツ選手、未は大正、首相まで全て網羅されています。9月より5,000円になりますので、それまでにお買求めの方には9月中にガイドブックも差しあげます。 2,000円

## 恋愛カード

〈只今予約受付中〉

個人別ガイドブックで知り合う好きな異性が決まります。名前の波動が異性を引き付けるのです。そして恋に成功する秘法が全て網羅されています。 4月発売 3,000円

●ご希望の方はハガキに住所・氏名・生年月日・希望カード名を記入してアストロジイ宛にお申込みください。

チャンスタイムカレンダー  
—プレゼント中—

株式会社 アストロジイ  
東京都文京区本郷3-31-4

## 空中浮揚のプロセス

を自由な方向に移動させることが可能になるのだ。

最大の難関とされる、垂直面プレートによる空中浮揚のプロセスを図式化したのが〔図4〕である。

この場合、1サイクルを $(M_1)$ から $(M_0)$ まで、つまり12の小過程に分けて考える。

左下隅を着地時の図とする。最初に記号Aの電磁石が作動し、鋼球群が引き寄せられて右斜上方に押し上げる応力が働く。 $(M_1)$ の右側にある矢印がそうだ。すると $(M_1)$ の図のよう

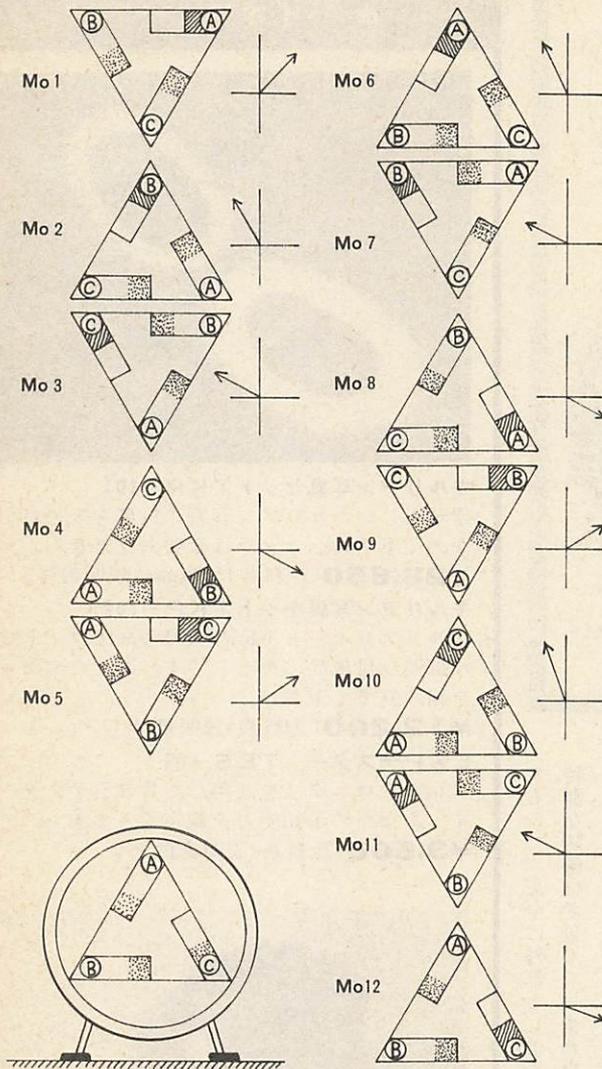
に、三角プレートは右回りの回転をはじめ。

次に、電磁石AのスイッチをOFFにし、電磁石Bの方をONに切りかえる。 $(M_2)$ の矢印の方向に応力がはたらき、図のような状態に移行する。

その次は、電磁石CがONに切りかわって $(M_3)$ となり、それから $(M_4)$ で再び電磁石BをONに切りもどす。

$(M_3)$ 、 $(M_4)$ で、矢印が水平方向でなく、少しばかり回転方向側に片寄っているのは、もちろん応力のなかで遠心力が大きな役割を持っているからだ。

【図4】



垂直面プレートによる空中浮揚のプロセス。

このようにして(Mo 12)まで進み、1サイクルを終えて、再び(Mo 1)に戻るのだが、応力の方向つまり、矢印に注目していただきたいこう。  
 (Mo 1) (Mo 5) (Mo 9)の状態では右上向き。  
 (Mo 2) (Mo 6) (Mo 10)では左上向き。  
 (Mo 3) (Mo 7) (Mo 11)では、やや左上向き。

(Mo 4) (Mo 8) (Mo 12)では、やや右下向き、である。  
 つまり、全体的に見れば、上向きの応力が圧倒的に優勢なのが一目で見てとれよう。つまり、この装置は上昇してゆくのである。  
 なぜ、このようになるのだろうか？それは、スイッチの切りかえの順序と、プレートの回転の位相すなわち切りかえのタイミングの組みあわせ、つまり

プログラミングに、その秘密がかくされている。そして、ここが森沢氏の工夫のしどころなのである。  
 スイッチを切りかえる順序をたどってみると、  
 A↓B↓C↓B↓C↓A↓B↓A↓B  
 ↓C↓A↓C  
 となっている。  
 これは簡単な組みあわせだから、ミニコンピューターや電動ターンテーブル

スイッチに組みこむことができ、たやすく自動化できるのも利点である。

## ただ今1号機試作中

ただ、3分の1サイクルの間に、不連続的に4回も大きく応力の方向が変わるので、ジグザグ走行し、フラフラして多少乗り心地が悪くなる恐れが出てくる。

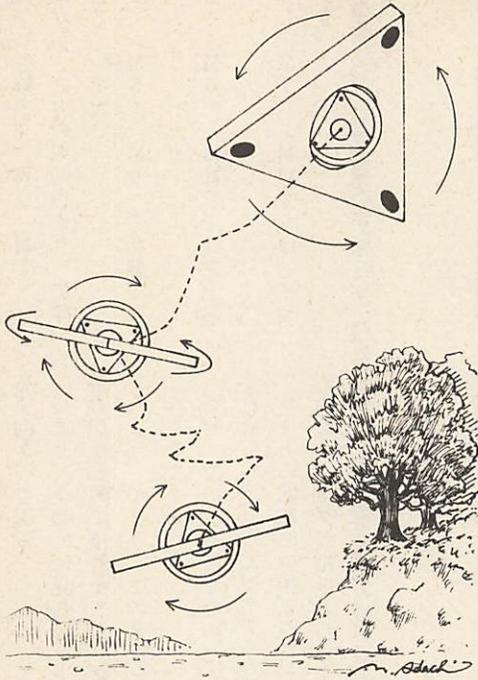
それに対する対応策としては、切りかえのテンポをできるだけ早くすることである。しかしながら、切りかえはプレートの回転の位相に合わせなければならぬわけだから、まず高速回転にしてから順次、このシステムに移行させることになる。

飛行機やジェット機のエンジンと違って、この動力装置は排気ガスや騒音公害を出さず、また広い滑走路もいらぬという長所がある。

それに対して欠点としては、シリンドラーの内部が鋼球群の運動で灼熱化するの、材質として宇宙船用の特殊超合金を使用しなければならず、したがって製作費が高つくことがあげられる。

また、地上で使用するには難点が多く不都合である。というのは、走行が不安定なので運転操作が、なかなか難しいということと、強力な磁気が発生

【図5】



するので、完全に外部としゃ断できる特別な防磁材で包んでしまわなければならないという点があるからである。

そうはいつでも、この装置の目的は空中および宇宙空間の飛行にあるので以上の欠点は問題にならないし、かつまた、宇宙ロケットなどよりは、はるかに安くつくのである。

最後に、このUFOの飛行原理を公開した責任上、森沢氏は、搭乗者としてのマナーを次のように説いている。

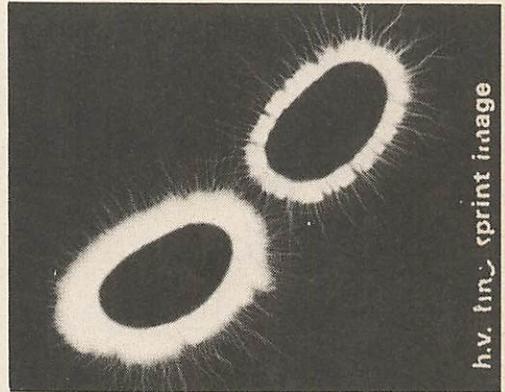
この飛行物体で他人を驚かせたり、兵器として悪用することは絶対にいけない。また、みだりに発電所や変電所や高圧鉄塔などから盗電すると大停電を

招く恐れも出てくる。所有者はくれぐれも自覚を持たなければいけない、と。

\* 以上の森沢浄氏の实用新案で、簡単な原理を応用し、比較的手近かな材料を使用してUFOを建造することができ、という可能性がさし示されたことは非常に画期的なことである。

今後、この原理の検討と実用化の可能性が大きなテーマとなるのである。けれども、飛行装置を実際に製作し、飛ばせてみせ、実際に証明してみせるのがいちはん、ということ、森沢氏は現在、第1号機の試作にとりかかっているそうである。

## キルリアン写真 & バイオフィードバック



### キルリアン写真セットTKP-101

素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。

¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

### キルリアン写真キットTKP-102K

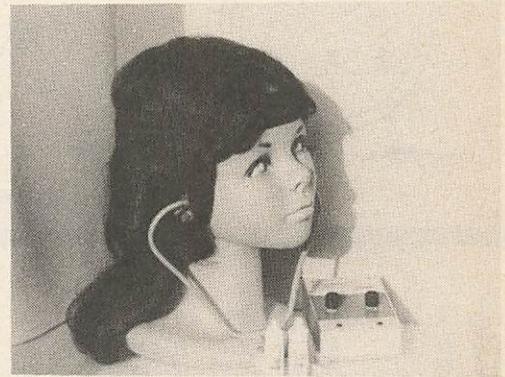
キルリアンセットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。

### ESPテスター TES-03

エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの予知能力を測定できます。

¥3,500(送料共)説明書付。



### バイオフィードバック・モニターBW-300

アルファ波を感じし、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。

¥18,500(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(6)8073

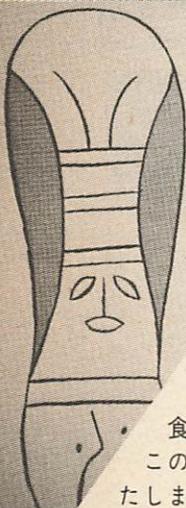
低料金・重点探訪

あなたも一度は行ってみよう

# UFOとテレパシーの旅

カリフォルニアのアダムスキー旧跡探訪  
と国際宗教超心理学会アメリカ大会参加

主催・(株)たま出版事業部 協賛・ユニバース出版社・UFO教育グループ・IARP



宇宙時代の開幕を告げた、アダムスキーの金星人とのコンタクト現場、カリフォルニア・モハーベ砂漠にあるデザート・センターや『空飛ぶ円盤実見記・同乗記(宇宙からの訪問者)』の舞台となったサン・ディエゴおよびパロマー山周辺を探索することは、訪れる人たちの心に、他では得られない新時代の息吹を感じさせ、生涯の思い出となって残ることでしょう。

また今回は、当地のホリデー・インで〈科学・ホリスティック・ヘルス・そして心の進化〉を目的とした国際的な超心理学会が開催され、アポロ宇宙船で月と地球のテレパシー実験を行なったハロルド・シャーマン氏を始め、国際的に第一級の研究者や能力者による講演(通訳付)と実習セミナーがあります。夜は楽団入りのパーティで、コンパニオンを混じえ、他ツアーとも合流した、はなやかな交流夕食会が持たれます。

この二度とない企画をお見逃しなきよう諸兄姉の御参加をお待ちいたします。

## 要 項

期間：昭和54年5月24日(木)～5月31日(木) 8日間  
訪問地：(アメリカ合衆国カリフォルニア州)サン・ディエゴ、パロマー山、デザート・センター、他。  
(メキシコ)ティワナ(希望者のみ別料金)  
費用：368,000円(航空運賃、1～3食付ホテル代、現地バス代、大会とパーティ参加費等を含む)分割も可  
定員：40名(申込締切3月31日)  
主催：(株)たま出版事業部  
〒162 東京都新宿区納戸町33  
申込先：(株)東京航空サービス  
〒160 東京都新宿区新宿3-17-5  
協賛：(株)ユニバース出版社・UFO教育グループ・IARP  
コンダクター(同行者)：垂沢潤一郎(UFO教室主幹・たま出版編集長・惑星文明研究者)  
現地案内：古山晴久(「宇宙の友人たち」著者・米国滞在8年間の間、アダムスキーの活動を引き継いで、全米でUFOの啓蒙活動を展開、宇宙人とのコンタクト体験を持つ)

## 内 容

▶ UFO関係探訪内容(約二日間)：1952年11月20日、六人の目撃者が見守る中で、円盤から降り立った金星人とアダムスキーが会見したアリゾナ州との境に位置する砂漠地デザート・センターへの約600キロの自動車旅行・アダムスキーが定住し、多くの宇宙人たちと交流したサン・ディエゴとパロマー近辺のゆかりの地……  
▶ IARPアメリカ大会関係内容(約三日間)：大会講演者＝ハロルド・シャーマン(米国ESP研究財団理事長)、ウィリアム・テイラー(スタンフォード大学教授・超能力エネルギー研究者)、スワミ・ラマ(シカゴ国際ヒマラヤ研究所創設者・ヒマラヤで三百歳のマスターから学んだグルで心臓停止の医学テストを受けている)、ダグラス・ティーン(国際キルリアン研究協会会長)、ドクター・ライン(元デューク大教授・予定)、他計14名。各講師による、科学、心身の健康、心の進化をテーマとした講演とセミナーが行なわれ、交流パーティが持たれる。  
▶ スケジュールの間に、市内観光やメキシコへの日帰りツアーもある。

※参加御希望の方は至急(株)たま出版事業部へ案内・申込書を御請求下さい。

(株)たま出版事業部 〒162 東京都新宿区納戸町33 TEL 03-260-4367 03-268-8959



発行所 UFO時評社  
〒110 東京都台東区土  
野5-1-6 ユニバース内  
電話 03(832)1341-44

### 「UFOライブラリー」今夏完成

日本空飛ぶ円盤研究会会長、荒井欣一氏念願の「UFOライブラリー」が今年9月に実現しそうだ。荒井氏はかねてから、UFO問題を解明するためには、過去の事例報告や研究結果をユーロジスト全体の共有財産にしてゆかなければならないという考えをもっており、その具体案として、自宅を鉄筋5階建ビルに改築し、1フロアを「UFOライブラリー」として使用する計画を進めてきた。

このたびビルの完成予想図もできあがり(写真)、2月中旬に現在の自宅を取り壊わし、3月に着工、9月の完成を待つばかり。同ライブラリーには、小人数が集まって会合が開けるサロンも設置されるとあって、各研究団体からも大きな期待が寄せられている。

### 宇宙博閉幕

サターンロケットや、月の石などを集めて人気を呼んだ「宇宙科学博覧会」が去る1月15日、半年の会期を終えて無事幕を閉じた。宇宙博広報センターの発表によると、180日間の入場者は5551万人で、当初の予想者350万人をはるかに上まわった。特に暮や正月にかけては親子づれで賑わい、子供たちは米国を中心とする宇宙開発機器の展



▲荒井欣一氏が計画中の「UFOライブラリー」は、9月完成予定の自宅ビル5階に設置される。

示物に強い興味を示していたという。

### 「宇宙人の声」を20名に

さきごろキングレコードから発売された「これが宇宙人の声だ」¥600を20名の方にプレゼントします。この「宇宙人の声」は昨年1月、姫路市在住の北野恵宝大僧正が伊豆のホテルで録音したというものです。

申込みは本誌編集部「宇宙人の声」係まで。メ切は3月20日。

### 「アダムスキー旧跡と超心理学探究の旅」

このたび「たま出版」事業部で



▲キングレコードから発売中の「これが宇宙人の声だ」。定価600円

はカリフォルニア州サンディエゴを中心にアダムスキーゆかりの地やメキシコ等を巡るツアーを企画し、参加者を募集している。主な内容は次のとおり。

期日 5月24日〜31日(7泊)

### 各種研究サークルだより

#### UFO教育グループ

代表・安斉純夫

3日の定例懇談会を左記のとおり開催します。

3月17日(土)午後1時30分から4時30分。豊島区民センター文化ホール(豊島区東池袋1-20-10 電98447601)

また、3月から4月にかけて全国で小講演会を多数行なう予定です。

機関誌「UFO教室」6号ができました。内容は、国連関係者との会員等の近況報告、UF

8日、2〜3食付)  
場所 メキシコ、デザートセンター、パロマー山、UFO教育センター(受講)、プラネタリウム他

主催 たま出版事業部  
代理店 東京航空サービス協賛 ユニバース出版社/UFO教育グループ  
コンタクター 葦沢潤一郎  
現地案内 古山晴久  
費用 34万円(概算)  
参加予定人員 15〜40名

O教育センター来日記念講演録他です。

〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38



日本UFO研究会  
会長・平田留三  
会誌「JUFORA」が1年半ぶりに復活しました。休刊中、

海外からのネットワークの申し出が増加し、現在30余の研究会と交流中です。

当会誌は、それらの研究会から次々に送られてくる情報を中心に作成していますが、英語以外の外国語の翻訳者が不足しています。ご協力下さる方を求めています。

なお、『JUFORA』は非売品ですので、購読希望者は50円切手同封のうえ、入会案内書をお申しこみ下さい。

〒673-03 神戸市垂水区神出町五百歳142-161

近代宇宙旅行協会

会長・高梨純一

1月16日から、名古屋市中区錦1-3-4の日本債券信用銀行名古屋支店(電201-4511)で、当会資料提供の「宇宙時代のトップミステリー、今日の話題UFO展」が開催されています。



▶日本債券信用銀行名古屋支店で開催中の「UFO展」と高梨純一氏。



これは、昨年の同行大阪梅田支店でのUFO展をそのまま移動したもので、大型パネル8枚、小型パネル50数枚、UFO分類表などが店内壁面に展示してあります。入場は無料。3月いっぱいまで開催する予定です。会誌『空飛ぶ円盤研究』の最新号82号ができましたので、希望者は、送料共400円(切手を添えて申しこんで下さい。)

〒560 大阪府豊中市夕日丘2-7-12

日本宇宙現象研究会

会長・並木伸一郎

かねてより懸案のフューチャー計画、すなわち当会の第一期活動方針を発表します。概要は

左記のとおり。

①マイクロコンピュータ導入  
UFOデータの整理・分類・分析をマイコンで行なう。データのグラフィック化もめざしている。

②C・A・T・S作戦  
空中に出現するすべての物体(現象を含む)を撮影・記録・整理する。

③定期的なUFO観測  
ハードデータの入手が目的。最終的には全国的規模で実施予定。

④UFO白書の作成  
当会が入手したハードデータの集大成。

⑤UFO資料センター設立  
内外UFO資料を完備した図書館のものを本部に設置。

情報紙『UFO INFORMATION』11号発行中。主な内容はオーストラリアのセスナ機消滅事件。



〒150 東京都渋谷区神山町5-2  
重力研究所  
所長・清家新一

〈近況報告〉  
高効率(84%)の円形増幅器(endless amplifier)が作動し、これを組み合わせてトランスジスターコイル(パワー・コイル)を作成中です。一方、実電流の磁場の余集合としての虚磁場(ホール磁場)を吸収するクラインの磁気瓶の設計図ができあがりつつあります。

機関誌『宇宙艇』43号、『超相対性理論』(5訂版)、『逆重力機関の組立方』発行中。  
〒798 愛媛県宇和島局私書箱33号

北海道宇宙連合  
代表・萩野圭一  
私たち北海道宇宙連合(HUUF)では、6月末に『北海道のUFO』というタイトルの刊行物を発行する予定です。そのため、現在、UFO目撃報告を募集しています。東京以北でUFOを目撃された方は、ぜひご連絡下さい。

なお、当連合への参加者も募集しています。詳細は、返信用切手同封のうえ左記まで。  
〒001 北海道札幌市北区屯田2-4  
ユーホロジストクラブ  
代表・平野泰敏

機関誌『ユーホロジスト』が4度目の復刊をしました。今年から『月刊』を最大目標にしていくつもりです。購読希望の方は、50円切手をはった定形封筒12枚に、それぞれ自分の住所氏名を宛名書し、それを大きな封筒にまとめて送って下さい。会費、購読料は無料です。

〒431-33 静岡県天竜市南鹿島58-18



『UFO時評』では、各種研究サークル、研究者の方々からのお便りを募集しています。UFOや宇宙人情報のほか、新会員募集、催し物のお知らせ、近況報告、活動予定等を、『UFOと宇宙』編集部UFO時評係までお寄せ下さい。



## ブックプラザ

## Book Plaza

### UFOの世界

### UFOに

### リアリティを

映画「未知との遭遇」、ピンク・レディーのUFOの歌など、昨年は日本中をUFO旋風が吹き荒れた。UFO情報も新旧とりまぜてあらゆる媒体を通じ報道され、混乱の様相を呈している。こんな時こそ、私たちはもう一度UFO問題の原点に立ち返り科学性とリアリティを考えてみる必要があるんじゃないだろうか——。

そんな時、お勧めしたいのが本書だ。2人のドイツ人の共著だが、大部分はシユナイダーが執筆している。



アドルフ・シユナイダー／  
フーベルト・マルターナー

金森誠也訳

彼はもともと電気および電子工学関係の技師で、長年UFO問題に関心を持ち、ほかに「宇宙からの訪問者」(日本未発表)という本を書いているが、自然科学ばかりか、文化的なことから特に人間心理の探求にも熱心であり、そのことは本書の随所にうかがわれる。

さて本書の内容だが、全4章構成——①宇宙からの信号、②

UFOの写真、③写真にあらわれた不思議な現象、④偽造のUFO写真——からなっており、特に「UFOの写真」の章に多くのページが費やされている。

そこにはアメリカ、ヨーロッパはもとより、日本やルーマニアで撮影されたUFOの写真も紹介されていて、文字通り、UFOの写真はすべてそろっている感じだ。また目撃者が直接描

いたスケッチや地図による目撃位置の説明などがこと細かに描かれており、それは他に類をみないだろう。とりわけ、アダム

スキーが宇宙人からもらったといわれる先史文字の写真についての分析はたいへん興味深い。

ところで近年UFO問題を扱った書物が数多く出版されているが、そのほとんどは興味本位

やオカルト的であったり、怪奇的な心霊的で恐怖心をそそるものが多い。特に子供向けの本にそういう傾向が強く感じられる

のはどういうわけか——。

子供たちは何事にも吸収力が強く、まして活字化された本などはストレートに受け入れてしまうので、ますますUFOを奇怪な現象としてイメージするだろう。もう、そういう考えは卒業し、新しいUFO展開を考

える時期に来ているのではないだろうか——。そんな意味で、本書はUFO問題の原点を教えてくれるだろう。

(啓学出版 1300円)

### 宇宙2025年

### この先50年間

### 何が起ころう!

パトリック・ムーア著

大林辰蔵訳

「この先50年間に何が起ころうか」と予測するのは本

書の著者、パトリック・ムーアである。彼は英国惑星学会の古参

メンバーであり、かつて月着陸を予測したことで知られる天

文学研究家である。

本書の中で彼は、われわれの

未来2025年まで予測した。

巨大な外惑星への旅、彗星や小惑星の謎に挑む科学者らの夢、月や火星に建設されるであろう科学観測基地など、真実味のある構想が随所にみられる。さらに2100年までには太陽系全

域が探険可能になるに違いない

と見越している。

もしすべてが順調にいき、人類が着実な進歩を遂げたとしたら、この宇宙のほとんど全部を探険し尽くす日がやがて来る。ホモサピエンスがただ一つの惑星に縛りつけられていたことまでが、まったく奇妙に思えるようになることだろう。そしてすべては、今われわれが何をやるかにかかっている。これからの50年間が人類の歴史でもっとも大切な時期になる——と締めく

くる。さらに未知との遭遇はわれわれ自身に彼らを受け入れる状況を作り出させることだろう。もし1世紀か2世紀生き延びることができればの話だが。(F)

(日刊工業 800円)



### 古代文明のパラドクス

コンドラトフ他著

金光不二夫訳編

(文一総合出版 900円)

古代文明というものは、多くの謎を秘めて私たちを魅了する。たとえば、レバノンに残るパールベックの巨石神殿、アトランティスやムーなどの失われた古代大陸、あるいはインカやマヤの謎の文字など、夢をかきたてる謎は数限りない。

こうした古代文明のいろいろな謎をめぐって、ソ連の学者たちが科学雑誌に発表した論文をあつめたのが本書である。

考古学、地質学、言語学などそれぞれの専門の立場から、宇宙考古学を批判しつつ、興味深い仮説を展開している。私たちが人類の先祖もなかなかにいたもの、と感じさせてくれるところがいい。(N)

### 古代文明のパラドクス

金光不二夫訳編



### 妖精物語からSFへ

ロジェ・カイヨワ著

三好郁朗著

(サンリオ 280円)

かつての妖精物語は、いまだ支配しかねる自然を前にした人間の、素朴な願望を表現するものだった。その後登場した幻想小説は超自然的な恐怖を産み出したが、それは誰もが奇蹟の不可能であることを納得した時代になつてはじめて出現した。

そしてSFは、理論と技術の進歩に対して恐怖を覚えた時代の苦悩を反映している。

つまりSFは、妖精物語以来つねに変わらぬ人間の聖なるもの、不可能なものへの希望や不安を表現しようとする現代的な試みなのだ。想像力という視点から魅力的な論を展開するロジェ・カイヨワのエッセイ集である。(S)



### 宇宙人

藤子不二雄著

(朝日ソノラマ 350円)

本書には「宇宙人」の表題作ほか5編のSF短編漫画が収録されている。手塚治虫、石森章太郎をはじめとして、漫画界においてSF、宇宙という対象は魅力的な素材であり、恒久のテーマ性をもつといえよう。

主人公はみな子供たちであり彼らは、日常生活のなかから、ふっとしたきっかけで、われわれ大人が忘れかけている非日常世界への冒険行に旅立つてゆく。

あるときは宇宙にむかい、またあるときは伝説の世界へむかう。そこには手塚、石森の作品にみられる大胆さはない。しかし、素直に「なぜ」と問う感性をもち続けてほしいという願いが全編に流れている。(O)



## 私の本棚から 森脇十九男氏の推選する5冊

(和親開星運動主宰)

『維新革命前夜物語』白柳秀湖著 千倉書房 1円80銭。幕末期の混乱した世相動向と、大衆の史料しがたい心理状態を淡々と述べたものである。著者は歴史の専門家ではないが、歴史に深い造詣をもち、当時の動乱期をまのあたりならぬと考へたらしい。発行は昭和15年1月3日で、現在、入手することはほぼ不可能である。しかし、本書を読んだ2、3の友人から復刻版をだそうじやないか、という意見をもらった。なお、国会図書館には、戦前物としてリストアップされている。

『福沢諭吉のことは』近代思想研究会編(新文学書房1100円) 福沢はUFOが騒がれる現代において、あらためて読みかえしてほしい人物であると思う。福沢のなにかわれわれにとって意義があるのだろうか。それは洋学への知的展開と、そこから現状打開をめざした柔軟な思考方法、政治に生涯かかわることなく、自己の職業的使命に徹して生活した市民主義的精神であろう、と森田康夫は述べている。このような、いつの時代においてもかわらない、自由な柔軟性というものは、時代を生み出す創造性に満ちているのである。

『アポロ』日本SNF研究会編(仮面社370円)アポロ11号に寄せられた人々の衝撃の発言集である。アポロが月面着陸をなした瞬間、人類は科学的意識革命を成就し、地球市民となったのである。なかには「すいぶん待ったなあ、おなががすまいちやっつた」などというほほえましい日本の子供の発言などもある。

『宇宙よりの来訪者』ロイス・テマン著 久保田八郎訳(学研980円)豊富な写真とイラストが全文を飾っているUFO文献であり、とくに今後のUFO研究に欠かすことのできない貴重な資料がかなり盛りこまれていることに注目したい。

『児島襄戦史著作集』第7巻(文芸春秋15500円)硫黄島とペリリュー島の玉砕は世界戦争史上まれにみる攻防戦であったといえる。本書はその全貌を克明に著わったものである。本来、知的であるべき人間が暴力をもって傷つけあうことほど悲惨なことはない。しかし、戦争というものは不思議なもので、戦後、かならず平和がやってくる。結果としてみれば、たしかに不幸を生み出すことにならぬのだが、もつと大局的にみれば平和の種をまいて、ということとを教えてくれるのが本書だ。

省三おじさんの

# UFOイングリッシュ

No.7 — By Shozo Nakamura

今回は、イギリスのUFO研究者ジェニー・ランドル嬢をご紹介します。最近の“Flying Saucer Review”誌（略称FSR）をお読みの本誌読者なら、きっと彼女の名前を目にしているはず。ジェニー嬢はFSRのSecretarial Assistantで、定期的に寄稿していますから。

ついでですが、FSRというのは1955年に創刊された非常に権威のあるUFO専門誌です。隔月刊で、32ページ。編集長はチャールズ・ボウエン氏です。発行部数は少ないけれど、世界の66カ国で真面目なUFO研究者たちに愛読されています。機会があったら、ぜひご覧になってください。

さて、このジェニー・ランドル嬢、現在25歳ですが、UFOに関心を持つようになったのはかなり小さい頃からです。

When she was 18 she joined the British UFO Research Association which now has approximately 1,000 members throughout the country. (18歳のとき、彼女は英国UFO調査協会に加入した。この団体は、現在、イギリス中に1,000人近い会員を持っている。)



この英国UFO調査協会（BUFORA）というのは、イギリスで最も歴史の古いUFO研究団体です。

ただ、彼女はイギリス北部に住んでいるので、本部が南部にあるBUFORAとの連絡はなかなかままなりません。そのうち、北部のウインスフ

ォードでも奇妙な事件が発生しはじめました。

当時、彼女は学校の先生をしていたのですが、生徒たちがUFO目撃事件に関心を示すので、ちょっとした講義をすることにしました。そのうち事件の調査にも手をそめるようになり、これまであまり重要視されていなかったイギリス北部でも事件が多発しているということが明らかになってきました。

So, about five years ago, the Northern UFO Network, NUFON, was formed to look at UFO phenomenon in the North and Midlands and to keep in contact with the many groups that had sprung up in this area.

(こうして、5年ほど前、北部UFOネットワーク——NUFON——が設立された。北部と中部のUFO現象を調べると共に、この地域に続々と誕生した研究グループと連絡をとるためである。)

NUFONは18のグループの連合組織で、定期的に会合を持っています。ジェニー嬢はその機関誌“Northern UFO News”の編集に携わっています。

このNUFONのなかから、彼女のように特に熱心な研究者たちが集まって、事件が起きたらすぐ調査にとんでいくグループができました。UFO調査ネットワーク（UFOIN）で、2年前に設立されました。

“It’s a full-time job and I didn’t feel that I could study the UFO phenomenon and teach at the same time so I said goodbye to teaching.”

(これは片手間ではできない仕事で、UFO研究と教職が両立できるとは思えませんでした。そこで教師はやめてしまったのです。)

なんとも、たのしいですね。じつは、彼女たちがUFOの新しい分類法を提案しているので、それを紹介しようと思ったのですが、スペースがなくなってしまいました。この次の機会にしましょう。

## レーナー (超能力開発訓練機)

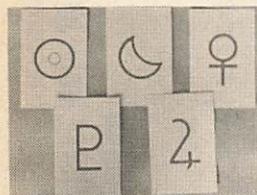


10,000円

ESPとは一般的には超能力と云われます。ESPレーナーによってテレパシー (遠隔知覚)、プレコグニション (未来予知) クライヤボヤンス (透視) などの能力を高めることができます。

## デラックス

### ESPカード (超能力実験用)

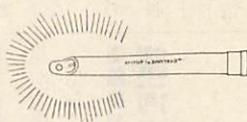


1,200円

太陽、月、金星、木星、冥王星のシンボルマークのついたカードが各5枚ずつ、25枚で1組です。ESP能力の有無や程度を実験したり強化もできます。又、友人などとゲームとしても楽しむこともできます。

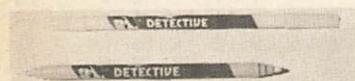
### 化学の灯・サイリウム (アメリカ製)

電気ではありません………  
化学的に発光するサイリウム。水の中でもOK、パーティーなどのムード照明にも最適です。キャンプや登山にもどうぞ。



(長さ15cm) 1,000円

### ラブ・サインペン



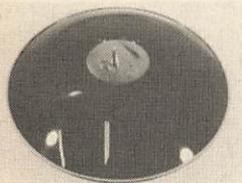
(西独製)

300円 (切手で可)

細い方で、字や絵を書くとき透明の液体が出て何も書いてない様に見えますが、反対の太いペンでなぞるとアプリ出しの様に書いたものが浮き出てきます。ラブレター、交換日記、試験勉強に使いましょ。

### UFO? ミラージュ 三次元実像

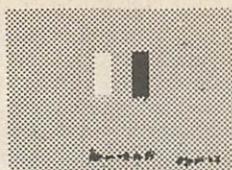
(アメリカ製)



直径約34cm  
高さ9cm  
15,000円

2枚のパラボラ鏡による、3D Illusion鏡の底に置いた物体が、まるでミラージュの上に置いてある様に見えます。もちろん写真にも写りますが、手でつかもうとしてもだめです。皆を驚かせましょ。インテリア、ディスプレイ、教材に最高です。

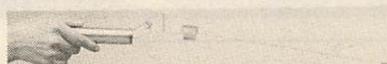
## だれにでもできるヒプノ板催眠術 ストークビスのヒプノ板



ドイツの催眠術研究家ストークビスにより考案されたもので、だれにでも容易に催眠術ができるようになります。

1,500円

### カメロンの オーラメーター



10,000円

アメリカのダウザーとして有名なバン・カメロンが考案した鋭敏に作動する振動増巾バネを用いた水平指示振子です。水や埋設物の探知だけでなく色々の分野に応用出来ます。



### カシオ・バイオレーター

あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断もできます。

6,000円

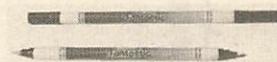
### リズムメーター



バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。

1,500円

### 消える ボールペン (西独製)



紙でも布でも手に書いたら反対側のインク消して、サッと消せます。あまりいたづらしない様に。

300円 (切手で可)

### スイス アーミーナイフ (スイス製)



スイス軍が正式に採用している万能折たみナイフ。その中でも最高のチャンピオンで大小ナイフの他、ドライバー・缶切り・はさみ・栓抜き、のこぎり等々24もの機能を持っています。

11,000円 (長さ 9.1cm 赤色)

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元  **ポラックス株式会社** U係

TEL (03) 666-0511(代)

ご注文は紙に商品名・住所・電話番号・氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス株式会社U係にお送り下さい。

(送料はサービス)

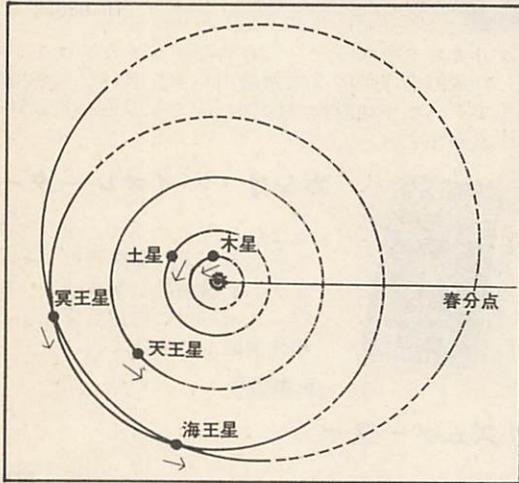
ESPトレ  
超能力を強める

# サイエンス・ニュース

## 海王星が22年間 最遠惑星に

太陽系惑星のなかでもっとも外側の軌道を回転している冥王星が、グリニッジ標準時1月21日午後9時58分3秒前から、ひとつ内側の海王星の軌道内にはいった。

ヘイデン・プラネタリウムの天文学者によると、冥王星は長円形の軌道をまわっており、同時に海王星のほぼ円形の軌道の内側にはいったという。冥王星は太陽を一周するのに



I B M 研究所の  
つい先ごろ、  
いえなかった。  
完全な説明とは  
程度まで説明で  
きる。しかし、  
ついでに説明と  
はなす。だが、そ  
れはなぜなのか。  
理論的には、重  
力による効果と  
いうことである  
程度まで説明で  
きる。しかし、  
ついでに説明と  
はなす。だが、そ  
れはなぜなのか。  
理論的には、重  
力による効果と  
いうことである

## 銀河系の80% が渦状の理由

248年かかるが、長円形軌道のため、太陽からもっとも遠い地点で74億キロ、近い地点で45億キロになる。一方、海王星は公転周期165年で、太陽から45億キロの円軌道上をまわっている。こうして、1999年3月まで今後20年間にわたって海王星が太陽からもっとも遠い惑星になる。

天文学者たちは、50年以上も前から、銀河の80パーセント程

科学者2人がその答を見つけたと発表した。フンベルト・ジェロラ、フィリップ・セイデン両博士である。

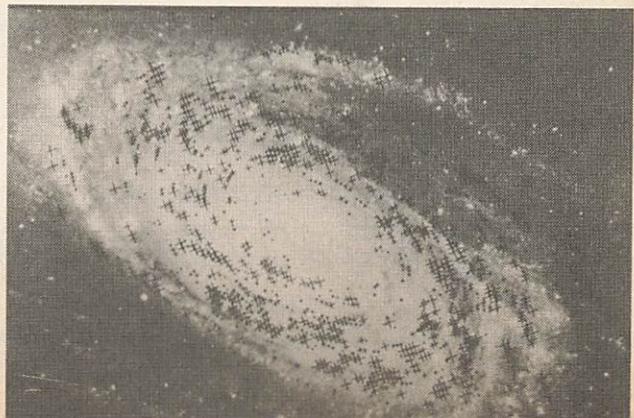
それによると、爆発する超新星の局所的な連鎖反応が銀河内の物質転移の引き金になるという。このため、重力効果だけならとくに消滅してしまうはずの渦が、何10億年後でもその形を保っているのである。

両博士は、彼らの理論を裏付けるため、こうした銀河が何10億年ものあいだにどう進化するか、コンピュータでモデルを作って調べてみた。そして、コンピュータの表示結果に実際の銀河の写真を重ね合わせてみたところ、驚くほど一致したのである。

## アインシュタイン予言 の重力波立証

米マサチューセッツ州立大学のジョセフ・テイラー博士を中心とする電波天文学チームは、昨年暮、重力波の存在をしめす証拠を発見した。

1916年に発表されたアイ

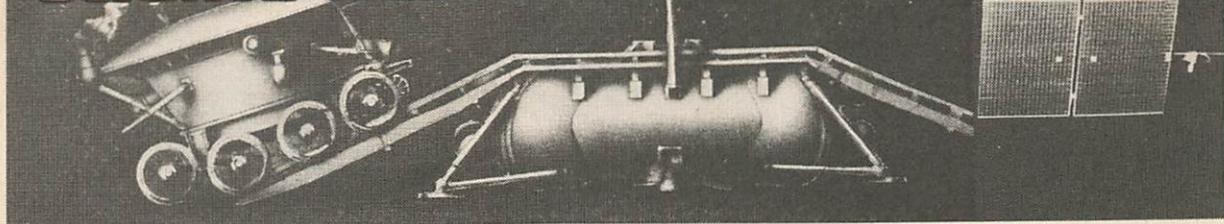


ンシュタインの一般相対性理論は、重力波の存在を予言していたが、いままでもこの存在を実証できなかった。

同チームは直接重力波の放射をキャッチしたのではなく、地球から1万5千光年離れた2個の脉冲星（脈動電波星）間で働く重力波の影響とみられる現象を測定した。

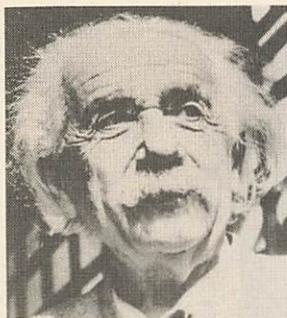
観測したパルサーは他のパルサー、もしくはブラックホール

# Science Newsfront



れ、アインシュタインの理論によると、重力波はこうした連星系で発生するとされている。

もし重力波が放射されているのなら、その結果、パルサーの公転周期は短くなり、相対性理論の方程式を解くと、この公転のずれは年間100分の1秒となる。



## ■ ■ ■ エレクトロニクス モッグって何？

目に見えず、感触がなく、においがなく、それに音もださない、という汚染がいま、アメリカ中に充満しつつある。ラジオやテレビの放送設備、電子レンジ、レーダー装置などが出す電磁放射線の「エレクトロニクス・スモッグ」がその汚染源である。「エレクトロニクス・スモッグ

グ」の影響はほんのわずかで、人間や動物に害を及ぼさないと主張する科学者は多いが、一方、「電子汚染が今後悪化し、行動上の障害から白内障、ガンに至る健康障害をひきおこすだろう」という環境保護論者や医療専門家も増えている。

ソ連とチェコの研究によると家電製品などからの電磁放射線に身をさらすことは、頭痛、めまい、感情の不安定や記憶の喪失などを含めた中枢神経系の不調の原因となる。この結果、ソ連とチェコでは、放射線量基準が、アメリカに比べかなり厳しくなっている。

アメリカでは政府機関が対策にのりだしたが、最終的な結論はまだ出ていないという。

## ■ ■ ■ 宇宙空間用の 遠隔回収システム

いかにも未来的な宇宙船だがたんなる空想の産物ではない。これは、NASAの遠隔操作回収システム（TRS）とよばれるもので、マーシャル宇宙飛行センターのために目下、マーチ

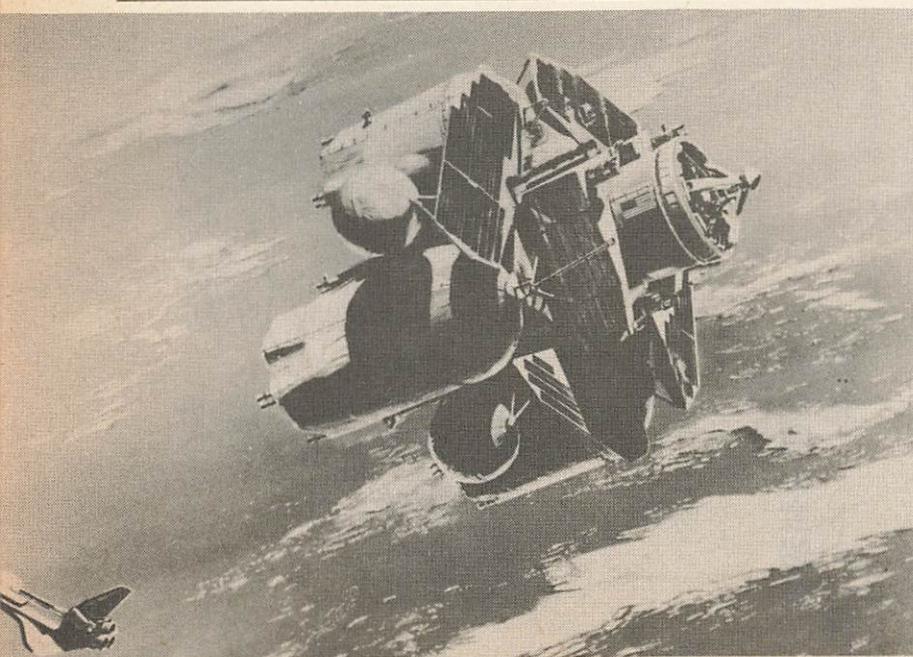
ン・マリエッタ社が開発中。今年9月には納入の予定である。

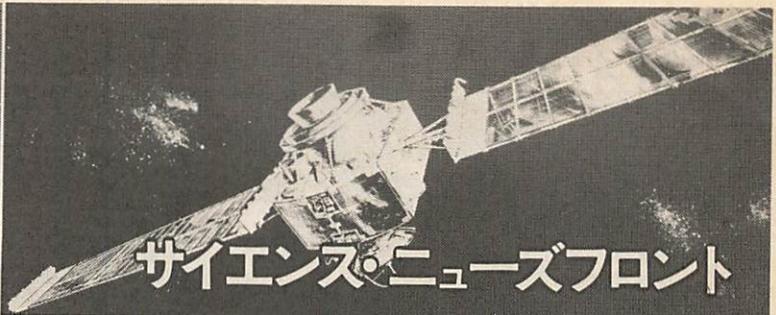
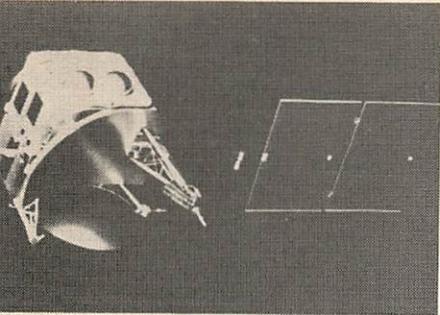
TRSは、人工衛星を軌道に乗せ、安定させ、再び回収するという作業用に設計された低推力で、繰り返し使用できる無人機である。推進装置を持ち、TV機器を搭載しているので、スペースシャトル内から宇宙飛行

士がリモート・コントロールで回収できる。

宇宙空間へは、スペースシャトルに収容されて運ばれる。その後は、再び回収されるか、あるいは次の作業に備えて宇宙空間にとどまることになる。

TRSの初仕事は、スカイラブとドッキングして、この宇宙





## サイエンス・ニュースフロント

ステーションを高い軌道に乗せたり、大気圏へ再突入するさいの制御作業をする予定。

### 設計に役立つ

### ジェット・エンジン模型

最近、いろいろな翼にとりつけられるジェット・エンジンの模型が開発され、機体に働く抗力を下げて、より経済的なジェット輸送機を設計するのに大いに役立つている。

この模型は長さ15センチで、高圧空気によってタービンが毎分8万5000回転する。本物そっくりに働くので、風洞で実験すれば、エンジン周囲や内部をはじめ、機体周囲の空気の流



れを正確に知ることができ。現在、NASAのエームズ研究センターにある超音速風洞でこの模型が使用されている。NASAをはじめ各産業が参加している航空機エネルギー効率計画の一環として、NASAとマクダネル・ダグラス社が行なっている共同プロジェクトに使われているのである。

### 犬は1万2千年前にもペットだった

ペットの代表選手であるイヌを、人類が飼いならしたのは1万2千年前の続旧石器時代だった、という新しい証拠がみつかった。



イスラエル北部マラハにあるナツフ文化時代(1万2千〜1万年前)の住居跡の埋葬地から子イヌの骨を持った人の骨が発見され、イヌは食用としてでなく、すでに愛がん用として飼われていたらしい。

発見したイスラエル・ヘブライ大学動物学部シモン・デイビス博士と先史時代研究センターのフランソワ・バラ博士によると、人骨は頭にくっつけるように曲げた手を、子イヌの骨の胸部にのせており、この子イヌは人といっしょに埋葬されたもの

に間違いないという。横浜国大の長谷川善和教授(古生物学)は「日本でイヌが出てくるのは縄文後期、つまり今

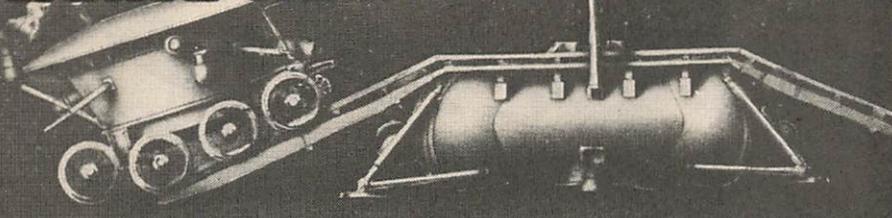
から3、4000年前だ。発掘されたのが本当にイヌかどうかは微妙な問題だが、もしイヌだとすれば、古生物学にとって貴重な研究材料になる」と語った。

### 80億円の宝船を 発見——ドミニカ

4000万ドル(80億円)もの財宝を積んだまま、沈没していた17世紀のスペイン船「コンセプション号」が昨年11月27日、ドミニカ共和国沖で発見された。

この「宝船」の発見者は36才のウェツバーというアメリカ人で、調査に2年間費やし、50万ドルも投資したというが、つい

# Science Newsfront



カリフォルニア州サンノゼにあるIBM研究所の冶金学者たちが、このほど驚くべき新現象を発見した。この現象は将来、さまざまな応用が考えられるとして期待されている。

## でたらめに移動する「光の泡」

「コンセプシオン号」は1641年「シルバー・バンク」と呼ばれるサンゴ礁で、あらしにあい沈没してしまった。積荷はコインや工芸品などで、それらの工芸品は、調査の援助をしてくれたドミニカ政府とウェツバ―氏の間で分配されるという。



電場を加えた場合に発光するある種の薄膜に、きわめて高い周波数で振動する電圧をかけたところ、薄膜内の絶縁された点から小さな光源が流れ出し、でたらめに曲りくねりながら動くのが観察されたのである。

この移動する発光ファイラメントは、ひとつの直径が1ミクロンほどしかなく、「光の泡」と名付けられた。というのは、薄膜内で発生して動きまわる磁気泡によく似ているからである。

磁気泡（磁力の方位が移動する微小な領域）のふるまいについては、物理学者によって調べられている。現在では、コンピュータ情報を超高密度で記憶するための磁気泡装置として用いられている。

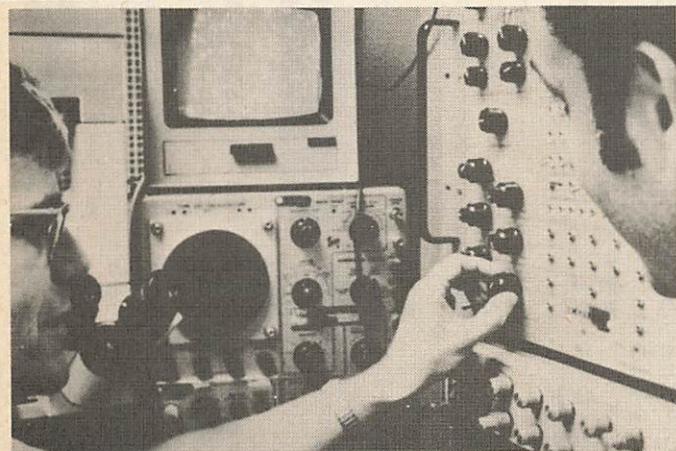
写真は、IBM研究所のアレクサンダー博士が、マンガン液で処理した硫化アエン薄膜にかける電圧を調節しているところ。

この効果は1万ヘルツあたりで発生しはじめる。TVモニターに映っているのが光の泡である。

## 古墳時代に上水道ができていた

弥生時代から平安時代にかけての約1000年にわたる遺構が眠る滋賀県守山市の服部遺跡から、古墳時代前期（3世紀後半～5世紀）のものと思われる浄水設備を完備した上水道が発掘された。

川の水を貯水槽に導き、砂な



どの不純物を沈殿させたあと、上水を、木製の導水設備で共同水くみ場まで流すという本格的な上水道システムで、同時代の遺跡のなかからこのようなものは今まで発見されていない。

この上水道は、川の取水部分から共同水くみ場外の溝に流れ出るまで全長20メートルある。川から導かれた水は1・3メートル四方の貯水槽で浄水され、板をV字に組んだ配水路を通じて、15センチほどの深さに掘られた四角いおぼん（縦1メートル、幅60センチ）に一時的に集められ、配水路をとおって溝につながっている。

現場を視察した考古学者のなかには採鉱設備という人もいるが、多くの専門家は、古墳時代の上水道とみられている。現在すめられている本格的な調査の結果が待たれる。

# 本誌を読んで答えてください!

豪華賞品が  
当たる!!

# UFOと宇宙クイズ

## 今月号の賞品

**金賞** オーラメーター  
(ポラックス ¥10,000) 1名



●米のダウザーとして有名なバン・カメロン考案の鋭敏に作動するオーラメーター。水や埋設物の探知他、種々の分野に応用できます。

**銀賞** 前世を記憶する20人の子供 全3巻  
(叢文社 ¥3,000) 5名

●20数年もかけ、世界各地から、生まれ変わりとしが説明のしようのない2,000例を調査した、世紀の名著全巻。



**銅賞** UFOステッカー  
(当社商事部 ¥500) 30名

●メタリックな玉虫模様でラミネート製。3種類のうちのどれか1つ。



### MERINT REPORTING PROCEDURE



- ①アレン・ハイネック
- ②レオ・ストリングフィールド
- ③コールマン・ケビクッキー

■問題  
昨年、ある著名なUFO研究者が、UFOに関するアメリカ政府の機密文書などを盛りこんだ『爆弾文書』を国連の各国代表部に配布し、話題になりました。さて、この研究者とは誰でしょうか。

### 応募のきまり

- 必ず官製ハガキを使用し、右下の応募券を貼ってください。
- 締切り 昭和54年3月20日。当日の消印有効。
- 発表 『UFOと宇宙』5月号(4月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

### ハガキの書き方

●あて先  
〒110 東京都台東区上野5-1-6  
ヤマトビル ユニバース出版社

●裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして次の順序でお書きください。

- ①解答
- ②本誌を買った理由・動機
- ③本号で良かった記事の題名を2つ
- ④本誌への感想、またはこれから本誌に載せてほしいと思われる企画
- ⑤今後、賞品として希望される商品名

### 1月号クイズ当選者発表

『UFOと宇宙』1月号の、安田さんが訪問したスイスのコンタクティは、⑧のエドアルド・メイヤーが正解でした。応募総数1099通のうち、正解は1087通でした。抽選により、左記の方々がめでたく当選されました。

#### ★金賞

△男女兼用フアッシヨン時計/3名  
原 玲子(奈良県橿原市八木町)  
鉄 伸二(茨城県北茨城市大津町)  
坂下義一(大阪市阿倍野区播磨町)

#### ★銀賞

△タウジング・ロッド/5名  
湯沢清美(栃木県今市市平ヶ崎)  
橋本和己(静岡県富士市五味島)  
大江美加子(北海道函館市瀬戸川町)  
三五 寛(新潟県新潟市二葉町)  
高村 勇(熊本県熊本市田崎)

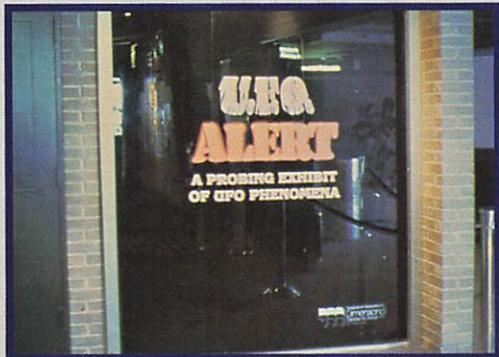
#### ★銅賞

△UFOステッカー/30名  
賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

3月号クイズ  
応募券

# A Probing Exhibit of **UFO** Phenomena

ミネソタ州ミネアポリス市の中心部にひとときわ高くそびえる「IDSタワー」。昨年末、この超高層ビルの51階にUFOの常設展示場がオープンし、多くのUFOファンや観光客の人気を集めている。アメリカを訪れる機会があれば、ぜひこの展示場にも足を運んでみよう。ひよつとすると、素晴らしい眺めの展望台から本物のUFOを目撃できるかも……。



▲おそらく世界でも初めての大きかりな常設のUFO展示場「UFO ALERT」の会場入口。



常設のUFO展示場

# UFO ALERT

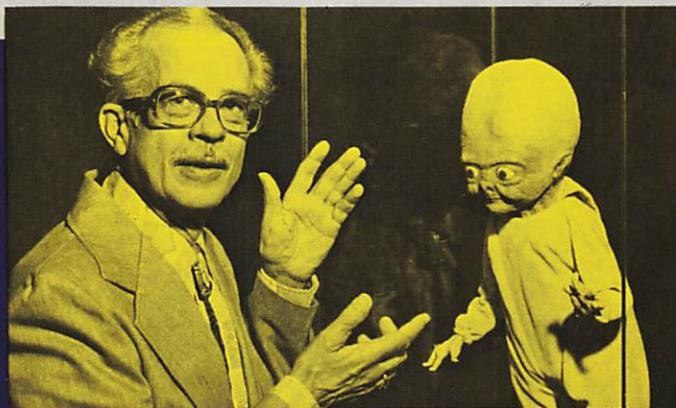
## ミネアポリスにオープン!

●UFO研究家（在ニューヨーク）

富川正弘

ミネソタ州ミネアポリス市の中心部にそびえ立つIDSタワー。この地上236メートルの超高層ビルの51階に、UFOの常設展示場がオープンした。(写真右上)

▶トラビス・ウォルトン事件の宇宙人の模型を見るAPRO代表のジム・ロレンゼン氏。このUFO ALERTには、有名なUFO研究団体APROが全面的に協力している。



# Daytime Discs ...And Beyond

A New Mexico State University student on a desert stroll glimpsed a round, silver disc above a rock formation that he was preparing to photograph. Almost automatically, he snapped the shutter and obtained the above photograph.

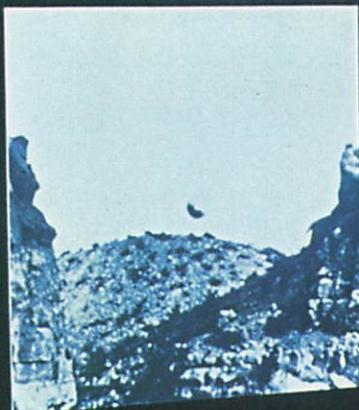


Photo courtesy AFPO

Case File #9554 Santa Ana, CA 12 Jul 53

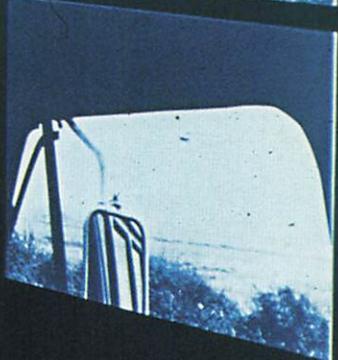
Three exposures of an object photographed by a Los Angeles County highway employee on August 3, 1955 near Santa Ana, CA. Camera was Polaroid, fixed focus, electronic shutter, film p-rod ASA 3000.



**Air Force Conclusion: Host**

**Condon Report Conclusion:** Little probability exists in establishing the existence of extraordinary flying objects. (Note: Condon effectively simulated the photographs by shooting a lens cap suspended a few inches from a van window.)

**AFPO Conclusion:** Darkness of object compares with that of second telephone pole; therefore the object is of approximately the same distance to camera.



anger Station,  
he closest to



on photos  
ever, the  
own model.  
tribute signifi-  
e of unusual

## The Meter Contact

Several photos of a 10-foot-diameter flying saucer, taken in the vicinity of the Santa Ana Mountains, California, on August 3, 1955. The object was seen by a Los Angeles County highway employee and a New Mexico State University student. The object was described as a round, silver disc, approximately 10 feet in diameter, and was seen at an altitude of approximately 10,000 feet. The object was seen for a period of approximately 10 minutes. The object was seen by a Los Angeles County highway employee and a New Mexico State University student. The object was described as a round, silver disc, approximately 10 feet in diameter, and was seen at an altitude of approximately 10,000 feet. The object was seen for a period of approximately 10 minutes.

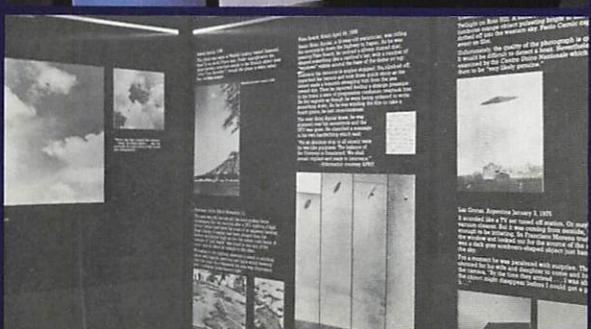


会場に展示されている数多くのUFO写真。とくに目を魅くのは、有名なメイヤー・コンタクトのUFO写真だが、この一連の写真は本物が偽物かて激しい議論を呼んでいる。

アメリカで初めて(そして、たぶん世界でも初めて)の大がかりな常設のUFO展示場が、昨1978年11月11日からミネソタ州ミネアポリスにオープンし、話題を呼んでいる。

宇宙のファンタジーと科学とを巧みにミックスしたこのUFO展は「UFO・A L E R T」(UFO警報)と名付けられ、ミネアポリス市の中心部にそびえたつ同市最高の超高層ビル「IDSタワー」(地上236メートル)のてっぺん、51階にある約1000平方メートルもの広さの特設会場で展示されており、多くのUFOファンや観光客を喜ばせている。

UFO・A L E R Tに展示されている資料は、米空軍の公式UFO調査機関アブ



# UFO ALERT



①



②



③



④

## Classic Cases



▲トラビス・ウォルトン事件の宇宙人模型と自分たちの身長を比較している子供たち。

◀これまでの主なUFO事件で目撃された宇宙人の模型。①ヒル夫妻事件 ②バスカゲーラ事件 ③ケリー・ホプキンスビル事件 ④トラビス・ウォルトン事件。

...And Beyond

Condon Commission Case 57 Hill  
Alberta, Canada 3 Jul 67

Dr. Hynek has stated that this case is  
fully documented, believable photo



Photo courtesy CONDO  
Condon's Conclusion: All tests  
were consistent with the verbal  
photos are also consistent with  
Therefore, the case cannot be  
cant evidence in establishing  
aircraft.

## UFO・ALERT 第二場「証拠」の 展示内容

- UFO LOGYの歴史
- プロジェクト・ブルーブック
- 日中円盤の写真
- 夜間光体の写真
- 世界各地のUFO目撃報告
- 地元のUFO目撃報告
- UFOと間違いやすい物体
- レーダー上のUFO
- 信頼できる目撃者たち
- イロツト、警官など
- インチキ・ストーリー
- UFO写真の真偽鑑定
- UFOと軍事活動
- 第一種接近遭遇
- 空軍を困惑させたUFO事件
- 第三種接近遭遇
- 有名なUFO事件
- ニューギニアのギル神父の事件
- ニューハンフシャのヒル夫妻事件
- アリゾナのトラビス・ウォルトン事件
- ケンタッキーのケリー・ホプキンスビル事件

ロジェクト・ブルーブックの1万3000件以上にのぼるUFO報告と、アメリカでもっとも伝統を誇る民間UFO研究団体A.P.R.O.が世界各地から集めた多数のUFO報告の中からA.P.R.O.代表のロレンセン氏が顧問となって選んだ100件以上の事例とから成っている。また、筆者が寄贈した最近の国連でのUFO案件討議資料や、グレナダ政府発行のUFO切手なども含まれている。

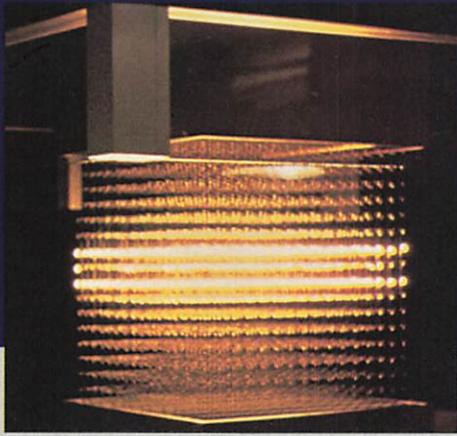
全場の模様を順を追って説明すると、まず、UFO・ALERTの第一場は「オデッセイ(大冒険旅行)」と呼ばれ、はるか宇宙のななからいくつもの星雲や恒星、惑星の間を航行し、神秘的な青い惑星「地球」へ近づく異星の宇宙船のパイロットが登場する。

次の第二場「証拠」では、多数のUFO写真、8ミリフィルム、目撃者の証言の録音テープ、目撃されたUFO搭乗者の模型などが展示されている。UFO写真の中には、本物が偽物か激しい議論を呼んでいるスイスのメイヤー写真も何点か大きく引き伸ばされて展示されている。また、UFOについての知識度をテストするUFOクイズのパネルや、世界各地の5000件以上のUFO目撃場所を示した大パネルが観客の興味を引きつけている。

最後の第三場「結論」では、宇宙の広大さを示す映画や、NASA(米航空宇宙局)の宇宙旅行計画の映画などが上映されたり、宇宙の他の天体に生命が存在

# A Probing Exhibit of **UFO** Phenomena

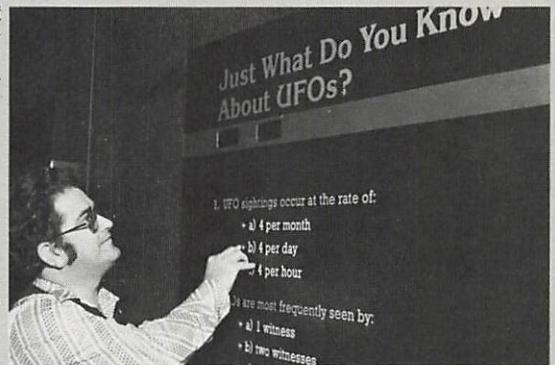
## UFO ALERT



◀立体的展示装置  
イメージ・キューブと発明者のブライアン・ストーレスペリー氏(左)。

▶UFOクイズに  
挑戦する観客。

▼世界各地で起きた  
目撃事件の場所を  
500個以上も示す  
大パネル。



1. UFO sightings occur at the rate of:

- a) 4 per month
- b) 4 per day
- c) 4 per hour

2. UFOs are most frequently seen by:

- a) 1 witness
- b) two witnesses



する可能性が展示されている。そして世界で初めての試みとして、イメージ・キューブと呼ばれる立体的展示装置が公開され注目を集めている。

これは一辺が75センチの立方体(キューブ)の中に4000個以上の小さなランプを取りつけ、マイクロ・コンピュータにあらかじめ記憶させた立体的パターンを次々に割り出して見せる装置で、UFOの飛行パターンなどを示すこともできる画期的なものである。

このUFO・ALERTの成功により、今後、ニューヨークやサンフランシスコなどの大都市にも同様の常設のUFO展示場を作る計画が検討されており、これが実現すれば、さらに多くの人々が正しいUFO情報に接することができるようになる。

日本でもこのような常設のUFO展示場ができるよとのだが、どなたか資金力と実行力に富んだ方はいませんか？

なお、このUFO・ALERTについて、もっと詳しく知りたい方は、左記宛に手紙を出して問い合わせしてみてください。

Mr. Richard Hobson  
Operations Manager  
IDS Observation Deck &  
Minneapolis Exhibit Center  
5100 IDS Center  
Minneapolis, Minnesota 55402  
U.S.A.

# 100メートル先の新聞が読める!

驚異の高性能!  
ズームでせまる大迫力!  
**ズーム望遠鏡TZ-100**

33→100倍



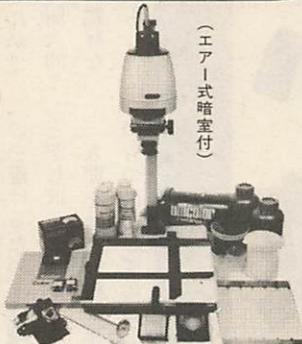
特別価格  
**18,500円**  
(送料 500円)

●目で見たまの正立像で遠くはなれた人の細かな表情が手にとるようになる! ●月のクレーターが顔前に迫り、土星の環、木星の縞が見える! ●30%も明るく(50%と比較)しかも鮮明な口径60%のアクロマートレンズ! ●望遠鏡観測と同時にカメラ・望遠撮影もできるオールマイティーパネル板付の新機構! ●倍率アップ、ダウンがワンタッチのズーム機構、どんなカメラ三脚にも取付られるマウントと初めての人もでスグ楽しめる小型精密設計! ●倍率/33~100倍連続可変ズーム式、総金属製、総重量(脚含)/1.8kg、全長/630mm 携帯用金属脚付(脚高38~53cm)、使用説明書付。

## プロの写真屋さん カラーフィルム引伸し DPE完全セット



**エアースタイル暗室セット**  
(エアポンプ付)  
特別価格 **23,000円**  
送料 1,000円



**カラーD・P・E完全セット**  
特別価格 **96,000円**  
送料 2,000円

●全く初めての人でも、女性でも失敗がない! しかもカメラ屋さん以上の出来はえ! あなただけの秘密の写真もスグ出来る! ●暗室は付属のポンプでわずか3分で組立てできるエア組立式。(収納時30×50×10cm、使用時150×90×80cm)。丈夫な暗室用ゴム引加工布製。(※暗室のみの注文もできます) ●色補正はCCフィルター選定器により1回のテストプリントだけで決定! カンタンに正しい露光タイムと91枚のテストプリントに匹敵するデータが出ます。●フィルターは選定器の補正値をピッタリ再現する22枚組のCCフィルター。●引伸機は普通サイズ(35%)以下のフィルムに便え大型引伸し(床面投影)も可能な専用機。50%レンズ、F=3.5。●薬品セットはフィルム現像液がそのまま引伸液となる特殊薬。●フィルム現像、引伸し現像とも液温を一定に保つ専用タンクにより明るいとこでもできカラー現像に特に威力を発揮! ●密着プリント加圧板による密着焼で写真データの整理がカンタン! ●他、四切イソセルマスク、液温計、引伸タイマー、フィルムクリップ2ヶ、攪拌棒、ポリピン1L、メススキャップ3ヶ、カラークロージャー(六切10枚)付。●カンタンでしかも詳しい指導書付。●薬品、印刷紙はお近くの写真屋さんにもない場合は別途追加注文ができます。

### カタログの注文方法

広告掲載商品の他海外・国内一流メーカー品を多数掲載! 詳しいカタログをご希望の方は切手 100円を同封の上、右あて先までお送り下さい。急送します。

### ご注文は電話又はハガキで

■電話は0473(43)5055 (営業時間午前9時~午後5時、日曜・祭日は休業) ■ハガキは(右図参照) ご注文品名をハッキリ書いて下さい。10日以内に代金引換郵便で送ります商品配達の際品代金と送料の合計金額を配達人に渡し商品をお受けとり下さい。※お急ぎの方は品代金と送料を合せた金額を現金書留でお送り下さい。(5日以内返品可)

〒100 東京・中央郵便局 (株)モア・ライフ 電話0473  
私書箱1973号 〒270 千葉県松戸市八ヶ崎向原1068 (43)5055

# 初心者にも見やすく使いやすい 天体/地上両用望遠鏡!

## 天体望遠鏡 TJ-691

理科振興法準拠品  
60%ヨーク式経緯台  
上下微動装置付



特別価格 **18,800円**  
(送料1,000円)

対物レンズ/アクロマート D=60%、F=900%、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×パロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×パローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、スライド式二段三脚、全長/890%、鏡筒/軽合金製。

## 星の動きを確実にとらえる 経緯台式の最高級機!

### 天体望遠鏡 TS-692

理科振興法準拠品  
60%ヨーク式経緯台 上下・水平微動装置付



特別価格 **23,000円**  
(送料1,000円)

対物レンズ/アクロマート D=60%、F=900%、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×パロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×パローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、フレキシブルハンドル、スライド式二段三脚、全長/890%、鏡筒/軽合金製。

## 天体の連続観測が可能な 高級赤道儀式!

### 天体望遠鏡 TK-693

理科振興法準拠品  
60%赤道儀兼経緯台 赤経赤緯 微動及目盛環付



特別価格 **38,000円**  
(送料1,000円)

対物レンズ/アクロマート D=60%、F=900%、分解能1.93秒、極限等級10.7等星、接眼レンズ/SR-4.5%、SR-9%、H-20%、倍率(1)内2×パロー使用時200×(400×)、100×(200×)、45×(90×)、接眼部/ラックピニオン式、付属品/5×24%ファインダー(十字線入)、2×パローレンズ天頂プリズム、ストレート式サンスクリーン、フレキシブル(2本)、赤道儀一式、モータードライブ(138枚)取付可能スライド式二段三脚、全長/890%、鏡筒/軽合金製。

## 世界の一級品 カール・ツァイス双眼鏡

—世界で最も明るく、シャープな像を恒久的に保証—  
しかも堅牢性・気密性においても悪条件に最も強い双眼鏡—



ツァイス10×25B (ソフトケース付) 送料500円  
ツァイス10×40B (ハードケース付) 送料500円



特別価格 **69,800円** 特別価格 **143,000円**

※西ドイツからの輸入品のため着まで1ヵ月位かかります。なお特別注文のため取消はできません。詳しくはカタログをご覧ください。

(ハガキのウラ) (あて先)

18年氏住品  
才未番号  
名所名  
印  
20円  
干100東京私書箱一九七三番  
千100東京私書箱一九七三番  
(株)モア・ライフ  
光学03係

※印の無いものは無効です

## 味方が敵かは 我々の出方次第

高村 徹（17）

（〒063 北海道札幌市西区山の手3条  
2丁目）

UFOが味方が敵かを考える場合、それは彼らの来訪目的と密接な関係があると言えらる。単に遠距離からの偵察的行動では、来訪の意図は憶測

しにくいことである。従って、比較的接近遭遇となる種類の事件を分析し、そこから彼らの行動パターンを抽象化していく必要がある。

心理的に考えていくと、彼らは、我々人類に対して友好的か、興味本位か、敵愾心を抱いているかのいずれかである。しかし、これもあくまで個人的な見方であって、もっと複雑で難解な思考から我々に接しているのかもしれない。

ない。

今日に至るまで接近遭遇の報告が山積みされている中で、敵愾心を抱いているかのように思える実例は、相対的に少ないように感じられる。

彼らは、その乗り物に我々が近づくとを避けるため、強硬な態度に出ることがしばしばあるように思われる。

人間をはじめ動物類は生理的に未知のものに対して恐怖心を抱くようにな

いう極めて神秘的な部分にあると思われま

この世がどのような仕組みで始まったのか……。果てのない大宇宙の中の我々の住む地球を挙げて、そこには人類をはじめ他の動植物が生きていくにあたって、あまりにも都合の良い条件が揃いすぎているのではないだろうか。

とすれば、一体この世の創造者は誰で、今どこにどうしているのでしょうか。それを知った時、我々はこの世の起源の真理に触れ、驚嘆し、現在のこの世の流れは変わるでしょう。

我々は、この世の創造者を神と称し、崇め奉り、心の拠り所としています。この神という漠然としたものの正体は何なのか？ 私はこれこそ現代の宇宙人と呼ぶものであると思います。

イエス・キリストが宇宙船に乗っている姿が古代壁画などに見られるように、現代では宇宙人と解釈されるものが、古代においては神と称されていたことでもわかります。

ピラミッドやスフィンクス、モアイの像などの建造物の謎。ナスカ高原の地上絵など、人類の現代の科学の力でも理解し難い遺産を彼らは残してくれています。

ですから、人類の歴史が作られる以

## 読者論壇

# UFOは味方が敵か

編集部が募集したテーマ『UFOは味方が敵か』に対して読者から多数の熱心なご意見が寄せられました。ご意見の約半数は、UFOが敵になるか味方になるかは地球人の心構え次第、また残りの大半は味方説、そして、敵というご意見はごく少数でした。ここにその一部分を掲載します。紙面の都合で掲載できなかった多くの方々にお呼びいたします。（編集部）

へ性質を持っている。それが危害を加えるつもりのない未知の相手に対して誤解という形になって表われた場合も少なくないのではないか。

現時点までの彼らの我々に対する接し方は、興味本位であるというのが最も妥当な考え方だと思われる。

しかし、宇宙人が実在し、彼らが地球を訪れていると仮定しても、我々にはそれ以前の問題がある。それを解決した時、そして精神の飛躍的な成長が見られた時、初めて外界との接触に成功するのではないだろうか。

## UFOは我々の 創造主だ

川原田淳

（〒310 茨城県水戸市石川1-396

3-7）

この問題の答えは、この世の起源と

前に、何か我々の頭脳では計り知れない優れた文明が存在していたことは明らかでしょう。そして、ある時、彼らにこの天体を去らなければならぬ何かが起こって、彼らは自分に似た、現在のような地球を創造し得る能力を持った人類と、それらが生活し得る環境をも創造したのだと思います。

つまり、今、我々が宇宙人と呼んでいるものが、我々のかけがえのない祖先であり、神であって、我々の味方であると考えるのです。

我々が彼らの子であると考えられる理由の一つには、私たちの中に霊感的なものがあるとされるからです。その力は個人差はありますが、テレパシーや霊魂の世界、念力などです。UFOや宇宙人とのコンタクトもまさにそれらの力によるものだと思います。

我々が彼らの子である以上、彼らを忘れてはならないと思うし、この世に生を受けているということと彼らに感謝しなければならぬと考えます。

彼らは、常に我々を見えずして見守り、いかなる時もこの世の救世主となることと思います。

## UFOは敵だ!

渡瀬親夫

(〒274 千葉県船橋市高根台5-1、

277-107)

僕は、UFOは敵だと思います。なぜなら、宇宙人にとって、地球人とは文明の差があまりにもありすぎ、また地球人にはまとまりというものがなさすぎると思うからです。

しかし、それならば、なぜ地球に飛来してくる必要があるのだろうか? という疑問がわいてくるでしょう。

宇宙人は、今、地球人に味方しているような感じで見られるいろいろなコンタクトしています。また、いろいろな新しい知識を教えたりもしています。なぜ、こんなに地球人と接触したがるのでしょうか。

その答えは、簡単です。

宇宙人達はきっとこんなふうに思っているでしょう。「今は待とう。地球人が我々の奴隷として役に立つ日まで……。」と。

## UFOには味方も敵もいる

林田浩子(〒14・中3)

(〒710 倉敷市水江1570-2)

私は両方あると思います。UFOがいくつもの星から来ているからです。

星々では、地球に対する考え方も幾分違っていると思うからです。

地球の誕生から今まで、未来を見守

ろうという星もあれば、植民地にしてやろうと思っている星があつても別におかしくありません。こんなふうに思えないでしょうか。

私たちには、まだ時間と豊富な資料が必要です。この問題については、それから考えてみると良いと思います。

## UFOは味方だ!

平山 博(〒17)

(〒320 栃木県宇都宮市岩曾町137

7-35)

僕は、断然、味方説をとりまします。

なぜなら、誰もが知っているように今までにその説を裏付けてくれるような事柄が何度もあつたからです。

よく言われていますが、原子力を使っている場所にUFOが現われたり、「U||Z」(主な核爆弾の主成分「U」ウラン、イコール、アルファベットの最後の文字「Z」を英軍基地のレーダーに映し、核実験、核爆弾使用の中止を地球人に訴えかけた事もありました。

それに、あの広島に原爆が落とされた後にも、UFOが飛んでいたという噂を聞いた事があります。

僕が思うには、UFO(宇宙人)の心配事は、今や核戦争だけではなく、数多くあるということです。たとえば、公害や食糧危機などです。そのほか、

地球人の心の持ち方一つで改善できるものなどたくさんあります。また、地球人にはどうすることもできない、自然からの挑戦としての第5氷河期の到来、21世紀の多量の宇宙線の雨、惑星直列などが考えられます。

いずれにせよ、近いうちに、宇宙からの友は、危機に追い詰められた愚かな教え子達に暖かな手を差し伸べてくれる事を、僕は信じています。

そうです。僕たち地球人は何億年も前、彼ら(宇宙人)の教え子でした。彼らに手伝わってもらいながら、少しずつ、進歩してきました。その実績が、今でも、エジプトやメソポタミア、南米にあります。

ですから、僕は、宇宙の友と地球人の真に助け合える日が、近い将来必ず来ると信じてやまないので。

## UFOは味方であり、敵である

篠崎克也(〒高2)

(〒761-21 香川県綾歌郡綾南町陶5

423-5)

僕は、味方もおり、また敵もいると思う。

まず、ここで定義しておきたいのは、敵とは人類を滅ぼしに、あるいは、つかまえて来た者を指すということ。ま

た味方とは、人類を同等に扱うか、共存あるいは何らかの面で手助けをする者だとする。

なぜなら、今、来ているUFOは、イコール、優れた科学力と見ることで、この科学力に到達するためには、精神面でも優れていなければならぬと思う。その精神とは、この大宇宙の精神に通じると見ることができるといふことは、彼らは、宇宙のつり合いを乱すような事はしないということである。ただし、宇宙のつり合い(調和)を乱す者には、当然、何らかの方法で手を打って来るに違いない。即ち、UFOとは、これらの監視、あるいは、対策にきているのだと思う。

敵と呼ばれる者は、宇宙を乱す者(地球人)を植民地下に置き、教育しなければならぬと考えているし、味方と呼ばれる者は、あくまでも人類自身に過ちを悟らせ、自分自身で改めさすという考えを持って、そのためのヒントを与えるといった感じを持つものだと思う。

両者とも、もともになる考えは同じであり、ただ彼らの人類に対する行動の仕方、ただ彼らになったり、味方になったりするのである。しかし、これは、あくまでも、人類の側からの見方であって、宇宙全体から見た場合は、UFOはす

べて味方同志であるだろう。

## UFOは味方だ!

遠藤 満

(2089-26) 北海道広尾郡広尾町丸山通り南4-2)

「UFOは、味方が敵か」これは、たいへんむずかしい問題ではないでしょうか。なぜなら、UFOの実体すらわかっていないからです。

しかし、あえて味方が敵かを判断するならば、僕は、UFOは我々の味方であると思います。少なくとも、あのアダムスキーが、コンタクトしたUFO(宇宙人)は、絶対に味方であると信じます。あの時アダムスキーは、UFOに乗っていた金星人に、地球の危機についていろいろ聞かされました。もし、UFO(宇宙人)が敵だったら、地球に危機が迫っている事を、わざわざ教えにやってくるでしょうか。

味方だからこそ、地球が心配だからこそ、教えにやって来たのではないのでしょうか。そして、彼ら(宇宙人)はこの地球を、戦争などで自滅させまいと、たえず僕達を見守っているのではないのでしょうか。

## UFOは敵だ!

古代 進

(2086) 北海道名寄市大和地区)

宇宙人は侵略者だ!

本誌を読んでいると、UFOは地球の救済に来るとか、人類の危機が来るとか書いてあるが、じょうだんじやない。宇宙人は侵略者だ! かならず地球を攻撃し、自分達の星にするつもりだ。そのわけは、世界各地で無数の人々を光線などを使って殺していることでもわかる。(本誌などにも載っている。)

また、各地で異星人とコンタクトしたという人はいるが、それらはみなうそだと思う。そんな話をする人達は異星人といっしょになって、地球を攻撃する計画でもしているのだろう。

各地でUFOが目撃されているが、それらは地球を見張っているのだ。このままだと我々の生きる道がなくなってしまう。宇宙人の侵入を許すな! いくつか攻撃される日が来るだろう。

私はここで予言する。

自分達の星は自分達で守ろう!

地球人よ、立ち上がれ!

それから、「人類の危機」とか言われているが、それは地球人を脅かす宇宙人のデマだ。だまされるな。私はそう思う。

## UFOは仲間だ!

中田 勇

(2038-38) 青森県南津軽郡藤崎町字村元31)

UFOが味方が敵かということは、日本人とアメリカ人が味方が敵かというのと同じように、異星人が地球に対して味方が敵かということになる。

日本は海を1つ越えればアメリカ、地球から1つ宇宙空間を越えれば異星人の惑星。日本人とアメリカ人はお互いに敵だと思っていない。お互いに協力し合って快適な生活を送りたいと思っている。それと同様に、地球人も異星人も仲間であると思う。

しかし、考え方を誤ってエゴや欲が出ると自分たちが相手を勝手に敵と決めつけてしまう。敵というものは、他人が作るものではなくて自分が作るものだ。

だから、UFOは味方が敵かと言うよりも仲間と考える。

ただ恐いのは、今日のように地球人がエゴに征服されている精神状態で惑星間を運行できる宇宙船を作った時、勝手に自分達が敵を作るように思われる。

まあ、そういう宇宙船を地球人が作るのには遠い未来になると思うが、それまでに自分で敵を作らないような人間になってほしいですね。

# 味方が敵かは地球人次第

須藤信次(へ15)  
(二一三九一21 群馬県前橋市筑井町13)

まだ僕自身、宇宙人とコンタクトした事がないので、はっきりとした事は言えません。しかし、今日までに起きたたたくさんの遭遇事件などから考えますと、大きく分けて宇宙人は地球人に対して二面性を持っていると考えられます。

まず一つは、皆さんもよく知っていると思いますが、アグムスキーとコンタクトした金星人達のような宇宙人達の事です。彼らは地球人に対して友好的で、いろいろ助言をしてくれます。正に味方と言えるでしょう。

そして二つ目は、チャゴ・マツシヤ

ド少年を銃で射った宇宙人や、アルバニア空軍のジェット機を襲った円盤などのように、地球人に危害を加える宇宙人達です。この宇宙人達は、地球人に対して好戦的で、下等生物を相手にするような行ないをします。彼らは敵であると言えるでしょう。

しかし、ここで考えられるのは、彼らの科学力から見て、また精神面の発達からしても地球人に危害を加えることとはしないのではないかという事です。先に述べた敵であるという見方は、セムジャーゼの話にあるように、円盤の技術の開発時代に宇宙に放り出された宇宙人達が、時折、故郷を求めて宇宙を巡り、地球を訪れ、危害を加えてしまつたために起きた事ではないでしょうか。

宇宙人は地球人にとって、我々が自分自身の精神を高めようと努力をする限り、味方であるにちがいないと思います。そして、理性を失うことがない限り、我々は宇宙人と仲間になれるだろうと思ひます。

# UFOは味方だ

磯野昭仁(へ15)  
(二1952 新潟県両津市加茂歌代1280)

宇宙に存在するのは、私達人間だけではない。このことについては、もう誰もが疑いを持つことはないだろう。それでは何故UFOは、我が地球を訪れるのであろう。

UFOについては、賛否両論いろいろあると思うが、否定論には、たとえば地球の乗っ取り、人類を滅ぼすなどというものがある。僕は、こういうことを唱える人に対して、内心寂しく思

っている。「なぜ、事実には忠実にならないのだろう」と。宇宙人にコンタクトして話をしたという人が、地球に飛来する目的を聞いた時、「地球の侵略のために来ている」と答えた宇宙人は、たぶんいなかった。いや、ぜんぜんいなかったと言つても過言ではないだろう。そういう事実をまったく相手にしないでUFOの否定を唱えている人の気が知れない。

現在では、UFOを敵だなどと言っている時ではないのだ。大いに興味を持ち、我々の友人だと信じ、謎を解き明かさなければならぬ時になっているのだ。

UFOは味方だ。僕は信じたい。そのうち、UFOが地球に大きな役割を果たす時が来るだろう。皆が、UFOは味方だとわかる日が来るだろう。

## 「死後の謎」科学探究シリーズ

# 前世を記憶する20人の子供

米ヴァージニア大学教授 イアン・ステイヴンソン 編  
原著 ヴァージニア大学出版局刊 今村光一 訳

全三巻 定価各千円  
一巻 ¥1600円

転生の実在を史上初めて科学で実証

前世の歌と踊りを踊るスワンラタ/死からの奇跡の生還後、別人に生まれ変わったジャズピアニスト/前世の失敗に現世でも苦しんだバーモッド/前人格と相互に生まれ変わったブラカシユ/等20数年をかけた世界各地から生まれ変わったとしか説明しようのない二千人例を調査。代表20例を本書に。世紀の名著を初公開。●人間が生まれ変わるとは信じがたいが、これほどの証拠をつきつけられては信じないわけにはいかない(コリン・ウィルソン)

# 私は霊界を見て来た

死者は生きています

霊女オルガの奇跡

霊魂と政治と

たとえ狂人といわれても

エドウィナ・セルテイ  
足立忠夫・大日向共訳  
¥780・¥1600円

オリバー・ロジ  
今村光一 訳  
¥680・¥1600円

E・スウェテンボルク  
今村光一 抄訳  
¥680・¥1600円

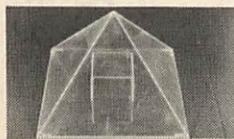
書店売切れは書店注文か代金同封直接小社へ

叢文社 東京都神田猿樂町1-4  
久松ビル 03(295)0159

足立忠夫・¥12000・¥2000円

## 驚異のピラミッド・パワー!!

ピラミッドパワーの研究は 現在先進各国で積極的に 進められています、我々の身の廻りでも色々な実験が出来ます。正確に縮尺されたピラミッド模型を好条件の下に置くと、あなた自身も驚く様な実験を楽しむ事が出来ます。あなたも何か新しい発見に挑戦してみましょう。



### ピラミッドーA

透明高級プラスチック製、大変美しくそのまゝインテリアとしても最高です。もちろん中の状態を外から観察できるので、実験にも最適です。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 6,000円



### ピラミッドーB

実験を楽しんで頂く透明プラスチック製、折た、み式、ピラミッドです。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 1,000円

### ピラミッド・ペンダント

(アメリカ製)



ピラミッド・エネルギーをあなたのものにしましょう。一晩ピラミッドの中に入れてから身に着けるとさらに効果が高いと言われます。(Gは金色・Sは銀色・Tは金色の美しいペンダントです。Tは中央の部分が磁化され、中に小さな物が入られます)

G 3,000円 S 3,000円 T 4,500円



### ピラミッドーMP

瞑想、実験用組立式ピラミッドです。底辺 約180cm、高さ 約115cmで、中にゆったり座れます。アルミ合金の止金で正確な角度が得られます。13,000円

### ピラミッドーM

瞑想、実験用ピラミッドの止金です。パイプは各自、好きな長さの物を使って頂きます。パイプの太さや長さの計算は説明書に書いてあります。お徳用です。9,000円

### ピラミッドーS

ピラミッド・パワーが金属中では最も高い真ちゅうにニッケルをメッキした高級折た、み式、瞑想用ピラミッドです。(底辺 約180cm 高さ 約115cm) 25,000円

### ピラミッド・ネックレス

(アメリカ製)



ペンダントと同じように使えます。アクセサリとしても最高です。ピラミッドの中央は夫々磁化されています。5,000円

## あなたにも念力がある!!

人は誰でも念力(超能力)を持っていると言われます。ただ永い間、念力を使う必要がなかった為、潜在能力となってしまいました。しかし練習を積み、あなたも自分の能力に気がつき、それを強化する事が出来ます。これらの器具は潜在能力開発の基本となるものです。

### 念力開発器

(ロジクルッシュン・ダイヤレット)



ダイヤレットであなたは自分に念力があることをすぐ確認できますし、訓練によって、それが強化されて行くのが分ります。バラ十字団はダイヤレットを使い自己の念力を強化して、実生活にも役立て、いました。7,000円

### プランセット

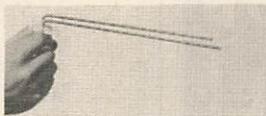
(西洋式こっくりさん)



プランセットはそれを行う人の意志とは関係なく、自然に動いて文章や図形が記されるもので自動書記とも呼ばれます。プランセットの実験は精神統一にも有益で、家族や友人と楽しめます。5,000円

### ダウジング・ロッド

(宝探しロッド)



このロッドで不思議な力を発揮できる様になります。少しの練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できる様になります。又ピラミッド・パワーによる効果の実験も出来ます。3,000円

### 魔法の振り子

(シュプロール振り子)



魔法の振り子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。同時にピラミッド・パワーによる振り子のゆれ実験も出来ますし、占いや集中力の強化も出来ます。2,000円

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法等の解説書がついてます。

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。

ご注文は

紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U係にお送り下さい。[送料はサービス]

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元

**ポラックス株式会社U係**

TEL (03) 666-0511(代)

技術指導

**潜在能力開発研究所**

# Contact 読者の

編集部からのお願い\*できる限り多くの方々のご意見や情報、イラストなどを掲載するため、声・UFO不思議体験に投稿される方は、400字詰原稿用紙2枚程度に内容をまとめて下さい。また、UFO目撃情報・文通しよう・UFOファン集まれ・イラスト・蚤の市に投稿される方は必ずハガキで（ハガキと同じ大きさも可）。なおイラストは黒色のペンなどで書いて下さい。

# コンタクト 広場

声	84
UFO不思議体験	87
UFO目撃情報	88
文通しよう!	89
UFOファン集まれ!	90
読者のイラスト	91
蚤の市	92

■読者のイラスト ■ 祖父江 慎（愛知県一宮市北方町）



## 竹取物語考

内山弘幸

(〒930-122 富山県富山市宮尾606)

本誌41号に浦島太郎の伝説について書かれてあったのを見ました。こういう話は、ほかにもあるのです。それは、みなさんもよく知っている竹取物語とかぐや姫なのです。

テスト勉強で何度も読み返しているうちに、実に驚くべきことを発見したのです。

左の文は、その竹取物語から抜き取ったものです。よく注意して読んで下さい。

かかるほどによいうち過ぎて、子の時ばかりに家のあたり昼の明かきにも過ぎて光わたり、望月の明さを十合はせたるばかりにつある人の毛の穴さへ見ゆるほどなり大空より人雲に乗りて

# 声



おりて来て、土より五尺ばかり上がりたるほどに、立ち連ねたり。これを見て内外なる人の心ども物には襲はるるやうにてあひ戦はむ心もなかりけり。かろうじて思ひ起こして、弓矢を取り立てむとすれども、手に力もなくなりてなえかかりたり。……

というようにこの成立年代・作者とも未詳で、かなで書かれた日本最古の作り物語である竹取物語をよくよく考えてみると、今のよくあるSF顔まけのものではないか！ 宇宙人がUFOで降りてきて強い光を放射し、そして人々に光線を浴びせ、その明るさが人の毛の穴さえも見えるほどであるなんて本当にできすぎている。今から何百年前に書かれたものかは知らないが、今のSF顔まけの物語を誰が空想で書けたのだろうか？

いや書けるわけがない！ 何百年も昔の人がこんな想像力を働かせられたわけがない！ とすると、これは作り物語りではなく、ほんとうにあったこと、見たことをそのまま書いた記録物であるにちがいない。きつと何百年も昔の人が、宇宙人であるかぐや姫をUFOに乗って迎えに来たありのままを書き、かぐや姫・竹取物語としたのであろう。そのほかにもいろいろな箇所不思議なことを書いた文が見つけ

られる。

ほかがここで考えたことは、竹取物語は日本最古の作り物語ではなく、日本最古のUFO目撃の記録であるということだ

## 地球と宇宙との交流

長峰千明

(〒330 埼玉県大宮市天沼町1-12 8-7)

この広い宇宙の中で、地球なんかほんのちっぽけな存在にすぎない。その地球の人間は、ほこりのようなものにすぎないちっぽけなものだ。

こんな地球に目をつけた宇宙人たちが、ペルー・ナスカの地上絵、イースター島の巨大石像群。あの大きな石を、どこから知識を得て、どうやって運んだのだろう。

それは、UFO、そうだ！ 宇宙人の力なのである。なぜならば、石に彫られたジョット機や操縦席のようなものは、何を私たちに伝えようとしているのであろうか。しかし、はるかな昔に人間と宇宙人との交流があったとしたら……昔の人がUFOに乗せてもらい、宇宙人の操縦する操縦席を見た後に、石にきざんだとは考えられないであろうか？ また、同じようなものに宇宙

人の姿が描かれているものもある。もつとも決定的なのは、ナスカの地上絵である。上空でしか見えないあの巨大な絵は、いったい何のために作ったのだろうか？ 滑走路のようなものは何であるのか？ この地球上に、宇宙人が残していった謎はまだ山ほどあるのだ。

また、最近目立っているのが、地球人が宇宙人の手によって誘拐される事件だ。なぜ、そんなことをするのか？

「いつものことさ」といって何も考えずに通りすぎるだけでなく、もっと深くこのことを考えるのも大切である。宇宙人は科学の遅れている地球人を、虫けらかなんかのように考えているのだろうか？

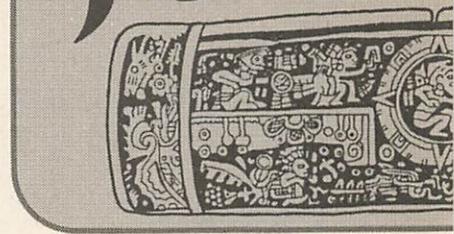
そんなことよりも、もっと宇宙人の方から積極的に地球と宇宙との交流を求め、友好を推進すれば地球全体が、また社会全体が、ガラリと変わるのではないだろうか。私は、一日も早くそんな日が来てほしいと思う。

## 自然悪念浄化力

小林敏浩（高1）

(〒946 新潟県北魚沼郡湯之谷村井口 新田原383)

## 声



外へ出て、暗黒の空間に宝石を散りばめたような星空を見上げてみてください。その時あなたの心に、闘争心やエゴイズム（利己主義）などの入りこむすきがあるでしょうか？

たぶん、そういう人は少ないのではないかと思います。私はそれ（星空）を見たとき、大宇宙の素晴らしさと雄大さに圧倒され、何か不思議な力が心に働きかけてくるのを覚えます。あなたもたぶん、星空を見上げたとき、あの中に飛んで行きたいという気持ちになるでしょう。

これは、現代の科学では人工的に作ることでできない自然の力です。この力は、現代のように、悩み事や、不安、怒りなどの、人体に非常な悪影響を及ぼす想念を一瞬にして解消してくれる力です。そして、心身をバランスのとれた状態にしてくれます。この力を言

葉で表現するなら、悪い想念を自然に浄化してくれる力、自然悪念浄化力、ともいいたらよいでしょうか。この自然浄化力は、星空だけではなく、あらゆる自然が持っている力です。しかし、自然の産物である人間は、この力をあまり持っていないようです。

そこで私が皆さんに言いたいことは、常に心身ともに不定安な状態にいることは、人間がだんだんだめになっていってしまうということです。これは機械などを悪い条件で、ろくに手入れもせずに使っていると、すぐに使いものにならなくなるのと同じです。だから、1日に1度、3日に1度、あるいは1週間に1度でもいいから、この自然が恵んでくれる自然悪念浄化力でもって心身をきれいに掃除し、人類の未来のために、そして浄化の力を恵んでくれた自然に、今度は私たちが奉仕していかなくてはなりません。この奉仕とはいうまでもなく、自然を守るといいます。

### 私のUFO研究

井上 務（高1）

（〒890 鹿児島県鹿児島市西伊敷2-3-21）

その昔、ギリシャ時代から哲学と科

学は同じ合理的認識の上に立脚し、同一分野として扱われていたそうです。科学的哲学、すなわち哲学は科学のように確実性を持ったものということになっているのですが、いったいアダムスキーの宇宙哲学はこの定義に沿って考えられているのでしょうか？

私は無知な学生にすぎませんが、これくらいの判断はできると思っています。この例だけではなく、雑誌等に載せられている多くが、合理的・科学的認識を誤った形で認識しているように思われてなりません。こういった悪い意味での独断と偏見が、日本の学者達にとってUFO問題黙殺の要因となり、一般社会の誤解を招いていると私は考えます。

もっと現実を客観的に考えてはいかがでしょうか。

現在の地球上の科学では恒星間を飛行する科学技術を推測することすらできないのだそうです。これで空飛ぶ円盤などを作る異星人とすんなり付き合いができるのでしょうか。

異星人との付き合いとなると、それは文明対文明であって、SF的観念は絶対に禁物です。

UFO研究はあくまでも真理の探究であり、アマチュアだけでなく、もっと専門家や科学者が関与するのは当然

だと思えます。日本の学者の皆さん、イデオロギースにとらわれるのはやめにしましょう。黙殺なんてとんでもない！ 真理の道から外れたものを矯正していく義務も専門家や科学者にはあると私は考えます。

本当の意味での地球平和を望んでやみません。

最後に、

『ありえない、しかしその現象は起こっている。』——アレン・ハイネック

### CEE—III

山崎 誠（17）

（〒949-84 新潟県中魚沼郡中里村大字田沢癸603）

単なる推測と心証で自分の意見を絶対とする考え方は、UFO研究において陥り易いところである。この点に気をつければ事実と照らし合わせた空想論はいささか迫力を帯びてくる。

近年UFO研究に取り組む人々を当惑させるような奇怪なCEE—III（第三種接近遭遇）が続々と起こっている。いわゆる誘拐とか身体検査の類などである。

これらは古今東西を問わず続発し、いまだにその衰えを知らずますます盛

んといつたところだ。

また円盤のほうにも様々のタイプがあり、一カ所から飛来してくるのではない、という印象をわれわれに受けさせる。

さて問題なのは、なぜ昔からある誘拐・身体検査のC E—IIIが今だに衰えをみせないのかということである。もし、（これからはすべて空想論であるが）彼らが光速を超える乗り物を発明したのであれば、惑星間の情報交換は容易なはずである。つまり、A惑星が地球の情報を持ち帰った場合、B惑星C惑星にその情報を提供することができはるはずである。そうなればB・C惑星は、なにもわざわざ危険を冒してまで地球にやって来なくても済むのではなからうか？ だのに奇怪なC E—IIIは続発しているのである。

考えるに、これは惑星間の交流があまりないということではなからうか。更に言えば地球の国々の様に異星人の惑星でも国と国との対立があるのではなからうか？

これらのことを考え合わせると、多くの人々が望んでいる円盤文明（円盤に象徴される文明）は甘い素晴らしい夢だけであって、現実の宇宙や惑星間の交流は冷たいゾツとするものではなからうか。

前述と関連するのであるが、ちよつと付け加えさせてもらいたい事柄がある。

御存じの通りこの太陽系には9個の惑星がある。アダムスキーをはじめとする様々な人々が、この系には地球以外にも人間は住んでいると主張している。ならば、もし、この太陽系外の惑星から異星人が訪問した場合、地球の情報を求めるために地球に立ち寄るよりは、金星・火星に立ち寄った方が彼らにとって安全なのではなからうか。確かに危険を冒してまで地球人を誘拐身体検査するよりは、地球人に精通しているというスペースブラザーズから情報を提供してもらった方がよっぽどよいはずである。

また、スペースブラザーズという人々は地球人を愛し多くの人々に救いの手を差し伸べているといわれている。とすれば、人々を恐怖に陥れる悪辣な異星人を、愛する地球人のために追い返してくれてもよさそうなものである。しかし、我々はそういう事実があるとは聞いていない。さっするにスペースブラザーズとは、口先だけで愛を説く行動のまったく伴わない存在なのだということである。もつとも、現代においてスペースブラザーズが存在を信じてること自体ナンセンスともいえるのだ  
が……。

# Behind Your Conscious Mind...

あなたの意識の背後にある...



●五感の世界に限られる必要はないのです！  
視覚・聴覚・触覚などは、人生の實在のほんの一部分しか発現してくれません。この外面的意識の背後にはより広大な認識の世界があります。そして超能力の印象が時として意識に現れることがあります。危険の予感、直観の不思議な力、言葉で話す前に考えが通じる……これらは、あなたの未開発の超能力の一端を示しています。これらはあなたにも開発できるのです！  
バラ十字会は世界中の会員に毎年七百万通以上の教材を親書として郵送しています。

▼バラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とは異なつた無関係の立場で、哲学的探究を目的としている個人組織です。本会には、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通訳教育方式により、一般公開する活動を現在、世界63カ国で行っております。  
▼古代の奇蹟と方神秘として伝承されているこの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働き、意外な、人生の諸問題の対処方法など、ユニークな視点、英知の数々が内包されています。  
●詳細を説明した小冊子「人生を支配する」(日本語版を無料で郵送いたします。資料請求券添付の上、左記にハガキを甲込までください。)

■甲込先 1165 東京都中野区若宮2-49-16  
バラ十字会 日本本部 AMORC 事務局 U-16 係

The ROSICRUCIANS

米国カリフォルニア州サンノゼ市  
バラ十字会 AMORC 世界総本部

資料請求券  
U-16



## ダブルテレパシーが UFOに!

清水英則

(〒399-0363) 長野県諏訪郡原村柳沢63-2

昨年(1999)の夏休み中の8月18日に、流星観測会がありました。その会は同好者の集まりで、中学校の校庭にシートを敷き、その上に寝ころんで毛布をかけた空を見るといって観測会です。ぼくはUFOをぜひ見てやろうと思って参加しました。

午後11時頃、校舎の中でカップヌードルを食べ、外に出ました。外は寒く



▲ダブルテレパシーでUFOを呼んだ清水君

す。この光点は、3機の円形の皿と皿をくっつけたような形をした、銀色に発行する物体でした。

て空も曇っていたのですが、ぼくはイースを持ってきてこしかけ、ラジオを聞いていました。すると、なぜかUFOを呼んでみたい気持ちになり、空を見上げ、心を集中して「Space people Benton」と心の中で叫んでいました。そこへ友達の見聞君が来て、「何しているの」と聞くので、ぼくは「UFOを呼んでいるのさ」と説明すると、見聞君も隣に立って空を見上げていました。突然、「あっ! あれは何だ!」と叫ぶ見聞君に驚き、急いで彼の指さす方を見ました。でも、もうそこには何もなく、雲だけが空にかかっていた。見聞君は赤く発光する物体を見たと言っている。「もう一度呼んでみようよ」ということで、今度は2人でUFOを呼ぶことにしました。そして午前1時ごろになり、空も晴れてきました。すると南の方に、ジグザグとゆれ動く光点が見られ、50秒程すると、ぼく達から見て東南東約80°の地点で、その光点(3つに見えた)は水平飛行に移ったので

水平飛行に移ったとき、その3機のUFOの後ろに、小型の球形をしたUFOも確認することができました。小型のUFOはフワフワ飛んだりしていました。色は他のと違い、無気味なブルーオレンジ色でした。UFOはゆるやかにカーブすると、北北東へ向かって去って行きました。その間、約4分程でした。

ぼくの友人の見聞君は、心からUFOを信じているので、ぼくと見聞君の出したテレパシーがうまくUFOに通じて、こんなにすばらしいUFOがないかと思っています。

## 炎を吹いていた物体

遠藤 満

(〒089-26) 北海道広尾郡広尾町

僕はかつてあのような不思議な物体を見たことがありません。あれは今から3年前、僕がまだ札幌に住んでいた時のことです。時期は覚えていないのですが、雪の積もったとても寒い日だったという記憶があります。確か午後11時頃のことでした。僕は1人で家の外に出て、星を眺めていました。1、2分もたったところでしょいか。突然土星の見える方向(東方)でピカッと何

かが光ったのです。と、今度は急に、赤く先のがった物体が現われ、後方から炎を吹きながら、しかも炎を出すたびにシュッシュと音をたてながら飛んでくるではありませんか! その間約5秒くらいだったと思います。木星付近(南西方向)まで来ると、今度はフツとかき消すように消えてしまいました。最初は流星かと思っていました。家に戻って30分もした頃、今度は兄が、「変な物体が飛んできた!」と言いながら、家の中に飛びこんで来ると、ビックリ! 僕の見えた物体と同じらしく、炎を吹いた赤い物体が土星付近に現われ、木星の所で消えたというのです。母に言う、「流星でしよう」と言って笑っていましたが、流星が炎を吹いて、しかも同じ土星付近に現われ、木星付近で同じように消えるのでしょうか? 人工衛星ではないかと言う声も出たけれど、人工衛星は点滅しても、炎は出さないとはいえず、急に出現して急に消失もしないはずです。だとしたら……!?

あの日のあの不思議な物体は、いったい何だったのでしょうか? あれがUFOだったのでしょうか。もし、僕と同じような物体を目撃した方がいたら、ぜひお知らせください。



①目撃者の氏名・年齢・学年その他  
 ②目撃者の住所 ③目撃日時 ④目撃地点 ⑤天候 ⑥目撃継続時間  
 ⑦同時目撃者 ⑧観測方法 ⑨物体の形状 ⑩飛行状態その他

①那須正夫 ②島根県出雲市今市町中央通り喫茶セーヌ内 ③1978年10月2日21時20分前後 ④今市町県立中央病院横 ⑤約5秒 ⑦ナシ(その後連絡によると、4名の同時目撃者を発見とのこと) ⑧肉眼 ⑨オレンジ色をした、月の半程の大きさの流星状 ⑩地方左手から右手に、流星のよぶに尾を引きながら飛行 那須さんから

目撃された方、ぜひ御一報ください。

①寺部静雄 ②愛知県豊川市三滝子町 ③1978年8月24日午後10時2〜3分頃 ④豊川市豊川信用金庫裏手 ⑤曇り ⑥25〜30秒 ⑦ナシ ⑧肉眼

⑨バレーボール程の大きさを球形をしたにぶい白銀色 ⑩東方の建物の屋根と屋根の間に出現。弾丸のように飛行し、真北のあたりでスピードをピタッと落とすとゆっくりと西進し、西北方向で上昇を開始すると間もなく消失。4〜500m遠方で、高度は3〜400m位。

①大貫 学(20) ②東京都分寺市東元町 ③1978年10月8日午後9時40分前後 ④栃木県西那須野町四区から高原山方向 ⑤快晴 ⑥5〜10秒 ⑦ナシ ⑧肉眼 ⑨エンジェル・スカラー系のものに酷似し、白光色と黄金色を合わせたような色をしていた。大きさは4cm位。⑩北方左手に出現。水平にゆっくり移動。や、右手に來たと、目撃者との間にある電柱に隠れ、消失。

①本間裕一(15・中3) ②新潟県西蒲原郡黒崎町 ③1978年10月31日夜 ④自宅前の細い道 ⑤晴れ ⑥5〜7秒 ⑦弟(本間智晴) ⑧肉眼 ⑨直径15m以上もある球体で、全体に黄色く光っていた。⑩発見した当初は

停止していたが、数秒で南方へ移動。速度は飛行機よりも速く、無音。

①寺田ひさ代(26)(主婦) ②東京都中野区上鷲宮 ③1978年11月26日午後4時前後 ④東京都中央区銀座3丁目の銀座通り ⑤曇り ⑥1分位 ⑦1人(すれ違った子供) ⑧肉眼

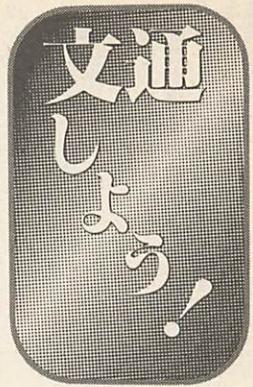
⑨本誌38号のカラーページにあったヨコハマのUFOに酷似。飛行機の尾程の大きさを、上部は銀色、底は黒く見えた。⑩目撃したUFOは2機。1機は東京方面に向かって右手の方向にまっすぐ飛んでいたが、もう1機は左右上下に3、4回フラフラとゆれてから、前記のUFOを追いかけるようにして飛んでいった。ビルの影に隠れて見えなくなり、急いで後を追ってみただが見失う。

①吉野達也(18) ②香川県坂出市旭町3-1-10 ③1977年1月14日午前11時35分頃 ④坂出市の高等学校の校庭 ⑤快晴 ⑥3分位 ⑦友人1人 ⑧肉眼 ⑨超楕円状で、全長100m位。中央にややふくらみを帯び、色はにぶい銀白色。アダムスキーのマザーシップに似ていた。⑩何げなく見上げた北の空に、巨大な物体がゆっくりと北東の空から南西に向かってのるのを目撃。飛行機よりも速度は遅く、飛行船のように空中にフワフワ浮かんでい

るといふふうでもなかった。仰角は約80°。水平に終始同じスピードで飛行。帰宅後、弟にこの話をしたところ、彼も以前、同じような物体を学校帰りに目撃したとのこと。

①後藤三千雄 ②神奈川県横浜市中区 ③1974年8月6日午後8時30分〜9時の間 ④宮城県松島湾内寒風沢島 ⑤晴れ ⑥約5分 ⑦10〜20人程(会社の同僚) ⑧肉眼で、仰角80〜85位

ほぼ真上。⑨フットボール型の楕円形で、蛍光灯のようなきれいなブルーをし、また放電しているような輝きがあった。大きさは見かけて1〜1.5m位。地上からの距離は20〜50m位。⑩人里離れた小島でキャンブファイヤーをしているとき、ふと見上げた上空に物体がポツカリ浮かんでいった。停止の状態だった。5分程眺め、キャンブの行事を進行させている間に消失。2、3日後同一場所ではないが、松島で小学生が白昼にUFOを目撃し、追いかけたという話が耳に入った。またその年の2月頃、松島付近で、友人が夜、飛行機とは思えないスピードと、上下ジグザグ運動をしたかと思うと、急な角度でターンして飛行する光点を目撃したという話も聞いているので、当時あの地域に、私の目撃した物体が何度か出現していたのではないかと思われる。



**U** FO、宇宙などについて気楽に語りあえる方との文通を希望します。  
南元恵子(高3)  
(〒899) 51 鹿児島県始良郡単人町野久美田982)

**た** った今、UFOを見たばかりの私にお手紙を……。年令・男女問わず。  
鈴木直子(17)  
(〒440) 愛知県豊橋市橋良町字向山16

**科** 学的なこと、宇宙論、天体物理、超常現象、科学工作、UFO、宇宙人など、何でも構いません、興味のある方、お便り下さい。性別、年令、住所、一切問いません。  
市塚慶太(12)  
(〒276) 千葉県八千代市八千代台東4-10-3

**U** FO・宇宙人・超能力・占星術・ピラミッド・古代文明に非常に興味を持っています。性別・年令問わず、返事は必ず出します。みずがめ座の方、宇宙人さん大歓迎。  
斉藤多真枝(14)  
(〒047) 北海道小樽市手宮3-13-1

**超** 常現象に興味を持って10年、今になってやっと広い目で諸現象を見

わたせるようになりました。UFO、宇宙、人間、心、霊、etc.についてマジメに話し合える人と文通したいと思えます。返事は必ず書きます。  
佐藤敏之(20)  
(〒583) 大阪府藤井寺市大井4-6-40

**U** ouのペンコンタクトを、お待ちしております。18歳以上の方ならどなたでも。返事確実。  
久保陽子(18)  
(〒761) 03 香川県高松市亀田町4-6-3-37

**U** FO・宇宙人・心霊・ESPなどに興味のある県内、近県の女性の方を希望。また宇宙考古学に興味があり研究している方、男女問わずお便り下さい。全国どこからでも構いません。返事は確実に出します。  
宮崎克己(25)  
(〒919) 05 福井県坂井郡坂井町下新庄2-4-1-1

**8** 年前、沈み行く夕日の美しさに巡り合い、『天文学』を志しました。以来独学をしてきましたが、宇宙の果てに関する事、星雲のかたちの宇宙、それらをひっきりぬめて、宇宙構造はどうなっているのか、そして宇宙文明、宇宙の人類などに非常に興味があります。そのような方面で話し合える友を求めます。  
鈴木隆(34)  
(〒294) 03 千葉県館山市香谷41

**関** 東地方、東北地方の同じ年代の方、UFOや文通しよろのことでもいいですから、僕と文通してくれませんか。できたら写真を入れて送って下さい。必ず返事を出します。

郡司一弘(14)  
(〒329) 28 栃木県塩谷郡塩原町関谷71-5  
**U** FO・超常現象・心霊現象・宗教・哲学等に興味のある方、でなたでも結構です。お手紙下さい。その他、これ等のサークル等を紹介して下さい。  
園田泉子(19)  
(〒165) 東京都中野区新井1-17-4 相場方)

**心** 霊・超常現象に興味のある、なるべく同年の方、お便り楽しみに待っています。  
吉場理恵(20+?)  
(〒350) 04 埼玉県入間郡毛呂山町川角965-2

**存** 在の詩、究極の旅を読んで、バグワン・シュリ・ラジネーシに共鳴し、この感激をわかち合えることのできる方、そして自己の内なる姿に帰って永遠の生を開くために、魂の旅を続けている神秘的な方。宇宙の音楽にのったあなたの言葉を届けて下さい。  
たごめさちこ  
(〒516) 三重県伊勢市中村町)

**私** は、『UFOと宇宙』そしてソフトサウンドに狂っている22才の男子です。どちらでも興味のある方、性別に関係なくお便り下さい。  
鈴木俊克(22)  
(〒434) 静岡県浜北市小林298-16

**宇** 宙物理学、宇宙生物学、超能力に特に興味があり、これらによってUFOと宇宙・異星人の現実性を証明しようとして、日夜思索しています。なるべく近県の方との文通を希望。お便り下されば、即返信します。

村上雅直(23)  
(〒836) 福岡県大牟田市曙町5-8  
**古** 代文明、遺跡、またマンガなどに興味のある方、私と文通しませんか。なるべく女性の方希望。  
戸田真佐恵  
(〒737) 広島県呉市西中央3-12-5

**近** くの方で月に1回ぐらい会える同年令の女性の方、僕と文通して下さい。  
高野幸夫(14)  
(〒329) 28 栃木県塩原郡塩原関谷1600

**超** 常現象・SF・少女マンガなどに興味のある方、お便り待っています。また、近くに住んでいる方で、中国拳法を教えて下さる方、一緒に練習をしてくれる方、御連絡を。  
西永佳弘(18)  
(〒700) 岡山県岡山市津島福居2-11-6-1 錦荘)

**空** 飛ぶ円盤に興味を持って3年位な年位なり。ポール・モーリアを聞いて3年位しています。僕と同じタイプの人と友人になりたいし。手紙待つ。  
森 恒雄(16)  
(〒312) 茨城県勝田市東石川後原3140

**古** 代文明やSF小説、マザーグースに興味がある方、私と文通しませんか。男女問いません。未長く続く方を希望。  
福田登美子(13)  
(〒431) 31 静岡県浜松市有玉北町6-8-3  
☎0534-11792



**現**

在、私達はマイコンを使って、宇宙の因果関係及び、テレポーテーションの研究開発をすすめています。我々は、近々UFO観測センターを山頂に建設する予定です。特殊なコンタクト方法でUFOと接近し、同乗して宇宙旅行を実現したいと思つて、日夜研究活動をしています。一緒に活動しませんか。男女問いません。

山部弘史  
(〒733 広島県広島市本川町2-3-21情報教育開発センター内)

**我**

が「中国拳法研究会」では、只今会員を募集中です。詳細は、年齢武術経験の有無などの自己紹介を書いて50円切手同封の封書で連絡を。もちろん武術経験のない方でも、女の子でもOK。活動は会誌「拳究会」の発行で、新潟県に支部があります。

中国拳法研究会  
(〒454 愛知県名古屋市中川区愛知町29-10丹羽利広方)

**近**

県の方で、会って話したのである方を捜しています。話題はUFO・サイ現象・その他あらゆる分野。僕の考えをより深めていくため、あるいは新知識を得るために、また貴方のUFO論・宇宙論なども聞かせて下さい。年令・性別は問いません。

篠崎克也(17)

(〒761-21 423-5) 香川県綾歌郡綾南町陶5

**私**は、SF同人誌「タイム・ポケット」の者です。事情があり、1年間休刊していましたが、このたび、もう1度やってゆきたいと思つています。タイム・ポケットの仲間たち、連絡待つて下さい。その他、SFの好きな方連絡下さい。

小宮夏樹  
(〒300 茨城県土浦市桜町3-13-4 鳩旅館内)

**UFO**研究組織CUC(前名TUC)は倉國的に会員大募集中です。活動内容は、UFOに対する科学的な研究と、アダムスキー氏の研究、その他、古代文明、天文などを行なつております。会誌「UFO研究記」を発行中。年令・性別は問いませんが、まじめに取り組んで下さる方の入会を希望。案内書を送りますので、50円切手同封の上御連絡を。

福元忠実  
(〒891-04 鹿児島県指宿市十二町807)

**UFO**研究会結成。全国的に会員募集中です。内容は1カ月に1度位エーシオン、キャンプ等を行なう予定です。あなたもぜひ、この研究会に入会してみたいか、手紙かハガキで連絡下さい。又、「友の会」という会も作つております。全国の皆さん、ふるって参加して下さい。

志賀祐子(17)  
(〒396 長野県伊那市西町区伊那部02657-8-3704)

**超**

常現象研究会結成。大学・高校で同種のクラブ(心理クラブも可)の方、活動内容を教えて下さい。また興味のある方、共に研究しませんか。ハガキで御連絡下さい。

堀内真  
(〒792 愛媛県新居浜市八雲町7-1 新居浜工業高等専門学校内)

**UFO**はもちろん、反重力・磁力・古代文明・ピラミッドパワ―などに興味ある方、UFO研究会「NASU」が会員を募集しています。活発なクラブです。

稲又信秀  
(〒832 福岡県山門郡三橋町202309447-3-5845)

**こ**ちらは東邦高等学校超自然現象研究会同好会です。私たちは今、ピラミッド・パワーについて調べています。いろいろな実験をしています。まだまだ不十分です。ピラミッドに関しての資料・実験方法・UFOの観測の仕方・意見などをどうぞお知らせ下さい。また、同じような研究をしている方、超自然現象研究会同好会

(〒275 千葉県習志野市泉町2-1-37東邦大附属東邦高等学校)

**あ**

る友人から、「UFOを見たが、信じてもらえない」という人が沢山いると聞きました。僕達でUFO研究会を作ろうではありませんか。入会希望の方は、手紙をください。折り返し印刷物をお送りします。お金は一切無用。

酒井紀夫(中3)  
(〒322-02 栃木県鹿沼市上久我和田内718)



基本姿勢  
個人>太陽系>組織  
哲学>科学  
愛>思想

Adamski's  
Philosophy  
Experiment  
Life  
Organization  
A哲学実験生活共同体

情報交換誌  
月刊アペロ

UFO・宗教界の意見・情報交換誌—  
購読・投稿はA派・アペロ  
会員の内外を問いません。  
7日発送、投稿メ切=27日(前月)  
誌代=頁数×4円、毎月40頁  
—80頁、3ヵ月後払い。

〒320 宇都宮市今泉町286  
月刊アペロ編集室 荒川雅夫(柔軟A派)  
TEL 0286(21)7045

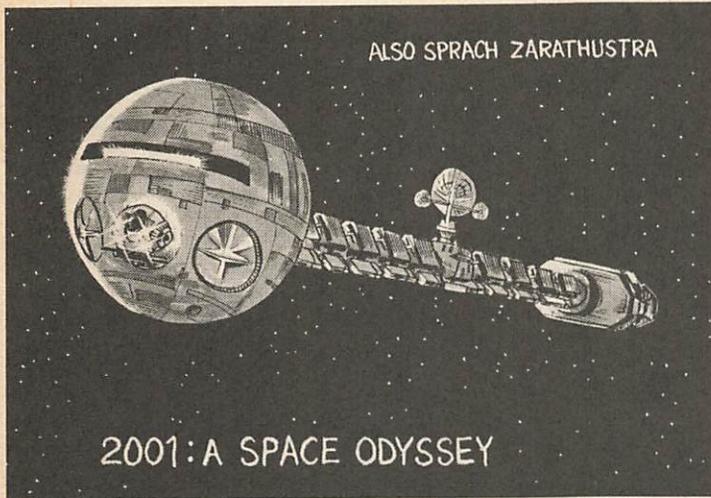
〒150 渋谷区広尾2-21-11  
月刊アペロ東京支局 舟橋一人(柔軟A派)  
TEL 03(407)0016

送料=18~70頁→120円、70頁以上→160円  
—大鉄則=ポツ無し・アペロのCM無し。

誌上弁論大会  
月刊アペロ79年7月号に掲載  
タイトル:自由  
字数制限:1576~2160字

賞金: 1位=1万円、2位=3千円  
3位=2千円、4位以下無し  
ふるってご参加下さい。

〒140円とお便り下さい。速達の場合は+〒150円です。



①

- ① 国島好治 (東京都八王子市中野上町)
- ② 山田謙一 (愛知県名古屋市名東区)
- ③ 渡辺俊二 (神奈川県横浜市戸塚区)
- ④ 鈴木 忠 (宮城県登米郡米山町)

②



④



# 譲って下さる

▼萩原望都の「フラワーデラックス」、  
「ララ」創刊号、「プチコミック」大  
島弓子特集I・IIを適価で。希望価格を  
書いて往復ハガキで連絡を。美品希望  
上原恵利子(〒370-23 群馬県甘楽郡  
甘楽町福島749)

▼インカ文明、ペルーのナスカ平原に  
関するものを譲って下さい。値段は相  
談の上で。ハガキで連絡を。  
野田明見(〒761-01 香川県高松市屋  
島西町1428-4)

▼本誌No.22、23、28、29、32、36を一  
括2500円で譲って下さい。バラで  
は1冊400円(美品希望)。ジョー  
ジ・アダムスキー著の本、UFO・超  
能力に関する本を譲って下さい。  
山日早苗(〒069-15 北海道夕張郡栗  
山町角田83)

▼UFOに関する新聞切り抜きを安く。  
UFO写真も1枚50〜200円位で譲  
って下さい。  
福土幸樹(〒036 青森県弘前市新里字  
中里見72)  
▼ラジオコン用の09または15エンジンを  
譲って下さい。できればエンヤカフジ  
を。

西本隆伸(〒869-12 熊本県菊池郡大  
津町大津1945-18)  
▼本誌No.1〜4、7をなるべく安価で。  
飯面ライダーシリーズに関するもの、  
(ライダーカード、本、資料その他)  
を譲って下さい。往復ハガキで連絡を。  
笹谷 豊(〒578 大阪府東大阪市玉串  
元町1-6-16)

▼「科学忍者隊ガッチャマン」に関す  
るもの、ガッチャマンII 第12話、  
「Dr.ラッフェルの秘密」の録音テープ本  
誌No.1〜30をそれぞれ安価で譲って下  
さい。ハガキで連絡を。  
安田由美(〒300-32 茨城県筑波郡大  
穂町佐793-2)

▼石森章太郎著「少年同盟」(曙出版  
刊)「気なるやつら」(虫コミックス  
刊)「家畜人ヤプー」を1冊1000円  
位で譲って下さい。  
石田秀一(〒472 愛知県知立市山屋敷  
町東山11-8)  
▼ブルース・リーに関する本やブラッ  
クベルトを譲って下さい。書名や希望  
の価格を書いてハガキで連絡を。  
大島勝弘(〒489 愛知県瀬戸市藤四郎  
町24)

▼モデルガン、レクタクター(1934  
モデル)プロバック(1934モデル)プロバ  
ック(1934モデル)MG C、S&Wオー  
トマチックプロバック完動、ガバメ  
ント(メーカー不問)プロバック、  
スタンダード共金属製完動、いずれも  
8年以上前のものは確実割高で。その  
他モデルガン譲って下さい。又、モデ  
ルガンのGUNブルー仕上げします。く  
わしくは往復ハガキで連絡を。  
佐藤優毅(〒061-14 北海道恵庭市文  
京町32)

▼「海のトリトン」のポスターなど、  
トリトンに関するものを無料で譲って  
下さい。送料は当方で負担します。  
石井愛子(〒482 愛知県一宮市千秋町

勝栗 西武社宅2-103)  
▼「アニメージュ」8月号(ハイネル  
よ永遠に)を適価で譲って下さい。そ  
の他、ハイネルに関するものも譲って  
下さい。どんなものでもかまいません。  
宮下和子(〒132 東京都江戸川区小松  
川3-73)

▼本誌創刊号を3000円位(美品に  
限る)で譲って下さい。また、超ミニ天  
体望遠鏡チビテレ300を1万円位で。  
大沢邦男(〒306 茨城県古河市錦町7  
-12)

▼本誌No.1〜7を安価で譲って下さい。  
なるべく受け取りに行ける近くの方を  
希望。  
持永和志(〒468 名古屋市天白区天白  
町大字平針字黒石平針住宅1-9-2  
01 ☎052-801-5976)  
▼「オカルト時代」を何月号でも結構  
すので譲って下さい。また、魔術、超  
能力などの資料も譲って下さい。以上  
お礼は相談の上で。ハガキで連絡  
藤原徹雄(〒491 愛知県一宮市大志2  
-5-29)

▼自分で写したUFOの写真を一枚、  
1200円位で譲って下さい。他人ので  
も可。郵送料は代金と一緒に送ります。  
また、「さらば宇宙戦艦ヤマト」の②  
巻を2000円で、「三つ目がとおる」  
の②巻を2000円で、「世界の怪談」  
(豆本)13×9を2000円、松本零士  
作「3000年の春」を3000円で譲  
ります。御希望の方は、往復ハガキで  
連絡を。  
和田安弘(〒509-42 岐阜県吉城郡古  
川町上町715)

▼6フィート・ピラミッド(銅製又は  
アルミニウム・マンカインド製)エネルギー  
ジェネレーター、TMパワーアंक  
ル(足・腕)、魔法の振子、阿部泰山  
全集の中の2、6、7、14、15、21、  
22巻を、市価の3分の1程の値段で譲

って下さい。  
河上修二(〒653 神戸市長田区4番町  
5 市営住宅10-252)  
▼映画のパンフレットやポスター、ヤ  
マト、タイタン、キャプテンハー  
ロックのセル・原画・動面を適価で譲  
って下さい。送料は当方負担。ハガキで  
連絡を。  
西岡政道(〒424 静岡県清水市北矢部  
1-4-17)

▼本誌No.1〜7、10を8冊まとめて3  
800円位で譲って下さい。美品を希  
望。まずはハガキで連絡を。  
古閑健太郎(〒802 福岡県北九州市小  
倉南区横代葉山1756-76)

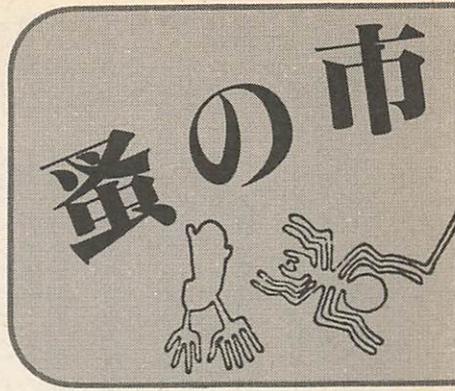
▼UFO・超常現象等の会誌、資料を  
譲って下さい。往復ハガキで連絡を。  
木村重子(〒983 仙台市中江2-13-  
4)

# 譲ります

▼「超心霊世界の神秘」600円と「ピ  
ラミッドパワー」を発見した「580円  
を計600円で譲ります。新品。往復  
ハガキで連絡を。  
内山弘幸(〒930-22 富山県富山市宮  
尾606)

▼総合科学学会出版「読んでかける催眠  
術講座」6900円を「共6000円  
で。催眠テープ1個4000円(No.A  
I)G、7個一括2万5000円)リス  
ト有。往復ハガキで連絡。  
平井 渉(〒700 岡山県岡山市学南町  
2-11-7片山方)  
▼「愛と誠」1〜16を送料別で300  
0円(バラ売り不可)、「がきデカ」  
1〜12を送料別で2500円(バラ売  
り不可)、「よりぬきサザエさん」4、  
5を各3000円、「宇宙戦艦ヤマト」  
「ゴエモンろっく」各2000円で譲り  
ます。32冊まとめて買ってくれる方に





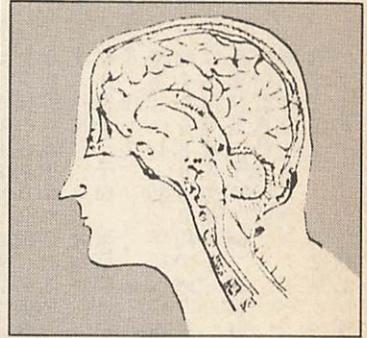
は「宇宙人のなぞ」「ドイッ機甲軍団」  
 「欽ドン・5」を差し上げます。ハガ  
 キか電話で連絡を。  
 小原健裕(〒096 北海道名寄市西四  
 南1丁目 〇1654-3884)  
 ▼「太古の宇宙人」「人通力入門」「恐怖  
 の心霊写真集」「新・恐怖の心霊写真  
 集」以上まとめて3000円で譲りま  
 す。  
 大井義久(〒321-02 栃木県下都賀郡  
 大字壬生甲3803-21)  
 ▼A「2001年宇宙の旅」「未知と  
 の遭遇」「スターウォーズ」(2枚組)  
 「スターウォーズ」(日本語盤)LP4  
 枚で5000円(千共)。B「宇宙戦  
 艦ヤマト」「組曲ヤマト」「英語盤ヤ  
 マト」「組曲キャプテン・ハーロック」  
 「エメラルダス」「宇宙からのメッセ  
 ージ」、LP6枚で5000円(千共)。  
 その他。(Bは中古のカセット・テー  
 プレコーダーとの交換も可)  
 松本幸吉(〒803 福岡県北九州市小倉  
 北区熊谷1-3-9)  
 ▼「記念切手を安く譲ります。本誌No.1  
 3、5、6との交換も可。往復ハガ  
 キで連絡を。  
 竹田雄司(〒167 東京都杉並区天沼3  
 14-15)

▼本誌No.5、8、10、12、15、17、23、  
 25、28を定価以下で(バラも可)。手塚  
 治虫「火の鳥」(別冊、月刊)1、6  
 をまとめて2300円で(バラ不可)  
 取りに来れる方、ハガキで連絡を。  
 高橋久夫(〒197 東京都福生市福生1  
 530加美平団地19-501号)  
 ▼ペチカ(スリーピーチ販売)の望遠  
 レンズ付ポケットカメラ(1万2000  
 0円を、千共5000円で譲ります。  
 5回使用。往復ハガキで連絡を。  
 伊藤泰(〒270 千葉県松戸市高柳1  
 588-7)  
 ▼サンヨーの小型カセットテープレコ  
 ーダーMP1400を2万円。(新  
 品)ナショナルのFM付小型ラジオR  
 F506を6000円で。「750ラ  
 イター」1、14巻を2700円で。  
 ▼「銀河鉄道999」1、7巻を150  
 0円で。「キャプテン・ハーロック」  
 1、4巻を900円で。「マカロニほ  
 うれんそう」1、4巻を900円で。  
 全部新品で送料込。連絡は往復ハガキ  
 で。  
 佐藤光男(〒028-13 岩手県下閉伊郡  
 山田町飯岡8-34-4)  
 ▼SF・アニメーションサークルの会  
 誌22冊を千共1000円。LP「サイ  
 ボーク009」「GM」(未使用)  
 を半額の各900円。名場面集を25  
 00円で譲ります。ポスターもつけま  
 す。往復ハガキで連絡を。  
 村山麻子(〒154 東京都世田谷区野沢  
 3-16-2)  
 ▼本誌No.18、39と学研「宇宙よりの来  
 訪者」を8000円で譲ります。まず  
 は往復ハガキで連絡を。  
 氏家勝浩(〒989-64 宮城県玉造郡岩  
 出山町東昌寺沢81)  
 ▼CB&ハムトランシーバ「ニコルス  
 RJ252」(水晶2波、マイク、ア  
 ンテナファイター付で新品同様)を2万

7500円で(千共)で譲ります。ア  
 ルファートンとの交換もOK。往復ハ  
 ガキで連絡を。  
 森永裕将(〒664 兵庫県伊丹市北野6  
 16-1)  
 ▼本誌No.27、32、33、36を各2000円、  
 35、38、40を各2500円で。「U  
 FO同乗記」1500円、「零次元の怪  
 奇と謎」3000円、「消えた文明99の  
 謎」3冊で6000円、「古代人99の  
 謎」3冊で6000円、「原・日本人の謎」  
 「UFOとの遭遇」6000円、「U  
 FO事典」5000円、「宇宙人の謎」  
 3000円、「二次元の世界」3500円、  
 「円盤と宇宙人」「円盤宇宙人」各3  
 000円、「UFOと宇宙人」1500  
 0円の新刊同様のものを10500円で譲  
 ります。  
 柴田直俊(〒010 秋田県秋田市外旭川  
 野村9-1)  
 ▼近代映画社月刊誌「スクリーン」78  
 1月号、11月号を譲ります。美品。ま  
 ずは往復ハガキで。  
 水田貴紀(〒798 愛媛県宇和島市大浦  
 二区用740)  
 ▼「宇宙戦艦ヤマト」TV放送1、26  
 話の録音テープを千共5000円、同  
 レコード盤(英語盤)を千共1000  
 0円で譲ります。  
 白岡謙造(〒793 愛媛県西条市船屋5  
 28)  
 ▼本誌No.1(コズモ)、No.2、No.5(美  
 品)まとめて7000円位で譲ります。  
 往復ハガキで連絡を。  
 吉田和正(〒606 京都市左京区岡崎西  
 福の川町26)  
 ▼「イマヌエル・スエデンボルグ(偉大  
 な霊視哲学予言者)の新品本、「神の  
 摂理」1800円、「宇宙創造論」1  
 700円、「スエデンボルグ伝」800  
 0円、「啓示による黙示録への手引き」  
 6200円、「生命」3800円で譲りま

す。送料込み。  
 土田彰(〒607 京都市山科区上野寺  
 井町13)  
 ▼「B・C・R栄光への道」「ロックシ  
 ョウB・C・Rスーパーデラックス号」  
 「スターランドデラックス緊急増刊ヤ  
 ングロックB・C・R」「S・T特別  
 編集B・C・R」「M・L2月号増  
 増B・C・R日本上陸号」「M・L12月  
 号増増B・C・R驚進号」6種類のポ  
 スター(ピンナップ)付、3140円  
 を一括10000円(千共)で譲ります。  
 加賀美由紀(〒021 岩手県一関市山目  
 沢内69-9)  
 ▼「スターウォーズのテーマ」(EP)、  
 キャンディーズ「夏が来た」、「ウイ  
 リアムテル序曲」、「さらば宇宙戦艦  
 ヤマト」及び「スターウォーズ」のプ  
 ロマイド等を安価で譲ります。往復ハ  
 ガキで連絡を。住所氏名にフリガナを  
 つけ、電話番号も書いて下さい。  
 神藤恒年(〒431-04 静岡県湖西市鷺  
 津郵便局止)  
 ▼「宇宙戦艦ヤマト」No.1、26、「さ  
 らば宇宙戦艦ヤマト」。「銀河鉄道99  
 9」。「キャプテン・ハーロック」No.1  
 現在放送分まで録音。2話単位で千  
 共5000円で譲ります。往復ハガキで  
 連絡を。  
 北野任見(〒631 奈良県奈良市鶴舞東  
 町41-303)  
 ▼本誌No.1、40を一括して2万円(千  
 別)で、UFO関係書全37冊2万75  
 00円を一括して2万円(千別)で、  
 大山倍達著「ケンカ空手」「続ケンカ  
 空手」「わが空手修業」「空手道人生」  
 「限界への挑戦」「わが空手革命」以  
 上6冊46100円を一括して33000  
 0円(送料2000円)で譲ります。  
 大城昌彦(〒434 静岡県浜北市下小林  
 224)  
 ▼UFO研究に関する資料、アニメに

# キミの かくれた能力 を引き出し、 頭脳をもっと ヨクしよう!



## 頭脳強化通信講座

- ◎ アメリカのカール・ヘニングガーの脳生理学・深層心理学理論にもとづく能力開発システム「ボータ原理」によって、宇宙瞑想・イメージ心理法の技術を習得できます。
- ◎ 脳の眠っている細胞を活発にして、記憶力・思考力・数理力・創造力・分析力・集中力・行動力・指導力などの能力が強化されます。
- ◎ 1日10分の自宅訓練を短期間行うだけで十分効果があがる最新教材を使い、段階を追って基礎から一步一步積み上げ、高度な技術を習得できるよう、懇切な指導をいたしますので、誰でもスグできます。

ハガキに住所・氏名を明記の上、お申込み下さい。

〒104 東京都中央区銀座2の8の17  
中川ビル1号室  
唯超学会U係  
申込先

説明書  
無料

関する資料・写真・カセット等をマニアの方に譲ります。50円切手同封で連絡を。リストを送ります。

山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16)

▼ピンクレディーのLP『ペッパー警部』『チャレンジコンサート』『サマーファイア77』『ベスト・ヒット・アルバム』『バイバイカーニバル』、ポスター、本などを譲ります。50円切手同封の上連絡を。

大森由弘(〒162 東京都新宿区戸山町43-35-813)

▼アニメのセル画(私の書いたもの)を譲ります。私はスタジオコロピンで彩画を習っています。希望価格となんかの絵か書いて、往復ハガキか50円切手同封のうえ連絡下さい。

神谷恵子(〒063 北海道札幌市西区24軒4条6-2-21)

▼『宇宙戦艦ヤマト』全記録集(全3巻、定価3万円)を2万円で購入します。往復ハガキで連絡を。

加納義章(〒533 大阪市東淀川区山口町394)

▼リダーズ・ダイジェスト(52年4月号)53年12月号)を1冊2000円で(含送料)。スリーピーチ製天体望遠

鏡ST60を1万3000円前後で。詳しくは往復ハガキで連絡を。

真田政明(〒044 北海道虻田郡俱知安町字八幡272)

▼『短波』78年2、6月号、アドカラムの受信報告書、『入門BCCLブック』78年度版を以上送料別で10000円で。TV『ヤマト2』録音の3話単位(CM・あらすじは抜いてある)で、送料共10000円で。タミヤ936ターボ・バッテリー、充電器セット、スベアパーツ(12、15、38、68、74、77)、ネジ止め剤、RCブック、フロポ(三和ミニ・少々、Rカかれてる)、乾電池単3を12本まとめて送料別で2万5000円。本誌No.35、39、41、42を送料別10000円(新品同様)で譲ります。

往復ハガキで連絡を。

西岡政道(〒424 静岡県清水市北矢部1-4-17)

▼次の切手(通常切手)を譲ります。第2次動植物の秋田犬1シートを1000円、カモシカ1シートを2000円、千円貝を10000円で。第1次新動植物の前島密1シートを6000円、金魚1シートを20000円、ホトトギス1シートを6000円、キク1シートを25000円、単片の秋田犬を20円、

カモシカを40円、前島密を10円、中尊寺金堂を50円、日光陽明門を60円、ミズバショウを1200円、根本中堂を1300円、オオムラサキを2200円、桂離宮を1800円、ホトトギスを10円、金魚を30円、ナンテンを30円、カブトムシを20円、コバハクチョウを10円、キクを50円、はにわの馬を1500円。以上送料として1000円必要です。他に、日本切手の天保二朱金を2800円、明治二分金を4100円、天皇在位を4000円、万博を4000円、札幌五輪を6000円(以上は額面販売です)。送料として1000円必要です。

下山浩之(〒379-23 群馬県新田郡笠懸村大字阿左美1082)

▼本誌No.5、17を『コスモ別冊UFO写真集』をつけて1万4687円で譲ります。美品です。往復ハガキで連絡を。

田居久生(〒181 東京都三鷹市下連雀1-32-1)

▼『POPEYE』(36、42号・増刊第2集)全8冊を22500円(送料別)で。また、『星の手帳』(創刊号)を送料共に4000円で譲ります。全品無キズです。まずはハガキで連絡を。

古閑健太郎(〒802 福岡県北九州市小倉南区横代葉山1756-76)

## 交換しましょう

▼本誌No.11、『OUT』1、8号、その他UFO、超能力、プロ野球、アニメ、ピラミッドに関する本を、私の持っている数百冊の本と交換して下さい。あなたの提供できる書名と50円切手を送れば交換リストを送ります。

下田勝一(〒371 群馬県前橋市朝日町4-17-9)

▼クイーンの初期のアルバム、ポスター、AガーンファンクルとKファッシュの最新LP、山岸涼子の単行本やイラストをお持ちの方、『世界に捧ぐ』(LP)、『ビューティフル・サンデー』(カセット)、映画のチラシ、SF、心霊本、本誌No.12、No.13、No.21などと交換して下さい。

加藤悦子(〒021 岩手県一関市相去57-6)

6)

UFOの謎を解明するロングセラー小説／五井野正著

# 七次元よりりの使者

著者は作家という形をとっているが実は……

送料  
1冊160円  
2～3冊200円



■オーソンより この本を書かれた方は私にとって唯一最高の方である。この本は今まで誰によっても解かれることなかった太陽系宇宙の問題を説明している。私はこの本は宇宙の真の姿をえがき出していると思って読んだ。とんでもない本が出た。地球にはとんでもない人がいる。今、最低の地球は最高の人によってすばらしいもの、太陽系の中心、銀河の中心となる。

■セムジャセより この本はすばらしい。地球人に今いちばん必要なものを書いてある。私は最大最高の賛辞を送る。

◆もう何というか面白いというか、感嘆の一語につきます。(京都市・丈達俊才 18歳)  
◆七次元の第0巻、シヨックとビックリ。トシチャンカンゲキしました。(神奈川県秦野市・諸星幸代 18歳)  
◆この本にはすばらしいとか面白いとかですませない何かがある……(旭川市・島田三枝 51歳)  
◆著者の博識におどろかされたことが最大の印象。(京都市・萩原正幸 23歳)  
◆この本はなんでもなく感じに書かれているからなおさら奥深いものを感じました。(川崎市・金沢弘子 20歳)  
◆この本との出会いから宇宙人たちのコンタクトが始まった。(清水正代／「UFOと宇宙」昭和52年8月号宇宙文字解読者)

なんと350円!

第0巻(四六判 160頁)

地球の地軸は傾き、今その中でヒマラヤ聖者やアトランティス人、宇宙人は?最後のドラマがくりひろげられる。

●ただいま、大好評発売中の超特価本第0巻(350円)についていろいろな噂がとんでいます。「この価格は一時的な赤字出血サービスで続かない」などと。しかし当社ではこの特価をくずしません。常時在庫がございます。

第一巻(既刊) 定価750円

UFOによって少年に何が起ったのか

第二巻(既刊) 定価750円

富士山に異変が……

第0巻PART II

近日発売予定

創栄出版株式会社

〒162 東京都新宿区市谷左内町31渡辺ビル1F  
振替/東京6-90403 電話03(260)2889

No.20 ¥430

(1976年9月発売)

<口絵>火星の大地他/ト  
ラビス・ウォルトン事件  
の真相/東北地方UFO  
事件/UFOインタビュー  
/月はUFOの中継基  
地か①/(続)宇宙・引力  
・空飛ぶ円盤③ 他



No.21 ¥430

(1976年11月発売)

<口絵>ピレネーの怪他/  
日本のUFO研究者3人の  
主張展開/精密UFO大  
図鑑/UFO事件完全年  
譜/空飛ぶ円盤の推進原  
理/月世界はUFOの中  
継基地か②/私は宇宙人  
に身体検査をされた 他



No.22 ¥430

(1977年1月発売)

UFOは石を食べていた  
/チベット山中の金星人  
基地/金髪の女性宇宙人  
としばしば接触/女性3  
人を身体検査した巨大  
UFO/着陸した円盤に宇  
宙人の死体/UFOアメ  
リカ 他



No.23 ¥430

(1977年3月発売)

<特集>ジョージ・アダム  
スキー/闇夜に牛が殺さ  
れた/UFO写真のコン  
ピューター分析/女性宇  
宙人セムジャーゼとの会  
話/星・生命の始まるこ  
ろ/大ニューヨークの  
郊外に円盤着陸⑥ 他



No.24 ¥430

(1977年5月発売)

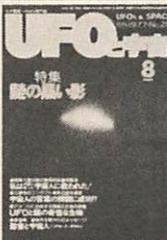
<特集>戦後UFO30年史  
/ウィッチェスターに現  
れたUFOと不思議な  
人間/謎のニューヨーク  
大停電/驚くべきコン  
タクトの全貌/UFOに家  
族をさらわれた 他



No.25 ¥430

(1977年月刊8月号)

<特集>謎の黒い影/宇宙  
人の言葉の解読に成功/  
私は円盤に乗った宇宙人  
に救われた/UFOと謎  
の奇怪な生物①/聖書と  
宇宙人①/メキシコのク  
コックに奇妙なUFOが  
着陸! 他



No.26 ¥430

(1977年月刊9月号)

超能力少年/怪物ビッグ  
フットとUFO/UFO  
と謎の奇怪な生物②/奇  
跡! ルードの聖泉①/  
超能力の謎は科学で解  
けたか/聖書と宇宙人②/  
恐怖の地下洞穴ロ・タ  
ジョスに潜入 他



本誌

バックナンバー

★1~8, 10号は売切れです。

★送料...50円(1冊につき)

★振替...東京1-119478

★お申し込みはお近くの書店、または現金書留・振替・  
小為替・低額切手などで当社宛にご注文ください。

No.15 ¥390

(1975年11月発売)

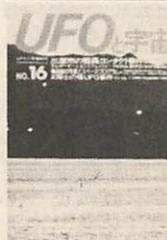
ランシング夫人の不思議  
な写真/ドラギニヤンの  
怪事件/ワルストンの奇  
怪なロボット/聖書の予  
言とスペース・プログラ  
ム①/原子・銀河系・理  
解②/ソ連圏のUFO現  
象③ 他



No.16 ¥390

(1976年1月発売)

三原市の驚異コンタクト  
事件/テレポーテーション  
とテレパシー/聖書の予  
言とスペース・プログラ  
ム/X博士の怪UFO  
事件/作図によるアダム  
スキー型円盤解析の試み  
/名古屋月に円盤/ 他



No.17 ¥390

(1976年3月発売)

アポロ飛行士が撮ったU  
FO写真初公開/UFO  
は地球の救済にけるのか  
/ピーター・フルコスの  
驚異的大発見/アポロ飛  
行士は月で地球外文明を  
見た/奇跡を起こす方法  
/巨大円盤横須賀に 他



No.18 ¥390

(1976年5月発売)

UFO同乗事件/私は宇  
宙人のクビをすげかえた  
/マヤと飛鳥を結ぶ宇宙  
人の遺産/森林伐採エ  
トラビス・ウォルトンの  
UFO同乗事件/(続)宇宙  
・引力・空飛ぶ円盤①  
他



No.19 ¥390

(1976年7月発売)

私はUFOを何度も見た  
/ムーディ軍曹砂漠で円  
盤に誘拐される/世界の  
12の魔の墓場/宇宙人  
はなぜ人類と正式に交流  
しないのか/大地震は予  
知できるか/火星生物発  
見の旅 他



No.9 ¥400

(1974年11月発売)

UFOによる米空軍機追  
尾事件/スペインに出現  
した円盤と乗員/ジョー  
ジ・アダムスキーはまだ  
影を投げかけている/宇  
宙・引力・空飛ぶ円盤④  
/地震の鍵をにぎるマン  
トル対流! 他



No.11 ¥360

(1975年3月発売)

月面は円盤の中継基地か  
/ニューヨーク州の着陸  
事件/原子・銀河系・理  
解①/東北、東関東をよ  
びかしたUFOの大編隊/  
アダムスキー型円盤、尾  
道市に出現/宇宙・引力  
・空飛ぶ円盤⑤ 他



No.12 ¥360

(1975年5月発売)

甲府市にUFO着陸/古  
代の天空人/オーストリ  
アの光るカタツムリ状物  
体/原子・銀河系・理解②  
/ソ連圏のUFO現象①  
/長野県に落下した小型  
円盤/重力波とは何かシ  
ベリアの謎の大爆発 他



No.13 ¥360

(1975年7月発売)

千葉市にアダムスキー型  
円盤出現/円盤の宇宙人  
を見た/宇宙交信のため  
のテレパシー通信/円盤  
現象を解釈するためのア  
インシュタインの3つの  
基本事項/ソ連圏のU  
FO現象② 他



No.14 ¥390

(1975年9月発売)

1897年の謎の飛行船/私  
は金星文字を解読した/  
大気圏外生命体とのコン  
タクト/実在する超感覚  
と念力/ソ連圏のUFO  
現象③/円盤をよく見る  
人/マルセル・オム教授  
の不思議な発見物 他



**No.39** ¥430

(1978年月刊10月号)  
 全米UFOシンポジウム  
 /スペース・コロニー①  
 /太陽誕生の謎/聖書と  
 宇宙計画/チャールズ・  
 フォートのふしぎな世界  
 ①/地下を通る宇宙エネ  
 ルギー/A・ハイネック  
 博士最後の講義 他



**No.34** ¥430

(1978年月刊5月号)  
 <特集>日本にもあった宇  
 宙人遭遇事件/UFOの  
 作った異次元カーテン/  
 ファティマの奇跡①/天  
 体カタルゴのなぜ/横尾  
 忠則対談:富田勲/日本  
 のUFO事件の全貌①  
 他



**No.27** ¥430

(1977年月刊10月号)  
 ワシントンUFOパニ  
 ック/宇宙人からテレバ  
 シー・メッセージを受け  
 る科学者たち①/謎の第  
 10番惑星/奇跡!ルー  
 ルドの聖泉②/沖縄にU  
 FO着陸?/米アリゾナ州  
 メサの怪物体 他



**No.40** ¥430

(1978年月刊11月号)  
 宇宙人の死体が米軍基地  
 に隠されていた!/三重  
 県鈴鹿市にUFO大接近  
 /超能力者が明かすU  
 FOの秘密/宇宙大衝突  
 の脅威/第5回世界宇宙  
 考古学会議/惑星錬金工  
 学 他



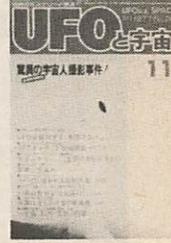
**No.35** ¥430

(1978年月刊6月号)  
 <特集>UFO飛来学説  
 異次元説,地球空洞説,  
 生物説,海底基地説,空  
 中生動物/横浜に宇宙人  
 現わる/横尾忠則対談:  
 南山宏/(続)宇宙・引力  
 ・空飛ぶ円盤②/ファ  
 ティマの奇跡② 他



**No.28** ¥430

(1977年月刊11月号)  
 驚異の宇宙人撮影事件/  
 宇宙人からテレバシー・  
 メッセージを受ける科学  
 者たち②/スパイに使わ  
 れる超能力者/灼熱の密  
 林より永遠に①/聖書と  
 宇宙人④/UFOを観測  
 する百眼の巨人 他



**No.41** ¥430

(1978年月刊12月号)  
 総集編:UFOスペシャル  
 78/グレンダ国のゲー  
 リー首相再び国連総会で  
 UFO演説/荒井欣一氏  
 にインタビュー/新ピラ  
 ミッドロジャー/日本の科学  
 者に問う②/牧師が宇宙  
 人の指示で農夫に/ 他



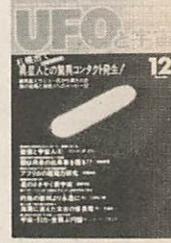
**No.36** ¥430

(1978年月刊7月号)  
 <特集>よみがえったア  
 ダムスキー:C・ブロッ  
 プ直撃インタビュー,ア  
 ダムスキーの弟子たち,宇  
 宙人を診察した医者他/  
 横尾忠則対談:古山晴久  
 /銀河大渦巻の謎/U  
 FO製造秘密工場 他



**No.29** ¥430

(1977年月刊12月号)  
 札幌市で異星人との驚異  
 コンタクト発生/鷲は未  
 来の出来事を語る/ア  
 フリカの超能力研究/星  
 のささやく新宇宙/灼熱  
 の密林より永遠に②/(続)  
 宇宙・引力・空飛ぶ円盤  
 ③ 他



**No.42** ¥450

(1979年月刊1月号)  
 座談会・第一線研究家の  
 UFO展望/UFOと宇  
 宙哲学/またもUFOの  
 人間誘拐/スイス・コン  
 タクト現地探訪/UFO  
 と遭遇?オーストラリア  
 でセサナ機失踪/石森章  
 太郎UFOコミック 他



**No.37** ¥430

(1978年月刊8月号)  
 G・ルーカスは宇宙人と  
 会ったか?/神秘的錆び  
 たナイフ/横尾忠則対談  
 :秋元秀成/異星人のメ  
 ッセージか?UFOのシ  
 ンボルマーク/人類惑星  
 間大移動史/C・ブロッ  
 プ直撃インタビュー② 他



**No.30** ¥430

(1978年月刊1月号)  
 フレッド・ステックリン  
 グ氏に聞く/各界著名人  
 特別寄稿/共産圏UFO  
 事件簿/聖書と宇宙人⑤  
 /シベリアの爆発は別な  
 惑星の宇宙船?/ハロー  
 ・異星人,こちら地球  
 他



**No.43** ¥450

(1979年月刊2月号)  
 来日したスティーブ・ホ  
 ワイティング/世界の女  
 性予言者'79年を見る/超  
 多重宇宙の謎/小特集・  
 シャンバラ/国連政治委  
 員にUFO案件/テレバシ  
 ー新戦略/石森章太郎U  
 FOコミック「天敵」 他



**No.38** ¥430

(1978年月刊9月号)  
 New York 上空を何が飛  
 んだか/ゲーリー首相  
 に特別インタビュー/空  
 飛ぶ円盤墜落す/「虫の  
 穴」から恒星間飛行/脈  
 動する太陽の謎/宇宙文  
 字の起源を探る/宇宙  
 知的生命を探る 他



**No.31** ¥430

(1978年月刊2月号)  
 世界5大予言者1978年を  
 診断/セムジャーゼは何  
 を語ったか/星からの無  
 人探測船/ライヒ博士の  
 UFO撃墜装置/月は異  
 星人の宇宙基地か②/コ  
 ンドン白書批判/宇宙教  
 育の原点を探る 他



**No.32** ¥430

(1978年月刊3月号)  
 国連で採択されたUFO  
 問題の真相/巨大UFO  
 の怪光線で火傷した運転  
 手/世界宇宙考古学会報  
 告/横尾忠則対談:札幌  
 の異星人コンタクティ  
 ー/金星人の足跡を解説 他



**No.33** ¥430

(1978年月刊4月号)  
 <総力特集>私は宇宙人  
 を見た/北野大僧正宇宙  
 人の声を録音/反重力エ  
 ンジンによる円盤製造/国  
 連でUFOの科学的研究  
 を/横尾忠則対談:西丸  
 慶哉/P・マッソンTM  
 を語る 他



本誌  
 保存用

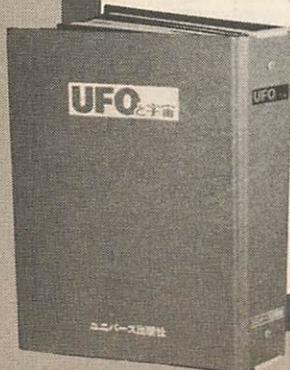
**特製 バインダー**

¥500

- 「UFOと宇宙」を破損・紛失しないために、このバインダーをご利用ください。
- 6冊とじこめます。
- 荷造送料 1~2個 ¥350  
3~4個 ¥700

〒110 東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル  
 ☎東京03-832-1341

**ユニバース出版社**



## UFOs &amp; SPACE

No. 44 March, 1979

Price ¥450

Published by Universe Publishing Co., Ltd.

© 1979 All rights reserved

## Captions for Color Photographs

## ANALYSIS OF CLOUD-GENERATING UFOs

Cover/page 1

Colman S. VonKeviczky, famous American UFO researcher and director of ICUFON, has recently advanced a new view that UFOs occasionally generate white vapor-mist-cloud evenly around their solid bodies to disguise themselves from the curious eyes. He speculates that this effect is caused by the ionization of air on their body surface. The photograph on the cover and page 1 is an example. This cloud-generating UFO photographed in Viborg, Denmark, was investigated by Hans C. Petersen, director of International Get Acquainted Program of Europe, and analyzed by VonKeviczky. Their conclusion is as follows. "The Viborg Craft should be speculated as a remote controlled exploratory object assigned to territorial surveillance. Before carrying out its task, the craft enveloped the body in a cloud by ionizing the air around."

## FANTASTIC ENIGMAS

page 5

Starting from the excavation of Pompeii, ancient remains hidden in a veil of mystery have gradually come in sight over the past one hundred years. At the same time, however, new enigmas such as UFOs, black holes, ESP, etc. have come to a front us. Some of these mysteries are fantastically shown in these pages.

## "UFO ALERT"

page 73

Late last year, "UFO ALERT", an exhibit probing UFO phenomena, opened at the SKY-LOOK observation gallery of the IDS Tower, the tallest building in Minneapolis, Minnesota. The UFO ALERT occupies 1,000 square meters of the top 51st floor affording pleasure to UFO fans and tourists. UFO ALERT consists of three sequences - Odyssey, Evidence and Conclusion - including a large quantity of data coming from over 13,000 case histories of the Project Blue Book and those provided by the Aerial Phenomena Research Organization (APRO). It also exhibits replicas of alien figures as reported in the case studies and the famous "Meier Contact", the clearest, sharpest and most detailed UFO photos ever taken.

# ストレス解消! 冥想への導入!

—脳波バイオフィードバック装置

## アルファトーン

(2年間保証)

商標登録  
特許出願中

アルファトーンは冥想、精神統一、自律訓練等の効果を飛躍的に高める装置です。従来、形だけの冥想しても心身ともにリラックスしたよい状態を習得するのは大変なことでした。

近年、科学の発達により、心の状態を示す5種の脳波のうち、アルファ波が多いときに精神的に安定した状態となることがわかってきました。

アルファトーンはこのアルファ波を感じ、あなたに知らせてくれる装置です。アルファトーンによって心の安定した状態を知り、その状態を継続する様に訓練すれば、あなたはいつどんなときにもリラックスし、精神的安定状態を保てるようになります。

〈アルファトーン1〉テープ付 16,800円(送共)  
心がリラックスし、アルファ波をキャッチするとランプが点滅し、こころよい音がします。

〈アルファトーン2〉テープ付 19,800円(送共)

アルファトーン1にメータを付けたもので、アルファ波の量(リラックスの割合)がわかります。

〈アルファトーン3〉テープ付 29,800円(送共)

アルファトーン2に、精神統一の助けになるような音(反復音)を常時発する様にしたもので、音に合わせて呼吸をします。この為、安定した正しい呼吸法を習得することが出来ます。

更にテープレコーダと組み合わせるとイヤホンからミキシングされた音が聞こえるミキシング機能付です。

ご請求くだされば資料をお送りします。  
お申し込みは現金書留にて下記まで。

〒248 鎌倉市小町1-15-17 ☎0467(25)3035

## 橋本電子研究所U係

### インスピレーションテープ

このテープを毎日聞きながら寝ると、あなたの潜在意識が浄まります。この為、あなたの性格は積極的になり、靈感を受けやすく、運命が好転します。試験に合格した、ノイローゼが治ったなどの礼状が沢  
◆D-1 就寝と起床番組 2,500円(送共)  
山来て ◆H-1 成功と幸福の為の言葉 2,500円(送共)  
います。◆H-2 幸福と成功の為の言葉 2,500円(送共)

### 4Dメータ(四次元波受信機)



テレビ(アフタヌーンショー、11PM等)で放映され大反響を呼びました。サボテン等植物の感情の変化を音で聞くことが出来、将来霊界ラジオにもなり得るものと期待されています。京都の小原氏はこれを人間に用いて霊界通信に成功されています。ウツ発見器としても応用できます。  
◆A型(普及型)39,000円 〒1,000円  
◆D型(大型)79,000円 〒2,000円

The Real Story Behind a UFO Story

史上最長のUFOストーリー

# ウィリアム・ハーマン の 体験



1977年から翌年にかけて、アメリカ、サウスカロライナ州のチャールストン地方に奇妙な現象がひきつづき発生し、多数の人々が不思議な物体を目撃した。

その中の1人、ウィリアム・ハーマン青年は偶然にもエンカウンター（事件体験者）となったが、真実は彼の深層意識の底に閉じこめられている。そして事件を抹殺しようとする不可解な人間の行動――。



本誌特約 ウェンデル・スティーンズ

## それは

## 一枚の「コピー」から始まった

1978年2月27日、いつものようにアーカンソー州ブラマービルにある「UFOクリッピング・サービ社」(経営者ルーシヤス・フアリッシュ)

から送られたUFOストーリーの切り抜きを受けとったのが、私がこの奇怪なUFOコンタクト事件にまきこまれたそもその発端であった。

L・フアリッシュはいつも、UFO写真を撮影した事件に関する新聞記事の切り抜きを私に送ってくる。私はそこで目撃者と連絡をとり、個人用の写真ファイルやAPRO(空中現象調査機構)の写真ファイルに追加するため、写真のコピーをとらせてもらうよう交渉を始めるというわけだ。

APROは、もともと歴史の古い民間のUFO研究団体で、創立以来、活動を中断したことがなく、世界最大の規模になったこともしばしばである。

幸い、この1978年2月16日付の「バナナ」紙(サウスカロライナ州ノースチャールストンの地方紙)の記事のゼロックス・コピーには、目撃者の住所が明示されていたので、担当の記

者からその情報を入手するために手紙で長いやりとりをする手間ははぶくことができる。私はさっそくその目撃者に手紙を送った。

新聞の切り抜きには、こう書かれていた。

「UFOの目撃に民間調査団を派遣」

ジョージ・スベイン

ノースチャールストンに住むある男性が金曜日、未確認飛行物体(UFO)に関する情報を取り扱う民間の大手調査機関によってポリグラフテスト(うそ発見機による検査)を受けた。

ノースチャールストンに住むウィリアム・ハーマン(住所は削除されている)は、メリーランド州ライダウツド所在の「UFO情報検索センター」(FOIRC)のトーマス・M・オルセン所長によって尋問を受けた。

ハーマンが1月22日、チャールストン空軍基地周辺で撮影したUFOの写真数は、今日の本紙に掲載されている。ハーマンは、週末にミルズ・ハイヤット・ハウスの5階でうそ発見器のテストを受けることに同意した。

ハーマンは、オルセンの他に医師1名ともう1人の男がテストを行なったと述べている。FOIRCは軍に登録した機関で、UFOレポートに関する情報の収集、分析、出版、普及にあたっており、「レファレンス・フォー・アウトスタンディング・UFOサイティング・レポート」未解決UFO目撃報告レファレンス)を発行している。

ハーマンは、オレンジ色と銀色の物体が空中を飛びまわっているのを11月から1月にかけて4回見かけたと言った。彼はこの時の写真を数枚もっている。

ハーマンは、ノースチャールストンでのUFO目撃と、最近チャールストン地域の人々を驚かせた不可解な「スカイクエーク」(高空から原因不明の爆発音が聞こえる現象)との間に、なにか関係があるのかもしれないと言った。

ハーマンは「この事件が宇宙からやってきたものだと考えられない。そんなことを考えるのは馬鹿げている。これは多分政府に関係のあることで、機密にでもされているんだろう。それがあの「スカイクエーク」の原因なのかもしれない」と語った。

アメリカ空軍情報将校ウエイド・キングは、ハーマンの写真を検査した後、「この奇妙な物体がいったい何なのか、

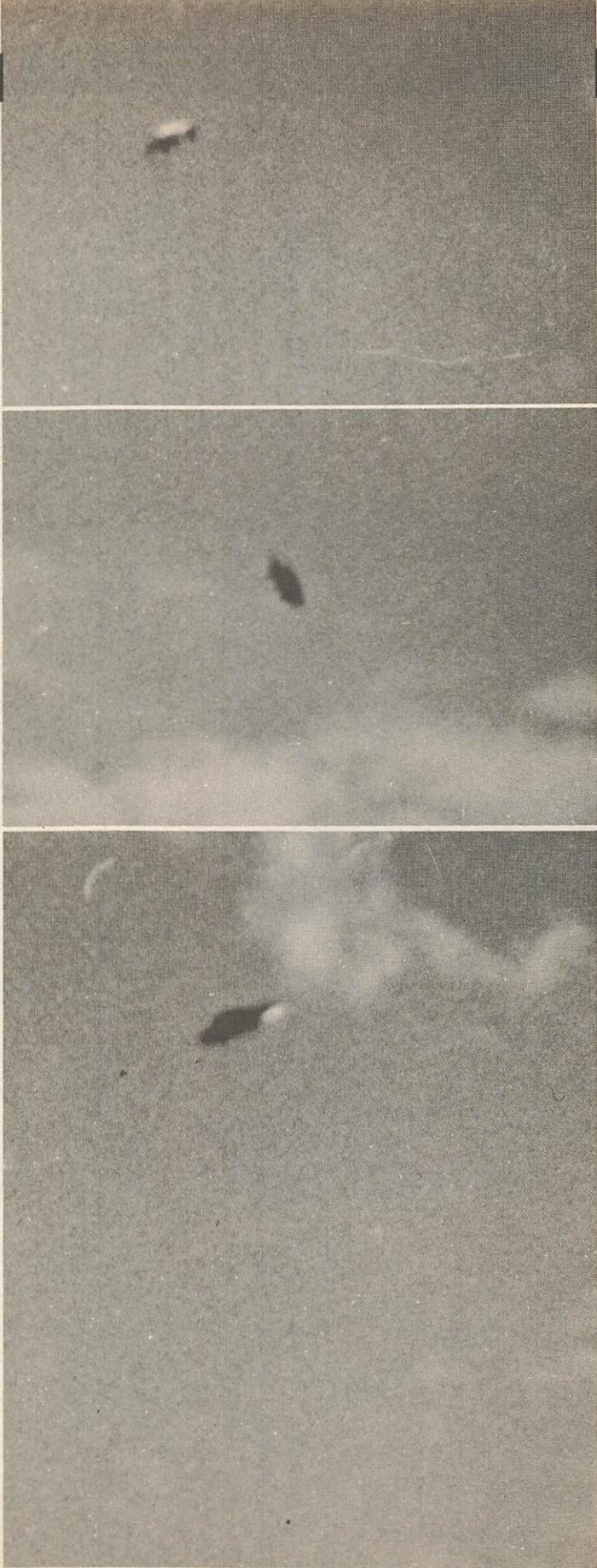
自分にはいっさい意見はない」と語った。

「この件についてはあまり関心はない。もし自分で見たとしても、私なら忘れてしまおうだろう」とキング少佐は語った。(何と、責任ある空軍将校で、わがアメリカ空軍の公式スポークスマンの声明がこんなものだとはいっ筆者)

キング少佐はさらに、アメリカ空軍が何らかの新型機あるいは秘密航空機を使用中である可能性についてはいっさいコメントできないとして、「私は何らかの『秘密航空機』が存在するなどというつもりはないし、またもし仮に存在するとしても、それについてコメントすることはどっちみちできない」と述べた。

ハーマンの観察と写真撮影は、ノースチャールストンのドーチェスター街道のはずれにあるクロスカントリー街道近くの広い野原で行なわれた。

「その物体は、音もなく低空飛行をづけ、道路を横切って野原の方へ移動した。最初、その物体は明るい銀色に見えたが、そのうちにオレンジ色が混じったように見えた。その物体は、でたらめなパターンで飛びまわっているように見えた」とハーマンは語った。「ユニテッド・プレス・インターナ



「シヨナル」社は、2週間前につきのよ  
うに伝えている。「ナシヨナル・エア  
ーラインズのあるパイロットがノバス  
コシア沿岸で、銀色とオレンジ色をし  
た物体が飛行しているのを見、ちよう  
どその頃「スカイクエーク」が同地域  
を襲った」

ハーマンによると、26名以上の地域  
住民が「空中に銀色とオレンジ色の物  
体を見た」とUFOIRCまたはN I  
C A P（全米空中現象調査委員会）に

報告してきた旨、オルセン所長は語つ  
た。バージニア州アーリントンに所在  
するN I C A Pは、その擁するスタッ  
フ15000人のほとんどが科学者であ  
り、2種類の学術文献を発行している。  
ハーマンによると、オルセンは彼を  
つれて、問題の飛行物体が発見され  
た場所にでかけた。

「どこかでその物体を見かけたか、なん  
て教える必要はなかった。オルセンが  
先に、ここだといったんです。他に同じ

物を見た人がいるのか、それともオル  
センは目撃報告をもう読んでいたので  
しょう」

ハーマンがUFOを目撃したのは11  
月12日、27日、12月2日、4日、1月  
22日の5回である。さて、彼はそれ  
どのように感じているのだろうか？

「映画『未知との遭遇』が公開され  
たときにはがっかりしました。私が見  
たというのは、この映画をもとにした空

想にすぎないと、ほとんどの人が考え  
るだろうからです。

でも私は、自分が実際に見たものを  
恐がってはいません。あれは多分、軍  
のある部門に属するもので、彼らはそ  
れを秘密にしておきたいんでしょう」

アメリカ海軍調査局（ONR）が3  
月1日に「スカイクエーク」は軍用機  
によるものだとするレポートを発表す  
る予定であることを「バナー」紙はつ  
きとめた。しかし、ONRがその声明

を発表しても、陸軍は否定するだろうと消息筋は伝えている。

ハーマンはこの飛行物体は空軍のものだと信じているが、オルセン所長はそれを否定している。

## オルセン所長は

### ニセモノだった

話はいよいよ佳境に入るのだが、実はこの、自分はトーマス・M・オルセンであると名乗り、それを証明する身分証明書を持って提示した男は、本物のUFOIRCのトーマス・M・オルセンではなかったということが後になって明らかになった。本物のトーマス・M・オルセンの方は今日まで、この事件については何も知らなかったのである。

ほかにも奇妙な点が気になる。その時までこの事件については何も発表されていなかったのに、このオルセンと名乗る男は、ハーマンの目撃体験をどのようにして知ったのだろうか？ハーマンの住所をどうやって手に入れたのか？他の類似事件をどうして知っていたのか？

こうしてみると、オルセンとの会見も実に奇妙である。この男はハーマン

「あれは何だと思っ？軍のものだと思っのかね？」こう尋ねたオルセンは、ハーマンの答えに、「どこの国の軍隊のことかね？アメリカ軍のことをいっているのなら、それはあてにならないよ」とやり返した。

の家にやってきて、身分証明書を提示すると、さっそくハーマンの目撃について尋問しはじめた。この男はハーマンに、コンタクトの場所に連れていくてくれるよう頼み、ハーマンが同意すると、目撃の細部いっさいにわたる質問を現場でもう一度くり返し、それからハーマンに、うそ発見器のテストを

受けることは気が進まないかどうかを尋ねた。ハーマンが、別に嫌ではないと答えると、このオルセンと名乗る男は、いまずぐでもいいかと尋ねた。

その点も確認すると、オルセンはハーマンを街のホテルの一室につれていったが、そこには1人の医師と男がもう1人、うそ発見機を用意して待っていた。その医師は身分証明書を見せたが、それはハーマンの目には、公式に発行された有効なもののように十分見えた。こうしてうそ発見機による検査がその日の午後行なわれた。

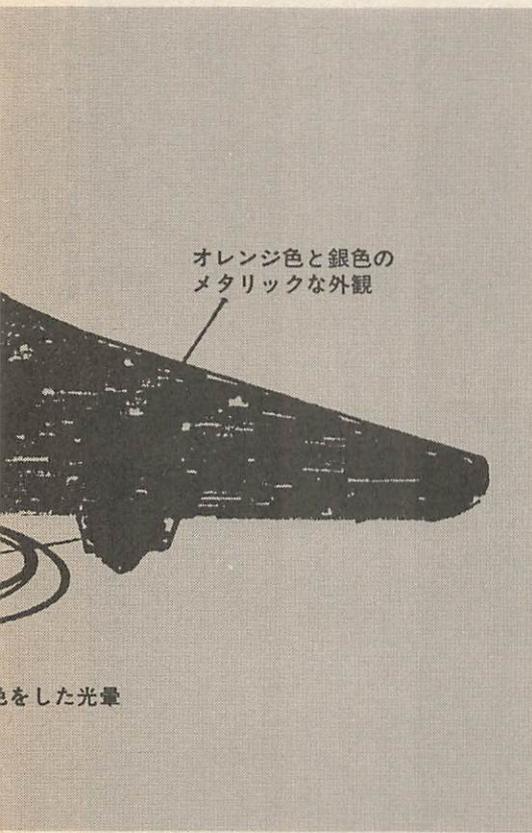
テストが終わって、結果は2、3日のうちに報告してくれるという話だった。オルセンはハーマンに、協力してくれてありがとうと札をのべ、ハーマンの22日の目撃写真のネガ2枚を検査

するため預かりたい、もちろん後日返却することを約束すると頼みこみ、ドアノブであいさつして別れた。

2、3日後、ハーマンはUFOIRCから目撃レポートを同封した茶封筒を受けとったが、テスト結果もネガも入ってはいなかった。そのネガはチャールストン空軍基地に到着しつつあるC-141輸送機の後をUFOが追いかけている写真で、もう1枚はもっと鮮明に撮れていた。本稿執筆時までこの2枚のネガは返却されていないし、このニセのオルセンの本当の身分も、彼との連絡の方法も分かっていない。

さて、こうなると、「もし自分で見たとしても、私なら忘れてしまうだろう」という、あのウェイド・キング少佐の声明も、馬鹿げたものに見える。

未知の未確認飛行物体が、空軍基地に配備されたきわめて高価な軍用輸送機の航跡を追跡した、それも普通なら危険飛行と見なされるほどきわめて接近していたという証写真も証言もあるというのに、この少佐は「私なら忘れてしまうだろう」などというのだ。もしあれが敵軍のものだったり、破壊活動分子のものだったら……？あの物体はいずれにせよわれわれの側のものではないことは確かなのだ。この発言は本当に、アメリカ空軍の公式態度を反



オレンジ色と銀色のメタリックな外観

光量をした

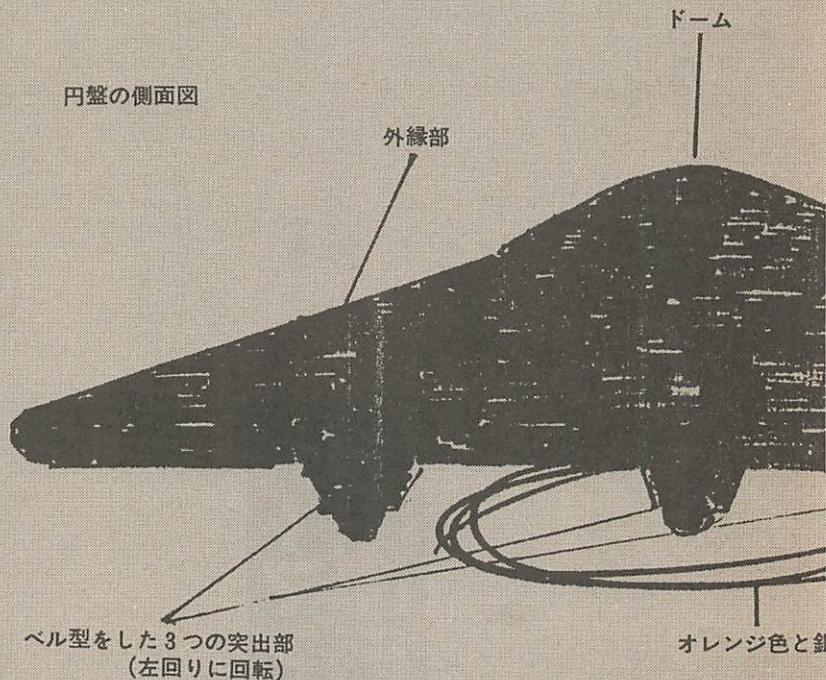
映しているのだろうか？ キング少佐は正規の広報担当将校として公式の立場で発言しているスポークスマンなのだ。

目撃も写真撮影も、その基地のごく近くで行なわれ、その物体が基地の境界線を何回も横切っているのが観察されている。実際、目撃地点近くのヒューンリーパーク宿舎に住むある下士官は、ハーマンの目撃談を知らされたあとで、やはり奇妙な物体を発見し、下士官たちが見かけている物体を確認しにきてくれとハーマンに電話で頼んだ。

ハーマンは実際に出かけたが、現場に着いたときには、その正体不明の物体は飛び去ってしまった。彼は現場を数分間歩きまわって調査してから帰った。

さて、ここでもう一つ、理解に苦しむことがある。空軍基地の公式の宿舎担当士官、あるいはそれが実は誰であれそう名乗る男がハーマンの自宅に電話をかけてきて、「基地に立ち入らないように。もし重ねて立ち入った場合は護衛をつけて追い出す」と、断固とした口調で通告してきたのだ。

この士官の発言は明らかに品位のない、責任ある士官らしからぬものだったが、それともチャールストン空軍基地には実際にそんな士官がいるのだろうか？



この2人の士官の発言が、もしアメリカ空軍の政策を反映しているのだとすれば、私たちに与えるのは残念なことだ。

## ハーマンの最初の手紙

ウィリアム・ハーマンによる1月22日の目撃は、孤立した事件ではなく、次々と起こる一連の事件のうちの一つだったのだ。その始まりは恐らく1977年11月にさかのぼる。5月に入ると、私はハーマンから私の最初の手紙に対する返事を受けとったが、それには私のいくつかの質問に対する回答と、

11月12日以降の事件の年表が記されていた。彼は飛行物体の大きさを、パイパー・チェロキー機の2倍から3倍と推定している。彼の手紙を引用しよう。

「この推定は、3月18日の事件を含め、すべての目撃についてあてはまるものです。3月18日の事件について、きわめて重要なことだと分かっているが、思い出せないことも多いです。」

ジムとコーラル（APROのロレンゼン夫妻のこと）があなたに何を話したのか知りませんが、報告書でお読みになったように、私に伝えることは、私が発狂したか、あるいは思い違いしたのではないが、物体の本性に反して、まさに私の知っている通りのことが起こったのです。

強く申し上げたいのですが、あの報告書を私が詳述したり、自分で書いたタイプしたりしていません。私自身、この内容を完全に無視したいという衝動にかられたに違いないのです。考えるだけでも信じがたいし、非現実的です。

でも、思い出そうとしても、すっかり忘れてしまったように感じることはありません。お分かりますか？ 朝、起きがけに、その日なくてはならない大事なことがあったのに気付いているが、一日が経ってさあ寝ようとい

うときに、何かやらなきゃならないことがあったはずだと急に思い出す……でも、それが何だったのかが思い出せない。そんな感じなのです。

3月18日の事件に関連して私の身辺に起こることがほかにもあります。私はときどきブーンという音が聞こえてきて、どこか近くでしているようなんですが、音がどこから聞こえてくるのかつきとめようとすると、消えてしまふのです。

もう一つ、夜中にときどき起こることは、ベッドに横たわっていて、うとうとと寝入りそうになると、突然、揺り起こされるのです。半分眠ったような醒めたような状態していると、突然、一条の光がバツバツとフラッシュのように光るのが見えてきます。

時々、こんなことは全部忘れてしまふべきじゃないかと考えます。こんなことはもうたくさんです。こんなことをみんな追ひ払ってしまったら、私の世界はまともになるだろうに……。ところが次の瞬間には、これには理由があるんだ、とても重大な理由が、だからこのまま続けるべきなんだという気になつてしまいます。

いったいその理由というのが何なのか、私には分かりません。説明できれ

ばいいんですが……。

スチーブンス大佐、7カ月前の私なら、君はUFOを見るだろうと誰かにほめかされたら、どうぞお好きなようにデータを集めてUFOの実在する可能性についてお考えなさいと、その男を、あざ笑ったことでしょう。

どのようにしてこんなことが起こったのか、その原理までは理解できなくとも、せめて何が起こったのかを知ることができたら、どんなに嬉しいことでしょう。私の胸の中は、「どうして?!」という疑問でいっぱいです。

私はこれまで警告をひやかし、嘲笑的になつてきましたから、もし私の家族以外のだれかが3月18日の事件の報告書を入力したらどんなことが起こるか、よく分かっています。それに、私の家族のだけれど、この報告書の有効性について微妙な発言を軽率にもしてしまつています。

私が事件についてジムとコーラルに話してしまつたただ一つの理由は、彼らの電話のせいなんです。そして、私が経験しつづけることについて関心を示してくれる公平な第三者にいまこうして話しているのですから、私は要点に触れなければなりません。

もし世界がこのことを知つたら……。そして世界に知らせるためにこそ、こ

れらの事件は起こっているのでしょうか……。私は時々どう考えていいか分からなくなりますが。

お気付きのように、この現象には現在の信仰と相容れない面があります。しかしそれはそうではないのかもしれない。ある意味では私の確信を強めもするのです……。私の気持ちがお分かりでしょうか？

私の告白はこのぐらいしておきましょう。私の受けた精神的外傷をあなたにまで押しつけるつもりはありません。そう、写真のことですが、ネガは現像に出しました。父の日までにはできあがるはずですよ。

ジムとコーラルによくお伝え下さい。ありがとうございます。

敬具

ウィリアム・ジェームズ・ハーマン

彼の手紙は、彼の考えている以上に多くのことを私に語ってくれた。というのは、彼はあのような体験にともなう典型的な反応、彼のような目撃者がこれまでに経験してきたまことに同じような反応を示していたからである。理解することも説明することもできないようなこんな不思議な事件に突然直面するというのは、ショックも大きいし不安なことでもある。

ハーマンは、3月18日のあの価値観をひっくり返されるほどの遭遇にいたる一連の事件の年表を同封してきていた。

## ハーマンの UFO観測日記

日付 1977年11月12日(土曜日)  
場所 サウスカロライナ州チャールストン、Bの渡し場およびアシユレー川一帯。

時間 午後5時55分〜7時5分  
天候 晴れ、気温華氏50度、視界20マイル。

所見 1000ヤード(1ヤードは

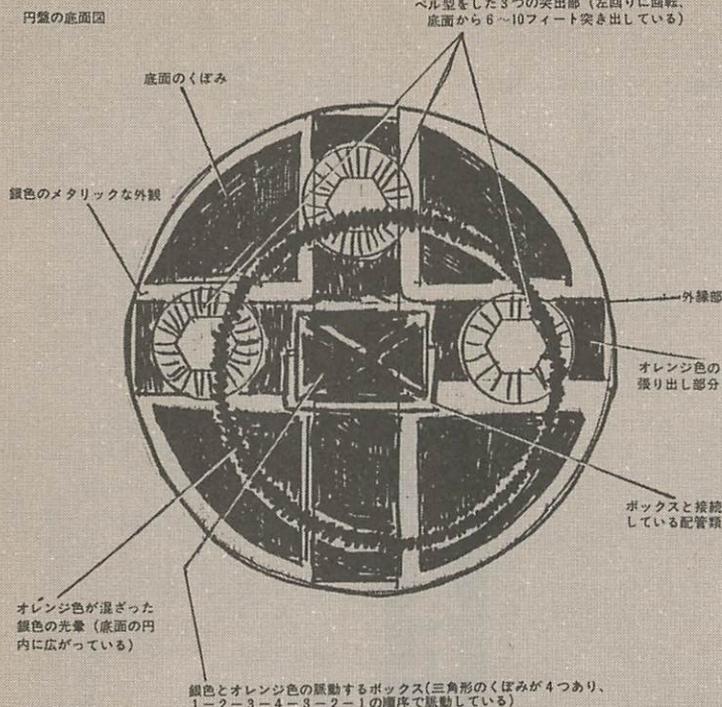
3フィート)の地点が3〜4フィートの距離に見える双眼鏡でUFOを観測。単発のセスナ固定翼型機がバンクしてチャールストン市営空港に向けて方向を変えたとき、銀色に光る円盤がこの小型民間機の後方を移動しているのを発見。UFOはセスナ機を追い越して直進をつづけ、空中に停止すると、輝

きを強めた。それから突然UFOは急速に高度を上げ、視界から上方に去った。

日付 1977年11月27日(日曜日)  
場所 サウスカロライナ州チャールストン、Bの渡し場、アシュレー州およびチャールストン郡有共進会場地一帯。

時間 午後5時30分～5時45分。  
天候 3000フィート上空、雲まばら。視界15マイル、3500フィート上空、やや曇り、気温華氏57度。

所見 双眼鏡でUFOを目撃。その間、インスタマチック126でカラー写真を撮影。最初は、私のトレーラーハウスから目撃した。UFOはBの渡し場近くに立っ



2

るSC&G社の送電塔の上空や、アシュレー川や鉄橋の上空一帯を飛びまわった。

それからUFOは、送電塔上空から送電線に沿うようにして、ゆっくりと動きはじめた。私はカメラと双眼鏡をもって車に乗り込み、トレーラー駐車場をあとにして、モニターギユ通りを西に向かった。

車の窓から、送電線やこずえのちようど上空にいるUFOが見えた。そこはワングター・ウッド地区だった。UFOが現在のまま送電線沿いに進めば、チャールストン郡の共進会場地の上空にいくと、私は判断した。そこで私は共進会場地へと車をとばし、UFOがちようどドーチェスター街道を横切ろうとするとき、目的地に着いた。

UFOは会場地の上空にくると、三角形を描いて動きはじめた。そこで私は車から降りて、写真を撮りつづけた。娘のマンディーの誕生パーティーで使ったので、フィルムは8コマしか残っていないなかった。フィルムが切れてしまったとき、UFOは三角形を狭めて雲の中を上昇していき、わずか数秒で見えなくなりました。

ストン、Bの渡し場およびアシュレー川一帯。

時間 午前9時20分～9時30分ころ。  
天候 5000フィート上空、やや曇り。11000フィート上空、曇り。視界15マイル。気温、華氏54度。

所見 私は家で眠っていた。妻のパティーは友だちと街へ出かけていた。娘のマンディーはベビーカーの中

で寝ていた。突然、震動で目が覚めた。トレーラーが揺れていることに、すぐ気がついた。震動があまりにも激しかったので、最初は、列車が脱線したか、飛行機が駐車場に墜落したのかと思ったほどだった。

私は、ベッドからとび起きて、窓の外を見た。驚いたことに、何も異常はなかった。煙も見えなければ、人もいず、何も変わったことはなかった。

窓から眺めているあいだにも、震動は激しさを増してきた。すると突然、2番目(左側)の送電線の上空に、明るい銀色の円盤が浮かんでいるのが見つかった。私は双眼鏡をとり、居間へと走った。

だがそのまえに、陶器製の額が揺れて壁からはずれ、床に落ちてこわれてしまった。娘のマンディーが、そのとき目を覚まして泣きだした。私はベビ

日付 1977年12月2日(金曜日)  
場所 サウスカロライナ州チャール

サークルのところへいって、娘を抱きあげてあやした。

それから双眼鏡をとると、窓のところにどつた。そして、よく見ようとカーテンを引いたとき、震動はやんだ。送電塔の方を見ると、UFOは消えていた。

(その後の情報によると、チャールストンに住むウィリアム・D・パーセル氏が、同じ12月2日の午後3時30分ごろ、ウェスト・アシュレーの上空でUFOを目撃したとのことである)

日付 1977年12月4日(日曜日)  
場所 Bの渡し場およびアシュレー川一帯。

時間 午後8時30分～8時45分。  
天候 25000フィート上空、やや曇り、のち曇り。視界15マイル。気温、華氏56度。

所見 妻のパティがUFOを目撃する。三角形を描いて飛行。

日付 1978年1月22日(日曜日)  
場所 チャールストン空軍基地に近いクロスカントリー街道、ドーチェスター街道一帯。

時間 午前10時20分～11時5分。  
天候 13000フィート上空、雲まばら。25000フィート上空、や

や曇り、のち曇り。視界10マイル。気温華氏44度。

〔注〕目撃時間帯に飛行中の飛行機はイースタンエアライン社のボーイング727、および空軍のロッキード・スターリフター2機。

所見 ノースサイド、バプテスト教会へいく途中、私は、ドーチェスター街道に出るクロス会の近くのアシュレー・フォスフェイト街道に出るクロスカントリー街道に入った。

## 生誕忘れない光景

私は車を野原に乗り入れ、そこに建っていた送電所のわきに車を停めた。

カメラと双眼鏡をもって車を降り、UFOが動いている野原のまん中へ歩きました。UFOは、野原の上空で大きな円を描いていた。それから高度をこずえの高さまで下げ、そのままの高度を保ちながらスピードを上げると、私の左上空を抜けて、野原から飛び去っていった。

しかしUFOは1、2秒で引きかえしてきて、三角形を描いて、優雅に野原の上空を動きまわった。双眼鏡で見ていると、UFOは色を変えた。あえてその色を表現すると、それは居間や食堂にある電燈の光量調節装置を絞っ

明るい銀色の円盤状の物体が、道路を横切って、上空へ飛び去ろうとしていた。私は車の向きを変えてドーチェスター街道にもどり、サマービル方面に向けて車をとばした。私は車の窓からUFOを探していたが、マジク・マ

ーケットに着いたそのとき、UFOが見えた。UFOは、マジク・マーケットの方からハイウェイを横切って進み、野原の上空で三角形を描きながら動いていた。明るい銀色の円盤型である。

たときのように、銀色の輝きがぼんやりかすんだ色だった。

UFOは金属性で、オレンジ色と銀色がまじって、クリスマスの飾りのように光っていた。そして円盤はともきれいな外観をしていた。円盤の上部中央はドームが張り出しており、窓や銃眼などは、まったく見当たらなかった。表面はきれいに磨かれていて、くどいようだが、実にきれいな外観をしていた。

私は、野原を吹く微風のほかに、まったく何の物音もしないのに気づいて、びっくりした。UFOはふたたび三角形を描きながら、一気に高度をとりもどして、大きな円を描きながら、

野原を横切って、さっと飛び去っていった。

私は、写真を撮りつづけた。興奮したせいか、あるいは不安だったせいかその物体をずっとファイインダーで追いつづけるのに手間どってしまった。

UFOは、もう一度こずえの高さまで降りてきて、速度をゆるめると、急に方向を変え、私が立っている方へ飛んできた。急に、とつともない好奇心が湧いてきた。いま思いかえしてみても、なぜ一目散に逃げださなかったのか、われながら不思議な気がする。ただ、わかることは、UFOにずっと観察されているような印象があったということだけである。

UFOが、私の立っている地点の上空にやってきたとき、私は生涯忘れることのできない光景をはっきりと見ることができた。光と動きが交錯するその光景は、個人や人類がいかに小さな存在にすぎないかということ、私に教えてくれたのである。

円盤の底部には、鈴を逆さにした形の突出部が3個ついており、左回りにしずかに回転しながら、銀色とオレンジ色の光を点滅させていた。円盤の底部中央には、三角形のギザギザが4つある光るわくがあり、1・2・3・4

・3・2・1という順に、非常に速く光を点滅させていた。そして、その外側に、オレンジ色をしたもつと大きな三角形のギザギザが4つ、円盤の縁に向かつて並んでいた。この底部の、大きめの三角形のギザギザは、半分の速さの周期で光を点滅させていた。

光暈が、円盤底部の中心あたりにあふれていたが、それは物体に固着しているように見え、ただそこにいるだけという感じだった。色は銀色とオレンジ色である。

そのとき、UFOは飛びあがり、突然スピードを上げて、私の右側をまっすぐに飛行していった。そのとき……どうしたわけか、1機のC-141スターリフター空軍輸送機が、遠方の木の高さのところ、円を描いて飛んでいるのが見えた。1秒か2秒もしないうちに、UFOは、空軍基地にもどろろとしてそのC-141機のT字型の尾翼のまうしろにいた。UFOはそのC-141機のまうしろや上、下に浮かんでいた。

UFOは、それから野原の上空で円を描いたり、狭い三角形を描いたりして……色は明るい銀色にもどり……高度をあげて、空中高く昇ってゆき、ほんの数秒のうちに見えなくなってしまう。

〔注〕1978年1月22日から3月18日のあいだには、Bの渡し場一帯で多くのUFO目撃事件があった。1978年2月8日にも、Bの渡し場一帯で目撃された。明るい銀色の円盤が三角形を描いて飛んでいるのが、またもや観察された。この地域の動物たちは午後8時30分から午前4時まで、騒いだり吠えたりした。

1978年2月11日、チャールストンの共進会場地上空で、明るい銀色の円盤が観察された。これは、私と妻のほかに、チャールストン郡の警官4人とその他7人が目撃した。これは2時間以上にわたって目撃された。

それ以来、今日この日にいたるまで、ほかにも多くの目撃事件が発生している。とくに5月10日の事件は、妻と私自身のほかに、7人が目撃している。この日、UFOは、いまやなじみになった三角形を描いて飛行しているのが観察された。空に琥珀色の光が輝いているという報告が、WOSN放送局をはじめ、多くの放送局に寄せられた。

また、「ニューズ・アンド・クーリエ」紙や「イブニング・ポスト」紙が派遣した記者たちも、UFOを目撃した。これらの報告には、今年の初めに起きた「エアークエーク」を想起させる

ような震動についての記述が含まれていた。実際、サウスカロライナ州チャールストンの上空でいったい何が起きているのかということは、説明がつかないまま放置されているのだ。

一つだけはっきりしてきることがある。それは、3月18日以前に起こったすべてのこと、そしてそれ以後に起こったすべてのことも、その本当の意味と説明は、あの「2時間半」のなかにこそ見出されるだろうということだ。

チャールストンの老若男女を問わず、すべての人々にとって、あまりにも速く過ぎ去ったあの「2時間半」。その事に関するかぎり、世界中の人々にしてもあまりにも速く過ぎ去ってしまった、1978年3月18日の、あの「2時間半」

しかし、この地球上でただ1人の人間にとつてだけは、あの2時間半は、そんなに速く過ぎ去ったのではなかった。その人間は、どこかよそにいたのだ。そう、思い起こせるかぎりというなら、時間が停止する場所にいたのだ

った……。

私は、失われた2時間半を、1分さきみに逐一思い起こすことはできない。……ほんのあらましの記憶だけだ。だが、私は何とかして私の憶えていることを述べてみよう。それが重要なことかどうかは、それぞれの人の判断にまかせよう。しかし、信じようと信じまいと、この地上で現実が起こった出来事を、ぬぐい消すことはできない。

私は、それがどのようにして起こったのかについては、あまり関心がない。それよりも、なぜ起こったのが問題なのだ。それに私は、自分が最後には、それがなぜ起こったのかを、正しく理解し、悟るであろうということを知っているのだ。

1978年6月8日、木曜日の夜、チャールストンに住む多くの人たち、とりわけチャールストン・ランディング地区の人たちは、恐ろしい爆発音を聞き、明るく輝く物体が空を横切って飛ぶのを見た。……誰も耳をかそえないのだろうか？

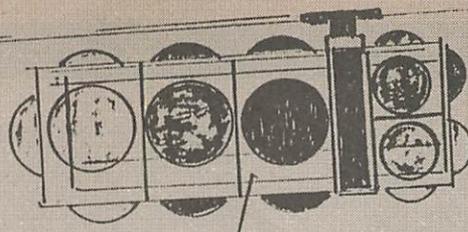
## 私はその「人々」たちに会った

日付 1978年3月18日(月曜日)

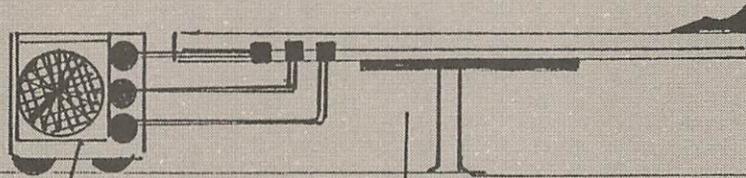
川一帯

場所 サウスカロライナ州チャールストン、Bの渡し場およびアシユレー

時間 午後9時25分～午前0時15分。  
天候 快晴。視界、最大値。南西の



長方形の発光器



車輪付きの箱型装置

テーブル

風6ノット。気温、華氏40〜42度。

所見 UFOが三角形を描いて飛行するのを観察。私は立っていたが、もう少し近くで見ようと、トレーラー駐車場の端までいった。そこには近道があつて、送電塔のごく近くの線路や鉄橋に通じていた。そのあたりはよくUFOが現われる場所である。

しかし、フロイド・サークル通りの端までいってみると、近道へ抜ける堀の穴はすでに修理されて、ふさがつていた。そこで私は駐車場をとり出して、小路を進んだ。鉄道線路を少し歩いていくと、UFOが、左手のSCE&G社の送電塔の上空に浮かんでいるのが見えた。

私は、UFOがまた三角形を描くのを見ながら、歩くのをやめて立ちどまった。そのとき、UFOは突然落下した。私は一瞬、UFOが川か湿地に墜落するのではないかと思つた。だが、UFOは墜落せず、アシユレー川の真上にそのまま停止していた。それからまるで明かりを消すように、瞬間的に輝きが消えた。

私が行動に移るまえに、UFOの動きがぼんやりと見えたかと思うと、UFOは、私の立っているところから10〜15フィート前方の、大きなかん木の上に現われた。

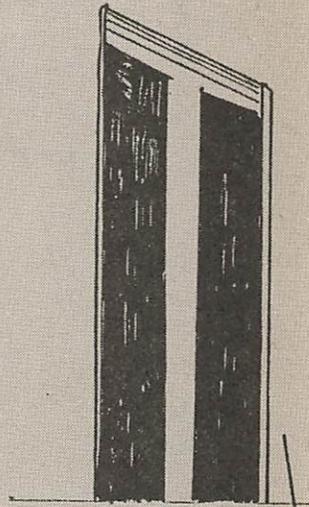
私は非常に驚いて、バランスを失い、足がもつれて倒れかけた。どこに倒れるのかと、すばやくあたりを見まわした。ちょうどそのとき、一連の出来事が起こりはじめた。

私は、青い光のもやに気づいた。円盤の底部から出ているらしい。UFOの黒い輪かく……。青い光はチューブ形をしていた。

湿地のアシが揺れていたが、風はまったくなかった。好奇心と恐怖心のいまじつとした感情が襲ってきた。手を、青い光のもやの中にのぼそうとした。驚いたことに、私の手はすつと光の中にとどいた。身体のバランスももどつたようだった。自分が倒れようとしていたとは感じなかった。

私は、この点にくると頭がもうろううとして、つぎに何が起つたのか、正確に思い出せない。思い出せることといえば、一つの音だけである。遠くのような……。規則正しく脈打っている低く唸るような音……。最初に考えたことは、音源は地下にあるということだ。地下室のようなところ……。

このあたりから、話は大きっぱばになる。目を覚ましたのを憶えている。ベッドのようなテーブルの上だ。赤みがか



出入

3

った小さな部屋。箱のそばに3人の生  
物がある。箱はテレビに似ている。多  
分、テレビだろう。自分の足が見える。  
靴ははいたままで。……よく思い出そ  
う。立っているような気がする。それ  
なのに、自分が横たわっているのが分  
かっている……。ここはいつたいどこ  
なんだ？ 見えるのは、その「人」た  
ちの背中だけだ。その「人」たちは、  
部屋の色にマッチした色の服をつけて  
いる。

突然、自分がUFOを見ていたこと  
を思い出す。黒いUFO……。待てよ、  
そんなはずはない。こんなことが起こ  
るはずがない……。恐怖でくすれおち  
そうになる。そのとき、すぐ頭上で光  
がひらめく。長い形状の光の帯が、赤  
緑、青と、順に光を発している。1・  
2・3・4・5・6・3・2・1……。

そのとき、3人の「人」たちがふり

むいて、じつと私を見つめる。床の上  
の箱と天井の光の帯をかわるがわる眺  
めている。

顔は東洋人風で、体つきは弱々しそ  
うに見える。だが、肉体的な頑強さを  
はるかにしのぐ力強い印象がある。外  
見の特徴そのものが示している内的力  
……。

怖がることはないという声が聞こえ  
てくる。「来なさい。時間が限られて  
いるんだ」と、声が続く。そのとき、  
天井の光が動きをとめる。3人の「人」  
たちは、私をテーブルベッドから降  
ろす。

彼らの腕にふれると、さらに深い力  
強さを感じる。箱のそばを通るとき、  
箱の底には「車輪」がついていること  
に気づく。その箱は、テーブルベッ  
ドに連結している。

幻覚の中を進むように、私たちは狭  
いドアを通して、回り廊下に出る。廊

下の壁は、部屋と同じ色だ。少し歩い  
て、大きな部屋に入る。ノブやレバー  
……この部屋は機械でいっぱいだ。リ  
ールテープのようなものが、くるくる  
と回っている。右に回ったり、左に回  
ったりしている。

また声が聞こえてくる。「これは、  
われわれの制御台センターだ」部屋の  
中央には、コードやロッドのつまった  
チューブ形の大きな機械がある。連絡  
口の向かい側の壁の上にも、似たよう  
な機械がある。

そのとき、部屋の中にいた他の「人」  
たちが立ち上がり、座っていた場所か  
ら一歩下がった。どこを通っても、畏  
怖の念にうたれる風景ばかりだ。また  
声が聞こえる。「来なさい。先へ進む  
のだ。時間が限られている」

なぜか、私はまた恐怖にとらわれた。  
……「おまえに害をあたえるつもりは  
ない」……その「人」たちを見ている  
と、誰も唇を動かさないので気づく。  
が、声は聞こえてくる。私は混乱し、  
恐怖に襲われる……。

「安心しなさい。すべては予定通りな  
のだ」……突然、私は安らかな、温か  
い気持ちに満たされる。そしてふたた  
び廊下にもどったとき、この「人」た  
ちに対して親近感が湧く。別れていた  
近い親戚の姿を見つけたときのような

感情……。私を襲ったこのやさしさの  
ようなものを、言葉でいい表わすこと  
はとてもできない。

私の心は空白だ。何か欠けている  
ようだ。……それから、シューッと音  
をたてて閉まる連絡口に入ったのを思  
い出す。突然、連絡口の反対側が開い  
て部屋が現われる。部屋はさまざまな  
色であふれまん中に大きな機械が置か  
れているだけで、ほかには何も無い。

機械の中心部には、いろいろな色をし  
たチェッカー盤のようなものがあって、  
絶えず動いている。大きいボールが2  
つ、機械の上部左右についている。ボ  
ールのまん中にはコードやロッドが見  
える。一瞬、疑問にかられる……。そう、  
ボールは透明なのだ。

2人の「人」たちが席について、チ  
ェッカー盤に向かいあっている。動い  
ている光の方に近づくと、2人は立ち  
あがり、私たちのうしろへ下がった。  
また声が聞こえる。「これはわれわ  
れの平衡制御装置だ」「来なさい。教  
育室へもどらなければならぬ。もう  
時間だ」

ドアを出ると、小さな連絡口に入る。  
入口が閉まり、反対側が開くと、私た  
ちは廊下にもどる。制御室の前を通る。  
テープ・リールが見える。すべて停止  
している。私たちは廊下を下りつづけ

る。左手の、最初の部屋に入る。テールベッドと、<sup>車輪</sup>のついた箱のある、あの部屋だ。天井の光の帯が、最初はゆっくりと、つきには半高速で、それから非常なスピードで、順々に光を点滅しはじめた。

私は意識を失いはじめる。動きが緩慢になりはじめる。……テールベッドに横たわっている。……何が欠けているみたいだ。何かが起こったはずだ。何か重要なことが。……指令だ。……「教育モニターがおまえの記憶を助けてくれるだろう」……「彼とコン

タクトせよ」……「おまえのところに指令がくる」……。あの声、すべてを知りつくしたような声……。

……動作がもうろうとしてくる。あらゆる色の光が、プリズムの虹のように頭上で輝く。満足のしるし……。

恐怖はおさまり、静けさが心の中を占める。すべてが空っぽだ。……壁はまったく継ぎ目がない。明るい赤色と銀色の、磨いた金属の1枚のシートのような壁。型にはめてつくったような表面……。どうしてまえに気がつかなかったのだろうか？

## 人々は信じようとしな

### だが……

私はふたたび青い光のやに囲まれている。足もとにはオレンジ色の光がある。鏡に反射しているみたいだ。足もとを見る。突然、完全に方向感覚が狂い、混乱し、恐怖に襲われる……。

あたりを見回す。まっ黒やみだ、どこもみんな。恐怖が一気に突きあげてきて、私は上空を見上げる。黒い輪かくの円盤が、ゆっくりと上昇していく。川や湿地を探す。方向感覚をとりもどそうとする。何も見覚えがないような気がする。いったい、ここはどこな

んだ!?

気がつく、私は聖書の言葉を唱えている。助けを求めて叫びながら、あちこち走りまわる。どうなっているんだ？ 何一つ見覚えがない……。

空を見上げる。星は輝いている、はつきりと。……あれは何だ？ 上下左右に動いている、三角形を描いて。円盤だ。……送電塔はどこだ？ ついさつまで、そこにあつたのに。ちよつと待てよ……一瞬、思い起こそうとするが、何も思い出せない。

光のところまでもどうだろう。光の中は安全なのだ。私は走るのをやめる。

光が見える。さつきほど明るくない。だんだん消えてゆく。静かだ。沈黙と静寂……。あれは何だ？ 誰かが向こうにいるのか？ 答えはない。ふたたび沈黙……。立ちあがると、風のそよぎを感じる。かなり涼しい。空を見上げる。円盤は三角形を描いて動いている。水平飛行をする。それから停止する。だが、ほんの一瞬、私の左手を一気に飛び去り、視界から消える。

そのとき、左手の闇の中で光が輝く。車の明かりだ！ 左手に道路があるんだ。木もある。開けた場所にいることが分かる。耕された畑だ。しかし、どこだろう。私はどのようにしてここへき

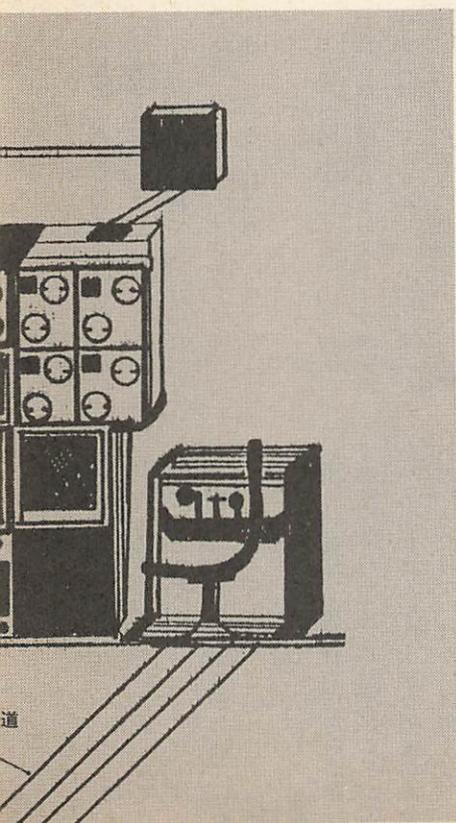
たんどうろう？

そんなことは後で考えるんだ！ 今助けを求めろんだ。私は、道路わきの木の方へ走った。車が走り抜けようとしている。1分間かそこらで、車はカーブにさしかかる。合図をして車を停める。

助けてくれ。警官を呼んでくれ。ここはどこだ？ いま何時だ？

サマービルのペーコン・ブリッジ街道にいるらしい。時刻は午前0時15分、真夜中すぎだ。でも、ついさつきは9時半ごろだったのに……。私は叫びだす。気が狂いそうになる。しつかりするんだと、自分にいい聞かせる。

警官を呼んでくれと、何度も頼む。だが、BMWに乗った人たちは走り去っていく。酔っぱらいか狂人だと思つたのか。それとも酔っぱらった狂人？



ほかの車をとめた方がよさそうだ。赤いカブト虫、フォルクスワーゲンが止まる。助けてくれとくり返す。だがフォルクスワーゲンは走り去る。……BMWがもどってくる。どうしたんですかと聞かれる。フォルクスワーゲンももどってくる。同じように、どうしたのかと聞かれる。

しばらくすると、ドーチェスター郡の警官がバトカーでやってきた。事情を説明しながら、例の野原までいっしょに引き返した。

## それは幻覚ではなかった!

APROのジム・ロレンセン、コラル・ロレンセン夫妻のお膳立てで、哲学博士のジェームズ・ハーダー氏がこの事件の調査に参加し、ウィリアム・ハーマンといっしょに活動をはじめた。

ハーダー博士は、コンタクティーの深層意識から情報をとり出し、それを覚めた意識のもとに引き出せることに成功した人で、かなりの名声を博していた。

博士の努力によって、いまやハーマンは、その夜の出来事の大部分を意識的に思い出し、理性的なレベルで扱うことができるようになった。

私の救出に関するお決まりの報告書を作成すると、警官が妻のパティーに電話をした。どうやら、私の精神状態が正常にもどるといいのだがと、ほめかしているようだった。

私は、あるスーパードの前で降ろされた。

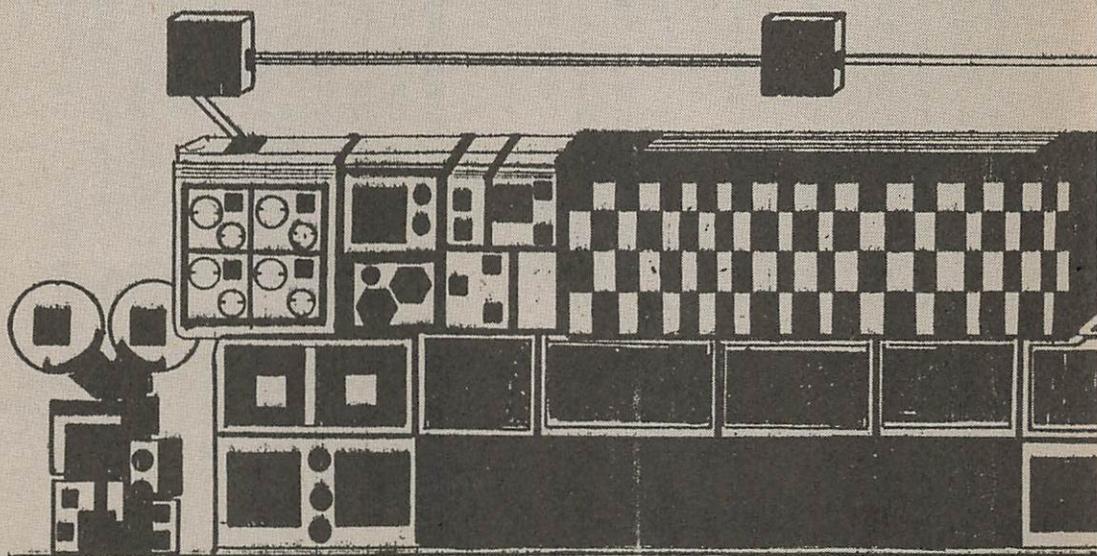
私にとってよりも、警官にとって都合のいい場所だったのだ。1時間半もたつて、父と妻がスーパードに着いた。私たちはいっしょにチャールストンにもどった。

彼はその後の手紙で、つぎのように書いている。

「私は、このUFOを11月12日、27日、12月2日、4日、1月22日、2月8日に目撃しました。1月22日と11月27日には2回目撃しています。写真を撮ることもできました。チャールストン上空一帯には、UFOがしょっちゅう出没するので、私は悩まされました。ほかにもたくさんの方が、この物体を目撃しているのですが、あざ笑われたくないので、人にはいわなかったのです。

でも、彼らも私とは目撃の様子を議論したり、これまでに得た情報の真偽を確かめたりしたのです。それは、つ

4



中央制御盤はコンピューター制御盤に似ている

ぎのとおりです。

その物体は、パイパー・チェロキー機の2倍ぐらいの大きさで、銀色に輝く、金属性の外観をしていた。直径は35〜50フィートであった。

その物体は、しばしば、あのおなじみの三角形を描いて飛行した。Bの渡し場、アシュレー川、その沿岸のドレイトン、それにチャールストン空軍基地近くの軍用宿舎のあるハンレーパーク区域などの一帯で、もともと頻繁に目撃された。

物体は一般的に円盤形である。あるときはゆっくり動き、またあるときは信じられないような高スピードで加速する。

物体は、決して音を立てず、時には地上2〜300フィート程度の高度で静かに飛行した。

物体は、輝きを増減したり、色を銀色から、銀色のまじったオレンジ色に変えたりすることができる。

上部には、なめらかなドームがある。円盤の縁から6〜10フィート上に盛り上がっていて、型にはめてつくったように見える。

(調査によると、ハーマンの推測はひかえ目であったことが分かった。直径は60〜70フィート、高さは15〜20フィートあるらしい。)

1月22日の目撃では、多くの変わった特徴が見られた。底部は、ある時は平らだったかと思うと、次の瞬間には活発に動きだした。くるくる回る3つの突出部が出てきて、銀色とオレンジ色のまじった光で明るく輝いていた。

これらの突出部は、鈴を逆さにしたような形で、底部から6〜8フィート、下の方へ突き出していた。

物体は、光暈のような光を発していた。その光暈は、物体の底部をバックにして、くっきりと見えた。

底部の中央には、三角形をしたギザギザが4つあって、1・2・3・4・3・2・1という順序で光を点滅させていた。また、その外側には、それより大きめの三角形をしたギザギザが4つあり、輝きを強めたり弱めたりしていた。

突出部は、中に引き込むことができ、仕組みのようだったが、別に引き込み穴は見えなかった。

私の頭上800〜1000フィート上空を、円盤がゆっくり動いていくのを見上げていると、私が円盤を見つめているというより、円盤に見つめられているような印象を受けた。

1月22日以降は、2月の2晩を除いては、目撃はそれほど定期的ではなかった。だが、大きな事件がやがて起きるのである。

3月18日は土曜日だった。例の物体がまた送電線の上空一帯に見えた。私は、妻と、その夜遊びにきていた妻の親友デビー・ブラウンに、それを指さして教えた。

もつとよく見てみたいと妻にいつて私はコートを着、双眼鏡を手にした。テレビの上の時計を見ると、9時15分を指していた。階段を降りながら見ると、UFOは三角形を描きながら、SCE&G社の送電塔の左へゆっくりと飛行していくところだった。

フロイド・サークルのトレーラー駐車場の道の歩いて、敷地の端までいった。そこには塀で囲った空地があった。塀の一角に穴があいていた。私は以前に、そこから空地を何度も通り抜けたことがあった。空地を抜けたところにある小道は、丘の頂上と鉄道路線路の方に通じており、その線路はBの渡し場とアシュレー川の鉄橋に続いている。

ところが、塀の穴は、すでに修理されてふさがれていた。それで私は、駐車場を出てウエスト・モンターギューに通じる道を走り、それからフロイド・

サークルに平行する道を走った。道の終わりにには下水処理場があり、その建物のうしろに1本の小路があって、線路に通じていた。そこで私は、その道を通って線路に出、鉄橋の方へ歩きだした。

UFOは、左手の送電塔の約1500フィート上空を、ゆっくりと三角形を描いて動いているのが依然として見えた。

双眼鏡で見ると、物体は白銀色の円盤形をしていた。直径は35フィートぐらいに見えた。

私は立ちどまって、双眼鏡の焦点を合わせた。物体は、ゆっくりと上昇し、それから1、2秒間とまり、また飛行しはじめた。

そのとき、それは突然、川に向かって落下した。輝きは消え、すっかりぼやけてしまった。

4つまで数え終わらないうちに、物体は信じられないスピードで、私の立っている方へ突進してきた。そして20フィート足らず前方の茂みの中の空地に、はみ出すようにして着陸した。後で測ってみると、その空地は直径63フィートあった。

(ここで目撃者の報告をいくつかり返して記述しているのは、コンタクテターのハーマンが心の奥深くかくされ

## 解き明かされた円盤の秘密

た情報を、覚めた意識の表面に引き出され、理性によって吟味したあとで、

それをさらに詳しく認識する能力をもっていることを示すためである。）

UFOが非常に速かったので、私は驚き、バランスを失って、うしろに引っ張り返りそうになった。UFOは、私の立っているまん前でだしぬけにとまった。私は向きを変えて走り出そうとした。しかし、バランスを失って倒れていくような感じがした。うしろを見ると、湿地の中に、枕木や古い油の缶や岩があった。

そのとき、出来事がぼやけてきて、突然、緑青色の光と、青みがかった銀色の光線が私をとりまいていた。私は依然としてバランスを失い、うしろ向きにひっくり返りそうに感じていたが、倒れることはできなかった。

円盤の底部から光が出ていた。見上げると、星の光をバックにして、円盤の輪かくがくっきりと浮かびあがった。青みがかった光は、チューブ形をしていた。

動くことはできなかったが、手前方に伸ばすことはできた。うしろを見ると、湿地のアシがゆらゆらと揺れていた。だが、不思議なことに風はまったくなく、何の音も聞こえなかった。

しかし、機械の音を「感じた」というか、むしろ「聞いた」ことは憶えている。遠くのようにだが、私が立っている地面の下から聞こえてくるようにも思えた。理解してもらえないかどうか分からないが、それもこの事件の不思議の一つなのだ。

私は方向感覚を失いはじめた。立っているような、いないような、水中に浮かっているような感じだった。

それから、空白の時間があった。急に耐えがたいほど眠くなったかと思うと、意識を失った。足が知覚を失って動けなかった。前方を見上げると、物体の輝きは完全に消えていた。しかし、物体の表面の光沢のある銀色が、ほんやりまたたくのが、まだ私には分かった。表面は、見たところ金属性だった。そのとき、足もとから聞こえてくるような、ブーンという音を聞いたことを思い出す。

それから私は意識を失った。

次に私が憶えていることは、7フィートぐらいのテーブルベッドに横た

わっていたことだ。長い長い眠りから目を覚ますような感じだった。足はまだしびれていた。

どこにいるのか、さっぱり見当がつかなかった。部屋は、病院の病室のよう、とても清潔で、きちんと整頓されていた。空気さえ澄んでいるように思えた。酸素のようなものが、そよ風のように吹き込んでいるようだったが、匂いは違っていた。はつきりと違う匂いだった。

目を開けて、上を見た。部屋の色と天井の色は同じだった。真上に、長方形の光の帯が、1・2・3・4・5・4・3・2・1、青―緑―赤―緑―青という規則的な周期で点滅していた。

足もとを見ると、左右に4・5・5・5フィートぐらいの、東洋人風の生き物が見えた。制服のような、赤いオーバーオールジャンパーの降下服を着ている。制服にはベルトもボタンもなかった。どうやって着るのだろうかと思議だった。制服の赤い色は、すっぽりぬりつぶした部屋の色とマッチしていた。

その「人」たちは、2人が私の左足の方に、1人が右足の方において、私や光る帯や、テーブルベッドの脚もとにある箱ボックスを見つめていた。箱にはコードや何か接続されていた。私は最初、それをテレビのようなものだと思った。

表面にスクリーンやグラフのようなものが、ほんやりと見えたからだ。

その「人」たちは、箱とテーブルベッドのあいだを、小刻みに歩き回っていた。彼らはとても青白く、スポンジ状のやわらかい皮膚をしていた。

こい茶色の目は非常に特徴的で、見たところ、完全にまん丸で、むき出しになっていた。髪もまゆ毛もなく、どんな体毛も見えなかった。

頭は異常に大きく、ふくらんでいた。口は小さく、あごはほとんどなかった。東洋人風だったが、親しみがもてた。

私は最初、パニックに襲われたが彼らのまなざしを見ると、安心感をおぼえた。まつ毛がないのにも気づき、私が見ているのは誰だろう、何が起きているのだろうかと思議に思った。

私の足のいちばん近くにいた「人」が近づいてきて、私の肩に手をおき、「さあ、立っていいよ」というのを、私は「聞いた」しかし、何と唇は動かさなかったのだ。私はびっくりした。

彼は、また肩をさわって、同じことを繰り返した。手の指は5本あり、腕も足も2本ずつ、背丈は小さかった。

私は立ちあがった。何か、ぼーっとした感じだった。しかし、なぜだか理由は説明できないが、彼らは信頼でき

ると私は感じた。しばらくすると、私  
はもっとはつきりと目が覚め、起こっ  
ていることに気づきはじめた。

私は、あの物体の内部にいるのに違  
いない。これは、エアロックか、何か  
それに似たものだ。「あなた方はどな  
たですか？ チャールストンで何をし  
ているんですか？」と私は尋ねた。答  
えはなかった。私は、出しゃばったり  
不作法な真似はしないで、冷静に、す  
べてのことを憶えておこうと決心した。  
私は、頭ははつきりしていると感じて

いたが、一方ではブーツとも感じ、中  
途半端な状態だった。

「われわれといっしょに來なさい」と  
いわれて、テーブルベッドを降りた。  
天井の光の帯は光の点滅をやめた。そ  
の「人」たちのうちの1人が私のとな  
りを、2人は私のうしろを歩いた。連  
絡口も廊下も、それだけの幅しかなか  
った。廊下はカーブし、部屋まで続い  
ていた。

まわり全体が、金属性のシートに似  
た1枚のシートを、型に入れてつくつ  
てあるように見えた。さっきの部屋と

同じように、この部屋も、燃えるよう  
な赤一色だった。私たちは10歩か20歩  
歩いて、ある連絡口に入ったが、そこ  
は機械類やコンピュータのようなもの  
のできつりの部屋に通じていた。

長い制御台が1つ、カーブした壁か  
ら1・5フィートほど張り出していた。  
制御台の両側と正面に、合計3脚の椅  
子があった。制御台の中央に、光るチ  
ェッカー盤のようなものがあった。こ  
の部屋には、その「人」たちがもう3  
人いた。

私たちが壁と機械に近づくと、その  
「人」たちは立ち上がってうしろに退  
いた。この部屋は操縦室だといわれた。  
もっと特別な意味をもつ名前だったが、  
思い出せない。操縦制御台センター  
か、なにかそんな名前だったように思  
う。

私たちは部屋の中を歩きまわった。  
機械は生き生きと動いており、彼らは  
ある決まった順序でレバーやボタン類  
を操作していた。注目に値する光景だ。  
この部屋にも赤い光が満ちていた。機  
械全体がそうなのだろう。

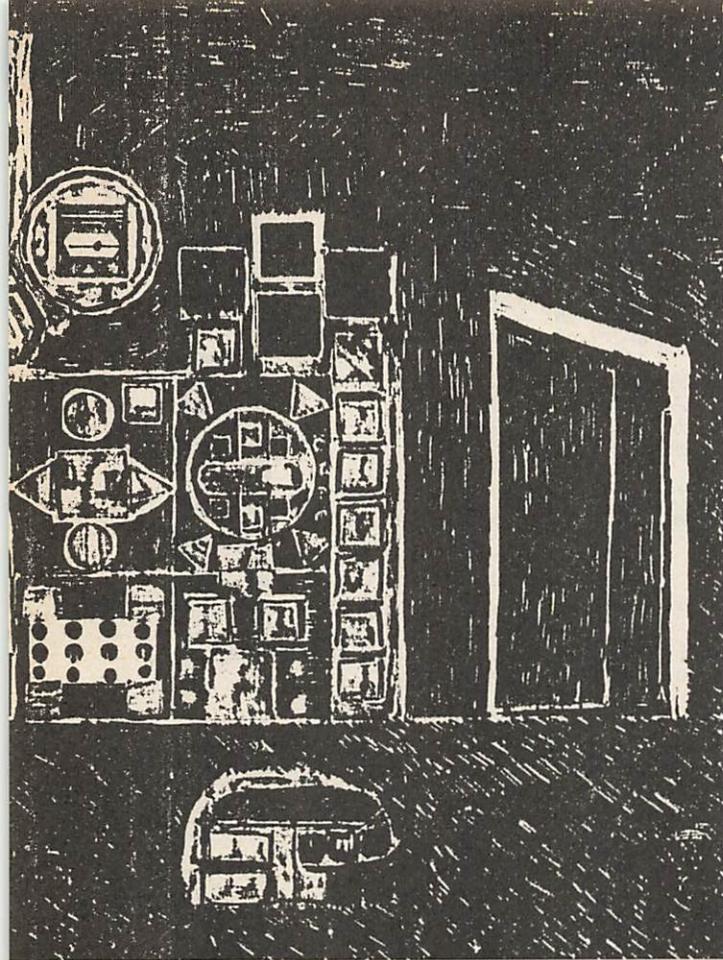
「時間がありません。さあ、いらつし  
やい」といわれて、私たちはその部屋  
から廊下に出て進み、別の小部屋に入

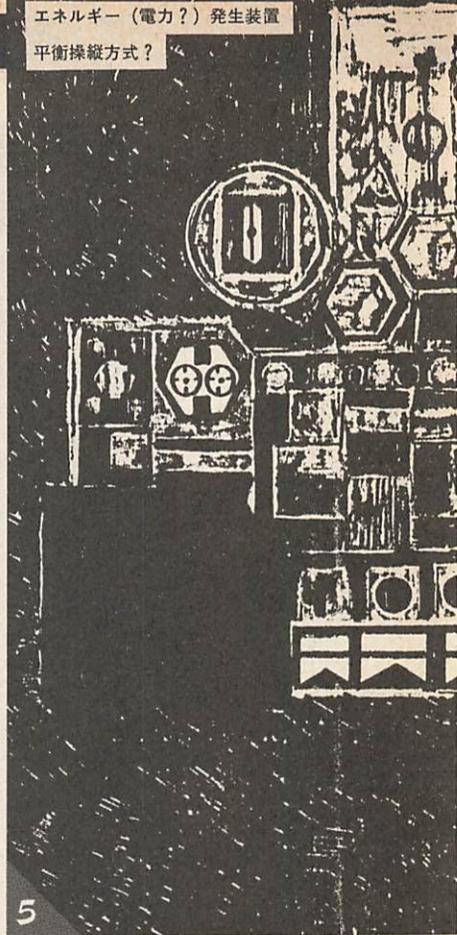
った。押入れのような窮屈な部屋だ。  
ドアがシュッと音を立てて閉じると、  
少し間を置いて、反対側のドアが開い  
た。また別の少し大きい部屋に入った。  
機械や発光体、さまざまな色の大きな  
丸い球、レバーやノブがたくさんある  
だけで、ほかには何も無い。

銀色に輝く機械からは、低いブーン  
という音が聞こえていた。「自由飛行を  
するために必要な平衡制御装置です」  
と1人が説明してくれた。私は「教え  
て下さい。なぜ地球人の前に姿を現わ  
して見せないんですか？ 何かお役に  
立てて、コンタクトができ、連絡がつ  
けられる人たちの前に、どうして姿を  
現わさないんですか？」と質問したが、  
答えはなかった。「さあ、時間がありま  
せん。もうすぐ終わります」と1人が  
いった。

「あなたが指導者ですね。指揮官でし  
よう？」と尋ねると、そう思いたけれ  
ばそう考えてもよい、とのことだった。  
私たちはその部屋を出て、仕切った小  
部屋にまたもどった。ドアが閉まり、  
少しすると反対側のドアが開き、まが  
った廊下を歩いて、テーブルのある部  
屋にまたもどってきた。

以前と同じ順序で点滅している光の  
帯を指さして、「あれは何ですか？」





と尋ねると、「教育装置です」という答えがあった。忘れずにいられるだろうか？ どうして私に教えてくれるのだろうか？ こんなものをいろいろ、どうして私に見せてくれるのだろうか？

横になるようにいわれたので、私は横になった。「そのうちに説明してあげましょう。理由があるのです。やがて分かりますよ」という声が聞こえた。

## 狂人扱いされて……

気がつくと、私は広い野原に立っていた。足もとがオレンジ色に光って見える。そろそろと見上げると、ゆっくりと垂直に上昇していく物体の輪かきが目に入った。底面は銀色とオレンジ色にわかるがわる輝いている。オレンジ色は、地面の光の色と同じだった。周囲を見まわすと、急に怖くなつて

私は、光の帯をじつと見つめた。見づめていると、くつろいだ気分になる。最後にひと目、周囲を見まわすと、また平衡感覚がポーツとしてきた。とてもゆったりした気分で、眠りこみそだ。意識を失いそうになって、すべてがすすんできた。目をこらすことができない。足も感覚がなくなつて、目の前が暗くなつた。

きた。どこにいるのかも分からないのだ。全然見えない景色なのである。私は「助けてくれ！」と叫びながら、気違いのようにあたりを走りまわつた。不思議なことに、理由は分からないが、足もとのオレンジ色の輝きの範囲内にいると安全だという感じがした。目を上げると、物体は3000〜5

000フィートの上空を、三角形を描きながら北西に遠ざかっている。速度を上げて視界から去つた。足もとの輝きも薄れ、私は野原のまん中に立っていた。高い木や低い茂みが四方に生えている。野原は真四角で、よく耕してあるという印象を受けた。

何時間も立っていたような気がしたが、やがて左側にヘッドライトの光が見えた。光の方へかけだしていくと、道路に出た。5分か10分もすると車が1台やってきたので、手を振って止めて、助けを求めた。

「ここはどこですか？ 今日は何日でしょう？」頭はすっかり混乱していた。方向感覚もなく、自分がどこにいるのか、まったく見当もつかなかった。話を聞くと、今日は3月18日、日曜日で、時間は真夜中の0時5分、場所はベークンス・ブリッジ街道沿いのサマービル付近とのことだ。

「警官を呼んでくれないか」と私は彼らに頼んだ。「何しろ、ほんのちよつと前に午前9時半だったんだ。とする……。ああ、何でことだ！」すると、車は走り去ってしまった。

3分もすると、また1台の車がやってきた。手を振って止め、同じことを頼むと、その車も走り去ってしまった。

1分ほど過ぎて、もう1台の車が通り過ぎてしまった。そのうちに、最初の車が、バトカーを連れてもどつてきた。続いて2台目の車も。

警官が車を出て、私のところに歩み寄つた。私はほとんどヒステリーのように泣き叫んでいた。落ち着くようにいわれて、何が起つたのかを懸命に説明しようとした。

「あなたが釈放されたという場所へ連れて行って下さい」と警官はいい、私は案内した。そこへ、2台目のバトカーが到着した。2人の警官は相談のあと、車の中で座っているらしい、懐中電燈をもって野原中をさがしまわつた。2人はまた相談していた。

何をしているのかと尋ねると、彼らはいった。「そうですね。署にいった身内の人に電話をして、あなたを引き取りにきてもらいましょう」。私たちは警察署へゆき、警官は別室から私の妻に電話して、私を迎えにこさせた。あとで知つたことだが、その警官は妻に、私に精神障害や幻覚の病歴がないかどうか質問したそうである。

私たちは署を出て、妻が私を引き取ってくれる場所であるスパーに車を走らせた。警官がいった。「私は夕方

からずっとあの地域をパトロールしていたが、異常なものは何も目に入らなかったし、聞こえもしませんでしたよ」私は、何と返事をしてよいか分からなかったのですが、ただ黙って泣いていた。それほど取り乱していたのである。とても孤独な気持ちだった。

父が妻を乗せて車でやってきて、私を家に連れもどした。私は疲れきってベッドに入り、何もかも忘れようとした。だが、何だかひどく不潔になったような気がしたので、眠る前に風呂に入った。着ていたものもすっかり脱いで、袋につめこんだ。

それから何週間も、私ははげしい偏頭痛に悩まされ、落ち着かない、眠れる夜を過ごした。また、後にジェームズ・ハーダー博士の助けを得るまでは事件の詳細を思い出すこともできな

った。ハーダー博士は私の家へやってきて、何度も私に催眠術をかけ、私があの誘拐事件の記憶に耐えることができるようにしてくれた。

同封のスケッチを描いたのは、ハーダー博士が帰ってからひと月もしてからである。私の知識の限りを尽くして正確なものにしたつもりだ。お話しした事件が、信じられないようなものであることは分かっている。だが、それにもかかわらず、この事件のことを皆にも知ってもらいたいという、説明しがたい願望を感じるのだ。嘲笑されるのは覚悟の上だ。あなたはあなたで、自分の結論を下げばよい。あの「人」たちが何者か、なぜそこにいたのか、私は知らない。疑問に思うだけである。その答えは、現在もまだ発見していない。同じような体験をされた方があればぜひ力になっていただきたい。

## 事件に先だつ

## オルセン氏の訪問

3月18日の経験に関して、私は、それ以前に起こった事件をいろいろ研究してみた。過去のUFO目撃事件に関して連絡をとった人々を調べなおしてみた。

私が誘拐された動機は、いったい何だったのだろうか。私はこれまで、私の話を少しでも信じてもらえるように事件の奇怪さを柔らげて伝えようとす

だが、3月18日に先立って起こった一つの出来事は、私の心にはつきりと残っている。それはメリーランド州ライダーウッド、21139、私書箱57号のUFO情報検索センター(UFOIRC)所長と名乗る男の訪問である。

それは、1978年2月第3週の土曜日の出来事だった。午後3時半ごろ電話が鳴った。トム・オルセンという男からだ。UFO目撃事件の調査のために当地にきているが、差し支えなかったら、いっしょに円盤問題について話し合いたいのだが」という。私は承知して、30分で支度をすると答えた。それでは車で迎えにいく、と彼がいうので、私は道順を教えた。ホテルの部屋から電話している、ということだった。

およそ30分後、ダーク・ブルーの77年型シボレーが、私の住むトレーラーのところまでやってきた。どうやらレント・カーらしい。

何か自分を証明するものがあるかと尋ねると、彼は「トム・M・オルセンと名乗り、トムと呼んでくれといった。彼は、メリーランド州発行の運転免許証、写真付きの退役軍人(アメリカ空軍)身分証明書、同じく写真付きのU

FOIRCの身分証明書などを出して見せた。写真は両方とも本人に間違いないので、私は安心して車に乗りこんだ。

最初に私の注意をひいたのは、その男の細いたてじまの服だった。顔をきれいにそって、髪は黒く、年齢は50歳から55歳くらい、眼鏡をかけていて、成功した実業家のように見えた。額が少しはげ上がっている。

私たちはトレーラー駐車場を出て、人々があの物体を目撃したというあらゆる場所についてみることにした。それぞれの目撃地点でオルセン氏は、車のうしろの席においてあった望遠レンズ付きのニコン35ミリカメラで20〜30枚の写真を撮影した。フィルムは15本くらいもっていたに違いない。私の撮った写真も検査しないのか、と尋ねると、まだその必要はないという返事だった。

Bの渡し場でオルセン氏は、私の写真を1枚撮った。どの目撃地点でも、彼は私に、物体はどっちの方角へいったのか、右からきたのか左からきたのかと尋ね、それをさらに言葉を変えて問いただすのだった。

私たちは、Bの渡し場、クロス・カントリー街道、マウント・プレザント、

それにフォリー海岸などを訪れた。  
何時間も——実際は2時間半だった

が——たつてから、オルセン氏は私にうそ発見器のテストを受けてみる気はないかと尋ねた。後日の話と思った私が、別に差し支えはないと答えると彼は、それは結構、すぐに私のホテルにいつて始めよう、といった。そこにはUFOIRCのメンバーがもう2人私を待っているという。

私はまたとても不安になって、もう一度、身分証明書を見せてくれと彼に頼んだ。彼は、さつきと同じ書類を出して見せてくれた。

ハイアット・ハウスに着いて車を駐車させると、私たちはロビーを通り抜けて、520号室に入った。そこにはきちんとした身なりの紳士が2人待っていて、UFOIRCのメンバーだと自己紹介した。そのうちの1人はメリランド州のうそ発見器操作員で、もう1人は、テストに対する私の肉体的な反応を検査する医師だった。

エレベーターを降りて520号室に入ると、中くらいの大きさのブリーフケースからうそ発見器が取り出され、テーブルの上にセットされた。医師は私の血圧を測定してから、楽な気持ちでいろといひ、何か、気分を落ち着かせる薬品を勧めた。私は、またとても

不安になり、もう一度、身分証明書の提示を要求した。

今度はオルセン氏も気を悪くしたらしく、キツパリと、こういった。「ハーマンさん、私たちはUFO調査団体として連邦政府に登録されている者です。電話機をとって確認していただきたい結構ですよ。さあ、調査を進めますか？ 時間は貴重ですからね」

事ここにいたって約束をひるがえしでは、私がかかかしているかと疑われる。私はテストの開始に同意した。医師は、私を落ち着かせるために、左腕に注射を1本打った。

私はうそ発見器にくくりつけられ、指には軟膏のようなものを塗られ、手足と胸にはベルトが巻かれた。いよいよテストの開始である。

最初に、名前をいうようにいわれた。職業は？ 年齢は？……質問のたびに、装置を動かしている男は、グラフに何か印をつけた。それから今度は、わざとウソをいへと命令された。1枚のカードを渡されて、それを見てからウソの答えをしろというのだ。男はまたグラフに何か印をつけた。今度は自分の名前と住所についてウソを答えろといふ。

続いて、医師が私の脈博と血圧を測

定してから、私のUFO体験に関する質問が始まった。何度も何度もくり返して経験談を物語るよう要求された。

人をついでいるのではないかと、本当に見たのか、よくよく考えてみて本当にUFOだったのか？ 質問は、言葉を変え、方法を変えて何度も繰り返された。しつこい質問だ。一つ一つの質問のたびに、検査官はグラフ用紙に何かを書きこむ。

2時間半もたつて、やっと、終わつたからシャツを着るようになるといわれた。医師は私に、今晚はもうゆっくりするようにと勧め、検査官はグラフ用紙をブリーフケースにしまいこみはじめた。

私がシャツを着ていると、オルセン氏はいかにも親切そうに、空腹だろうから美味しいステーキか、チャールストン名物のカニ・スूपでも食べにいかないか、と誘ってくれた。だが私はやぶつきら棒に、疲れきっているので家に帰りたいと答えた。彼は、ではそうなさい、といって、他の2人にすぐ

もどるからといい残し私を車で家に送ってくれた。

途中、UFO現象について私は彼と話し合った。これからどうなりますかと尋ねると、彼は、調査の結果が満足できるものであれば、4日以内にUFOIRCの方からお知らせします。と答えた。

車を降りるとき、私が目撃したものは何だったかと思うかと尋ねると、彼は逆に私に、君は何だかと思うのかと反問した。

そのときは、私は、あれは恐らく政府の軍事プロジェクトだったのでないかと答えた。

そうではなさそうだが、それにいったい、どこの国の政府だと思ってる？ と、彼は反問した。もちろんわが国のですよ、と私がいうと、彼はじつと私を見つめ、暗い顔つきで、「あまり信じ込まない方がいいですよ」というとその言葉を最後にして走り去った。それは土曜日のことだった。

## 軍は何をかくぞうと

## つづきのあき

3日後の水曜日、郵便の中に茶色いマニラ紙の封筒があった。UFOIRC

Cのレポート用紙とUFOに関する情報、それにトーマス・M・オルセンの

デスクからのメモが入っていた。

メモには、レポート用紙に記入し、写真、スケッチ、データなどを添えてできるだけ早く返送するようにと書いてあった。メモにはトーマス・M・オルセンの署名がある。

私は金曜日までにレポートの記入を終わり、写真の複写やスケッチを用意し、オルセン氏あてに、先日のご努力とご親切に感謝するとともに、夕食に誘っていただいたときのご無礼をくれぐれもお詫びする旨の手紙をしたため署名して投函した。

10日後、私は郵便を受けとった。UFOIRCのレターヘッドに、トーマス・M・オルセンの署名入りで、データや写真を送っていただいていたという礼状だ。だが、私がギョツとして、わが目を疑ったのは、最後の一節だった。「私はお宅を訪問したことはありません。誰がやったのか見当もつきません」署名はトーマス・M・オルセンとしてあった。

私は本物のトーマス・M・オルセン氏に会ったことはない。しかし、あの手紙を受けとってから、私はUFOIRCと手紙のやりとりをし、この事件と、自分をトーマス・M・オルセンだ

と名乗った男について、くわしく知らせている。

また、本物のトム・オルセン氏を知っているジム・ロレンセンとも、この問題について話しあった。ジムが説明してくれたオルセン氏と、私が会った人物とは全然違う。それ以来、オルセン氏からは連絡もないし、私も人と話すときには十分気をつけるようになった。

不思議なことがもう一つある。アメリカ空軍基地の情報将校が、私の写した写真のことで私に会いたがっているという怪電話である。

私は、ウェード・キング大尉（いまは少佐）に面会に出かけたところ、門のところまで待つようにいわれた。キング大尉は——彼は非番だった——門にやってくると、何の用かと私に尋ねた。

私が、電話で呼びだしを受けたこと、私の撮影したUFOの写真を持参したことを答えると、大尉は、制服を着て武装した憲兵軍曹を連れてきた。憲兵は私の車をのぞきこんで、私が軍人かと尋ねた。そうではないと答えると彼は私をじっと見て、では写真とネガを大尉に提出しなさい、彼が正式のルートを通してくれるから、と命令した。

私は答えた。「じゃあ、こういうことで妥協しましょう。大尉さんには写真

を1枚だけ差しあげましょう。それを大尉さんがどう使おうとご自由にどうぞ」そして、写真を1枚渡して、帰ってきた。私も、大きな声を出すほど子供じやないんだから。

約3週間後、写真を返してもらっために、私はふたたび基地を訪れた。撮影した写真を全部8×10インチの大きさに引き伸ばしたのもをもって、キング大尉の事務所に乗りこんだ。

物体の正体についてキング大尉と話したが、彼は予想通り、まったく不愛想な見解を述べた。写真をよく見れば、飛行機の主翼と安定板が見えるはずだ、自分の意見では、これは空軍のF-4ファントム戦闘機である可能性があるといるのだ。しかし、そのとき私が8×10インチの拡大写真を取り出したので、彼の仮説は抹殺された。

すると大尉は、今度はつぎのような主張を展開した。……もし彼がUFOを見たとしても、忘れてしまうことにするだろう……彼に関するかぎり、そして空軍に関するかぎり、この問題はそれでおしまいだ、と。

空軍の見解によれば、解答はすでにコロラド大学のコンドン委員会と、プロジェクト・ブルーブックの答申のなかに述べられているというわけだ。

■ジョージ・アダムスキーとほう大な書簡を交わしたわが国UFO研究界の先駆者久保田八郎が、アダムスキーの要請に従って1961年に創始した日本GAPは、UFO問題に関連してア氏の生命哲学と生命科学の研究促進活動を展開し、今や会員約2千名を擁する世界屈指のUFOと宇宙哲学研究グループに発展、人間の宇宙的自覚に指導的役割を果たしています。■日本GAPはアメリカGAP本部（ジョージ・アダムスキー財団）公認唯一の日本支部として、密接な連携下に機関誌発行、月別研究会（東京は上野の文化会館）、年次総会を開催し、全国10カ所に支部を設置して各地で月別研究会を続行し、会員の精神の向上と良きカルマの形成に絶大な貢献をしており、UFO事件の追跡のみにとどまらず、宇宙の法則の探索実践を主唱して救われた人は無数にいます。■今年夏は大挙してアメリカGAP本部訪問の旅を実施の予定。■不定期機関誌「GAPニューズレター」は現在66号を発行中。本格的活版印刷B5判・極上アート紙・40頁・UFO問題や他惑星の偉大な人類存在の認識と宇宙の法則の啓蒙専門誌。

「GAPニューズレター」第66号主要記事＝「アダムスキー哲学の偉大さについて」S.ホワイティング/「ジョージ・アダムスキーの思い出」フリットクロフト夫妻/「幻影と巨石の国へ(2)」久保田八郎/その他有益記事を満載。

第66号 ¥500 千200

★ハガキに「入会案内書希望・U3月号」と明記して下記へお申込み下さい。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818日本GAP(主宰・久保田八郎)電話03(651)0958・振替東京4-35912

**日本GAP**  
宇宙の人間への成長を指導する世界有数のUFOと宇宙哲学研究の国際的大集団  
……  
**会員募集**

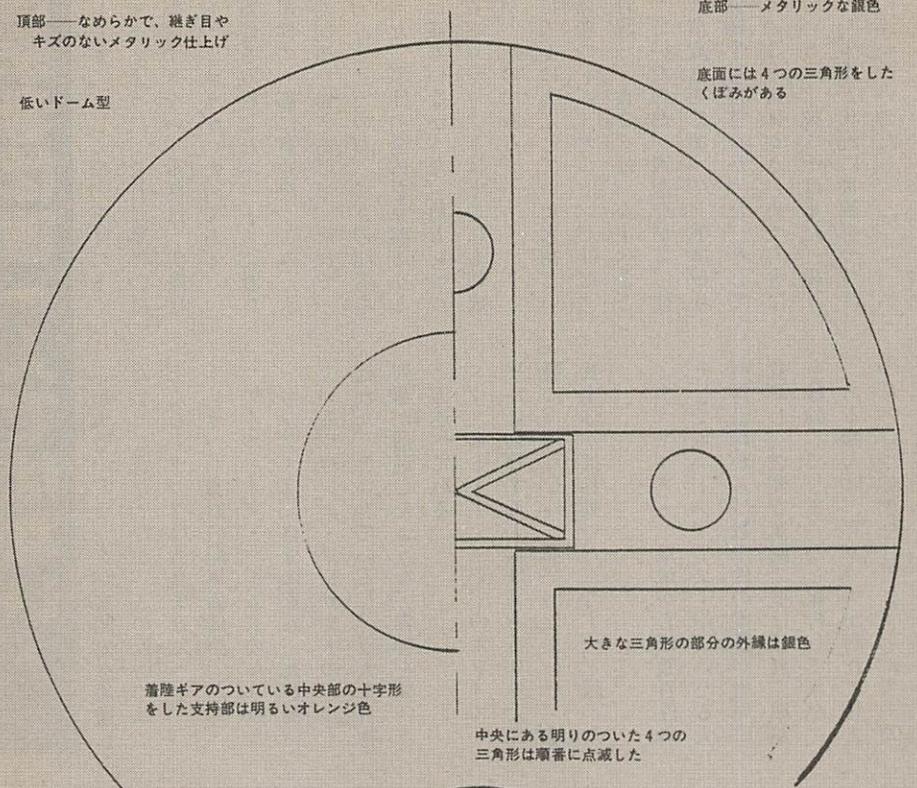
18 March 1978  
22 January 1978

頂部——なめらかで、継ぎ目やキズのないメタリック仕上げ

底部——メタリックな銀色

低いドーム型

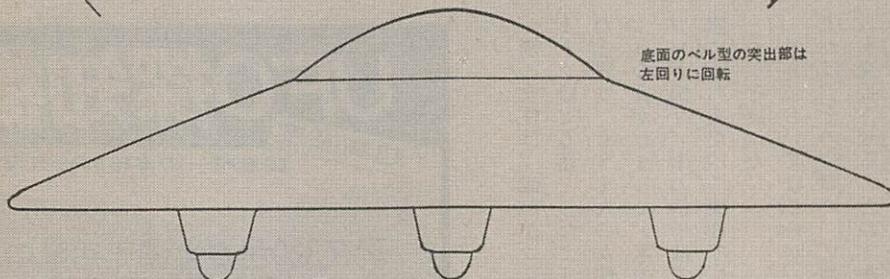
底面には4つの三角形をしたくぼみがある



着陸ギアがついている中央部の十字形をした支持部は明るいオレンジ色

大きな三角形の部分の外縁は銀色

中央にある明りのついた4つの三角形は順番に点滅した



底面のベル型の突出部は左回りに回転

銀色がかったオレンジ色のつやつやした表面下部の突出部分は6~10フィート突き出していて、引っ込むようだった

底面の周囲には円形をしたオレンジっぽい銀色の光が放たれていた

6

私の目撃したものが何であったか、あの「エアークエーク」(空震)が何

であったかについては、何ともいえないとキング大尉はいった。海軍研究所

がその答申でどういう見解を示すだろうかとということも分からないといった。

だが、彼が確信していることが一つだけあった。それは、1977年12月2日は「エアークエーク」が起こったとき、チャールストン沿岸では軍の活動はなかったということだ。なぜかといえ、彼自身がその夜、北米防空機構(NORAD)、戦略空軍(SAC)、それに海軍司令長官に通じる直通電話の勤務についていて、「エアークエーク」の発生した時間に軍の航空機は1機も飛行していないことを通報されていたからだ。

だから、彼の見解によれば、大気の逆転層が航空機のソニック・ブームと結合したという可能性はありえない……なにしろ、飛行中の航空機が存在しなかったのだから……。

嘲笑を浴びることは覚悟の上で、私は、私の記憶に忘れることのできない痕跡を残したあの不思議な現象の個人的体験をお話した。……それは、私の意見を、頑固な懐疑論者の立場から実在を確信する立場へ変えてしまった体験だった。

それは存在する。現実であり、実在なのだ。

多分、あなたもやがて、それを直接に体験して知ることだろう。もしあなたがまだそのような体験をしていない

としても。

## 目撃者は彼一人ではない!

ウイリアム・ジェームズ・ハーマン

しかしながら、この種の事件の多くがそうであるように、これは事件のほんの一部にすぎない。事件は、実際はもっともっと大きかったのである。

この事件を取材したニュース記者たちは、事件の一部に首を突っこみ、水増しした記事を書きあげて、それで一巻の終わりとしたのだ。つぎの記者も同様だった。事件の全体を見渡そうとした者は誰もいなかった。地方レベルでの調査プロジェクトはどこにも結成されなかったのである。

本当に人々に先んじていた人物といえば、偽者のトム・オルセンだけだったと私は思う。彼こそは、なすべきことを知っていたのだ。残念ながら、彼は見事に消滅してしまっ、手掛かりとなる痕跡すら残さなかった。そしてまさにそのこと自体がきわめて有弁に物語っている——彼こそはまだ、繰り広げられた事件と状況に接触をつづけているに違いないのだ。

まず第一に、あの「エアークエーク」は、一連の雷鳴でもなければ、単なるソニック・ブームでもなかった。

「超大型のトラックが玄関先を通過したような音だったが、この近所には、そんなトラックはありません」と、バーンガット警察の配車係は語った。

アイル・オブ・パームズのキャロル・ボッグスは、自分の家も、彼が働いているマウント・プレザントのビルも揺れた、といっているし、「巨大な貨物列車が通過したような」音響を聞いたとも述べている。

ウエスト・アシユレーのオフイス・ビルに勤務する1人は、「あまりの大声響に、みんな外へ飛び出しました。建物全体が揺れ動いたんです」と語った。

チャールストン地域からは数百件のそしてニュージャージー州にいたる大西洋沿岸からは数千件の電話が当局に殺到し、強烈な震動で壁は揺れ、家具も移動してしまったと報告してきた。

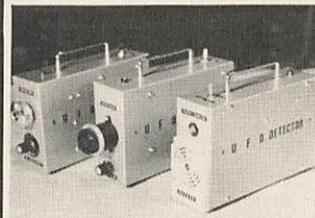
ある婦人は、窓ガラスが割れてしまったといってきたし、ジェームズ・アイランドのジェリー・ヤング夫人は、「私は階段を駆け降りようと思いました、何もかもひどく揺れて、下まで降りつけないのではと心配でした」と語

## UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機!

現在320台が全国で活躍中!!  
既にUFO探知成功20件!!



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型…¥9,000  
T-3a型…¥18,000  
T-3b型…¥19,000  
(近日値上げ予定)

■その他、連続観測用のACアダプター及び補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel.044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

った。

別の女性は、「誰かがコンクリートを1トンほど落とすような」音がしたと語り、もう1人の女性は、「津波のような音がしました。家の真上でゴロゴロと鳴り、床の椅子はころげまわり窓にぶちあたって壊れてしまっそうでした」と語った。

覚えておいてほしいが、レーダーによれば、その時間に、ソニック・ブームを発生させることのできる超高速、超高度の航空機は、200マイル以内には存空していなかったのだ。

ニューヨークのラモン・トラグハティ

地質学研究所のウイリアム・ダン博士は、計器は何の異常も記録していないと語り、「説明できる人が1人も現れないとは思議だ。自然現象でこのような異常が発生するだろうか?」と述べた。

チャールストン・バプテスト大学の地震計操作員のジョイス・バグウェルは、地震のあったことを示す計器の記録は読みとれない、と述べている。ただし彼女は、12月の2日、15日、22日と1月の5日、6日には、地下2フィートに埋められた探知器で、未知の種類の振動を記録している。

アン・テール夫人は、彼女の住む地域で感知された「スカイクエーク」と UFO 目撃報告の日誌をつけている。この2つには強い相互関係がある。彼女とその娘は、何か見馴れないものを目撃して、それをスケッチしておいた。

ジェニー・ジュスターベック夫人と退職警官であるその夫は、よく超短波ラジオを聞いているが、付近で多分航空機事故と思われる現象を目撃したという郡警察の通信を傍受して、その後の動きを刻々とキャッチした。

郡警察のバトロールカー5号車と救急車、続いて第13消防分署が応答した。彼らが現場に到着したとき、墜落機はすでに離陸して飛び去っていた。

後になって当局は、この事件は誰かのでっちあげだったと発表した。この地域のたぐさんの目撃者たちにとっては、でっちあげどころではなかったのである。

1月24日(大「スカイクエーク」のあった翌日)の午前1時か2時ごろ、車が故障して困っているという電話を受けたI・H・グレゴリー巡査は、相手から、1機のUFOが彼らの頭上を飛び越したために、車を道から飛び出させてしまったのだという報告を受けた。彼らの話では、UFOはまだそこ

にいるという。

グレゴリー巡査は車を4分の1マイルほど走らせると、オレンジ色に明るく輝く物体が、林の上空10000フィートの辺を飛んでいるのを発見した。その物体は、やがて近づいてきて、道路のそばに着陸した。

バトカーの無線は、その物体が接近すると、ピタリと機能を停止してしまった。地上にあるいは、その真上——に停止していた物体は、しばらくすると上昇しはじめ、星のあいだに消えていった。

グレゴリー巡査は、そのことでさんざん冷やかされたので、いまだはこの事件の話をすることを拒否している。その夜の交信を記録したテープは、その後再使用され、記録は残っていない。

ビル・ハーマンはこの騒ぎの中で、身もと不明の相手からの脅迫的な怪電

## 実在をめぐる

### ボクサー博士との激論

これらの事件の後、ローカル紙「イブニング・ポスト」4月25日号は、社説のページにつきのような記事を掲載していた。

話に悩まされているが、一方、彼と同じような物体を目撃した多くの人たちからの激励の電話もたくさん掛かってくる。

その人たちはハーマンに、彼が正しいことはまったく疑いなく、空に何かが存在することも彼ら自身はよく分かっているが、ただ巻き添えになりたくはないのだ、と語っている。

たとえば、ウィリアム・D・パーセル・ジュニアも、ハーマンの写真と同じような物体を目撃し、じっくりと観察した。

そのほかにも経験者は大勢いるが、名前を出しながらいない人が多い。ある人などは、沿岸警備隊にほど近いフォーリー・ビーチの沖で、彼のヨットのほんの数10フィート上空を通過した物体について、2時間以上にわたって話してくれたものである。

うじ虫の動きを観察するように、はるか遠くの恒星や惑星からやってきた緑色の小人たちがわれわれを観察しているという説が流布されてきた。

いわゆる空飛ぶ円盤という名で芽生えたこの現象は、異星人とのコンタクト物語という肥料を与えられ、未知との遭遇」と題するヒット映画の封切りとともに開花した。宣伝のゆきとこの映画は、この地球上で宇宙人に出会ったと信じている人たちの生活をたくみに描き出してみせた。

いまや私たちは、問題の核心に触れて、ズバリこう尋ねてみよう。本当に異星人たちが地球の周囲を飛行したり地上に着陸したりしているのだろうか? その答えは、断固として「ノー」である。私の「ノー」は、多くの理由にもとづくものだ。

第一に、理性的な人間を納得させるだけの具体的な証拠がない。「空飛ぶ円盤」が登場する映画もあるが、このような現象は、われわれがまだよく知らない無数の異常気象現象(大気の逆転層もその一つだ)によっても引き起こされるのだ。

NASAは、「空飛ぶ円盤」や「大気圏外からの訪問者」について調査するよう要請されたが、この名声高い機関は、この現象には具体的な証拠がない

これら事件の後、ローカル紙「イブニング・ポスト」4月25日号は、社説のページにつきのような記事を掲載していた。

ロバート・ボクサー博士

ここ30年にもわたって、われわれが

という理由で、この要請に対して丁重に「ノー」と答えた。

第二に、わが緑色の小人諸君は、なぜラッシュアワーのタイムズ・スクウェア（ニューヨーク）やピーチトリート・ストリート（アトランタ）に降下しないのだろうか？ そこなら、何千人という人々が目撃できるのに。訪問者たちが、マデイ・ガルチ（人口三人）のような小部落を選んで出現するのは不思議な話である。

第三に、地球を訪問する文明を代表する宇宙船は、それが多分、別の太陽系からやってくるのだから、人類よりもはるかに優れた技術をもっているものと考えてよいだろう。

さて、地球上で知られた高度な文明には、すべてに共通な一つの公分母がある——それは好奇心だ。したがって宇宙人の代表が、われわれ人類の前に姿を現わそうとしないということは考えられない。

書物や映画、新聞記事の洪水は、人々の興味を呼び起こし、付随的には筆者たちの懐を潤すのに役立つということは疑いない。その判断を間違えないようにしよう。

地球への訪問という話になれば、われわれは本当に一人ぼっちなのだ。（ボクサー博士は、ジョージア・サザ

ーン大学の化学教授である。）

ビル・ハーマンは、この意見に承服できなかった。彼は次のような反論を投稿したが、それは彼の写真をそえて同紙の投書欄に掲載された。

「4月25日付のロバート・ボクサー博士の論説に關してお便りします。

『イブニング・ポスト』紙は、ボクサー博士の「明快なる論断」に全面的に同意されたものと理解します。

6カ月前なら、私もボクサー博士の仮説に同意したでしょう。しかし、私はチャールズトン地区上空で7回もUFOを目撃し、そのうち2回は写真を撮影することができました。

「エアークエーク」に關する海軍研究所の説得力ある説明にもかかわらず、UFO研究に關係している多数の科学者や個人が、UFO目撃報告と「エアークエーク」とのあいだには關係が有ると考えているのは、興味深いことです。

NICAP、APPRO、CUFOS、UFOIRC、UFORCなどの団体は、UFO現象は真剣な科学的調査に十分値する問題であると確信しています。

ボクサー博士と意見を異にする科学者は、APPROとCUFOSだけで70人

以上もいます。ジョンズ・ホプキンス大学、バークレーのカリフォルニア大学、ユタ州立大学、アイオワ州立大学、USC、UCCLAなどの一流大学の、J・アレン・ハイネック博士、マーガレット・ミード、フランク・ソールズベリー博士、L・J・ロレンゼンその他のみなさんです。

私は、自分が理性的な人間だと考えています。でも、ボクサー博士はいつたいどのような「具体的な証拠」を希望なのでしょう？

私は、自分が写した写真は具体的な証拠になると思いましたが、写真が証明できるのは、私が幻覚を見たのではないということだけである、ということに気づきました。それでも、その写真のおかげで、自分が何かを見たことは間違いない、という確信がもてました。

ボクサー博士は、どうやらUFOが熱戦中のフットボール会場に着陸するか、それともホワイトハウスの上空に静止でもすることを望んでおられるようですね。

UFO目撃のことを考えると、ときどき本当に孤独を感じます。それで、嘲笑される危険を冒してこの手紙を書きました。……しかし私は、自分の経験だけをよりどころとして、そしてボ



重力研究所

〒798 宇和島市中央局私書箱33号

空飛ぶ円盤の科学研究誌 **宇宙艇** 隔月刊 B5判 (増頁)

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作 C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します (カタログは、宇宙艇巻末にあり) 誌代 4,000円 (6号分) 入会金 500円 (誌代にプラスのこと)

超相対性理論 (五訂増補版) 定価 5,000円 新発売 千 240円

振替 徳島 28986 (又は現金書留にて・切手は不可)

クサー博士とポスト紙が私の心中の疑問に答えて下さることを希望しつつ、反論としてこの手紙を書かなければなりません。

その疑問とは、つぎのようなものです。私と妻、チャールズ・ストーン郡の4人の警官が見たものは何か？

1977年12月2日朝の「エアークエーク」のさい私が見た、送電塔の上に静止していたものは何か？

1978年1月22日に私が撮影したアメリカ空軍のC-141スターリフター輸送機と並んで飛行していた物体は何か？

1977年11月27日に私が目撃し、撮影した、ドーチェスター・ロード市場の送電線を三角形を描きながら動いていた物体は何だったか？

1978年3月17日の夕暮れに、第792レーダー部隊がスクリーン上にとらえ、非常事態と判断して第48戦闘機部隊から戦闘機2機を緊急発進させた物体は何か？

これらの問題は未解決のままです。でも、ボクサー博士も含めて、この投書を読んでおられる方の中には、答えをご存知の方があるかも知れません。

私は、研究団体と緊密に協力して、報告、データ、スケッチ、写真やネガなどを、分析と調査のために送って

ます。しかし、疑問は依然として未解決のままです。

しかし、一つのことだけは、ボクサー博士の「断固たるノー」以上にたしかです。……少なくとも嘲笑と皮肉を超越して、そして過去の私の懐疑主義にもかかわらず、1977年11月12日、27日、12月2日、4日、1978年1月22日、3月17日、18日に、私はUFOを目撃したのです。そして今日にいたるまで、私は、目撃したことを確認してくれる解答を探しつづけているのです。

安易に投げ出そうとしない、この勇氣ある若者の不屈の精神には敬服のほかはない。本来なら彼を助けて、この事件の真実を追求しなければならぬはずの当局者が、彼にあのような打ちを加えたことは、誠に残念でならない。

この事件が、もしたた1件の例外であるなら、私たちはもうすこし安らかな気分で見られるのだが、悲しいかな事実はそうではない。真剣な調査が行なわれていないことが普通なのだ。この現状を何とか打破するために、われわれはさらに忍耐強く努力していかなければならない！

赤尾泉／勝見務／増野一郎訳

## 世界的な シルバ・マインド・コントロール・メソッド いよいよ、日本でも開講！

眠れるマインドを、目覚めさせなさい。  
あなたには、偉大な力がある……(ホセ・シルバ)

シルバ・マインド・コントロール・メソッドの授業は、すでに合衆国のすべての州、メキシコ、カナダ、スペイン、南米、中米、そしてヨーロッパなど…世界32カ国で行なわれており、アジアでは日本が最初となります。

いま、創始者ホセ・シルバは語ります——「より優れた人間になる為に—我々がすべての人々を、脳のアルファ区域を利用するように訓練することは、大いに必要なことである。この優秀性をもって、我々は、真にこの惑星を住みよい世界にし始めることができるのだ。これはまさに、この惑星の人間進化の第2段階の始まりとなるだろう。そして、人間の知能が、意識的にアルファと

セータの脳周波数で作用することを覚え得るといふ発見は、人類の最も偉大な発見として歴史に残るはずだ。この発見は、マインド、心理学、精神医学、精神分析学、催眠療法、そして潜在意識に対する我々の概念を変えるに違いない。」

### ■講座内容(4日間—40時間でコース終了)

- 身心のリラックスとアルファ、セータの脳波で心を機能させる訓練。
- 眠りと夢のコントロール。
- 創造性の開発と記憶の改善。
- 体重、喫煙など、習慣のコントロール。
- ESP能力を開発し、人生問題の解決に役立てる。

- 身心の健康改善と病氣治療能力を開発。
- 深い瞑想体験による知覚力の拡大。

### ■3月・4月説明会ご案内(無料)

- 日 時：3月6日(火) P.M.7:00—P.M.9:00  
3月7日(水) P.M.7:00—P.M.9:00  
4月10日(火) P.M.7:00—P.M.9:00  
4月11日(水) P.M.7:00—P.M.9:00

- 説明会場：薬学会館(TEL.406-3321)  
国電渋谷駅東口下車・高樹町方向へ高速道路沿いに7分・左側
- 案内書(無料)ご希望の方に郵送いたしますので電話又はハガキにてお申し込みください。



# mind control

主催：マンカインド株式会社

〒150 東京都渋谷区宇田川町12-3ニュー渋谷コーポラス1105 Tel.03-464-8075

# 4月号予告

編集部総力  
立体特集

# 金星

プラネット・ビーナス

- 1 神話と伝説の中の金星
- 2 コンタクトティーたちの金星報告
- 3 現代科学の金星最新レポート
- 4 近未来・金星改造人類移住計画

**CIA(米中央情報局)が秘密UFO資料公表**  
座談会ハイネック博士おおいに語る 日本 の 研究 家 4 人 と

**ソ連の都市上空にUFO物体出現** ヘンリー・グリンスコリトン・ミステリー ヤムスキー事件の真相…………… 中島進

**ニュージールランドでTVカメラがUFOキャッチ** 矢追純一

# UFOと宇宙 3月号

## 編集後記

★突如来日したアレン・ハイネック博士とのインタビューはまさに予期せぬできごとでした。本誌との単独会見に応じるという報せにホテルへかけつけると、時差とハードスケジュールで疲労の色がみえるにもかかわらず、博士は気さくに右手を差しおてくれたのです。この世界的に高名な天文学者が、周囲のあらゆるものに関心を示し、率直でもの静かな、そして暖かい人柄であることにつよく印象づけられました。ごく近い将来、ハイネック博士の原稿が本誌に掲載されることになるはずです。  
★これまで入手がきわめて困難であった社会主義圏のUFO情報がたてつけに入ってきています。今号につづき次号でも興味深い記事を掲載できると思います。UFO問題は今やジャーナリズムのセンセーショナルな見出しを必要としないグローバルな関心事に発展してきたといえそうです。(Y)

## 投稿歓迎

本誌ではUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿、写真、研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿はお返しいたしません。  
あて先 〒110東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

都合により内容を変更することがあります。

大推理／パルテノン神殿は見えないピラミッドだ…………… 斎藤守弘

ボーデの法則とピラミッド



その他、興奮の写真と記事満載!

UFOと宇宙 1979年3月号 第44号  
定価 四五〇円 送料五〇円  
発行 昭和五十四年三月一日  
(月刊/毎月二〇日発売)

編集人 矢沢 潔  
発行人 遠矢直輝

発行所 株式会社 ユニバース出版社  
住所 〒110 東京都台東区上野五―一―六 ヤマトビル  
電話 〇三(八三三)―一三四―四四  
振替 東京一―一九四七八  
印刷所 株式会社サンニチ

年々購読料 六〇〇円(年間十二冊、送料共)書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。  
本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。



↑ここにふれると明かりがバツ!!消す時もバツ!!のタッチスイッチ

# これがスチール製 高級UFO型コードペンダントだ

●ボールランプ(25W×3・但し40W使用可)●大きさφ390×200%●タッチスイッチ付

## NEW!! 本格的UFOステッカー



シール面は、当社で新しく開発したメタリック模様です。  
ワンポイントアクセサリとして、差をつけよう。

3枚1セット ￥1,000 (送料共)

- パブレストランの照明に
- 喫茶店・スナックの照明に
- お店のディスプレイとして
- ショーウィンドのアイキャッチとして
- 新しいインテリア用品として

スチール製・シルバーメッキ仕上げの美しい本格的な照明器具です。このコードペンダントは、当社開発商品のため、一般商店では、販売していません。直接当社へお申し込みください。

特別価格 ￥13,800 (送料共)

### 購入方法

ご注文は、品名をはっきり書いて、現金書留または郵便振替にて、ユニバース出版社商事部迄、お申し込みください。

株式会社ユニバース出版社商事部

〒110 東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル  
振替 東京1-119478

# どこからひもといても、幾度ながめても興味尽きない 24の謎に迫る全6章

●高松塚や稲荷山古墳も含めた133項目の遺跡  
総集編つき。

## ■内容目次

○第1章 伝説の地を求めて——  
突然の火山爆発で海底に沈んだアトランティスや幻の黄金郷エルドラドなど、伝説の国々はどこに存在したのか？最新データで有力候補地を推理、先駆者の跡を追う。

①失われた大陸アトランティス ②黄金郷エルドラド ③シバの女王の国 ④新大陸の第1発見者

## ○第2章 残された巨石

あるものは太平洋の孤島に、あるものは現代ヨーロッパの中心地に、時の流れを超えてそびえたつ巨大な石の遺跡。建設技術は解明されても疑問は残る。①西ヨーロッパの不思議な巨石 ②コルシカの靈魂像 ③南イングランドのストーンヘンジ ④イースター島の巨人像

## ○第3章 失われた都市

探るほどに興味つきない古代都市の全容を、鮮やかな再現図で明かしながら、紀元前8,000年も前の都市生活や、その栄光と滅亡の足跡をたどる。①神々の都テオティワカン ②インダスに消えた帝国 ③アンデスの沈黙の町 ④世界最古の都市 ⑤インカ最後の聖域

## ○第4章 ピラミッドの秘密

紀元前、時代も場所も異なるアメリカとアフリカで、それぞれの文化の象徴のように天を突くピラミッドがつくられていた。エジプトやマヤのピラミッドを紹介、謎に肉薄する。①天と地のさすなべルの塔 ②マヤのピラミッド ③ファラオたちの眠るピラミッド

## ○第5章 消えさせた民族

過去の民族の英知を残された遺跡に探る。①サハラが緑だったころ ②幻の騎馬民族 ③消えた黒人帝国 ④密林に眠るアンコール ⑤アメリカ大陸の先住民 ⑥マヤの数学者たち ⑦ナスカの謎のメッセージ

## ○補章 宇宙からの訪問者？

シベリアの大爆発は果たしてブラックホールの衝突か、宇宙船の核爆発か？目撃者続出のUFOとの関係は？科学の光のかたに、なお神秘がある。

## ○事典：世界の謎の遺跡

以上で網羅できなかった古代文明遺跡を国別に総集。アジア＝日本、中国、インド他 ヨーロッパ＝アルバニア フランス他 アフリカ＝アルジェリア、エジプト他 北米＝カナダ、アメリカ他 南米＝ブラジル、コロンビア、ペルー他 全133項目。

この書籍はハガキでお申込みになるだけでお手もとに直送配本されます。

申込みハガキのご記入は下の見本の要領で

●必ずシールにはんを押してお貼りください。(捺印のないシールは無効です)また、18歳未満の方は保護者のご署名と捺印が必要です。

この豪華本がこのお値段で、しかも有利なお支払い条件で、直接お宅へ届きます！

配本価格 **5,850**円  
(分割払価格・現金価格とも)

分割払金 **1,950**円

●支払回数3回 ●支払期間3か月 ■送本料250円別

★送本料は第1回分割払金お支払いの際に加算させていただきますのであらかじめご了承ください。

●現本先渡し代金分割後払い 現本が「お宅」に届いてから、代金と送料は当社からお送りする振替用紙をご利用になり、お近くの郵便局または指定の銀行から、お手軽な月づきの分割でご送金ください。

●全国どこへでも完全梱包で宅配 あなたの申込みハガキが到着しだいご希望の本を完全梱包でお宅へ直送いたします。万一郵送中の事故等で破損が生じた場合、広告内容と異なる本が届いた場合は、送料当社負担で交換いたします。なお返本ご希望の場合、現本到着後一週間以内にご連絡ください。

●お電話番号	●シール	郵便はがき
●年令	●住所所ラリカ	1100
●お名前ラリカ	●ご住所ラリカ	日本リーターズ・エグゼクティブ社
●お電話番号	●郵便番号	東京千代田区
		「ツ橋」
		「1-1-1」
		受注係行

グアテマラで見された謎の首 東洋人!?



▶世界最古の町イェリコ出土の都市住民像



▲南米インディオが残した黄金のマスク

◀バベルの塔建設を描く15世紀ヨーロッパの絵

▶イースター島に残る1,000体もの巨人像



▲シベリアの大爆発はUFOの事故!?

もう一冊、絵本のように美しい小冊子  
**世界の七不思議**を  
さしあげます。あわせてお楽しみください。



30  
通信販売30年  
不動の信頼を  
築いて良品をお届け  
する直販システム  
のバイオンア

Reader's Digest

申込シール

「世界最後の謎」を  
申込みます。

印 BY 1

WLM902-UF 94029

# 世界最後の謎

失われた文明を求めて

## 現代科学と考古学の最新成果を結集。 膨大な遺跡群を通して失われた文明の謎に肉薄する ロマン横溢の書!〈日本語版成る〉

見るだけでも興奮を誘う迫真のオールカラー、読むほどに謎解きへの興味が湧きおこります。

人類誕生以来およそ二百万年。その間に残された数多くの遺跡は、科学万能の現代でもなお解明のつかない謎を秘めています。全世界に広がる取材網を駆使し、27万ドルもの編集費を投じて、まずフランスのリーダーズダイジェストから刊行された本書は、迫真のオールカラー写真とともに、いきなり読者を遺跡の現場へ連れだして、胸おどる謎解きの最前線に立たせる巧みな構成で、たちまち欧米各国でのベストセラーになりました。とくに見開き2ページ大の精密な復元図で遺跡をプレイバックする楽しさは格別。本書〈日本語版〉でぜひあなたも不思議な世界の旅へ。

遺跡の神秘から宇宙の神秘へ、いながらにして知的冒険の世界に遊べる退屈知らずの本です。

読みやすい文章、ページを繰ることに楽しさと未知なるものへの好奇心を盛り上げていく豊富なイラスト。16人の学者や作家たちが、そのうちくをフルに傾けての語り口には、世代を問わずぐんぐん引き込まれるでしょう。データはすべて最新のものですから、歴史の資料・参考書としても好適。冒険への渴望をいやす貴重な一冊として、

あなたの想像力をかきたてることはもちろん、やがて訪れるかも知れない現地遺跡や遠い国への机上旅行が、時間も空間も超えて楽しめます。内容目次に並ぶ数々の謎と解明の最前線を、あなたはどこまでご存じですか?



▲世界最古の都市チャタル・ヒュックの精密な復元図(第3章)ハチの巣箱状の防御構造がよくわかる。



この本は読む者に知的興奮と静かな感動を同時に与えるだろう。ここまでわかっているという、その最前線が本書のページには展開されている。

日本語版監修 寺田 和夫(東京大学教授)

古代文化には、その伝統が今日の文明まで伝えられてきたものもあれば、謎のように消え失せて、遺跡と遺物にしかならず痕跡をとどめないものもある。考古学者その他の専門学者の力で、この百年余の間に魅力溢れる古代世界について、ずいぶんたくさんのがわかってきた。ここまでわかった、と書くのが専門書の書き方だが、本書は、これから先がわからないという点を指摘することで、読者の想像力に訴えている。見事な写真と語り口が読者を古代の謎へ誘いこむだろう。



畏怖の目を見開くシュメールの礼拝者像▶

▲テオティワ坎のテラコッタ彩色仮面

▼テオティワ坎のモザイク装飾仮面



▼ナスカの砂漠に描かれた巨大な鳥の絵



▶タッシリ・ナジェールの岩肌に残る巨人画

古代にもUFO!

◀悠久の砂漠に立つファラオの記念碑

全国書店で好評発売中!!

# につぼん宇宙人白書

宇宙人はすでに日本列島に潜入している！不思議な宇宙人体験の話は数をまじつつある。謎につつまれた宇宙人の活動を探るために現地を訪れた筆者がコンタクトイーたち直撃取材、事件の全ぼうを明らかにしていく。本書には宇宙人問題の真相を解くカギがかくされている。

■あなたのすぐ側に異星からの訪問者がいる

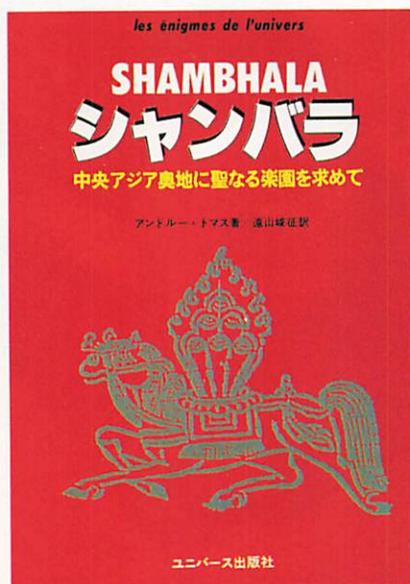
中央アジア奥地に聖なる楽園を求めて

# シャンバラ

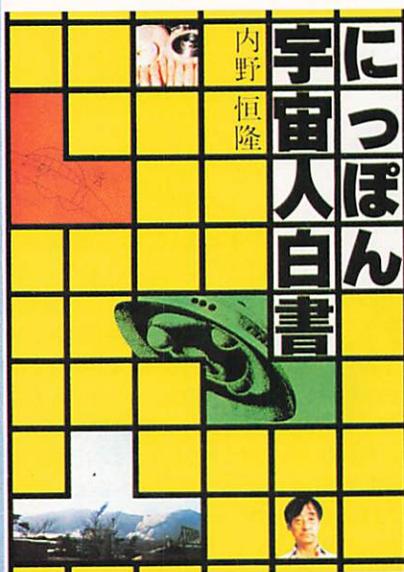
2月下旬発売

ヒマラヤ山中の奥深く眠る伝説の国「シャンバラ」は、古代文化の源泉だった。そして、この王国から遣わされた使者たちは、人類を導き、その危機を救ってきた——。太古史研究の第一人者がシャンバラにとり組んだ「常識を超える真実」の書。

■伝説の王国シャンバラの深奥にせまる！



アンドルー・トマス著  
遠山峻征訳  
予価1300円(送料160円)



本誌編集部 内野恒隆著  
定価980円(送料160円)

# 35%一眼レフ用 スリコール リライアンス交換レンズ



35%F2.8 ¥12,000・300%F5.6 ¥18,000  
 135%F2.8 ¥13,000・400%F6.3 ¥21,000  
 200%F4.5 ¥14,000・500%F8 ¥24,000  
 (Pマウント・ケース付。プリセット式絞込測光・35%一眼レフ専用)

## 2倍・3倍テレコンバーター

標準レンズ50%に付けると100%又150%の望遠レンズに望遠レンズ200%に付けると400%の超望遠レンズになります。  
 ¥7000～¥11000

●交換レンズ・テレコンバーター購入希望の方はお持ちの35%一眼レフカメラ名を記入の上ハガキでカタログお申込み下さい(電話は不可)

驚異的  
低価格

## 超ミニ天体望遠鏡 チビテレ22

世界最小!!最短長わずか17cmの天体望遠鏡



¥13,800  
(三脚なし)

天体でも地上(正立左右逆像)でも使えます。月面、土星の環、木星、金星の観測に。人物、風景の観望に超小型軽量で携帯性抜群、カメラ用三脚使用可能

- 小さくてもこの性能  
 アクロマートレンズ口径40%、焦点距離220%、倍率70倍55倍35倍28倍18倍本体最長17cm最大径51%(付属品)天頂プリズム、パローレンズ、接眼鏡2個、照準器、卓上型三脚、携帯用ケース
- カメラ用四段エレベーター三脚付 ¥19,000(指定注文)
- 卓上三脚付 ¥14,800(指定注文)
- 別売部品・地上プリズム(正立左右正像) ¥3,000



## 超ミニ天体望遠鏡 チビテレ300

最短長わずか21cmの天体地上兼用望遠鏡



¥23,800  
カメラ用三脚に取付けてご使用下さい

天体でも地上でも使えます。月面や土星の環、木星、金星の観測に、人物、動物の観望に。小型軽量です。旅行に持ちはこびが楽にできます

- 小さくてもすごい性能  
 アクロマートレンズ口径50%、焦点距離300%、倍率(天体用)125倍100倍50倍30倍15倍(地上用)50倍15倍本体最長21cm・最大径70%  
 (付属品)地上プリズム、天頂プリズム、パローレンズ、接眼鏡2個、卓上型三脚、三脚取付バンド、携帯用ケース
- カメラ用四段エレベーター三脚付 ¥28,800(指定注文)
- 別売部品・カメラアダプターO ¥4,500・15倍に使用で126%～144%の超望遠カメラレンズに使えます。35%一眼レフ専用・カメラ名をお知らせ下さい。



## 昼夜兼用望遠鏡 MG7

¥18,700 ケース付



＜ご注文は必ずカメラ名をお知らせ下さい＞

人間の目よりグリーンと明るい広視野が小型望遠鏡です。肉眼では見にくい暗がり良く見え、夜の公園やうす暗い室内も驚く程良く見えます。昼間も鮮明にブレが少なくはっきりと、広い視野が得られます。

- 明るさの秘密は短焦点レンズF3.9・集光力・人間の目の50倍・人間の瞳孔に理想的に設計された口径倍率・レンズ、プリズムの全面に増透処理
- 35%一眼レフカメラに付けて超望遠カメラレンズになります。600%F12・750%F15・900%F18・1250%F25・1400%F28・1550%F31・1700%F34の7通りに使えます。
- 対物レンズD50%F1.95% 接眼レンズオルゾー28%レンズ構成3群6枚 重量570g 長さ21cm 倍率7倍カメラ使用部品不用の場合指定注文 ¥14,000



## ズームスコープ TZ820



ズーム望遠鏡として8倍～20倍、35%一眼レフカメラに付けると400%～1000%(間接式)及720%～1800%(直接拡大式)のズーム超望遠カメラレンズに使えます。

- 間接式は標準レンズのフィルターネジにネジ込みます。取付径は49%・52%・55%・58%の4種有ります。
- 直接拡大式はカメラボディに直接取付けます。
- 国産35%一眼レフカメラのほとんどに使用できます

B型 ¥24,800

(35%一眼レフカメラ名をフィルタサイズお知らせ下さい。)

A型 ¥21,800

間接式400～1000%専用(フィルタサイズ)お知らせ下さい。



## 高級ズーム望遠鏡 Z50

驚異の高性能 天体地上兼用 Z50

アクロマートレンズ 口径50%



40m先の小さな新聞の活字が読める! 500m先の人の顔がわかる! 月面が手に取る様に目前に! 土星の環が見えます 木星の縞が見えます

総金属製 総重量1.8kg 本体長58cm 脚高42～108cm

大迫力 倍率ズーム変倍 27倍～80倍

(カメラ用エレベーター 四段三脚付) ¥15,800

本体のみ価格 ¥10,800

(カメラ用三脚をお持ちの方は本体のみ指定注文下さい。)

## 普及型・昼夜兼用望遠鏡 MG8



¥9,900 ケース付  
重量430g・長さ17cm・倍率7倍

人間の目よりグリーンと明るい小型望遠鏡です。肉眼では見にくい暗がりが見えます。昼間も夜もブレが少なく鮮明に見え、警察官、ガードマン警備員の必需品です。

★MG7と機能上異なる点・カメラの取付不可、通常の視野、レンズ構成3群5枚

## 標準レンズ 切替式ストロボ 望遠レンズ フラッシュ 内臓のポケットカメラ



ケース付 ¥12,000

ワンタッチで標準から望遠に室内や夜間はストロボでピント調節は必要なし 鮮明に写せます 軽量で小型わずか250g フィルム装てんはかんたん レンズ・標準25%望遠40%ワンタッチ切替式シャッター・1/125秒 ストロボガイドNo.16 大きさ・59%×30%166%

## 35%フィルム現像と引伸し現像ができる カラーフォトセット



フィルム現像と引伸し現像ができるので秘密の写真もOK/カラー写真も7×10cm判に伸ばせます。現像剤、印画紙は後日追加購入ができます(数量割引有)

カラーフォト12点セット ¥9,500

(内容)引伸しプリンター・カラー白黒現像定着剤及印画紙・カラーフィルター・ネガバサミ・フィルム現像タンク・計量カップ・現像パット・使用指導書等

ご注文は電話又はハガキで/東京都03(850)6110・(859)1331

(全品送料無料) 営業時間 午前10時～12時 午後1時 5時・日曜、祭日は休業

みどりの印の無い物は無効  
 18年 氏住郵便 番名  
 未定 郵便 番号  
 氏名は 係長 氏名  
 電話 番号  
 住所 番号  
 〒121 東京都足立区平野3-7-17  
 株スリーピーチ UF03 係

ご注文は品名をハッキリ書いて下さい。遅くとも7日以内に代金引換郵便で送ります。お近くの郵便局から着荷の案内が行きましたらミドモ印を押して代金と共に持参しお受け取り下さい

〒121 東京都足立区平野3-7-17

(5日以内に返品可能です。但し諸費用申受けます)

# 日本中のファン待望! あのヤマトがいま、8ミリ映画に!

きみは覚えているか、あの若者たちの熱を、そしてあの熱い感動を。人生には、永遠に忘れてならないものがある。

## 宇宙戦艦

# ヤマト

〈魅力の全3巻一挙発売!〉

- 第1部 さらば地球よ
- 第2部 神よガミラスのために泣け
- 第3部 愛に生き 愛に死す

スーパーシングル8/カラー/65m/24コマ  
光学録音版/定価 各巻共12,500円

8ミリ  
映画

構成 西崎義展

TVシリーズ「宇宙戦艦ヤマト」松本零士監督作品より

企画・制作ヘラルド・エンタープライズ・朝日テレビライブラリー  
発行元・朝日新聞社・発売元 朝日ソノノマ/特約代理店 サンシグラフ

●スーパーシングル8 カラー / 65m / 24コマ / 11分 ●光学録音版 定価 各巻共12,500円

### 第1部 さらば地球よ

西暦2199年、地球の危機を救う為、250年の眠りから覚めたかつての戦艦大和が、宇宙戦艦ヤマトとなってよみがえった。スターシャの待つイスカンダルめざして沖田艦長以下、古代進、森雪ら総員114名を乗せて発進!

### 第2部 神よガミラスのために泣け!

イスカンダルめざすヤマトを迎え撃つガミラスのデスラー総統。ヤマト対ドメル艦隊の“七色星団の決戦”。その大迫力! 続々とくりだすガミラス軍団の新兵器に對抗するヤマト。ヤマト危うし!

### 第3部 愛に生き愛に死す

ガミラスの猛攻撃に耐え、ヤマトはついにイスカンダルへ。放射能除去装置を手にも再び地球へ。古代進と守の再会、そして、沖田艦長の死。古代進と森雪との愛の奇蹟、ヤマトはさまざまな感動をのせながら地球へ……。

### UFO★友好が侵略か!!



### これがUFOだ!

スーパー8/カラー/55m/24コマ/9分  
光学録音・カセットテープ付 定価10,800円  
プロット●スカイラブ3号が撮影したUFO●ジェミニ7号が撮影したUFO●アポロ12号が撮影したUFO●米国防衛省ファントムが撮影したUFO●アダムスキーが撮影したUFO

### 宇宙人は地球にきた!

スーパー8/カラー/55m/24コマ/9分  
光学録音・カセットテープ付 定価10,800円  
プロット●ナスカ平原(1,500年前の飛行場)●イースター島 黙せる巨人たち●サハラの大ツリシロ山にある宇宙人の古代壁画 他

### 月旅行があなたのものに!!



### 宇宙への挑戦・人類月に立つ

スーパー8/カラー/59m/24コマ  
光学録音・カセット付/各9,800円  
プロット●ロケット開発と宇宙への欲望●宇宙工学の発達と数々の失敗●初めて見た地球の全景●宇宙遊楽する飛行士●地球回遊する人工衛星●アポロ11号の砂浜み開始●全人類を代表する三飛行士の真姿●アポロ11号は月に向って飛び立った。

### 宇宙への挑戦・地球は青かった

プロット●アポロ11号、月面に向かう●着陸地点「静かの海」をさがす着陸船●月面着陸、その歴史的瞬間●人間が見た初めての月面風景●月面で楽しい冒険(アポロ16号より)●母なる地球への帰還

### すばらしい蒸気機関車

スーパー8/カラー/55m/24コマ/9分  
光学録音付 9,800円/磁気録音付12,000円  
SL映画珠玉の名作、日本鉄道史百年の鉄路を走り去った数々の蒸気機関車の勇姿再現●この映画に登場するSL●C62●C58●C57●C56●C55●C51●C12●9600●8620●B20

### 栄光の蒸気機関車C62

スーパー8/カラー/30m/24コマ/5分  
光学録音付 5,800円/磁気録音 9,000円  
栄光に輝く/スワロー・エンゼルのすべて!

### 世界最大のSL・BIG BOY(1)(2)

スーパー8/カラー/全2巻/55m/24コマ/9分  
光学録音付 9,800円/磁気録音各12,000円  
ロッキーを越え大平原をゆく世界最大のSL!



### SLよ永遠に

スーパー8/カラー/55m/24コマ/9分  
光学録音付 9,800円/磁気録音12,000円  
吹雪をつきD51三連連は常紋を越えていった●この映画に登場するSL●C55●4110●D52●C58●D61●夕鉄12号●C12●9600●美唄6号●B20●D51●ラッセル

### ご注文方法

上記の8ミリ映画をご希望の方は、題名を記入の上、現金書留又は振替口座(東京1-119478)にてお送り下さい。送料は当社にて負担致します。